

Network Storage System

Windows Storage Server 2016 搭載モデル向け **NASツール**

Software Manual

^{ソフトウェアマニュアル} 第6版 2020/7/27

対応ソフトウェア

Ver.7.00以降

エレコム株式会社

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
注意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。 この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してく ださい。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- ●本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社 テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- ●本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での(海外からの)保守、サポートは行っておりません。
- ●本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名 / 社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および TM は省略させていただきました。
- 本マニュアルは NAS ツール Ver5.42 を基に記載しています。他のバージョンでは表記や機能が異なる 場合があります。

安全に関する警告

安全のため、次の安全に関する警告を読み、それに従ってください。

- Windows Storage Server 2016 搭載モデル向け NAS(以下、本製品とします)の設定 を試みる前に本マニュアルを十分に読んでください。
- ●本製品は、複雑な電子機器です。いかなる状況下でも修理を試みないでください。不具合が生じた場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。
- ●電源コード上には何も置かず、また電源コードは踏まれる恐れがある所には置かないで ください。接続ケーブルは、踏みつけたり引っ掛けたりすることがないように配置してく ださい。
- ●本製品が正常動作できる温度範囲は 0℃から 40℃で、相対湿度が 5% ~ 95% です。 過酷な環境条件での本製品の使用は、機器を損傷することがあります。
- ●本製品に適切な電圧(AC100V、50/60Hz、5A)が供給されていることを確認してください。本製品を誤った電源に接続すると、機器を損傷することがあります。
- ●本製品を湿気や、埃、腐食液にさらさないでください。
- ●本製品を平坦な場所以外には置かないでください。
- ●本製品を直射日光や他の熱源にさらさないでください。
- ●本製品の清掃に化学物質やエアロゾルを使わないでください。清掃前には、電源コード や接続ケーブルをすべてプラグから外してください。
- ●本製品に物を置かないでください。また、機器の過熱防止用の換気スロットをふさがないでください。
- 製品梱包されていたビニール袋等は子供の手が届かない所に置いてください。
- ●機器を廃棄する際は、環境保護のため、電子機器製品の安全な破棄に関する各自治体の指示に従ってください。

もくじ

安全に関する警告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 3
警告	•6
注意 ••••••	• 8
よりよくお使いいただくために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
安全にお使いいただくために	11
使用環境について ••••••	12

Chapter 1 はじめに

13

18

1.1	概要 ••••••	14
1.2	特長•••••	15

Chapter 2	基本設定 / 管理機能	
-----------	-------------	--

2.1	付属ソフトウェアについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	2.1.1 NAS Host Explorer のインストール19
	2.1.2 NAS Host Explorer について
2.2	管理画面の表示方法 25
2.3	ストレージ管理ツールについて 27
	2.3.1 サーバーマネージャー
	2.3.2 NAS ¹ / ₂ -1/ ₂
2.4	ネットワークの設定 30
2.5	コンピューター名変更、ドメイン/ワークグループ参加設定••• 33
2.6	電源 OFF(シャットダウン)方法 36
2.7	管理者パスワードの変更38

Chapter 3 ディスク・ボリュームの管理 40

3.1	RAID 相	構成の変更 ・・・・・・ 41
3.2	暗号化	と自動ロック / アンロック設定 45
	3.2.1	ディスク暗号化の概要と運用の流れ45
	3.2.2	「NAS暗号化拡張機能」のインストール48
	3.2.3	「NAS暗号化拡張機能」のアンインストール…51
	3.2.4	暗号化管理ツール55
	3.2.5	ディスク暗号化の手順60
	3.2.6	暗号化ドライブのアンロック(手動アンロック)…65
	3.2.7	暗号化ドライブのロック(手動ロック)68
	3.2.8	自動ロック/アンロックの設定70
	3.2.9	パスワードの変更74
	3.2.10	キーのエクスポート(キーファイルの作成)…76
	3.2.11	暗号化解除78
3.3	iscsi h	・ライブの構成 ••••• 83
	3.3.1	iSCSIサービスのインストール83
	3.3.2	iSCSI 仮想ディスクの作成87

Chapter 4 共有フォルダの作成・管理 94

4.1	ファイルサーバー機能とは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4.2	ユーザーの作成
4.3	グループの作成 99
4.4	共有フォルダ(SMB)を作成する104
4.5	共有フォルダ(NFS)を作成する112
4.6	共有フォルダアクセス権の設定変更(SMB) ****** 119
4.7	フォルダアクセス権の設定変更 (NTFS)121
4.8	共有フォルダアクセス権の設定変更 (NFS) 123
4.9	クォータ 125
	4.9.1 クォータの設定(FSRMクォータ/フォルダクォータ) … 125
	4.9.2 クォータの設定(NTFSクォータ/ユーザクォータ) 126
4.10	ファイルスクリーンの管理128
4.11	記憶域レポートの管理130
4.12	
	ノバイル万規官理(FCI)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4.13	ファイルテ規管理 (FCI)
4.13	7747ルテ知管理 (FCI)
4.13	ファイルシステム (DFS) 134 分散ファイルシステム (DFS) 139 4.13.1 分散ファイルシステム(DFS)のインストール…140 4.13.2 DFS 名前空間の作成146
4.13	ファイルシステム (DFS) 134 分散ファイルシステム (DFS) 139 4.13.1 分散ファイルシステム(DFS)のインストール…140 4.13.2 DFS 名前空間の作成146 4.13.3 DFS 名前空間へのフォルダーの登録153
4.13	ファイルラス乗官理(FCI) 134 分散ファイルシステム(DFS) 139 4.13.1 分散ファイルシステム(DFS)のインストール…140 4.13.2 DFS 名前空間の作成146 4.13.3 DFS 名前空間へのフォルダーの登録153 4.13.4 DFS レプリケーションの設定157
4.13 4.14	 ファイルラス乗管理(FCI)
4.13 4.14	ファイルシステム (DFS) 134 分散ファイルシステム (DFS) 139 4.13.1 分散ファイルシステム(DFS)のインストール…140 4.13.2 DFS名前空間の作成
4.13 4.14	ファイルシステム (DFS) 134 分散ファイルシステム (DFS) 139 4.13.1 分散ファイルシステム(DFS)のインストール…140 4.13.2 DFS 名前空間の作成146 4.13.3 DFS 名前空間へのフォルダーの登録153 4.13.4 DFS レプリケーションの設定157 WebDAV 共有フォルダ 4.14.1 WebDAV 利用の準備166 4.14.2 WebDAV 共有フォルダの作成177

Chapter 5 バックアップ・メンテナンス 183

5.1	RAID エラー警告音の停止••••••••••184
5.2	RAID の再構築(ディスクの交換)186
5.3	データフォルダバックアップツール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・191
5.4	バックアップ(Windows Server バックアップ)・・・196
5.5	共有フォルダのシャドウコピー (SCSF)202
5.6	Windows Update 204
5.7	Windows Defender ••••••• 206

Chapter 6 その他管理機能・サーバ設定 210

6.1	お知らせメール設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・211
6.2	電源設定217
6.3	ステータスパネル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・221
6.4	ナスコール226
6.5	フォルダアナライザ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・227
6.6	その他設定・・・・・229
6.7	アプリケーションのインストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・234
6.8	プリントサーバー機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・236
6.9	WebUI 専用管理者アカウントの設定240

Chapter 7 ブラウザ経由での管理(WebUI) 242

7.1	WebU	管理画面へのアクセス24	3
7.2	WebU	の基本操作 ・・・・・24	5
	7.2.1	トップエリアの情報	5
	7.2.2	メニューエリアの情報	6
	7.2.3	サブメニューエリアの情報	7
	7.2.4	メインエリアの情報	7
7.3	ステー	タスの確認 ••••••24	8
7.4	初期設	定25	0
7.5	ファイノ	レ共有設定25	1
	7.5.1	共有フォルダ	1
	7.5.2	ユーザー	4
	7.5.3	グループ25	7
7.6	ボリュ-	-ムの管理・・・・・26	1
	7.6.1	ボリューム情報	1
	7.6.2	S.M.A.R.T 26	2
7.7	ネット	フーク設定 ・・・・・・26	4
	7.7.1	コンピュータ名 / ドメイン名	4
	7.7.2	IP アドレス	6
7.8	システ	ム設定•••••• 26	8
	7.8.1	日時設定	8
	7.8.2	ログ27	0
7.9	お知ら	セメール設定 •••••• 27	2
	7.9.1	基本設定	2
	7.9.2	通知項目の設定	4
7.10	電源••		6

Chapter 8 各0Sから共有フォルダへのアクセス 277

8.1	Windows 10 (SMB共有) 278
8.2	Windows 8.1/7 (SMB共有) 279
8.3	Windows (Storage) Server2012/R2 (SMB共有) + 280
8.4	Windows (Storage) Server2008/R2 (SMB共有) + 281
8.5	MacOS X (SMB共有)282
8.6	Linux (NFS共有)283

補足 A カスタマーサポート 284

A.1	困ったときには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・285
A.2	製品の保証について286
A.3	サポートサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

補足C	RAID の基本	290





▶ 万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセント から抜いて販売店にご相談ください。

異物を入れないでください。 通気孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。そのまま 使用すると感電や火災の原因になります。

※万一、異物が入った場合は、ただちに電源を切り、販売店にご相談ください。

分解しないでください。

本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでく ださい。感電や火災、やけどの原因になります。また、自分で改造・分解を行っ た機器に関しましては、弊社では一切の保証をいたしかねます。 ※特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触れると危険です。

表示された電源で使用してください。

電源コードは必ず AC100V のコンセントに接続してください。



電源コードを大切に。

電源コードは必ず本製品付属のものを使用し、以下の点に注意してください。取 扱いを誤ると、感電や火災の原因になります。 「物を載せない」「引っ張らない」「押し付けない」「折り曲げない」「加工しない」「束 ねない」 「熱器具のそばで使用しない」

電源コンセントの扱いは慎重に。

電源コンセントはアース付き3ピンコンセントをご使用ください。その他のコン セントを使用すると感電や火災の原因になります。

コンセントの接地極は、感電防止のために、アース線を専門の電気技術者が施 エしたアース端子に接続してください。接続しないと電源の故障時などに感電す るおそれがあります。

コンセントは、活性導線(L:Line)、接地導線(N:Neutral)、接地(G:Ground) から成ります。ご使用前に、接地導線と接地が同電位であることをご確認ください。



・電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。無理に電源コードを引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。

休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから 抜いてください。使用していないときにも通電しているため、万一、部品破損時 には火災の原因になります。

電源プラグをコンセント抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れ た手で行うと感電の原因になります。

電源プラグの接触不良やトラッキング。
 電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。
 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。
 電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。
 付着している場合は、乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。
 グラグラしないコンセントをご使用ください。

ケースカバーは取り外さないでください。
思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。

装置の上に物を置かないでください。

本製品の上に重いものや、水の入った容器類、または虫ピン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。故障や感電、火災の原因になります。



揮発性液体の近くの使用は避けてください。

マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性液体は、装置の近くで使わない でください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。



日本国以外では使用しないでください。

この装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより、国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており、この装置は適合していません。





電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も 延長したテーブルタップの使用は、火災の原因となります。



電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、 過熱による火災の原因となります。



通気孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。また、 通気孔には埃が付着しないよう、定期的に点検し、清掃してください。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてくだ さい。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が厳しいと内部結露 によって誤動作する場合があります。

)本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい 場所での使用・保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与えることがあります。また、 近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作 する場合があります。必ず離してご使用ください。



浴室、洗面台、台所の流し台、洗濯機など水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



装置の梱包用ポリ袋はお子様の手の届くところに置かないでください。かぶった りすると窒息するおそれがあります。



コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりし ないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不 良などにより故障の原因になります。



ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。足をひっかけるとケ ガや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれ があります。

ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。



地震対策について

地震などによる振動で装置の移動、転倒あるいは窓からの飛び出しが発生し、 重大な事故へと発展するおそれがあります。これを防ぐため、地震・振動対策を 保守会社や専門業者にご相談いただき、実施してください。

ディスク障害が発生した場合は…

本製品内蔵の HDD ユニットに障害が発生すると、内部のブザーから警報音がな り、LCD やステータスランプにディスク障害情報が表示されます。このような状 態になった場合は、直ちに障害が発生した HDD ユニットを別売の HDD ユニット と交換してください。HDD ユニットの交換方法につきましては、HDD ユニットの マニュアルを参照ください。

よりよくお使いいただくために



本製品とシステム装置やハブ等のネットワーク装置を接続する際には、 指定および制限事項を確認の上、ご使用ください。指定および制限 事項を考慮しなかった場合、ネットワーク環境全体の伝送能力に問題 が生じるおそれがあります。

【廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意】

- ■ご利用の弊社製品を廃棄・譲渡等される際には、以下の事項にご注意ください。
- パソコンおよび周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、HDD ユニットに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

● HDD ユニットに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデー タが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはず のデータが再生されることがあります。

HDD ユニットのデータが第三者に流出することがないよう全データの消去の対策をお 願いいたします。また、HDD ユニット上のソフトウェアを消去することなくパソコンお よび周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合が ありますので、ご注意ください。

【ハードディスクを廃棄する場合】

ご使用のハードディスクを廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で 廃棄してください。

データ消去サービスのご案内

弊社では、HDD ユニット上のデータを強磁気破壊方式(※)により完全に消去するサー ビスを有償にて行っております。重要なデータの保存に利用した HDD ユニットを廃棄す る場合などにご利用ください。

※磁気記録装置に強磁界を印加し、物理破壊を伴わずに磁気データを破壊します。

磁気ヘッドを制御するためのサーボ情報や駆動用のマグネットの磁気も消去しますの で、HDD ユニットを再利用することはできません。

データ消去サービスの詳細については、弊社ホームページ(http://www.logitec.co.jp/ data_recovery)でご紹介しておりますので、ご参照ください。また、お問合せは、下記 窓口までお願いいたします。(技術的なお問合せは、弊社サポートダイヤルにお願いいた します。)

■データ消去のご相談窓口

ロジテック INA ソリューションズ株式会社 データ復旧技術センター データ消去サービス係 TEL:0800-888-6409 受付時間:9:00~12:00/13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く)

安全にお使いいただくために

本製品を安全にご利用いただくために、以下の事項を尊守いただきますようお願いいた します。

■本製品について

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備 や機器(医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等)への組み込み等は考 慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財 産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

万一、本製品内のデータが消失した場合、データの復旧につきましては、弊社ではい かなる保証もいたしかねます。

■ データのバックアップ(複製)

本製品には RAID 機能が搭載されておりますが、これはハードディスクの冗長性を高め るものであり、データの保証をするものではありません。本製品を安全にご利用いた だくためには、データのバックアップ(複製)を欠かさず行っていただきますよう、お 願いいたします。

■ ソフトウェアについて

NAS セキュリティ修正パッチを Windows Update にて更新することができます。ただし、本製品の出荷時設定では WindowsUpdate は「自動ダウンロード」「自動アップデート」は行いません。ご了承ください。

■ UPS への接続

本製品を UPS (無停電電源ユニット) に接続することにより、予期せぬ停電による障 害より回避できる可能性が高くなります。是非、UPS の導入・接続をお薦めいたします。 (UPS の運用には UPS 管理ソフトウェアが別途必須です。)

使用環境について

本製品は以下の環境でご使用ください。OS はいずれも日本語のものに限ります。また、 使用するクライアントパソコンは LAN 環境に接続されている事が必要です。

■クライアント環境

セットアップ、管理操作が可能な OS

- Windows 7 (32/64bit) SP1 以降、
- Windows 8.1 (32/64bit)、
- Windows 10 (32/64bit)、
- Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2、2016
- Mac OS X 10.12、10.11、10.10、10.9

本製品をご利用の場合、クライアントパソコンのブラウザー画面サイズは、1280 × 768 ピクセル以上でご利用ください。

Chapter 1

はじめに



Windows Storage Server 2016は、マイクロソフト社が提供するネットワーク接続スト レージ (NAS) 専用のOSです。

Windows Storage Server 2016は、高い信頼性で定評のあるWindows Server 2016を ベースとし、ファイルサーバーに特化した機能の追加とパフォーマンスの最適化がおこ なわれています。

Windows Storage Server 2016では、クライアントがWindows Storage Server 2016の 共有リソースにアクセスするためのライセンス(クライアントアクセスライセンス:CAL) を用意する必要がありません。(但し、モデルによってはユーザ登録数が制限されていま す)

そのため、企業では、導入コストを大幅に削減することができます。

Windows Storage Server 2016は、ファイルサーバー専用機であるため、あらかじめ、 ファイルサーバーに特化したセットアップがおこなわれています。これにより、ネットワー クに接続するだけで、すぐに使用を開始することができます。

本製品のIPアドレス、コンピュータ名、ワークグループ名、管理者のパスワードなどの既 定値は以下の通りです。

IPアドレス :DHCPサーバより取得
 ワークグループ名 :Workgroup
 管理者パスワード :admin
 管理者ユーザ名 :admin

リモートデスクトップと管理コンソールを使用してネットワーク経由で容易に管理することができます。

さらにWindows Storage Server 2016はWindows Server 2016をベースとしているため、Windows Serverの知識がある管理者は、Windows Storage Server 2016の操作を 学習することなく使用できます。

1.2 特長

●マルチプラットフォーム対応

Windows Storage Server 2016はマルチプラットフォームに対応しており、SMB (Server Message Block)、NFS (Network File System)をサポートしています。

そのため、Windowsクライアントだけでなく、UNIX/LinuxクライアントやMacOS Xクライ アントからも、Windows Storage Server 2016の共有リソースにアクセスすることができ ます。

また、これらの異機種のクライアントとWindowsクライアント間でデータの交換も可能です。

●Windows ネットワークとの親和性

Windows Storage Server 2016は、ベースがWindows Server 2016であるため、そのまま、高度なWindowsネットワークを活用することができます。例えば、Windows Storage Server 2016は、Active Directoryドメインに参加することで、アカウント管理を容易にすることができます。また、ウイルス対策やバックアップソフトウェアなどのサードパーティ製アプリケーションをインストールすることも可能です。

(本製品で動作確認済みのアプリケーションの情報は弊社WEBで公開しています。)

●SMB3.1 対応

Windows Storage Server 2016に搭載されたファイル転送プロトコルSMBは最新の 3.1に対応しています。これにより、ファイル転送の際のセキュリティ対策が見直されて ます。クライアントがSMB3.0以降に対応したOSであればSMB3.0でサポートされた高 速通信が可能です。

※ SMB3.1より前のプロトコルを搭載したOSとの通信も可能ですが、接続したOSに搭載 されたSMBバージョンに合わせた通信になります。

●ファイルサーバー、プリントサーバー

Windows Storage Server 2016の使用用途は、ファイルサーバーだけではありません。Windows Storage Server 2016には、次の展開シナリオがあります。

- ・ ファイルサーバー
- プリントサーバー

組織の規模に関わらず、Windows Storage Server 2016を専用のファイル サーバー およびプリント サーバーとして展開することができます。Windows Storage Server 2016は高度な共有リソースサービスを実装するWindows Server 2016がベースであ るため、シャドウコピーやオフラインファイル、クォータ、ファイルスクリーンなどの大 容量のデータを効率的に管理するための機能が使用できます。また、Windows Storage Server 2016は、ファイルサーバーに特化したOSであり、ファイルサービスと 無関係なサービスの実行を省いているため、安定したサービスとデータの提供が可能 となっています。また、充実したリモート管理機能とブランチオフィス機能により、管理 者のいない支社や支店への導入にも最適です。



Windows Storage Server2016 Workgroup Edition 搭載モデルで運用可能なユーザーアカウント は 50 アカウントまでです(ローカルユーザー / ドメインユーザー合計)。1 つのユーザーアカウ ントを利用できるのは 1 人のユーザーのみです。

Windows Storage Server2016 Standard Edition 搭載モデルではユーザー登録数に制限はありません。

●バックアップ、復元、レプリケーション

運用サーバーの可用性を向上するために、Active Directoryを導入します。この環境 では、運用サーバーからWindows Storage Server 2016へディスクベースの複製を おこないます。

これにより、運用サーバーで障害が発生した場合に、Windows Storage Server 2016 が引き継ぎ、処理を継続します。さらに企業WANを介して、Windows Storage Server 2016間でデータの複製をおこなえば、メンテナンスによる停電などで支店サイト全体 が使用できない場合でも、別の支店サイトで処理を継続することができます。

●データの重複除去

Windows Storage Server 2016では、最大64TBのボリュームサイズのデータ重複除 去をサポートし、最大1TBの個別ファイルサイズをサポートします。

●ストレージ管理ツール

通常、NASには、モニタやキーボード、マウスが接続されていないため、Windows Storage Server 2016の管理も、次のリモート管理を使用しておこないます。

- ・ NAS Host Explorer(ネットワーク上からの NAS の検出)
- ・ リモートデスクトップ
- ・ サーバーマネージャー(リモートデスクトップ上で操作)
- ・ NAS ツール (リモートデスクトップ上で操作)

【接続イメージ図】



MEMO 本製品に直接、ディスプレイ、キーボードおよびマウスを接続して、ローカル管理をおこなうこと もできますが、ディスプレイ、キーボード、マウスを使用して本製品を操作するのは管理・設定 時のみに限られます。それ以外の用途でディスプレイ、キーボード、マウスを使用して本製品を 使用しないでください。

各ツールの操作方法等は「Chapter 2」(→P18)にてご確認ください。

Chapter 2

基本設定 / 管理機能

2.1 付属ソフトウェアについて

2.1.1 NAS Host Explorer のインストール

NAS Host Explorer を使うと、簡単に本製品の管理画面へのログインやディスク容量の確認を行うことができます。 NAS Host Explorer 利用にあたり、本製品付属 CD-ROM より NAS Host Explorer をインストールしてください。インストール手順は次のとおりです。

1 管理用PCに本製品付属CD-ROMをセットします。

2 起動したランチャーの [NAS Host Explorerインストーラ] アイコンを選択し、 [開く] を クリックします。



「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、[はい] をクリックし、インストールを続けて MEMO ください。

ユーザー アカウント制御 × このアプリがデバイスに変更を加えることを許可します か?
 セットアップランチャー 確認済みの発行元: Logitec INA Solutions Co.,Ltd. ファイルの入手先: CD/DVD ドライブ 詳細を表示
はい いいえ

3 「NAS Host Explorer-InstallShield Wizard」画面で[次へ]をクリックし、インストール 先を選択後、[インストール]をクリックします。

🛃 NAS Host Explorer - InstallSh	nield Wizard X		🕼 NAS Host Explorer - InstallShield Wizard X
1	NAS Host Explorer用のInstallShield ウィザードへようこそ		プログラムをインストールする準備ができました ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。
	InstallShield(R) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ NAS Host Explorer をインストールします。「次へ」をグリックして、統行 してください。		インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。「キャンセル」をク リックすると、ウィザードを終了します。 現在の設定: ヤットアップ タイプ・
3	警告: このブログラムは、著作権法および国際協定によって保護 されています。		センドナシン Sriv. 標準 インストール先フォルダ: C:¥Program Files (x86)¥ELECOM¥LHOSTEXP¥ ユーザ情報: 名前: 会社:
	< 戻る(B) (次へ(N) > キャンセル		InstallShield < 戻る(<u>B</u>) 【インストール(<u>1</u>)】 キャンセル

MEMO NAS Host Explorer のインストール先は、「インストール先のフォルダ」画面にて変更することが 可能です。

4 「NAS Host Explorer」のインストール完了後、[**完了**]をクリックします。



以上で、NAS Host Explorerのインストールが完了です。

2.1.2 NAS Host Explorer について

起動方法

画面左下の [スタートボタン] をクリックし、スタートメニューから「ELECOM」 – 「NAS Host Explorer」 アイコンをクリックします。



画面上に現在ネットワークに接続中の NSB シリーズが表示されます。ネットワークに複数の NSB シリーズが存在する場合は複数表示されますので、設定する本製品を選択します。

🚝 NAS Host Explorer									-	- 0	×
サーバーアブライアンス名 NSB-76S	_ IPアドレス-1 192168.xx.xxx (DHCP)) IPアドレス-2 -	IPアドレス-3 -	RAID情報 正常	<u>残容量</u> C:87% D:99%	グループ WORKGROUP	OS Version WSS2016	<u>MACアドレス-1</u> 00-11-22- AA -BB-CC	<u>MACアドレス-2</u> 11-22-33-88-CC-DD		レス-3
< ナスコール(N) 接続	(C)						マウント(M	0 設定(S)	再検索(R)	開	>

- ※ 機器が表示されない場合は、「再検索」を押してください。それでも表示されない場合は、本製品のケーブルなどの接続状況を確認してください。
- ※ 管理用 PC に複数のネットワークインターフェース (無線 LAN と有線 LAN など)が搭載されている場合、本製品が接続されている以外のネットワークインターフェースを「無効」にしてください。
- ※ 複数の NSB シリーズが画面上に表示された場合は、「サーバーアプライアンス名」や「IP アドレス」 などの情報を照合して選択してください。

画面の説明

「NAS Host Explorer」画面は同じネットワークに接続中のNASを表示する情報ボックスと、ツールボタンからなります。

and NAS Host Explorer										-		×
サーバーアナライアンス名 NSB-765	1977FLZ-1 192168.xxxx (DHCP)	IP7Fレス-2 -	P7FLZ-3 -	RAIDItate 正常	<u>残容量</u> C:87% D:99%	グループ WORKGROUP	OS Version WSS2016	MACアドレス-1 00-11-22-AA-BB-CC	MACアドレス-2 11-22-33-88-CC-DD	_ MAC	7ドレス	-3
r												
ナスコール(N) 接線	B(C)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ツールオ	ドタン		マウント()	4) 設定(S)	再検索(R)		閉じる()	0

●情報ボックス

サーバー アプライアンス名	本製品に命名されたサーバーアプライアンス名(コンピュータ名)が表示されま す。出荷時状態では「NSB-75S」と表示されます。
IP アドレス 1 ~ 3	本製品の LAN ポートに設定された IP アドレスが表示されます。括弧内には DHCP 割当か、固定 IP かを表示します。
RAID 情報	RAID 機能搭載機種に関して、搭載された RAID の状態が表示されます。
残容量	NAS 内の各ドライブの残容量がパーセントで表示されます。
グループ	NAS が所属しているワークグループ名が表示されます。
OS Version	NAS に搭載されている搭載されている OS が確認できます。
MAC アドレス 1 ~ 3	本製品の LAN ポートの LAN I/F の MAC アドレスが表示されます。

●ツールボタン

ナスコール	このボタンをクリックすると選択された本製品がビープ音を3秒程度発します。 NAS本体の液晶表示パネルに「NASコール!」と表示されます(液晶表示パネル搭載モデルのみ)。
接続	このボタンをクリックするとエクスプローラーが起動し、共有フォルダにアクセスできます。
マウント	このボタンをクリックすると、NASの共有フォルダをネットワークドライブとして割 り当てることができます。
設定	このボタンをクリックすると選択した本製品の設定画面にアクセスできます。
再検索	このボタンをクリックするとネットワーク内から NSB シリーズを再度検索します。
閉じる	このアプリケーションを終了します。



NAS Host Explorer を実行している管理用 PC と本製品のセグメントが異なるとき、本製品設定用の仮 IP アドレス設定画面が表示されますので、管理画面の指示に従ってください。

・接続

1 共有フォルダにアクセスしたいNASを選択し、[接続] ボタンをクリックします。

🚑 NAS I	Host Explorer										-	
サーハー NSB-75	- バフラ1 バノス名	IFアドレス-1 192.168.xx.xxx (DHCP)	IFアトレス=2 	」 IF バドレス=8 -	KAID'情報 正常	<u>/</u> 5谷里 C:87% D:99%	」クルーフ WORKGROUP	US Version WSS2016	MAGアドレス=1 00-11-22-AA-BB-CC	MAGアドレス=2 11-22-33-BB-CC-DD	MAG	アドレス-8
<												>
ナスコー	-ル(N) 接続	K(C)						マウント()	0			開じる(X)

2 エクスプローラーが起動し、本製品の共有フォルダを表示します。

💻 🕑 📑 🛛 192.168.xx.xxx		-	o x
77イル ホーム 共有 表示			~ 0
🗧 -> -> -> -> -> -> -> -> 192.	168.ax.xxx >	✓ Ŏ 192.	юв р
★ クイック アクセス ひropbox	Public		
📥 OneDrive			
PC PC			
オットワーク			
1 個の項目			(iii 📰

以上で接続の完了です。

- ・マウント
 - 共有フォルダをネットワークドライブとして割り当てたいNASを選択し、[マウント] ボタンをクリックします。

2	NAS Host Explorer										-	n x
	- ハ <i>ー アフラ</i> 1 アノス名 B- 75S) IFアドレス-1 192.168.00.00x (DHCP)	IFアドレス=2 -	- -	RAID)情報 正常) 55谷重 C:87% D:99%	」フルーフ WORKGROUP	US Version WSS2016	MAGアドレス-1 00-11-22-AA-BB-CC) MAGアドレス-2 11-22-33-BB-CC-DD	MAC)	rrux-8
Γ												
								_	_			
+	スコール(N) 接続	(C)						マウント(M	1) 設定(S)			期じる(2)

2「ネットワークドライブの割り当て」画面で必要事項を設定し、[完了]をクリックします。

					×
\leftarrow	🍕 ネットワーク ド	ライブの割り当て			
	割り当てる不	ットワーク フォルターを選択してください			
	接続するフォルダ	-と使用するドライブ文字を指定してください:			
	ドライブ(D):	Z: ~			
	フォルダー(O):	¥¥192.168.xx.xxx ¥Public	\sim	参照(B)	
		例: ¥¥server¥share			
		✓ サインイン時に再接続する(R)			
		□別の資格情報を使用して接続する(C)			
	E	キュメントと画像の保存に使用できる Web サイトに接続します			
			G	-	be a definition
			L L	売了(F)	キャンセル

ドライブ	一覧から割り当てるドライブ名を選択します。(初期値:Z)
フォルダー	ネットワークドライブに割り当てるフォルダーを設定します。 (初期値:共有フォルダ)
参照	共有フォルダ以外を割り当てる場合にクリックし、フォルダーを選択します。
サインイン時に 再接続する	割り当てるネットワークドライブをログオン後(管理用 PC の再起動後も 含む)も使用する場合、チェックします。(初期値:チェック)
別の資格情報を 使用して接続する	Windows ログインに指定しているユーザー以外で NAS にアクセスする 場合、チェックします。(初期値:チェックなし) チェックした場合、「Windows セキュリティ」画面が表示されますので、 ユーザー名とパスワードを入力し [OK] をクリックします。

以上でマウントの完了です。

・設定

DHCPサーバーがない環境で、NASにIPアドレスが設定されていない場合は、管理画面にアクセスする前にIPアドレスの設定画面が表示されます。IPアドレスの設定方法は以下のとおりです。

1 「IPアドレスの設定ダイアログ」画面で必要事項を設定し、[設定]をクリックします。



空いている IP アドレスを	ネットワーク内を検索し、割り振られていない IP アドレスを自動的
自動的に検出して	に検出します。本製品と同一のネットワーク内の機器が全て機能し
割り当てる	ている状態で選択してください。
IP アドレスを指定する	手動で IP アドレスを設定します。

※サブネットマスクを正しく入力しないと、動作に支障をきたす場合があります。
※エラーメッセージが表示された場合は、もう一度正しいIPアドレスとサブネット
マスク値を入力してください。

管理画面へのログイン方法などについては「2.2 管理画面の表示方法」(→P25) をご参照ください。

2.2 管理画面の表示方法

本製品の管理画面へのアクセス方法は以下のとおりです。

1 管理用PCから操作します。スタートメニューの[NAS Host Explorer]をクリックします。

2 本製品のアプライアンス名をクリックし、[設定]をクリックします。

🚝 NAS Host Explorer										- 0	×
サーハーアフラ4アノス海 NSB-755) IPアドレス-1 192.168.xxxxx (DHCP)	IFアドレス=2 -	」 IPアドレス=3 -	RAID'i音報 正常	/ 95谷重 C:87% D:99%	」クルーフ WORKGROUP	US Version WSS2016	MAGアドレス-1 00-11-22-AA-BB-CC) MAGアドレス-2 11-22-33-BB-CC-DD	_ MAG /	rux-8
<											>
ナスコール(N) 接続	\$(C)						マウント(M) 設定(S)	再検索(R)	閉	1:3(X)

- ※ 機器が表示されない場合は、NAS 機器のケーブルなどの接続状況を確認し、「再検索」を押してください。また、複数の LAN ポートがある PC の場合(無線 LAN +有線 LAN など)、NAS が接続されているネットワーク以外の LAN ポートを無効にしてください。
- ※ 複数の機器が画面上に表示された場合は、「サーバーアプライアンス名」や「IP アドレス」などの情報を照合して選択してください。

MEMO Windows Storage Server 2016 では、一度に 2 人のユーザからしか管理画面にアクセスできません。3 人以上でアクセスした場合、最後のユーザーが管理画面へログインし、先にログインしていたユーザーは切断されます。

3 通常の管理画面にアクセスする場合は[**リモートデスクトップで接続**]をクリックしてください。





】ブラウザ経由による簡易管理画面にアクセスするには[WebUIで接続]をクリックしてください。 WebUI管理画面についてはChapter 7「ブラウザ経由での管理(WebUI)」(→P.242)をご参照 ください。





MEMO 出荷時設定では、ユーザー名 [admin]、パスワード [admin] になっています (パスワードは大文字・ 小文字を判別します。)。



| 起動したリモートデスクトップより本製品の管理画面が起動します。

C から C から	×
NASサール Ver 6.00 PC	
● PADE/L/二 ● 株式をとなりのシングンの実装室 ● 北京シントル ● 北京シントル	
Q 2±827554 → Yirkowa Seree 10279:7 Yirkowa Seree 10279:7 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	
MAG925-952>+	
	_

「NASツール」画面が自動起動します。

NASツールのVer.はお買い求めの時期により表示が異なる場合があります。 最新版のNASツールは下記のページよりダウンロードいただくことが可能です。

https://www.elecom.co.jp/r/178

2.3 ストレージ管理ツールについて

本製品には管理用のツールとしてリモートデスクトップ上から「サーバーマネージャー」 と、「NASツール」を利用することができます。「サーバーマネージャー」は、Windows Storage Server 2016標準のサーバ機能管理用コンソールです。「NASツール」は本製品 の拡張管理機能になります。

2.3.1 サーバーマネージャー

サーバーマネージャーは製品出荷時の状態で、以下の項目が管理できます。

- IIS
- ・ ファイルサービスと記憶域サービス
- ・ 印刷サービス
- 役割と機能の追加
- ローカルサーバー(イベントビューアー、パフォーマンス)



[スタートメニュー]にある[サーバーマネージャー]をクリックします。

2 「サーバーマネージャー」画面が表示されます。



2.3.2 NAS ツール

NAS ツールでは、以下の項目が管理できます。 Verによって内容が異なる場合があります。

- お知らせメール
- 電源設定
- ステータスパネル
- ・ RAID ビルダー
- ・ナスコール
- フォルダアナライザ
- Windows Server バックアップ
- ・ データフォルダバックアップツール
- NetStor Backup for Windows
- その他設定
- ローカルユーザとグループ(ローカル)





「NASツール」画面が表示されます。







NAS のネットワークの設定は、ネットワーク経由ではなく、USB マウス・キーボード・モニタを 接続し、直接操作で行う事を推奨します。

1 本製品の(リモート)デスクトップ上の[**ネットワーク**]を右クリックして、[プロパティ]を クリックします。



- 2 「ネットワークと共有センター」画面が表示されますので、「アクティブなネットワークの表 示」より、[イーサネット]をクリックします。
 - 2 つの LAN ポートが両方ともネットワークに接続されている場合は、2 つのイーサネット が表示されます。この場合、実際の接続ポートと画面上では次のような関係性になります。 LAN ポート1 = イーサネット1
 - LAN ポート 2 = イーサネット 2
 - ※ 実際の LAN ポートと本画面上のネットワーク表記は必ずしも一致しません。これは Windows OS の仕様であり、異常ではありません。

 ◆ → ◆ ↑ 墜, コントロール パネル > オットワークと大学者センター ◆ ○ ¹ コントロール パネル > オットワーク/情報の表示と接続のセットアップ Zントロール パネル → 本水ワーク/情報の表示と接続のセットアップ Zントロール パネル → 本水ワーク/情報の表示と接続のセットアップ Zクグラーの設定の変更 * オットワーク 2 パブリック ネットワーク 2 パブリック ネットワーク Ř労中・・・ Zクリークークの設定の変更 * オットワーク 2 パブリック ネットワーク アクセスの優勝 ・ マクラット アクセスの優勝 ・ マクラット アクセスの優勝 ・ マクラット アクロール パネルの機構 アクライ プロ・レ パネルの使用 アクライ プロ・レ パネルのやの アク・フ アクライ プロ・レ パネル トワークの使用 アン・フ アクライ プロ・レ パネル トワークの アクライ プロ・レ パネル トワークの アン・ アクライ プロ・レ パネル アン・ アン・ アン・ アン <th>💆 ネットワークと共有センター</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>-</th> <th>×</th>	💆 ネットワークと共有センター				-	×
コントロール パネルホーム 基本ネットワーク情報の表示と接続のセットアップ アグブゥーの設定の変更 オットワーク 2 パブリック オットワーク 2 パブリック オットワーク 酸別中 アクセスの優野 イッペーネット アクセスなし、 提税: 酸別中 アクセスの優野 オットワーク アクセスなし、 提税: 酸別中 アクセスの優野 オットワーク アクセスなし、 また: マントワーク設定の変更 アクセスの優野 オットワーク アクセスなし、 また: マントワーク設定の変更 アクセスの優野 オットワーク アクセスなし、 また: マントワーク認定の変更 アクセスの優野 オットワーク アクセスなし、 アク・アンプレます。 マントワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。 関連項目 Windows ファイアクオール (パントゥ オ・レマン) マントワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。	- אעכ א 💆 א ארע-	-ルパネル > ネットワークとインターネット > ネットワ	ワークと共有センター	~ Ō	コントロール パネルの検索	,c
アグブクーの設定の変更 アクライブなキットワークの表示 米ャトワーク 2 パブリック キットワーク 第301中 アクセスの種類: キットワーク アクセスなし 接続: 単 イーザネット 第301中 アクセスの種類: キットワーク アクセスなし 接続: 単 イーザネット 2 キットワーク設定の変更 アリレージをつたます。 *マートワーク設定の変更 *シートワークのセットアップ *ロートパンド、ダイヤルアップ、または VPN 接続をセットアップします。あるいは、ルーターまたはアクセス ポイントをセ ットアプレます。 「回 開題のトラブルシューティング キットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。	コントロール パネル ホーム	基本ネットワーク情報の表示と接続				
共有の詳細設定の変更 オットワ-ク 2 パブリック ネットワーク アクセスの種類・ペック-スット アクヤフなし 接続・ 第30中… アクセスの種類・ネットワーク アクセスなし 接続・ マクセスの オットワーク設定の変更 アクセスの種類・シュートアクアクセスなし 接続・ マイ・サネット オットワーク設定の変更 アクセスの種類・シュートアクレスなし 接続・ マイ・サネット アクレスの種類・シュートアクリンスもの アクセスの マーナスット アクセスの種類・シュートアクリンスもの マーナスット アクセスの種類・シュート アクセスの種類・シューティングに関する情報を入手します。 Windows ファイアウオール インタークークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。	アダプターの設定の変更	アクティブなネットワークの表示				
IBZIP+ アクセスの種類: ネットワークアクセスなし 接続: 및 イーサネット 2 ネットワーク設定の変更 ● ジ 新しい接続またはネットワークのセットアップ プロードバンド、ダイヤルアップ、または VPN 接続をセットアップします。あるいは、ルーターまたはアクセスポイントをセ ットアップします。 IM型のトラブルシューティング 和ットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。 関連項目 Windows ファイアウオール インターサイズン・	共有の詳細設定の変更	ネットワーク 2 パブリック ネットワーク	アクセスの種類・ インターネットアクセスなし. 接続: 単 イーサネット			
 ネットワーク設定の変更 デージング デージング プロードパンパ、ダイヤルアップ、または VPN 接続をセットアップします。あるいは、ルーターまたはアクセスポイントをセットアップします。 ットアップします。 開墾のトラブルシューティング マットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。 		識別中	アクセスの種類: ネットワーク アクセスなし 接続: 📮 イーサネット 2			
 新しい獲得またはネットワークのセットアップ プロードパンド、ダイヤルアップ、または VPN 接続をセットアップします。あるいは、ルーターまたはアクセス ボイントをセットアップします。 ットアップします。 開題のトラブルシューティング ネットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。 関連項目 Windows ファイアウォール インター シャレ オブション 		ネットワーク設定の変更				
■ 問題のトラブルシューティング ネットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。 ■ 関連項目 Windows ファイアウォール インター シャレナゴン・マン		新しい接続またはネットワークのセ ブロードバンド、ダイヤルアップ、また ットアップします。	ットアップ とは VPN 接続をセットアップします。 あるいは、 ルーターまたはアクセス ポイントをセ			
ネットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。 関連項目 Windows ファイアウォール インターショント オブン・フィ		💽 問題のトラブルシューティング				
観連項目 Windows ファイアウォール インターション オブッマン		ネットワークの問題を診断して修得	复します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。			
関連項目 Windows ファイアウォール インターマット オブンマン						
関連項目 Windows ファイアウォール イソターネットナイズ・フン						
	関連項目					
	Windows ファイアウォール					

3 「イーサネットの状態」画面が表示されますので、[プロパティ]をクリックします。

🏺 イーサネットの状態		×
全般		
接続		
IPv4 接続:	ネットワーク アクセスな	ι
IPv6 接続:	インターネット アクセスな	ι
メディアの状態:	有刻	边
期間:	6日01:15:1	4
速度:	1.0 Gbp	os
詳細(<u>E</u>)		
動作状況		
	ita — 👽 — 👳	
/ ጎተ፦	57,761,209 231,537,48	2
♥フืםパティ(₽)	▶無効にする(D) 診断(G)	
	閉じる	5(<u>C</u>)

4 「イーサネットのプロパティ」画面で[インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)]を 選択し[プロパティ]をクリックします。

4-มีส่งคราย มีสาย ม ม มีสาย มี มี มี มีสาย มี มีสาย มีสาย มีสาย มีสาย มี มีสาย มีสาย มีสาย มีสาย มีสาย มีสาย มีสาย มีสาย มีสาย มีสาย มีสาย ม	×					
ネットワーク 共有						
 接続の方法:						
🚽 Realtek PCIe GBE Family Controller						
構成(<u>C</u>) この接続は次の項目を使用します(<u>O</u>):	j					
 ☑ 12 Microsoft ネットワーク用クライアント ☑ 12 Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンター共有 ☑ 12 QoS パケット スケジューラ 						
✓ ▲ インターネット ブロトコル パージョン 4 (TCP/IPv4)						
Microsoft Network Adapter Multiplexor Protocol						
 ✓ ▲ インターネット プロトコル パージョン 6 (TCP/IPv6) 						
<pre></pre>						
インストール(N) 削除(U) プロパティ(R)]					
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコ ルです。						
OK キャンセル	,					

5 各項目を環境に合わせて設定し、[OK]をクリックします。

インターネット プロトコル パージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ				
全般				
ネットワークでこの機能がサポートされている場合 きます。サポートされていない場合は、ネットワー ください。	はは、IP 設定を自動的に取得すること。 ク管理者に適切な IP 設定を問い合れ	がで つせて		
○ IP アドレスを自動的に取得する(<u>O</u>)				
 次の IP アドレスを使う(S): 				
IP アドレス(<u>I</u>):				
サブネット マスク(<u>U</u>):				
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):	· · ·			
○ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得す	する(<u>B</u>)			
● 次の DNS サーバーのアドレスを使う(<u>E</u>):				
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):				
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):				
□ 終了時に設定を検証する(上)	詳細設定(⊻)			
	OK ++>>	セル		



ネットワーク経由で設定を変更する場合、変更する項目によっては変更した時点で管理画面との 接続が解除されてしまいます。引き続き変更する場合は変更した IP アドレスで管理画面にアク 注意 セスしなおしてください。

以上でネットワークの設定が完了です。





- NAS のコンピュータ名の設定は、ネットワーク経由ではなく、コンソールから行う事を推奨します。
 コンピュータ名の変更は NAS の再起動が必要です。
- 1 本製品の(リモート)デスクトップ上の[PC]を右クリックして、[プロパティ]をクリックし ます。



2 「システム」画面が表示されますので、「コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの 設定」の[設定の変更]をクリックします。

🖳 システム				- 0	×
\leftarrow \rightarrow \checkmark \bigstar \blacksquare \checkmark \Box	-ル パネル » システムとセキュリティ	システム	ٽ ~	コントロール パネルの検索	Q
コントロール パネル ホーム	コンピューターの基本的	な情報の表示			?
🌍 デバイス マネージャー	Windows のエディション				
💔 リモートの設定	Windows Storage Serv	er 2016 Standard			
🎈 システムの詳細設定	© 2016 Microsoft Corp	poration. All rights reserved.	📕 Wind	lows Storage Server [®] 201	16
	システム				
	プロセッサ:	VIA QuadCore C4650@2.0GHz 2.00 GHz			
	実装メモリ (RAM):	4.00 GB (3.72 GB 使用可能)			
	システムの種類:	64 ビット オペレーティング システム、×64 ベース プロセッサ			
	ペンとタッチ:	このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません			
	コンピューター名、 <mark>ド</mark> メインおよび	「ワークグループの設定			
	コンピューター名:	NSB-75S		●設定の変更	
	フル コンピューター名:	NSB-75S			
	コンピューターの説明:				
	ワークグループ:	WORKGROUP			
	Windows ライセンス認証 — Windows はライセンス認	2証されています。 マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を読む			

3 「システムのプロパティ」画面が表示されますので、「コンピューター名」タブを選択し、「変 更] ボタンをクリックします。

システムのプロパティ		×
コンピューター名 ハードウェア 🏥	詳細設定 リモート	
、 次の情報は、この	コンピューターをネットワーク上で識別するために使われます。	
コンピューターの説明(<u>D</u>):		
	例: "IIS Production Server" または "Accounting Server"	
フル コンピューター名:	NSB-75S	
ワークグループ:	WORKGROUP	
コンピューター名を変更したりド には [変更] をクリックしてくださ	メインやワークグループを変更したりする い。]
L	OK キャンセル 適用(A)	

4 「コンピューター名/ドメイン名の変更」画面が表示されます。

コンピューター名/ドメイン名の変更		×
このコンピューターの名前とメンバーシ ワーク リソースへのアクセスに影響す	ップを変更できます る場合があります。	。変更により、ネット
コンピューター名(<u>C</u>):		
NSB-75S		
フル コンピューター名:		
NSB-75S		
		詳細(<u>M</u>)
所属するグループ 〇 ドメイン(<u>D</u>):		
● ワークグループ(<u>W</u>):		
WORKGROUP		
	OK	キャンセル

●コンピューター名の変更の場合

●「コンピューター名」欄に本製品のコンピューター名を入力して[OK]をクリックします。

●ワークグループ名の変更・参加の場合

①「所属するグループ」の[**ワークグループ**]ラジオボタンを選択します。

2 「ワークグループ」欄にワークグループ名を入力して[OK]をクリックします。

●ドメインへの参加の場合

- **①「所属するグループ」**の[ドメイン] ラジオボタンを選択します。
- 2 「ドメイン」欄に参加するドメイン名を入力して[OK]をクリックします。
- ③ドメイン参加に必要な(ドメイン参加の権限を持つ)ユーザー名とパスワードの入力を要求されますので、正しく入力して[OK]をクリックします。 ドメイン情報の詳細はネットワーク管理者へご確認ください。

5 変更後、再起動が要求される場合はNASを再起動します。

以上でコンピューター名変更、ドメイン/ワークグループ参加設定が完了です。





「シャットダウンの理由」を選択し[続行]をクリックし、シャットダウン処理を開始します。 3

この P んでく;	C をシャ ださい	ットダウン	/する理由	自に一番	近い項目を選
रि 0	他 (計画	൭外) ∨			
					続行
Φ					
	Q	()	e		

「シャットダウンの理由」は以下の項目からの選択になります。選択した内容がイベントロ グへ記録されます。

- その他(計画外)
- ハードウェア:メンテナンス(計画外)
 ・ハードウェア:メンテナンス(計画済)
- その他(計画済)
- ハードウェア:インストール(計画外)
 ・ハードウェア:インストール(計画済) ・オペレーティングシステム:回復(計画外) ・オペレーティングシステム:回復(計画済) ・オペレーティングシステム:再構成(計画外) ・オペレーティングシステム:再構成(計画済) ・アプリケーション:メンテナンス(計画外)
 ・アプリケーション:メンテナンス(計画済) ・アプリケーション:インストール(計画済) ・アプリケーション:応答なし ・アプリケーション:不安定 ・セキュリティの問題(計画外)
- ・セキュリティの問題(計画済)
- ・ネットワーク接続の損失(計画外)

以上で電源OFF(シャットダウン)方法は完了です。

Windows アップデートの適用など電源が切れるまで時間がかかる場合があります。電源が切れる **MEMO** までコンセントを抜いたりしないでください。 強制的に電源を切った場合、次回起動時に不正なシャットダウンが記録されリビルド(修復)が

開始されます。



本製品はデフォルトで「admin」と管理者パスワードが設定されていますが、セキュリティ 上変更することをお勧めします。 ただし、変更したパスワードは紛失することの無いように厳重に管理してください。パス ワードを紛失すると、本製品の設定の変更などができなくなります。(管理者パスワード を紛失すると、システムリカバリーが必要となります。)

- 本製品のリモートデスクトップ上で「ctrl」+「alt」+「end」キーを同時に押します。
 ※リモートデスクトップ管理画面ではなく、直接本製品にキーボード、マウス、モニタを 接続して設定している場合は「ctrl」+「alt」+「del」キーを同時に押します。
- 2 次の画面が表示されますので、「パスワードの変更」をクリックします。

ロック	
サインアウト	
パスワードの変更	
タスク マネージャー	
キャンセル	
	J 🕁

MEMO 管理者情報の変更画面やログオン画面で一つ前の操作に戻りたいときは [キャンセル] をクリックしてください。





4 パスワードが変更された旨を案内する画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリック します。



以上で管理者パスワードの変更は完了です。

Chapter 3

ディスク・ボリュームの管理

3.1 RAID 構成の変更

本製品は、ソフトウェアRAIDを採用しています。RAIDボリュームの管理はNASツール内の「RAIDビルダー」から行います。

「RAIDビルダー」は、RAIDボリュームの作成を行い、Dドライブへ全員がアクセス可能 な共有フォルダ「Public」を作成します。

・ RAID ビルダーを使用しない RAID の管理はサポート外です。

- MEMO ・ RAID パターンの変更、ハードディスク交換後の修復時は USB 機器の取り外しが必要です。
 - ・ RAID パターンを変更する場合、事前に USB 機器を取り外しておく必要があります。
 - オートリビルドには対応していません。



RAID 機能は、冗長性を目的としたものでありバックアップではありません。 データ消失の可能性に備えて、定期的に保存データの複製(バックアップ)を別の NAS や外 付けのハードディスク等へ作成してください。

本製品で選択できるRAIDのパターンは以下の通りです。









2

「RAIDビルダー」画面が表示されますので、[ボリューム作成]をクリックします。

	HDD4	HDD3	HDD2	HDD1	タイプ	ドライブ	テータス
修復	•	٠	:	:	ミラー RAID 5	C: D:	正常 正常
ポリューム作成	1						
ディスクの管理を起動							

3 「警告!!」画面が表示されますので、[確認した上で続ける] にチェックし、[続ける] を クリックします。

	\times
·····································	
ボリュームの作成前にC:ドライブ以外の全てのボリュームを削除します。	
よろしいですか?	
◯確認した上で続ける 続ける キャンセル	

4

「RAIDボリューム作成」画面が表示されますので、目的に応じたパターンを選択し、 [RAIDボリュームを作成する]をクリックします。

※ [RAIDボリュームを作成する]を実行した後、10分~20分程度応答がなくなる事があり ますが、これは異常ではありません。



RAID ボリュームの変更 / 作成を行うと、該当のボリュームのデータは消去されます。ボリューム 作成の際はバックアップなどを忘れずに行ってください。データ以外の共有設定やアクセス権の 注意 設定もクリアになります。

RAIDボリューム作成		×
RAID動作モード	パターン1	
● <u>//☆</u> -ン1 ○パターン2	HDD1	
○パターン3 ○パターン4		
	HDD3	ナタルロンドマ
	HDD4	本割り当て
	RAIDボリュームを作成する	
		閉じる

5 ステータスが「修復中」になり、全ハードディスクのランプが順番に赤点滅します。完了ま でシャットダウンや再起動を行わないでください。

ュームの状態	1						
テータス)修復中)修復中	ドライブ C: D:	タイプ ミラー RAID 5	HDD1	HDD2	HDD3	HDD4	再 スキャン 修復
							ポリューム作成
1							ディスクの管理を起動
ッセージ ―― §復中							

RAIDEULS-× ポリュームの状態 再スキャン ステータス ドライブ タイプ HDD1 HDD2 HDD3 HDD4 正常 35-C: 修復 D: RAID 5 . . . • ポリューム作成 ディスクの管理を起動 メッセージ 正常 閉じる

6 完了するとステータスが「正常」になり、赤点滅が消えます。



「修復中」にシャットダウンや再起動を行うと、修復作業が最初から始まります。 「修復中」もアクセス可能ですが冗長性はありません。

※ 4 ベイモデルでパターン1・パターン2を選択した場合、修復作業完了までに時間がかかります。 完了するまでは、そのボリュームの冗長性はありません。 修復作業中も、データへのアクセスは可能ですが、通常よりもアクセス速度が低下します。

修復作業完了までに必要な時間は以下の通りです。

モデル	必要時間
24TB モデル	約 84 時間
16TB モデル	約 63 時間
12TB モデル	約 47 時間
8TB モデル	約 30 時間
4TB モデル	約 14 時間

3.2 暗号化と自動ロック / アンロック設定

- ●対象製品 ・ NSB-75SxT
- ・NSB-75SxT4DS6 シリーズ ・NSB-7MSxT2CS6 シリーズ
- ・NSB-755xT4DW6 シリーズ
- ・NSB-7MSxT2CW6 シリーズ

本製品がまるごと盗難にあった場合、あるいは内蔵のハードディスクユニットが持ち出された場合などに、本製品に保存されているデータの漏洩リスクを低減する事を目的とした機能です。

本機能では、本製品のデータ領域をボリューム単位でまるごと暗号化してデータを保護 する事を基本とした上で、暗号化ボリュームのマウントを禁止(ロック)および許可(アン ロック)する事が可能です。



- ル」は利用できません。
- ■本暗号化機能は、起動用システムボリュームには適用できません。
- ■本暗号化機能使用時は VSS を利用するバックアップソフトは利用できません。

3.2.1 ディスク暗号化の概要と運用の流れ

暗号化の概要と運用の流れを図と共に説明します。

初期状態(非暗号化状態)



「NAS暗号化拡張機能」のセットアップを行っただけの状態では、データは暗号化されません。データの暗号化機能をご利用になるためには、論理ドライブにマウントされたボリュームを選択して、暗号化ドライブの設定作業を行う必要があります。

ディスクの暗号化



最初に選択したボリューム(たとえばDドライブ)を暗号化します。オプションにより保存 されたファイルを保持したまま暗号化することも可能です。暗号化の際にパスワードを 登録します。このパスワードが暗号化したボリュームをアンロック(マウント)するための 「**キー(鍵)」**となりますので、厳重に管理してください。

ロック状態



暗号化ボリュームに保存されているデータは、そのままではボリュームがマウントしてい ないためアクセスができません。 この状態を「ロック状態」といいます。

MEMO 暗号化されているため、ハードディスクをデータ復旧ソフト等で解析してもファイルは確認できません。本製品の廃棄や盗難の際にデータが漏えいする可能性を低減させることができます。

暗号化ドライブがロックされた状態でも、「ディスクの管理」やdiskpartコマンドによりボ リュームを削除する事が可能です。パスワードを忘れてしまった場合など、暗号化ドライ ブへアクセスできなくなってしまった場合には、これらの方法でボリュームを削除してく ださい(保存されていたデータは削除されます)。反対に、誤ってアンロック中のボリュー ムを削除しないようご注意ください。 アンロック状態



パスワードを入力する事により、暗号化ボリュームはマウントされてアクセスできるよう になります。この状態を「アンロック状態」といいます。アンロック状態の間は、ユーザーは 暗号化/復号を意識せずにデータへアクセスできます。

ディスクの暗号化解除



暗号化されたボリュームを保存データを保持したまま通常のドライブ(非暗号化ボ リューム)へ戻すことも可能です。

3.2.2 「NAS 暗号化拡張機能」のインストール

- ※ 暗号化機能を利用しない場合はインストールする必要はありません。データ転送 のパフォーマンス等に影響を及ぼします。
- 1 本製品の管理画面にアクセスし、(リモート)デスクトップ上の[NAS暗号化拡張機能]アイ コンをダブルクリックして起動します。



2 「NAS暗号化拡張機能セットアップ - ようこそ」画面が表示されます。よくお読みいただき、 [次へ]をクリックします。

NAS暗号化拡張機能セットアップ - ようこそ	×
「NAS暗号化拡張機能」 セットアップへようこそ。 セットアップを開始する前に、下記の注意事項をよくお読みください。	
■「NAS暗号化拡張機能」をインストールする前に必ずお読みください■	^
「NAS暗号化拡張機能」をインストールする事により、本製品に「暗号化と自動ロック/アンロック設定」の機能が追加されます。 この機能をご利用になる事により、本製品に保存されるデータを暗号化し、盗難などによる情報 漏洩のリスクを低減できます。	
ただし、本機能をご利用になるにあたっていくつかご注意いただきたい点、およびご利用上の制限 事項がございます。 下記ご注意および制限事項をお読みいただき、ご了解いただいた上でご利用くださいますようお 願いいたします。 ※詳細につきましては、付属のソフトウェアマニュアルをご参照ください。	
	¥
< 戻る(<u>B</u>) 次へ(N) > キャンセ	JL

3 「NAS暗号化拡張機能セットアップ - 確認」画面が表示されますので、 [次へ] をクリックし ます。セットアップ作業が開始されます。

NAS暗号化拡張機能セットアップ - 確認	\times
必要な情報はすべて集まりました。	
INAS頃号化拡張機能」の12ストールを開始できます。	
作業を開始する前に、「RAIDビルダー」や「暗号化と自動ロック/アンロック設定」が開かれていない 事をご確認ください。	
準備ができたら「次へ」ボタンをクリックしてください。作業を開始します。	
< 戻る(<u>B</u>) (次へ(<u>N</u>) > キャンセル	

4 セットアップ作業が完了するまで、しばらくお待ちください。

NAS暗号化拡張機能セットアップ - 実行中	×
「NAS暗号化拡張機能」のインストール作業を実行しています。	
しばらくお待ちください・・・	
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	



5 セットアップ作業が完了すると「NAS暗号化拡張機能セットアップ - 完了」画面が表示され ますので、[完了]をクリックします。

NAS暗号化拡張機能セットアップ - 完了	Х
「NAS暗号化拡張機能」のインストール作業が完了しました。	
「完了」ボタンをクリックして、セットアップを終了してください。	
売了 キャンセル	

6 (リモート) デスクトップ上の「NAS暗号化拡張機能」アイコンが削除されていることを 確認します。



以上で「NAS暗号化拡張機能」のインストールは完了です。

3.2.3 「NAS 暗号化拡張機能」のアンインストール

- ※ 本アンインストール作業にはNASの再起動を伴います。NASの再起動が可能な状態 で作業を開始してください。
- ※ アンインストール作業を開始する前に、全てのドライブの暗号化を解除しておいてく ださい。
- 1 本製品の(リモート)デスクトップで[**スタートメニュー**]をクリックし、[設定]をクリックし ます。



2 [設定] 画面が表示されますので、 [システム] をクリックします。

設定	_	×
設定の検索		Q
システム ディスプレイ、通知、アプリ、電源		
デバイス Bluetooth、プリンター、マウス		
ネットワークとインターネット Wi-Fi、機内モード、VPN		
個人用設定 背景、ロック画面、色		
アカウント アカウント、メール、同期、職場、他のユーザー		
() 時刻と言語 音声認識、地域、日付		
. 簡単操作 ナレ−ター、拡大鏡、ハイコントラスト		
プライバシー 位置情報、カメラ		
 更新とセキュリティ Windows Update、回復 		

3	[システム]の中の[アプリと機能]をクリックします。
---	----------------------------

← 設定	_	×
設定の検索		Q
システム		
ディスプレイ		
■ アプリと機能		
ま 既定のアプリ		
□ 通知とアクション		
① 電源とスリープ		
ロ ストレージ		
□ タブレット モード		
ロ マルチタスク		
団 Web サイト用のアプリ		
「 バージョン情報		

4 「アプリと機能」画面で[NAS暗号化拡張機能] – [アンインストール] と順にクリックします。

← 設定 — □ X	← 設定 - □ ×
◎ アプリと機能	◎ アプリと機能
アプリと機能	アプリと機能
オプション機能の管理	オプション機能の管理
検索や並べ替えを行ったり、ドライブでフィルターをかけたりできます。 アプリをア ンインストールまたは移動する場合は、一覧で目的のアプリを選びます。	検索や並べ替えを行ったり、ドライブでフィルターをかけたりできます。アプリをア ンインストールまたは移動する場合は、一覧で目的のアプリを選びます。
このリストを検索	このリストを検索・・・
□ 名前で並べ替え ∨	□ 名前で並べ替え >>
📑 すべてのドライブの内容を表示 🗸	「すべてのドライブの内容を表示 >
AX88179_AX88178A Windows 10_8.x Driver 2.78 MB ASIX Electronics Corporation 2017/03/15	AX88179_AX88178A Windows 10_8.x Driver 2.78 MB ASIX Electronics Corporation 2017/03/15
NAS Tool 80.3 MB ELECOM 2017/04/25	NAS Tool 80.3 MB ELECOM 2017/04/25
NAS暗号化拡張機能 Logitec INA Solutions Co.,Ltd. 2017/08/10	NAS暗号化拡張機能 Logitec INA Solutions Co.,Ltd. 2017/08/10
Realtek Ethernet Controller Driver 3.75 MB Realtek 2017/03/15	変更 アンインストール
S3 Graphics Utilities S3 Graphics Co., Ltd. 2017/08/09	Realtek Ethernet Controller Driver 3.75 MB Realtek 2017/03/15





6 「アンインストール確認」画面で[はい]をクリックします。アンインストール作業が開始されます。



7 アンインストール作業が完了するまで、しばらくお待ちください。

NAS暗号化拡張機能セットアップ - 実行中	×
「NAS暗号化拡張機能」のアンインストール作業を実行しています。	
しばらくお待ちください・・・	
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

8 アンインストール作業が完了すると「NAS暗号化拡張機能セットアップ - 完了」画面が表示されますので、[はい、今すぐ再起動します。] にチェックを入れ[完了]をクリックします。

NAS暗号化拡張機能セットアップ - 完了	×
「NAS暗号化拡張機能」のアンインストール作業が完了しました。	
設定を有効にするために、システムを再起動する必要があります。 今すぐ再起動しますか?	
で はい、今すぐ再起動します。	
○ いいえ、後で再起動します。	
「完了」ボタンをクリックして、セットアップを終了してください。	
完了 キャンセル	

9 再起動後、(リモート)デスクトップ上の「NAS暗号化拡張機能」アイコンが作成されている ことを確認します。



以上で「NAS暗号化拡張機能」のアンインストールは完了です。

3.2.4 暗号化管理ツール

NASツールメニュー内の「暗号化と自動ロック/アンロック設定」をクリックすると「暗号化と自動ロック/アンロック設定」ダイアログが起動します。



※「NAS暗号化拡張機能」のインストールが完了していない場合、NASツールメニューで 「暗号化と自動ロック/アンロック設定」をクリックするとエラーを示すメッセージボック スが表示されます。本機能をご利用になる場合は、必ず事前に「NAS暗号化拡張機 能」のインストールを完了しておいてください。

暗号化と自動ロック / アンロック設定

「NAS暗号化と自動ロック/アンロック設定」画面の情報について説明します。

🧖 NAS 暗号化と自動ロック/アンロック	7設定		\times
オプション (P)			
┌暗号化ドライブ ―――			
ドライブ	暗号化ステータス	ロック認証ファイル	
ローカル ディスク(D)	暗号化されていません	なし	
			IY
暗号化ドライブが存在しません。 「ドライブ暗号化管理」ボタンをクリ	ックして、暗号化ドライブを作成してくた	<i>さ</i> さい。	
ドライブ暗号化管理	7認証ファイルの作成 自動ロ	ロック/アンロック設定 閉じる	1

	項目	説明
0	暗号化ドライブ 情報ボックス	システムドライブを除いた、論理ドライブの一覧を表示します。それぞれ、ボリュー ムラベル(ドライブ名)、暗号化ステータス、ロック認証ファイルの状態について の情報が表示されます。
0	ドライブ暗号化 管理ボタン	ドライブの暗号化 / 暗号化解除を行うために、暗号化管理ダイアログを起動します。
•	ロック認証 ファイルの作成 ボタン	暗号化済みドライブの自動ロック/アンロックのために必要な「ロック認証ファ イル」の作成と登録を行います。「ロック認証ファイル」登録済みのドライブが 選択されている場合は、「ロック認証ファイルの削除」ボタンに名称が変わります。 この場合、このボタンをクリックする事により、自動ロックアンロック用に登録さ れたロック認証ファイルを削除(登録解除)できます。
4	自動ロック/ アンロック設定 ボタン	暗号化済みドライブのロック/アンロック状態を自動的に切り替える設定を行うた めの、「自動ロック/アンロック」設定ダイアログを開きます。「ロック認証ファイル」 が登録された暗号化ドライブが一つ以上存在する場合のみ有効になります。
0	閉じるボタン	設定を終了します。

ロック認証ファイル保存先リスト

「ロック認証ファイル保存先リスト」画面では、ロック認証ファイルの保存先を管理することができます。



「NAS暗号化と自動ロック/アンロック設定」画面左上にある[オプション]ー [ロック認証ファイル保存先の設定]をクリックし、「ロック認証ファイル保存先リス ト」画面を表示します。

🧌 NAS 暗号化と自動ロック/アンロッ	ク設定
オプション (P)	
ロック認証ファイル保存先の設定((S)
ドライブ	暗号化ステ
ローカル ディスク(D)	暗号化されてい

×
新規追加
編集
削除
ОК

項目	説明
ロック認証ファイル 保存先リスト 情報ボックス	ロック認証ファイルの保存先として登録されている設定の一覧が表示されます。 参照先として優先順の高い設定が上から表示されます。アンロックの認証時には 基本的に一番上位に登録されている保存先の認証ファイルにアクセスしますが、 何らかの理由でアクセスできない場合、次の順位の保存先の認証ファイルにアク セスします。
新規追加ボタン	ロック認証ファイルの保存先を新規に追加します。最大で5つまでの保存先を登録可能です。このボタンをクリックすると「ロック認証ファイル保存先の設定」画面が開きます。
編集ボタン	既存の保存先設定情報を編集します。このボタンをクリックすると「ロック認証ファ イル保存先の設定」 画面が開きます。
削除ボタン	情報ボックスから既存の設定を選択してからこのボタンをクリックすると設定情報 が削除されます。
優先順を上げる ボタン	情報ボックスから既存の設定を選択してからこのボタンをクリックすると優先順位 が一つ上に上がります。
優先順を下げる ボタン	情報ボックスから既存の設定を選択してからこのボタンをクリックすると優先順位 が一つ下に下がります。
更新ボタン	保存先リストの現在のステータスを更新します。

ロック認証ファイル保存先の設定

画面の「ロック認証ファイル保存先リスト」画面で[新規追加]または[編集]をクリック 表示し、「ロック認証ファイル保存先の設定」画面を表示します。

ロック認証ファイル保存先の設定		×
ロック認証ファイルの保存先 ・ ローカルに保存する ・ ネットワーク共有フォルダに保存する		
名称:		
フォルダバス:		
ユーザー名: ドメインユーザーを指 「ドメイン名¥ユーザ〜	定する場合は、 -名」の形式で入力してく;	ださい。
パスワード:		
L	ОК	キャンセル

●ロック認証ファイルの保存先

ロック認証ファイルの保存先を選択します。

項目	説明
ローカルに保存する	NAS のローカルフォルダに保存します。
	(C:¥ProgramFiles¥VIA¥VEDS¥ulk)
	※ この場合、NAS 製品がまるごと盗難にあった場合、盗難先でも自動的にアン
	ロック状態へ移行してしまいます。

項目	説明
ネットワーク	NAS から参照可能なネットワーク共有フォルダに保存します。
共有フォルダに	NAS 製品本体が盗難にあった場合ロック認証ファイルは本体に含まれないため、
保存する	自動的にアンロック状態へ移行することはありません。
	保存先としてネットワーク共有フォルダを選択した場合は、「名称」「フォルダパス」
	「ユーザー名」「パスワード」を設定する必要があります。

●ロック認証ファイルの保存先に「ネットワーク共有フォルダに保存する」を選択した場合

項目	説明
名称	設定項目を識別するために、わかりやすい任意の名前を入力してください。
フォルダパス	NAS からアクセス可能な共有フォルダのパスを指定します。 〈例〉¥¥192.168.2.10¥Public¥KeyFile
ユーザー名	共有フォルダにアクセス可能なユーザー名を指定します。 〈例〉 DomainName¥admin
パスワード	共有フォルダにアクセス可能なユーザーのパスワードを指定します。

暗号化管理ダイアログ

暗号化ドライブの作成、暗号化ドライブの解除、暗号化ドライブのロックおよびアンロック、パスワードの変更、キーファイルの作成を行うことができます。

画面の「NAS暗号化と自動ロック/アンロック設定」画面で[ドライブ暗号化管理]をク 表示 リックし、「暗号化管理」画面を表示します。

ŧ	暗号化管理							- 🗆	×
	ポリューム								
	דָרָדָּא c D	ファイルシ NTFS NTFS	タイプ SYS,DYN DYN	暗号化 × ×	לעם	ディスク容量 99.99GB 2.43TB	GUID Volume{2ffe Volume{10%	eb20-3bcd-43	:47-: 1e7-
	<						情報	はボック ス	>
	¢	6	f		7	R	<mark>الا</mark>	・ ルボタン	

●情報ボックス

情報ボックスにはNAS内で現在利用可能なボリュームの一覧と、各ボリュームに関する パラメータが表示されます。

項目	説明
ドライブ	現在 NAS に登録されている論理ドライブ(ドライブレター)をリストアップして います。
ファイルシステム	論理ドライブのフォーマット形式を表示します。未フォーマットや暗号化ドライブ がロック中の場合は表示されません。
タイプ	論理ドライブのタイプを表示します。次の略称で表示されています。 SYS:システムボリューム BT:ブートボリューム DYN:ダイナミックボリューム
暗号化	各論理ドライブが暗号化済みかを表記しています。 ○が暗号化済み、×が非暗号化ドライブとなります。また、暗号化が完了していない (暗号化処理を途中でキャンセルした等)場合には未完了と表示されます。 ※ ただし、該当ドライブの暗号化が未完了の場合でも、ロック状態の場合は常に○ が表示されますのでご注意ください。
ロッ ク	暗号化された論理ドライブがロック状態にあるかを表示します。ロック状態の場合が〇、アンロック状態の場合が×となります。
ディスク容量	選択された論理ドライブの全体容量を表示します。
GUID	選択された論理ドライブの GUID を表示します。

●ツールボタン

暗号化に関する操作をツールボタンで行います。各ボタンの説明は以下をご参照ください。ボタンが該当する操作に対してボリュームが対応していない状態の場合はボタンが グレーアウトします。

	項目	説明
•	暗号化	暗号化ドライブを作成します。暗号化されていないか、暗号化が完了していない ドライブが選択された場合に有効になります。暗号化が完了していない暗号化ド ライブを選択してこのボタンをクリックすると、暗号化を継続する事ができます。
-	暗号化解除	暗号化ドライブの暗号化を解除します。暗号化ドライブか、暗号化が完了してい ないドライブが選択された場合に有効になります。
P	ロッ ク	暗号化ドライブをロックします。アンロック状態の暗号化ドライブを選択している 場合に操作することが可能です。
	アンロック	暗号化ドライブをアンロックします。ロック状態の暗号化ドライブを選択している時 に操作することが可能です。
	キー エクスポート	パスワードをデータ化したファイル「キーファイル」を作成します。 暗号化ドライブ を選択した時に表示されます。
2	パスワード 変更	暗号化ドライブのパスワードを変更します。ロック状態の暗号化ドライブを選択 した場合に有効になります。
	ボリューム 修復	暗号化システムから認識されない暗号化ボリュームを修復するときに利用します。

3.2.5 ディスク暗号化の手順



ディスク暗号化作業は完了までに時間を要します。暗号化作業中に電源障害等で不正シャット ダウンが発生すると暗号化作業中のボリューム全体のデータが破損する危険性があります。UPS (無停電電源ユニット)等で電源対策を行うことを強くお勧めします。

1 「NAS暗号化と自動ロック/アンロック設定」画面で暗号化したいドライブを選択し、[ドラ イブ暗号化管理]をクリックします。

ペ NAS 暗号化と自動ロック/アンロック オプション (P)	7設定	×
「暗号化ドライブ―――		
ドライブ ローカル ディスク (D)	暗号化ステータス 暗号化されていません	ロック認証ファイル <u></u> なし
暗号化ドライブが存在しません。 「ドライブ暗号化管理」ボタンをクリ	ックして、暗号化ドライブを作成してくだる	\$l, 10
ドライブ暗号化管理	7認証ファイルの作成 自動口会	ウノアンロック設定 閉じる

- 2
- 「暗号化管理」画面で暗号化するドライブを選択し、[暗号化]ボタンをクリックします。



3 暗号化の確認画面が表示されますので、[**はい**]をクリックします。

暗号化管理 ×

[D:] ドライブを暗号化しますか?

はい(Y)

いいえ(N)

4 選択したドライブのデータを保持したまま暗号化を行うかの「暗号化 - 既存データの保持」 画面が表示されます。

暗号化 - 既存データの保持	×
現在保存されているデータを保持しますか?	
● はい (データを保持したまま暗号化します)	
○いいえくデータは保持しません)	
展る 次へ キャンセル	

- ●現在ボリュームに保存されているデータを暗号化し、ドライブに上書き保存する場合
 - **①[はい**]を選択し、[次へ]をクリックします。
 - 2暗号化したデータを書き込む際の処理を選択する「暗号化 消去方法の設定」画面が表示されますので、処理内容を選択して[次へ]をクリックします。

暗号化 - 消去方法の設定	×
暗号化したデータを書き込む除の処理を選択してください	
◎ 暗号化データをそのまま書き込む	
○ データを書き込む前に完全消去する	
(安全性は高いですが、時間がかかります)	
消去する回数 3回 🗸	
暗号化処理の前に既存データの完全消去を行うことにより、よりセキュア になります。	
消去する回数が多いほどよりセキュアになりますが、時間がかかります。	
戻る 次へ キャンセル	•

項目	説明
暗号化データを そのまま書き込む	暗号化データを上書きする際にそのままデータを上書きします。セクタ単位 で残った残留データの消去を行わないので、暗号化以前のデータの読み出 しができてしまう可能性が在ります。
データを書き込む前 に完全消去する	データを書き込む際に、以前に書き込まれているデータを完全消去します。 消去する回数は1回から3回の間で設定可能で、消去回数を重ねることに より、元データの読み出しは、より困難になります。

●現在ボリュームに保存されているデータを消去して、暗号化ドライブとする場合 ①[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

暗号化 - 既存データの保持	×
現在保存されているデータを保持しますか?	
○はい (データを保持したまま暗号化します)	
●んいえ(データは保持しません)]	
戻る (次へ) キャンセ	UL .

2消去方法の設定ダイアログが表示されますので、データの消去方法を選択して [次へ]をクリックします。

暗号化 - 消去方法の設定	×
ボリュームを初期化する方法を選択してください。	
○ データを書き込む前に完全消去する	
(安全性は高いですが、時間がかかります)	
消去する回数 3回 🗸	
	-
戻る 次へ キャンセル	

項目	説明
クイックフォーマット	高速にデータ消去ができますが、ハードディスク上に残留データが残る可 能性があります。
データを書き込む前 に完全消去する	既に HDD 上に書き込まれているデータを完全に消去します。残留データを 残さないので、よりセキュアな環境を構築できます。

MEMO

データを保持したまま暗号化をする場合、保存してあるデータの量に関わらず、完了までに非常に時間を要します(数十時間)。暗号化の対象ボリュームにデータが存在しない場合、または機密度の低いデータの場合にはあらかじめデータをバックアップした上で、「データを保持しない」を選択し、クイックフォーマットを選択してください。「クイックフォーマットによる暗号化作業は数分で完了します。

5 パスワードを設定します。

暗号化ドライブをアンロックする場合に必要となるパスワードを設定します。パスワード は半角6文字以上64文字以下で指定します。パスワードを設定後、[**完了**]ボタンをクリッ クすると暗号化が開始されます。

暗号化 - パスワードの設定	×
パスワードを設定してください。	
パスワード:	
パスワードの確認:	
パスワードは半角6文字以上、64文字以下で設定してください。	
パスワードは、キーファイルとしてエクスポート可能です。	
キーファイルはセキュリティー上、USBメモリなどの個別管理可能なメディアに 保存することを強くお勧めします。	
戻る 完了 キャンセル	-

このパスワードは今後この暗号化ドライブにアクセスするために必要になります。忘れないように控えておき、厳重に管理してください。パスワードを紛失すると、暗号化ドライブに保存されているデータにはアクセスできなくなります。この場合、データ復旧サービス等でも復旧は不可能となりますので、ご注意ください。

6 暗号化作業が開始されます。

暗号化作業の進捗状況が表示されます。[**停止**]をクリックすると、暗号化作業を中断する事が可能です。作業を中断した場合、残りの領域はデータが暗号化されませんのでご注意ください。中断した場合でも、必ず最後まで暗号化作業を完了しておいてください。暗号化完了までの時間は選択した処理内容、暗号化レベル、ドライブ容量等により異なります。

暗号化		×
	ボリューム名: [D:]	
	ボリュームサイズ: 2493.87 GB	
	暗号化処理の準備をしています。しばらくお待ちください。	
	停止	
	【警告】	
	作業中に電源がOFFになるとデータが失われる可能性があります。 ご注意ください。	

7

暗号化処理が完了すると以下のダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。



これで暗号化処理は完了です。

データを保持しない設定で暗号化を実行した場合、ボリューム上の既存の共有フォルダ は全て削除されますが、共有フォルダ自体の設定はシステム上に残存していますので、 必ず再起動を行ってください。

暗号化作業にかかる時間

MEMO ドライブ内のデータを保持した状態で暗号化を行う場合、データボリュームの全セクタのデータ 書き換えを行うので、完了までに時間を要します。以下に各容量モデル毎の所要時間の目安を記 載しますので、ご参照ください。

※本数値は無負荷時のものになります。

- ・ 4TB モデル …… 約 57 時間
- ・ 8TB モデル ……約 114 時間
- ・ 12TB モデル ……約 172 時間
- ・ 16TB モデル ……約 228 時間
- ・ 24TB モデル ……約 344 時間



3.2.6 暗号化ドライブのアンロック (手動アンロック)

暗号化ドライブに保存されているデータへアクセスするためには、アンロックする必要が あります。自動ロック/アンロックが設定されていない場合、起動時はすべての暗号化ド ライブがロック状態です。

アンロックは以下の手順で行ってください。

「NAS暗号化と自動ロック/アンロック設定」画面でロックを解除したいドライブを選択し、[ドライブ暗号化管理]をクリックします。

9	NAS 暗号化と自動ロック/アンロック設定	×
1	ブション (<u>P</u>)	
	· 暗号化ドライブ	
ĺ	ローカルディスク(D) ロック中 なし	
	自動ロック/アンロック機能を利用するためには、暗号化ドライブに対してロック認証ファイルを作成しておく必要があります。	
	ドライブを選択して、「ロック認証ファイルの作成」ボタンをクリックしてください。 手動でロック/アンロックを行う場合は「ドライブ暗号化管理」ボタンをクリックしてください。	
	ドライブ暗号化管理 ロック認証ファイルの作成 自動ロック/アンロック設定 閉じる	

2 アンロックする暗号化ドライブを情報ボックスより選択し、[アンロック] ボタンをクリック します。



3

アンロック パスワードを入力してください。 パスワード: 1 キーの参照 作業を続けるためには、パスワードの入力が必要です。 (*)パスワードを入力する代わりに、キーファイルも指定できます。 OK キャンセル [キーの参照]について **MEMO** キーファイルを作成済みの場合、このボタンからパスワードを自動的に読み込むことが可能です。 アンロック」画面で [キーの参照] をクリックします。 パスワードを入力してください。 キーの参照 パスワード: 2キーファイルを選択し、「開く」をクリックします。 🌻 開く \times ✓ ○ ドキュメントの検索 P 整理 ▼ 新しいフォルダー = 🕶 🔟 (名前 更新日時 種類 📌 クイック アクセス elecom_test01 2017/08/17 17:00 ファイル 🔲 デスクトップ * 🕹 ダウンロード 🚆 ドキュメント 📰 ピクチャ PC 💣 ネットワーク < \sim ファイル名(<u>N</u>): All Files (*.*)

表示された「アンロック」画面で、パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

 \times

●パスワード欄にパスワードが自動的に読み込まれますので、[OK]をクリックします。

開く(<u>O</u>)

キャンセル

パスワードを入力	してください。	
パスワード:	•••••	キーの参照

④アンロックが完了します。

4 アンロックが完了すると以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。



以上で暗号化ドライブのアンロックは完了です。

3.2.7 暗号化ドライブのロック(手動ロック)

アンロック状態の暗号化ドライブをロックする場合は、以下の手順で行ってください。

1

「暗号化管理」画面でロックする暗号化ドライブを情報ボックスより選択し、[ロック]ボタンをクリックします。

٠	暗号化管理						_		×
	ポリューム								
	ドライブ	ファイルシ	タイプ	暗号化	ロック	ディスク容量	GUID		
	C C	NTFS	SYS,DYN	×		99.99GB	Volume{2ffeeb20-3b	cd-4347-1	
	D	NTFS	DYN	0	×	2.43TB	Volume{cde64caa-8	2f2-11e7-	
	<							>	
	-	~				•		À.	
		6			1	The second se		Ó	

2

表示された確認画面で、[はい]をクリックします。暗号化ドライブはロックされます。



以上で暗号化ドライブのロックは完了です。

※暗号化ドライブに保存されているファイルが使用中の場合など、ロックできない場合 があります。 ロックできない場合、次の画面が表示されます。



この場合、「いいえ」をクリックした後、開いているファイルやフォルダをすべて閉じてから再度ロックボタンをクリックしてください。

それでも上記画面が表示される場合は、「はい」をクリックする事で強制的にロックする事ができます。

但し、開いているファイルが存在している場合は強制ロックを行うとファイルが壊れる 可能性がありますので、確認の上強制ロックを行って頂きますようお願いします。

3.2.8 自動ロック/アンロックの設定

本ソフトウェアでは、暗号化ドライブを自動アンロックする機能があります。 自動ロック/アンロックの機能をご利用になるためには、暗号化ドライブの「ロック認証 ファイル」を用意する必要があります。ロック認証ファイルの登録された暗号化ドライブ が一つ以上存在する場合、「自動ロック/アンロックの設定」が可能になります。ロック認 証ファイルはNASローカルとネットワーク共有フォルダのどちらかに保存できます。NAS ローカルへ保存した場合、NAS製品がまるごと盗難にあった場合に盗難先でも自動的に アンロック状態へ移行してしまいます。この条件でも問題ない場合のみ、自動ロック/ア ンロック機能をご利用ください。

ロック認証ファイルの作成



「NAS暗号化と自動ロック/アンロック設定」画面でロック認証ファイルを作成する暗号化 ドライブを選択し、[ロック認証ファイルの作成]をクリックします。

NAS 暗号化と自動ロック/アンロック設定	×
オプション (<u>P</u>)	
	_
ローカル ディスク (D:) ロック中 なし	
自動ロック/アンロック機能を利用するためには、暗号化ドライブに対してロック認証ファイルを作成しておく必要があります。	
ドライブを選択して、「ロック認証ファイルの作成」ボタンをクリックしてください。 手動でロック/アンロックを行う場合は「ドライブ暗号化管理」ボタンをクリックしてください。	
「下ライブ階号化管理」 ロック認証ファイルの作成 自動ロック/アンロック設定 閉じる	

2 ロック認証ファイルの保存先が確定していない場合、「ロック認証ファイル保存先の設定」 画面が表示されますので、必要事項を入力し、[OK]をクリックします。

_「 ロック認証ファイルの	保存先		
● ローカルに保存	する		
○ ネットワーク共有	フォルダに保存する		
名称:			
フォルダバス:			
ユーザー名:			
	ドメインユーザーを指定 「ドメイン名¥ユーザー名	する場合は、 山の形式で入力してく	ださい。
パスワード:			
L			

3

「ロック認証ファイルの作成」画面が開きます。アンロックするためのパスワードを入力
、するか、キーファイルを指定し、[OK]をクリックします。

ロック認証ファイルの作成	×
ローカル ディスク (D:)	
○ キーファイルを指定して作成	
キーファイルの参照	
ОК + +уъл	

MEMO

ロック認証ファイルの作成後もパスワードは大切に保管してください。 本製品の修理後など、ロック認証ファイルの再作成を行う際にパスワードが必要になります。



ロック認証ファイルの作成後、以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。

ロック認証ファイル	×
0ック認証ファイルを作成しました。	
OK	

以上で、NAS内部に「ロック認証ファイル」が作成され、自動ロック/アンロックを設定するための準備が整いました。

※「ロック認証ファイル」が登録されている暗号化ドライブを選択した場合、「ロック認証 ファイルの作成」ボタンは「ロック認証ファイルの削除」ボタンに切り替わります。「ロック認証ファイルの削除」ボタンをクリックして、ロック認証ファイルを削除する事により、その暗号化ドライブを自動ロック/アンロックの対象から外す事ができます。



ロック認証ファイルについてのご注意

ロック認証ファイルは、マザーボードが変わると無効になります。このため、本製品の修理な どでマザーボードが交換された場合、自動ロック/アンロックが機能しなくなります。 ※この場合、「暗号化と自動ロック/アンロック設定」ダイアログのロック認証ファイルステータ スが「エラー」または「なし」になります。この場合、新しいマザーボード上で再度ロック 認証ファイルを作成する事により、再び自動ロック/アンロックが機能するようになります。

自動ロック/アンロックの設定

暗号化ドライブのロック/アンロックをスケジュール構成し、自動的にロック/アンロックを行うようにします。

本設定を行うには前述の「ロック認証ファイル」の作成が必要です。

1 「NAS暗号化と自動ロック/アンロック設定」画面で自動ロック/アンロック設定をする暗 号化ドライブを選択し、[自動ロック/アンロック設定]をクリックします。

R NAS 暗号化と自動ロック/	アンロック設定		×
オブション (<u>P</u>)			
- 暗号化ドライブ			
ローカル ディスク (D:)		OK	
自動ロック/アンロックの 「自動ロック/アンロック」 ロック認証ファイルを削除 手動でロック/アンロック	設定が可能です。 ボタンをクリックしてください。 する場合は「ロック認証ファイルの削 を行う場合は「ドライブ暗号化管理」フ	除」ボタンをクリックしてください。 ドタンをクリックしてください。	
ドライブ暗号化管理	ロック認証ファイルの削除	自動ロック/アンロック設定	閉じる

※ [自動ロック/アンロック]ボタンは「ロック認証ファイル」の準備ができている暗号化 ドライブが一つ以上存在する場合に有効になります。
2

「自動ロック/アンロック設定」画面が表示されますので、各項目を設定し[設定]を クリックします。

自動ロック/アンロック設定 \times 自動スケジュール設定 リトライ間隔 リトライ回数 自動ロック/アンロックを使用しない 5 三分 12 三回 -毎日 有効 自動アンロック 00:00 アンロック時刻 有効 自動ロック ロック時刻 00:00 設定 キャンセル

項目		説明	
自動スケジュール	自動スケジュールに関す	る設定を以下の中から選択します。	
設定 	自動ロック/アンロック を使用しない	手動でのロック/アンロックのみを行う場合に指定します。	
	起動時、 常にアンロック	NAS 起動時にアンロックし、NAS シャットダウン時に自動 ロックする設定です。	
	毎日定時刻に ロック/アンロック	毎日指定の時刻にロック/アンロックする設定です。	
	指定曜日の指定時刻に ロック/アンロック	ー週間の各曜日ごとにロック時刻/アンロック時刻を設定 します。	
リトライ間隔	自動ロック/アンロック時に他のタスクの影響などでコマンドが実行できない際に、 再度コマンドを実行するまでの間隔(分)を指定します。 (設定可能値:119 分以下)		
リトライ回数	自動ロック/アンロック時に他のタスクの影響などでコマンドが実行できない際に、 再度コマンドを実行する回数を指定します。指定した回数の再試行を行っても失敗し た場合、「お知らせメール」機能によりメールが配信されます(設定されている場合)。 (設定可能値:359回以下)		
自動アンロック/ アンロック時刻	自動アンロックを実行する時刻を指定します。 曜日ごとに指定する場合は実行する曜日のチェックボックスをチェックします。		
自動ロック/ ロック時刻	自動ロックを実行する時 曜日ごとに指定する場合	刻を指定します。 は実行する曜日のチェックボックスをチェックします。	

※ 自動アンロックの時刻と自動ロックの時刻は、両方とも必ず一つ以上設定しておく 必要があります。

MEMO

- ・暗号化ドライブがロックされた状態でも、「ディスクの管理」や diskpart コマンドによりボリュームを削除する事が可能です。パスワードを忘れてしまった場合など、暗号化ドライブへアクセスできなくなってしまった場合には、これらの方法でボリュームを削除してください(保存されていたデータは削除されます)。反対に、誤ってアンロック中のボリュームを削除しないようご注意ください。
 - リモートデスクトップなどでログオン中に自動アンロック機能が働いた場合、ログオン中のユー ザーからは暗号化ドライブが消えたように見える場合があります。「コンピュータ」から暗号化 ドライブを参照できなくなった場合には、一度ログオフし、再度ログオンすることによってドラ イブを参照できるようになります。
 - リモートデスクトップなどでログオン中に自動ロック機能が働いた場合、ディスクのフォーマットを促すポップアップが表示される事があります。これは、ロックされた暗号化ドライブはWindowsからはフォーマットされていないドライブとして認識されるために起こる事象で、ディスクの不具合ではございません。誤ってフォーマットやドライブの削除をなさいませんようご注意ください。

3.2.9 パスワードの変更

セキュリティの為に定期的に暗号化パスワードを変更したい場合には以下の手順を参照 してください。

「NAS暗号化と自動ロック/アンロック設定」画面でパスワードを変更したい暗号化ドライ ブを選択し、[ドライブ暗号化管理]をクリックします。

🧌 NAS 暗号化と自動ロック/アンロック設定	×
オプション (<u>P</u>)	
- 暗号化ドライブ	
	Ē
自動ロック/アンロック機能を利用するためには、暗号化ドライブに対してロック認証ファイルを作成しておく 要があります。	el l
ドライフを増加して、「ロック認証ファイルの作成」ホタンをクリックしてくたさい。 手動でロック/アンロックを行う場合は「ドライブ暗号化管理」ボタンをクリックしてください。	
「ドライラ暗号化管理」 ロック認証ファイルの作成 自動ロック/アンロック設定 閉じ	3

2 パスワードを変更する暗号化ドライブを情報ボックスより選択し、[パスワード変更]ボタン をクリックします。

4	暗号化管理						- 🗆 X
	ボリューム						
	ドライブ	ファイルシ	タイプ	暗号化	ロック	ディスク容量	GUID
	C C	NTFS	SYS,DYN	×		99.99GB	Volume{2ffeeb20-3bcd-4347-1
	D	NONE	DYN	0	0	2.43TB	Volume{108e19b6-7cc5-11e7
	<						>
		~		_			
			E				2
	V					•	

- ※ アンロック状態の暗号化ドライブを選択した場合、「パスワード変更ボタン」は無効に なります。パスワードを変更する前に、あらかじめ暗号化ドライブをロック状態にして おいてください。
- 3 「パスワードの変更」画面が表示されますので、各項目を入力し、[OK]をクリックします。 確認のため、現在のパスワードを入力します。パスワードを入力する代わりに「キーの 参照」ボタンをクリックしてキーファイルを指定する事もできます。続いて、確認用も含 めて新しいパスワードを2回入力します。ここで、「新しいパスワードで再暗号化します。」 チェックボックスをチェックする事により、新しいパスワードを元に、暗号化ドライブを再 暗号化できます。

パスワードの変更			Х
現在のパスワード:		キーの参照	
新しいパスワード:			
新しいパスワードの確認:			
□ 新しいパスワードで再暗号化	:します。		
注意: 再暗号化を行うと新しいパスワー	-ドで、新しいキーが生成されます。		
	ОК	キャンセル	



パスワードを変更すると前のパスワードで作成したキーファイルは無効になりますので、再度 キーのエクスポート機能を利用してキーファイルを作成してください。 4 パスワード変更に成功後、以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。



以上で、パスワードの変更は完了です。

3.2.10 キーのエクスポート (キーファイルの作成)

暗号化したドライブをセキュアに管理するためにパスワードの代わりにパスワードより 生成したキーファイルを作成することが可能です。

「暗号化管理」画面を起動し、キーをエクスポートする対象の暗号化ドライブを選択後、 [キーエクスポート] ボタンをクリックします。



2 暗号化の際に入力したパスワードを入力し、[OK]をクリックます。

キーのエクスポート	Х
パスワードを入力してください。	
パスワード: トーの参照	
キーをエクスポートします。 キーファイルはセキュリティー上、USBメモリなどの個別管理可能なメ ディアに保存することを強くお勧めします。	
<u>ок</u> キャンセル	

3 キーファイル保存先を選択し、ファイル名を入力後[保存]をクリックします。

🌻 名前を付けて保存					×
← → ~ ↑ ∰ >	PC » ドキュメント	v ن	ドキュメントの検索		P
整理 ▼ 新しいフォル	VØ-			== -	?
★ クイック アクセス ■ デスクトップ ↓ ダウンロード ※ ドキュメント ※ ピクチャ PC * ネットワーク	名前 * * *	< 検索条件に一致する項目	更新日時 目はありません。	種類	
7ァイル名(<u>N</u>):	<				>
ファイルの種類(<u>T</u>): ke	ey file(*.*)				\sim
▲ フォルダーの非表示			保存(<u>S</u>)	キャンセル	

4

確認画面が表示されますので、[はい]をクリックします。





キーファイルは暗号化パスワードと同義となりますので、NAS 内の HDD 上に放置せず、USB メモリなどに保管し、厳重に管理することをお勧めします。

5 キーファイル作成後、以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。



以上でキーのエクスポート(キーファイルの作成)は完了です。

3.2.11 暗号化解除

「暗号化管理」画面を起動し、キーをエクスポートする対象の暗号化ドライブを選択後、 [暗号化解除] ボタンをクリックします。

	ŧ	暗号化管理								-		×
1		ボリューム										
		ドライブ	ファイルシ	タイプ	BĔ	号化	ロック	ディスク容量	GUID]
		C C	NTFS	SYS,DYN	I X			99.99GB	Volume{2ffee	b20-3b	cd-4347-	
		D	NONE	DYN	0		0	2.43TB	Volume{108e	1966-76	cc5-11e7	
		<									>	
			e		A	(?	9.	1	6	
		V			1					1	4	

※ このとき、対象の暗号化ドライブがアンロック状態の場合は先にロック処理を行ってく ださい。 2 確認画面が表示されますので、[はい]をクリックします。



3 暗号化の際に入力したパスワード(もしくはキーファイル)を入力し、[次へ]をクリック ます。

暗号化解除 - パスワードの設定	×
パスワードを入力してください。	
パスワード: トーの参照	
作業を続けるためには、パスワードの入力が必要です。	
(*)パスワードを入力する代わりに、キーファイルも指定できます。	
戻る 次へ キャンセル	,

4 選択したドライブのデータを保持したまま暗号化解除を行うかの確認画面が表示されます。

暗号化解除 - 既存データの保持	×
現在保存されているデータを保持しますか?	
●はい(データを保持したまま暗号化解除します)	
○いいえ(データは保持しません)	
	_
戻る 次へ キャンセル	

●現在ボリュームに保存されているデータを平文化し、ドライブに上書き保存する場合

① [はい]を選択し、 [次へ]をクリックします。

②平文化したデータを書き込む際の処理を選択する「消去方法の設定」画面が表示されますので、処理内容を選択して[完了]をクリックします。

暗号化解除 - 消去方法の設定	×
暗号化解除したデータを書き込む際の処理を選択してください	
● 暗号化解除したデータをそのまま書き込む	
○データを書き込む前に完全消去する	
(安全性は高いですが、時間がかかります)	
消去する回数 3回 ~	
暗号化解除処理の前に既存データの完全消去を行うことにより、よりセキュアになります。	
消去する回数が多いほどよりセキュアになりますが、時間がかかります。	
	_
戻る 完了 キャンセル	

項目	説明
暗号化解除したデータ をそのまま書き込む	平文化データを上書きする際にそのままデータを上書きします。暗号化 時に保存されていたデータがディスク上に残留する可能性が在ります。
データを書き込む前に 完全消去する	データを書き込む際に、以前に書き込まれているデータを完全消去しま す。消去する回数は1回から3回の間で設定可能で、消去回数を重ねる ことにより、元データの読み出しは、より困難になります。

●現在ボリュームに保存されているデータを消去して、平文化ドライブとする場合 ①[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

暗号化解除 - 既存データの保持	×
現在保存されているデータを保持しますか?	
○はい (データを(保持したまま暗号化解除します)	
●〔いえくデータは保持しません〕	
戻る 次へ キャンセ	Л

2「消去方法の設定」画面が表示されますので、データの消去方法を選択して[完了]を クリックします。

暗	号化解除 - 消去方法の設定	×
	ポリュームを初期化する方法を選択してください。	
	● ৶1 ৶D7 → ─२ ୬ ト	
	○データを書き込む前に完全消去する	
	(安全性は高いですが、時間がかかります)	
	消去する回数 3回 🗸	
	戻る 完了 キャンセル	

項目	説明
クイックフォーマット	高速にデータ消去ができますが、ハードディスク上に暗号化時に書き込ん だ残留データが残る可能性があります。(但し残留データは暗号化されたま まです)
データを書き込む前 に完全消去する	既に HDD 上に書き込まれているデータ(暗号化時に書き込まれたデータ) を完全に消去します。残留データを残さないので、よりセキュアです。

5

暗号化解除作業が開始されます。既存データの処理内容、ドライブ容量などにより完了 するまでの時間は異なります。

暗号化角	禪 除		×
	ボリューム名:	[D:]	
	ボリュームサイズ:	2493.87 GB	
	暗号化解除の準備をしている	ます。しばらくお待ちください。	
		停止	
	【警告】 作業中に電源がOFFになると ご注意ください。	データが失われる可能性があります。	

データを保持しない設定で暗号化を解除した場合、ボリューム上の既存の共有フォルダ は全て削除されますが、共有フォルダ自体の設定はシステム上に残存していますので、 必ず再起動を行ってください。



暗号化解除後、以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。



以上で暗号化解除は完了です。

3.3 iSCSI ドライブの構成

本製品ではiSCSIプロトコルでネットワーク経由でのストレージ提供が可能です。仕組 みとしては、本製品内に作成した仮想ディスクファイルをドライブスペースとして提供 します。

3.3.1 iSCSI サービスのインストール

本製品の(リモート)デスクトップ画面で[スタートメニュー]にある[サーバーマネー ジャー]を起動し、ダッシュボードより[役割と機能の追加]をクリックします。

マーバー ゼーバー マ	● ・ サーバーマネージャー・ダッシュボード ・ ② 79/シュポード ・ → 「-マネージャーへようこそ □-カル サーバー 1 TX TX 00 サーバー 1 TX TX 00 サーバーの構成			管理(M)	ツール(1) 表示	ል ለኪጊጠ
■ ダッシュポード ■ ローカル サーバー	サーバー マネージャーへよ	526				
■ すべてのサーバー ▼ IIS		1 このローカル サーバーの構成				
■ Jアイル サービスと記憶成サ ト ● 印刷サービス	9199 X9-F(Q)	2 役割と機能の追加				
		3 管理するサーバーの追加				
	最新情報(<u>W</u>)	4 サーバー グループの作成				
		5 このサーバーをクラウド サービスに接続する				
	詳細情報(L)					非表示

2 「役割と機能の追加ウィザード」画面が起動しますので[次へ]をクリックします。

🔁 役割と機能の追加ウィザード	_		×
開始する前に		対象サー NSB-1	/(- 755
 開始する前に インストールの重類 ウーバーの運択 ウーバーの役割 機能 確認 結果 	このウイザードを使用すると、役割、役割サービス、または機能をインストールできます。ドキュメントの共有や ホストなどの組織のコンビューティング ニースに応じて、インストールする役割、役割サービス、または機能を注 役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割した。次のタスクが完了していることを確認してください。 ・ 管理者 アカウントに強力なパスワードが設定されている ・ 静的 IP アドレスなどのネットワークの設定が構成されている ・ 静的 IP アドレスなどのネットワークの設定が構成されている ・ 制造条件が完了していることを確認する必要がある場合は、ウィザードを閉じて、それらの作業を完了して を再度実行してください。 続行するには、「次へ」をクリックしてください。	Web サイ S定します。 から、ウイサ	۴-۴
		キャンセ	JL
		1172	

3 「インストールの種類の選択」画面が表示されますので、[役割ベースまたは機能ベース のインストール]を選択して[次へ]をクリックします。

▶ 役割と機能の追加ウィザード	-		×
インストールの種類	の選択	対象サ - NSB-1	/(- 755
開始する前に <u>インストールの種類</u> サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	インストールの種類を選択します。役割および機能は、実行中の物理コンピューター、仮想コンピューター、 の反想ハード ディスク (VHD) にインストールできます。 ④ 役割ゲースまたは機能ベースのインストール 役割、役割サービス、および機能を追加して、1 台のサーバーを構成します。 〇 リモート テスクトップ サービスのインストール 仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VD) に必要な役割サービスをインストールして、仮想マシン ベー ン ベースのデスクトップ展開を作成します。	またはオフラ	イン
	<前へ(2) (二次へ(N) > (1)ストール(1)	キャンセ	JL

4 「対象サーバーの選択」画面が表示されますので、[サーバープールからサーバーを選択] を選択し、サーバープールより本製品のホスト名を選択して[次へ]をクリックします。

▶ 役割と機能の追加ウィザード				-		×
対象サーバーの選択	5				対象サー NSB-	/(- 755
開始する前に インストールの重頻 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認	役割と機能をインスト- ● サーバーブールからす ○ 仮想ハードディスク サーバー ブール フィルター: [ールするサーバーまたは仮想ハート サーバーを選択 から選択	、ディスクを選択します。			
結果	名前 NCD 265	IP 7FUX	オペレーティンクシステム	0 2016 0		_
	1 台のコンビューターが見 このページには、サーバー それ以降のリリースの データ収集が完了してい	見つかりました - マネージャーの [サーバーの追加 Vindows Server を実行してい vàcいサーバーは表示されません	1] コマンドを使用して追加され 3サーバーが表示されます。 2 *	れた、Windows Serv フライン サーバーや、泉	er 2012 ま たに追加る	tla thr
		< 前/	\(P) │ 次へ(N) >	インストール(!)	キャンセ	IL

5 「サーバーの役割の選択」画面が表示されますので、「ファイルサービスおよび記憶域サー ビス] – [ファイルサービスおよびiSCSIサービス]をクリックし、[iSCSIターゲットサーバー] をチェックして「次へ」をクリックします。



6

「機能の選択」画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



7 「インストールオプションの確認」画面が表示されますので、iSCSIサービスが表示されて いることを確認して[インストール]をクリックします。

▶ 役割と機能の追加ウイザード	-		×
インストール オプショ	コンの確認	対象サー NSB-7	/(– 755
開始する前に	選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[インストール] をクリックしてください。		
インストールの種類	□ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する		
サーバーの選択 サーバーの役割	オブションの機能(管理ツールなど)は、自動的に選択されるため、このページに表示されている可能性があります。これらのオブションの機能をインストールしない をクリックして、チェック ボックスをオフにしてください。	島合は、[1	前へ]
機 能 確認 結果	ファイル サービスと記憶域サービス ファイル サービスおよび iSCSI サービス iSCSI ターゲット サーバー		
	構成設定のエクスポート 代替ソース パスの指定		
	< 前へ(<u>P</u>) 次へ(<u>N</u>) > (インストール(<u>D</u>))	キャンセ	μ

8 インストールが完了したことを確認し、[閉じる]をクリックします。

🚵 役割と機能の追加ウィザード		-		×
インストールの進行	状況		対象サ- NSB-	-/(- .755
開始する前に	インストールの進行状況の表示			
インストールの種類	1 機能のインストール			
サーバーの運転サーバーの役割	NSB-75S でインストールが正常に完了しました。			
機能 確認 結果	ファイル サービスと記憶域サービス ファイル サービスおよび ISCSI サービス ISCSI ターゲット サーバー			
	このウイザードを閉じても、実行中の処理が中断されることはありません。処理の進行状況を表示したり、このページを再度開いたりするには りリックし、「タスクの詳細」をクリックします。 構成設定のエクスポート	, איד <i>ב</i> ו	(一の [通	<u></u> 知]を
	<前へ(P) 次へ(N) > 関	<i>;</i> a	キャンセ	2.11

以上でiSCSI サービスのインストールは完了です。

3.3.2 iSCSI 仮想ディスクの作成

1

本製品の(リモート)デスクトップ画面で[スタートメニュー]にある[サーバーマネー ジャー]を起動し、画面左の[ファイルサービスと記憶域…]をクリックします。

€⊖- म- <i>ग</i> - र	'ネージャー・ ダッシュボード			• 🗇 🏲 😤 🕬 🤊-NO	表示(ど) ヘルプ(ビ)
■ ダッシュポード ■ ローカル サーバー	サーバー マネージャーへようこそ				
■ すべてのサーバー	<u>(</u>] ເຫ	コーカル サーバーの構成			
■ ファイル サービスと記憶域サ ▶	2 K	と機能の追加			
	3 管	「理するサーバーの追加			
	最新情報(₩) 4	ーバー グループの作成			
	5 Z	のサーバーをクラウド サービスに接続す	6		
	詳細情報(L)				非表示
	役割とサーバー グループ				
	役割の数:3 サーバー グループの数:1 サー 「① IIS 1	バーの合計数:1	印刷サービス 1	■ ローカル サーバー 1	6
	 管理状態 	 リービス ・ ・ ・	 管理状態 	 管理状態 	
	イベント	11/21-	1221	1121	
	サービス	サービス	サービス	1 サービス	
	パフォーマンス	パフォーマンス	パフォーマンス	パフォーマンス	
	BPA 結果	BPA 結果		BPA 結果	
			2017/08/16 15:54	2017/08/16 15:54	
	■ すべてのサーパー 1				
	 管理状態 				
	11/21-				
	1 サービス				
	パフォーマンス				
	BPA 結果				
	2017/08/16 15:54				
II 🔎 🗆 🌔 🛢				^ 🕎 🍫 A	15:56 💭

2

[iSCSI]をクリックし、「iSCSI仮想ディスク」画面を表示させます。

¢	 ● • • 7ァイル 	サービスと記憶域サービス・iSCSI ・ ②丨 🍢 📲 🖤 🤊	ル(1) 表示(V)	ヘルプ(<u>H</u>)
	 ・・・ ファイル ・・・ ファイル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	サービスと記憶域サービス • iSCSI	ND 表示(Y)	~IUJ⊞
		最終更新日 2017/08/17 17:12:12 iSCSI ターゲット		



3 画面右上の[タスク▼]をクリックしてプルダウンメニューより[新しいiSCSI仮想ディスク…] をクリックします。

▶ サーバー	- マネージャー		– 🗆 X	
\mathbf{E}	・ ・・ ファイル	サービスと記憶域サービス・iSCSI ・②丨 🍢 🦉M ソールᡢ	表示(V) ヘルプ(H)	
	サーバー ボリューム ディスク 記憶域ブール 共有 ISCSI ワークフォルダー	ISCSI 仮想ディスク 含さい 仮想ディスク 含計・0 ISCSI 仮想ディスクが与りません。 ISCSI 仮想ディスクを作成するには、新しい ISCSI 仮想ディスク ウィザードを開始してください。	新しいなど気を使得する。 らく気を使得するのです。 らく気を使うするのです。 の情報に更新	
		最終更新日 2017/08/17 17:12:12		
		ISCSI <i>ター</i> プット ISCSI グープット	920 -	

「新しい仮想ディスク ウィザード」画面が表示されますので、「サーバー」を本製品、「記憶 4 域の場所」に本製品のデータ領域(デフォルトではD:ボリューム)を選択して[次へ]をク リックします。

51 仮想ディスクの場所	リーバー(3): サーバータ	状能	クラスターの役実	所有者 /-ド	
al 1反想ディスク名 sl 仮想ディスクのサイズ	NSB-75S	オンライン	非クラスター化		
	0.7の一覧には、フィルタ-	ーにより、iSCSI ターゲット サー	バー役割がインストー」	しされたサーバーだけが表	示されています。
	 この一覧には、フィルター この一覧には、フィルター 	ーにより、iSCSI ターゲット サー	バー役割がインストール	しされたサーバーだけが表:	示されています。
	 この一覧には、フィルター 記憶域の場所: エロリコーム (2014) 	ーにより、iSCSI ターゲット サー	バー役割がインストーリ	レされたサーバーだけが表	示されています。
	 この一覧には、フィルター 記憶域の場所: ● パリユーム (: 選択(⊻): 	ーにより、iSCSI ターゲット サー	バー役割がインストール	レされたサーバーだけが表:	示されています。
	 この一覧には、フィルター 記憶域の場所: ● ホリューム (ご選択(⊻): ボリューム 	ーにより、iSCSI ターゲット サー 空き領域	バー役割がインストール 容量 ファイル ジ	レされたサーバーだけが表: ステム	示されています。
	 この一覧には、フィルター 記憶域の場所: ・ ホリューム (温次(U): ポリューム C: 	-により、iSCSI ターゲット サー 空き領域 88.1 GB	バー役割がインストール 容量 ファイル シ 100 GB NTFS	しされたサーバーだけが表 ステム	示されています。
	 この一覧には、フィルク- 記信域の場所: ・ ホリューム (選次(以): ポリューム C: D: 	-により、iSCSI ターゲット サー 空き領域 88.1 GB 2.43 TB	バー役割がインストール 容量 ファイル ジ 100 GB NTFS 2.44 TB NTFS	しされたサーバーだけが表 ステム	示されています。
	 ⑦ この一覧には、フィルター記憶域の場所: ◎ パリューム (2温ボ(⊻): ポリューム C: D: 	-により、iSCSI ターゲット サー 空き領域 88.1 GB 2.43 TB	バー役割がインストール 容量 ファイル ジ 100 GB NTFS 2.44 TB NTFS	しされたサーバーだけが表 ステム	示されています。
	 ⑦ この一覧には、フィルター 記憶域の場所: ◎ ホッユームで違式(型): ボリユーム C: D: 	-により、iSCSI ターゲット サー 空き領域 88.1 GB 2.43 TB	バー役割がインストーJ 容量 ファイル ジ: 100 GB NTFS 2.44 TB NTFS	しされたサーバーだけが表 ステム	示されています。
E E E E E E E E E E E E E E E E E E E	 ① この一覧には、フィルター 記信域の場所: ○ パリユーム (運行(以): ポリユーム C: D: 	-により、iSCSI ターゲット サー 空き領域 88.1 GB 2.43 TB	パー役割がインストーJ 容量 ファイル ジ 100 GB NTFS 2.44 TB NTFS	しされたサーバーだけが表: ステム	示されています。
	 ⑦ この一覧には、アパルター 記憶域の場所: ⑦ パリユームで進好(V): ⑦ パリユームで進好(V): ⑦ パリユーム ⑦ ワコームで進び(V): ⑦ ワコームで進び(V): 	-により、iSCSI ターゲット サー 空き領域 88.1 GB 2.43 TB	バー役割がインストーJ 容量 ファイル ジ 100 GB NTFS 2.44 TB NTFS	レされたサーバーだけが要: ステム	ನ್ <i>ರಿಗಿ</i> ರುಕ್ಕಂ
	 ・・ この一覧には、フィルター 記憶域の場所: ・ ・ ・	-により、iSCSI ターゲット サー 空き頓域 88.1 GB 2.43 TB 週辺 たポリュールの XISCSI	バー役割がインストール 容量 ファイル ジ 100 GB NTFS 2.44 TB NTFS	レされたサーバーだけが表: ステム	ನ್ ನಿರ್ದಿಸಿಕೆ.
	 この一覧には、フィルター 記信域の場所: ・ がりユームで選邦(以): ポリユーム て:	-により、iSCSI ターゲット サー 空き領域 88.1 GB 2.43 TB 選択したボリュームの ViSCSI ください(D):	バー役割がインストーJ 容量 ファイル ジ 100 GB NTFS 2.44 TB NTFS VirtualDisk に保存さ	しされたサーバーだけが表. ステム	示されています。

5

し[**次へ**]をクリックします。

눰 新しい iSCSI 仮想ディスク ウィザード		-		×
iSCSL仮想ディスク	名の指定			
iSCSI 仮想ディスクの場所	名前(A); iSCSI01			
iSCSI 仮想ティスク名 iSCSI 仮想ディスクのサイズ	說明(<u>D</u>):			
ISCSI ターゲット				
ラーリット名およひアクセス アクセス サーバー				
認証サービスを有効にする				
結果				
	NAU: Dielocoloritualioiskoelocoloritua			
	< 前へ(P) 次へ(N) > 作用	t(C)	キャンセノ	١

6 「iSCSI仮想ディスクのサイズを指定」画面が表示されますので、仮想ディスクサイズの容量 (TB)と種類を設定し、「次へ」をクリックします。

「iSCSI仮想ディスク名の指定」画面が表示されますので、「名前」欄に任意の名前を入力

iSCSI 仮想ディスク	のサイズを指定			
iSCSI 仮想ディスクの場所	空き領域(E): 2.43 TB			-
iSCSI 仮想テイスク名	サイズ(<u>S</u>): TB ~			J
ISC31 08-07-2007ス ISC31 9-ゲット ターゲット名およびアクセス アクセス テーパー 認証サービスを有効にする 確認 結果	 ○ 容量面定(2) ○ 容量面定(2) ○ 企種類のディスクは/(フォーマンスが高いため、ディスク アクセスの多いアブリケーションを実行するサーバー 浜されます、伝想ハードディスクは固定容量伝想ハードディスクのサイズを使用して作成されます。データが または削除されてもサイズは変化しません。 ② 割り当てで仮想ディスクを消去する 注意:オフにすることは推奨されません。デイスクを 0 に消去すると、元になる記憶域に残っているデー! 断片がすべて削除されるため、情報のリークから保護されます。 ③ 容量可変(N) この種類のディスクでは物理記憶域が有効に利用されるので、多くのディスク模域を使用しないアブリケー を実行するサーバーに推奨されます。、whok ファイルは、ディスク作成時は小さく、データが書き込まれるにつ 大者くなります。 ● 客号の ● 客号の ● 客号の ● 客号の ● 客号の ● 客号の ● なり ● 客号の ● 客号の ● なり ● 客号の ● なり ● なり ● 第次(E) この種類のディスクは、他のディスクと親子関係で関連付けられ、関連付けられた先のディスクは次更され 	に進 夕の ->れて は		
	ん。親ディスクに影響を与えることなく、この仮想ハードディスクに変更を加えることができ、後で簡単に変 元に戻すことができます。 親仮想ディスクのパス(<u>A</u>):	更を 照(<u>B</u>)		
	<前へ(P) 次へ(M) > 作成(C		キャンセン	JL

7 「iSCSIターゲットの割り当て」画面が表示されますので、適宜選択して[次へ]をクリックし ます。(既存のiSCSIターゲットを選択した場合は13に進みます。)

📥 新しい iSCSI 仮想ディスク ウィザード				-		×
ISCSI ターケットの割	り当く					
iSCSI 仮想ディスクの場所	この iSCSI 仮想ディスクを	既存の iSCSI ターゲットに割り当てる	か、新しいターゲットを作成してくだ	່ວ່າ.		
iSCSI 仮想ディスク名	◎ 既任の いこう クーク 5	/r(<u>t</u>):				
iSCSI 仮想ディスクのサイズ	ターゲット名	イニシエーター ID	説明			
iscsi 4-Hak						
ターゲットタキトバアクセス						
アクセフ サーバー						
認証サービスを有効にする						
前額						
结果						
	(●):新しい iSCSI ターケッ	F(II)				
		< 1	前へ(P) 次へ(N) >	作成(C)	キャンヤ	ll
		. 8	S (D) SC (D) S		1726	//

8 **乙**で新しいiSCSIターゲットを選択した場合、「ターゲット名の指定」画面が表示されます ので、任意の名前や説明を入力して[次へ]をクリックします。

🔤 新しい iSCSI 仮想ディスク ウィザード								-		Х
ターゲット名の指定										
iSCSI 仮想ディスクの場所 iSCSI 仮想ディスクタ iSCSI 仮想ディスクのウイズ iSCSI ターゲット ターゲット名およびアクセス アクセス フーバー 認証サービスを有効にする 確認 結果	名前(<u>A</u>): 説明(<u>D</u>):	iSCSI01								
				< 前へ(Ⴒ)	次^	(<u>N</u>) >	作」	ắ(Ω) [キャンセ	IL

9 「アクセスサーバーの指定」画面が表示されますので、[追加]をクリックします。

📥 新しい iSCSI 仮想ディスク ウィザード		-		×
	花中			
	相上			
iSCSI 仮想ディスクの場所	[追加] をクリックして、この iSCSI 仮想ディスクにアクセスする iSCSI イニシエーターを指定してください。			
iSCSI 仮想ディスク名	型值			
iSCSI 仮想ディスクのサイズ				
iSCSI ターゲット				
ターゲット名およびアクセス				
アクセス サーバー				
認証サービスを有効にする				
全世 第22				
結未				
	<u>追加(A)</u> 削除(R)			
	<前へ(P) 次へ(N) > 作用	ŧ(<u>C</u>)	キャンセノ	V

10 「イニシェーターIDの追加」画面が表示されますので、イニシェーターを選択し、[OK]を クリックします。

🕍 イニシエーター ID の追加	-		×
イニシエーターを識別する方法を選択	してく	ださ	
 イニシエーター コンビューターを ID で照会する (Windows Server R2、Windows 7 以前ではサポートされません)(Q): 	r 2008		
 ターゲット サーバーのイニシエーターのキャッシュから選択する(S): 		参照(<u>B</u>)	
 ・ 選択した種類の値の入力(E) ・ 種類(T): ・ 値(V): 			
		参照(<u>B</u>)	
	к	キャンセ	V

11	「アクセスサーバーの指定」画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。
----	--

iSCSI 仮想ディスクの場所	[追加]をクリックして	、この iSCSI 仮想ディスクにアクセ	スする iSCSI イニシエーターを指定し	てください。	
iSCSI 仮想ディスクのサイズ iSCSI ターゲット ターゲット名およびアクセス アクセス サーバー 認証サービスを有効にする 確認 結果	IPAddress	192.168.xx.xxx			
	:昌加(<u>A</u>)	削除(<u>R</u>)			

12 「認証を有効にする」画面が表示されますので、必要に応じて認証を有効にし「次へ」を クリックします。

🛓 新しい iSCSI 仮想ディスク ウィザード						-		×
認証を有効にする								
iSCSI 仮想ディスクの場所 iSCSI 仮想ディスク名 iSCSI 仮想ディスクのサイズ iSCSI ターゲット ターゲット名およびアクセス アクセスサーバー 認証サービスを有効にする 確認 結果	必要に応じて、イニシエーター損 ようにすうためにリバース CHAP □ CHAP を有効にする(L): ユーザー名(L): パスワード(W): パスワードの確認入力(C): □ リパース CHAP を有効にす ユーザー名(L): パスワードの確認入力(C):	続を認証するために C1 を有効にしてください。 	HAP プロトコルを有効)にするか、イニシエ	-9-で iscsi	ク-ブッ 		~**>
			<前へ(P)	次へ(N) >	作成((0	キャンセ	JL

13 「選択内容の確認」画面が表示されますので、設定内容に問題がなければ[作成]をクリックし、仮想ディスクの作成を開始します。

睯 新しい iSCSI 仮想ディスク ウィザード				-		×
選択内容の確認						
ISCSI 仮想ディスクの場所 ISCSI 仮想ディスク名 ISCSI 仮想ディスクのサイズ ISCSI ターゲット ターゲット名およびアクセス アクセス サービスを有効にする 確認 結果	以下の設定が正しいことをす iSCSI 仮想ディスクの場所 サーバー: NSB-755 クラスターの役割: 非クラスタ パス: D+¥iSCSI はていてのです。 SCSIの1 サイズ: 1.00 TB ターゲットのプロパティ 名前: iSCSI01 アクセスサーパー IP アドレス: 192.168. セキュリティ CHAP: 無効 リパース CHAP: 無効	I認し、[作成] をクリックしてくだ ー化 IritualDisks¥iSCSI01.vhdx	້ະວັເນີ			
		<前へ(<u>P)</u> 次	<u>^(N)</u> >	作成(C)	キャンセ	μ

14 仮想ディスクの作成が完了すると「結果の表示」画面が表示されますので、[閉じる]を クリックしてウィザードを終了します。

🚵 新しい iSCSI 仮想ディスク ウィザード				-		×
結果の表示						
結果の衣示 ISCSI 仮想ディスクの場所 ISCSI 仮想ディスクタ ISCSI 仮想ディスクのウイズ ISCSI ターゲット ターゲット名およびアクセス アクセス ウービィー 認証 ケービスを有効にする 確認 結果	ISCSI 仮想ディスクが正常にイ タスク ISCSI 仮想ディスクの作成 ISCSI ターゲットの作成 ターゲット アクセスの設定 ターゲットへの ISCSI 仮想ディスクの割	乍成されました。 進行状況	大部 先了 光了 光了 光了			
		<前へ(₽)	次∧Ŋ>	閉じる	キャンセ	IL

以上でiSCSIドライブの作成が完了です。

Chapter 4

共有フォルダの作成・管理

4.1 ファイルサーバー機能とは

Windows Storage Server 2016は、SMB接続、NFS接続で共有リソースへのアクセスを 提供し、クライアント-NAS間でのファイルの受け渡しを行うことができます。

NAS上に保存されたフォルダーに対してネットワーク経由でファイルの受け渡しを行う ことができる機能です。クライアントOS毎に標準で採用されているプロトコル(通信規 格)が異なるので、アクセスするOSに合わせたプロトコルでの設定が必要になります。 本製品でサポートしているプロトコルは以下の通りです。

- SMB(CIFS) ··· WindowsOS、MacOSXとの通信をサポート SMB3.1サポート
- ・NFS ……… Linux系OSとの通信をサポートNFSv4サポート
- FTP
- http (WebDAV)

ファイルサーバー機能の特徴としてファイルの受け渡しに「アクセス権」を設定すること が可能です。これはネットワーク上の特定のユーザーのみにファイルへのアクセスを許 可するものです。ユーザーの特定には、SMB(CIFS)プロトコルの場合ユーザー名とパス ワードが利用され、Windowsクライアントの場合、デフォルトではクライアントにログイ ンする際に使用されるログイン名とパスワードが自動的にNASにアクセスするための ユーザー名、パスワードとして利用されます。これとNAS側に登録されたユーザー名、パ スワードと照らし合わせてユーザーを承認します。



Workgroup エディションの場合、利用可能なユーザーアカウントは 50 アカウントまでです。 Standard エディションの場合、利用可能なユーザーアカウントに制限はありません。 いずれのエディションも1つのユーザーアカウントを利用できるのは1人のユーザーのみです。



共有フォルダの作成に先立ち、アクセス権の設定に必要なユーザーを登録します。

1 本製品の(リモート)デスクトップ上で「NAS ツール」を起動し、[ローカルユーザとグルー プ (ローカル)] をクリックします。



2 「ローカルユーザーとグループ (ローカル)」 画面が表示されますので、画面左にある [ユー ザー] 上で右クリックし、 [新しいユーザー] をクリックします。



3 「新しいユーザー」画面が表示されますので、必要事項を入力して [作成] をクリックし、 作成完了後 [閉じる] をクリックします。

新しいユーザー			?	×
ユーザー名(<u>U</u>): フル ネーム(<u>F</u>):				
説明(<u>D</u>):				
パスワード(<u>P</u>):				
バスワートの確認入	<u>ה (כ</u>):			
🗹 ユーザーは次回に	」グオン時にパスワードの変	更が必要(<u>M</u>)		
🗌 ユーザーはパスワ	ードを変更できない(<u>S</u>)			
🗌 パスワードを無期	限にする(<u>W</u>)			
□ アカウントを無効	(にする(<u>B</u>)			
ヘルプ(<u>H</u>)		作成(<u>E</u>)	閉じる((<u>)</u>

入力項目	説明
ユーザー名	クライアントログイン名を入力します。利用可能な文字は付録の設定制限表にてご 確認ください。
フルネーム	任意(NASの管理用)
説明	任意(NASの管理用)
パスワード	クライアントログインパスワードを入力します。 <使用不可文字> ?[] ;:"、< >! ¥ /* ※英字の大文字、小文字は、区別しません。全角の文字は使用しないでください。
パスワードの 確認入力	パスワードと同じフレーズを入力します。

チェック項目	説明
ユーザーは次回ログオン時にパスワードの 変更が必要	ユーザーは次回ログオン時に任意のパスワードを設定し ます。
ユーザーはパスワードを変更できない	管理者が設定したパスワードで運用します。
パスワードを無期限にする	無期限にチェックを入れる事により半永久的に同じパスワ ードで運用可能です。
アカウントを無効にする	無効にするにチェックを入れる事により作成したユーザー をロックできます。

※複数のユーザーを新規作成する場合は繰り返し行ってください。



4 「**ローカルユーザーとグループ(ローカル)」画面**で、作成したユーザーが一覧に表示されていることを確認します。

以上でユーザーの作成は完了です。

4.3 グループの作成

組織で NAS を利用する場合、アクセス権の設定をユーザー毎ではなく、ユーザーを束ね たグループ毎に設定することが可能です。グループでアクセス権を設定することで、組織 的な移動によるアクセス権の変更が楽に行えます。

1

| 本製品の(リモート)デスクトップ上で「NAS ツール」を起動し、[ローカルユーザとグルー プ(ローカル)] をクリックします。



2 「ローカルユーザーとグループ (ローカル)」 画面が表示されますので、画面左にある [グ ループ] 上で右クリックし、 [新しいグループ] をクリックします。

🔿 🖄	🖬 🖬 🖬 🖬					
ローカル ユー	ザーとグループ (ローカル)	名前		説明	操作	
ユーザー		Acces	s Control Assista	このグループのメンバーは、このコンピュー	グループ	
<u> </u>	#51 15 //II = #/AIN	Serie .	strators	コンピューター/ドメインに完全なアクセス	他们操作	
	新しいクルーノ(N)		Operators	Backup Operators は、パックアップの…	1003417	
	表示(V)	>	ate Service DC	このグループのメンバーは、エンタープライ		
	鼻茶の住むに面茶(D)		graphic Operat	メンバーは、暗号化操作の実行を許		
	展示の目前にとお()		uted COM Users	メンバーは、このコンピューターで分散 С		
	一覧のエクスホート(L)	•	.og Readers	このグループのメンバーは、ローカル コン		
	ヘルプ(H)			既定では Users グループのメンバーと同		
		an nyper	-V Administrators	このグループのメンバーには、Hyper-V		
		STINE INSTITUT	SRS	インターネット インフォメーション サービス		
		Se Netwo	ork Configuratio	このクルーフのメンバーはネットワーク機		
		Perfor	mance Log Users	このクループのメンバーは、このコンピュー		
		and Perfor	mance Monitor			
		and Power	rusers	Power Users は、彼方旦狭いにのい…		
			operators	アメイノ コノトローフーにイノストールされ		
		ON POS L	Indpoint Servers			
			emote Access S	TOTIL-JOH-K-K RemoteAnn		
		Remo	te Deskton Users	このグループのメンバーにはリモートからロ		
		Remo	te Management	このグループのメンバーは、管理プロトコ		
		Replic	ator	ドメイン内のファイル レブリケーションをサ		
		Storad	e Replica Admi	このグループのメンバーには、記憶域レプ		
		Syster	n Managed Acc	このグループのメンバーはシステムで管理		
		Users		ユーザーが、システム全体に及ぶ変更を		
		Acces	s-Denied Assista	Members of this group are provid		
		Group	00			

3	「新しいグループ」	画面が表示されますので、	グループ名、	説明	(任意)	を入力し	[追加]
	をクリックします。						

新しいグループ			?	×
グループ名(<u>G</u>):	usergroup01			
説明(<u>D</u>):				
所属するメンバー(<u>M</u>):			
追加(<u>A</u>)	削除(<u>R</u>)			
ヘルプ(<u>H</u>)		作成(<u>C</u>)	閉じる(<u>O)</u>

4 「ユーザーの選択」画面が表示されますので、[詳細設定] をクリックします。

※ ActiveDirectory (Windows ドメイン) に参加している場合、[場所] をクリックして 一覧から選択することでドメインユーザーとローカルユーザーのどちらからユーザーリ ストを取得するかを選択することができます。

ユーザー の選択	×
オブジェクトの種類の選択(<u>S</u>): ユーザー または ビルトイン セキュリティブリンシバル	オブジェクトの種類(<u>O</u>)
場所の指定(<u>F</u>):	
NSB-75S	場所(<u>L</u>)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):	
	名前の確認(<u>C</u>)
詳細設定(<u>A</u>)	キャンセル

5 [検索] をクリックします。

ユーザー の選択	2				×
オブジェクトの和 ユーザー またに 場所の指定の	重頬の選択(<u>S</u>): よ ビルトイン セキュリティブ! cv.	リンシバル	オブ	ジェクトの種類(<u>O</u>)	
NSB-75S				場所(<u>L</u>)	
共通クエリ					
名前(<u>A</u>):	次の文字で始まる ~			列(<u>C</u>)	
説明(<u>D</u>):	次の文字で始まる ~			検索(<u>N</u>)	
□無効に	なっているアカウント(<u>B</u>)			中止①	
前回ログオ	(のパスワード(<u>X)</u> (2)時からの日数(<u>(</u>):	\checkmark		9 9	
検索結果(<u>U</u>):	:		OK	キャンセル	
名前	フォルダー				

6 「検索結果」欄にユーザーが一覧表示されますので、グループに登録するユーザーを選 択し [OK] をクリックしてください。

		,
オブジェクトの種類の選択(5):		
ユーザー または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	7	ブジェクトの種類(<u>O</u>)…
場所の指定(<u>F</u>):		
NSB-75S		場所(<u>L</u>)
共通クエリ		
名前(<u>A</u>): 次の文字で始まる >		列(<u>C</u>)
説明(<u>D</u>): 次の文字で始まる ~		検索(<u>N</u>)
 □ 無効になっているアカウント(B) □ 無期限のパスワード(X) 		中止(1)
前回ログオン時からの日数([): 〜		<i>9</i>
検索結果(凵):	ОК	キャンセル
検索結果(<u>U</u>): S前 フォルダー	ОК	キャンセル
検索結果(U): 各前 フォルダー admin NS8-755	ОК	キャンセル
検索結果(<u>U):</u> 各前 フォルダー <mark>admin NS8-75S</mark> ALLAPPLIC	ОК	キャンセル
検索結果(U): 名前 フォルダー admin NSB-755 ALL APPLC ANONYMO	ОК	キャンセル
検索結果(U): 名前 フォルダー admin NS8-755 ALL APPLIC ANONYMO ANDRYMO Authenticat	OK	キャンセル
検索結果(U): 名前 フォルダー admin NSB-755 ALL APPLIC ANONYMO Authenticat BATCH CONSOLE L	ОК	キャンセル
検索結果(U): 名前 フォルダー Admin NSB-755 ALL APPLIC ANONYMO ANONYMO Authenticat BATCH CONSOLE L CREATOR G	ОК	キャンセル
検索結果(U): 名前 フォルダー admin NSB-755 ALL APPLIC ANONYMO Authenticat BATCH CONSOLE L CORSOLE L CREATOR G CREATOR G CREATOR G	ОК	キャンセル
検索結果(U): 名前 フォルダー Admin NS8-755 ALL APPLIC ANONYMO Authenticat BATCH CONSOLE L CREATOR G CREATOR G DefaultAcco NS8-755 DIALUP	ОК	キャンセル

- 7 「選択するオブジェクト名を入力してください(例)」欄に登録したユーザーが表示されます。 登録が完了しましたら、[OK] をクリックします。
 - ※ 複数のユーザーをグループ登録する場合は 4 ~ 6 を繰り返し(ユーザー分)作業を 行ってください。

ユーザー の選択	×
オブジェクトの種類の選択(<u>S</u>): ユーザー または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類(<u>O</u>)
場所の指定(<u>F</u>): NSB-75S	場所(<u>L</u>)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(<u>E</u>): <u>NSB-75S¥admin</u>	名前の確認(<u>C</u>)
詳細設定(<u>A</u>)	OK キャンセル

8 [作成] をクリックします。

新しいグループ			?	×
グループ名(<u>G</u>):	usergroup01			
説明(<u>D</u>):				
所属するメンバー(<u>M</u>):			
admin				
2				
追加(<u>A</u>)	削除(<u>R</u>)			
ヘルプ(<u>H</u>)		作成(<u>C</u>)	閉じる(<u>O</u>))

9 「ローカルユーザーとグループ(ローカル)」画面で、作成したグループが一覧に表示され ていることを確認します。

懇 lusrmgr - [ローカル ユーザーとグルー]	プ (ローカル)¥グループ]		-	\times
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) へ	ルプ(旦)			
🗢 🔿 🙍 📆 🙆 👔				
マーカル ユザービグループ (ローカル) ローカル ユザービグループ (ローカル) ユーガー ブループ ブループ	名前 名前 編 Access Control Assista 編 Administrators 編 Backup Operators 編 Cryptographic Operat 編 Cryptographic Operat 編 Distributed COM Users 編 Event Log Readers 編 Hyper'V Administrators 編 HS_USRS Metwork Configuratio 編 Performance Log Users 編 Pint Operators 編 RDS Chaption Servers 編 RDS Management Ser 編 RDS Remote Access S 編 Remote Management 編 Ropstem Desktop Users 編 Remote Management 編 Ropstem Desktop Users 編 Remote Management 編 System Managed Acc 編 Surge Replica Admi 編 System Managed Acc 編 Access-Denied Assista 編 Group00 編 usergroup01	記明 このグループのメンバーは、このコンビュー。 コンビューターパメインに完全なアクセス。 Backup Operators は、パクワアブの。 、 のフループのメンバーは、エンターブライ・ メンバーは、ごのコンビューターで分数 C. のプループのメンバーは、ローカル コン。 厳定では Users グループのメンバーと同 このグループのメンバーは、ローカル コン。 施定では Users グループのメンバーと同 このグループのメンバーは、ローカル・レリモ・ ロクブループのメンバーは、ローカル・レリモ・ ログリープのメンバーは、ローカル・レリモ・ アン・ ログリープのメンバーは、ローカル・レリモ・ アン・ ログリープのサーバーは、使用マンンを このグループのサーバーは、使用マンンを コングープのサーブのは、使用ートがら日 このグループのサンバーには、配着知たいを見 ログリープのメンバーには、配着知たいを コングープのメンバーには、配着知たいを コングリープのメンバーには、配着可とれた。 このグループのサーバーは、限制でリンを このグループのサーバーは、配着知たりを コングリープのメンバーには、配着知たいを コングリープのメンバーには、記様域レブー、 このグループのメンバーには、記様域レブー、 コング・ コープーが、システム全体になる変更を… Members of this group are provid…	操作 <i>列レーブ</i> 他の操作	•

以上でグループの作成は完了です。



2

[共有]をクリックし、「共有」画面を表示させます。

E	 ● • • ファイル 	, サ−ビスと記憶域サ−ビス・	共有	• ② 『 管理M ツールロ	表示(V) ヘルプ(H)
	サーバー ボリューム ディスク 記憶域ブール <u>共有</u> iSCSI ワークフォルダー	共有 すべての共有 会計: 1 アルター 共有 ローカル パス ・ NSB-75S (1) Public D¥Public ● Albin ②素検更新日 2017/08/18 10:48:34	<i>929</i> ▼ (■) ▼ (○) 7 S	ポリューム NSB-755 上の Public (D) 容量: 0.00 B NaN% 使用 ● 使用環境: 0.00 B ○ 空き領域: 0.00 B オリュームの限要に移動 > クオータ NSB-755 上の Public クオータが関連付けられていません。 クオータば NTFS ポリューム でのみサポートされ	920 ▼ 920 ▼



≧ サーバー マネージャー			- 🗆 X
 ・・・ファイル 	サービスと記憶域サービス・共有	・ ・ ② ┏ 管理(M) ッ-	·ル(T) 表示(V) ヘルプ(H)
■ サーバー ボリューム ■ ディスク 記憶域ブール ■ ▶ 共有 iSCSI ワークフォルダー	共有	ボリューム NER.755 上の Dublic 新しい天有 意知の情報に見新 0.00 8 マロームの版要に移動 > クオータが服達付けられていまた クオータは NTFS ポリュームでのみサポー	922 ▼ 0.00 B 0.00 B 922 ▼ 56.

4 「新しい共有ウィザード」が起動しますので、プロファイルを選択します。ここでは [SMB 共有 - 簡易]を選択して [次へ] をクリックします。

🖴 新しい共有ウィザード		- 🗆 X
この共有のプロファ <u> 7077イルの選択</u> 共有の場所 共有名 他の酸定 アクセス許可 確認 結果	イルを選択 ファイル共有ブロファイルルPi: SMB共有 - 歴見 SMB 共有 - 回点 SMB 共有 - アブケーション NFS 共有 - 密島 NFS 共有 - 高度	説明(D): つめ茎的なプロファイルでは、過意はWindows パースのコン ビューターとファイルそ共有するために使用する SMB ファイル共有 を最も速く作成できます。 ・ 一般的なファイルの共有に適しています ・ 後で (プロパティ) ダイアログを使用して高度なオプションを 構成できます
		<前へ (前への) (前への) (前への) (市成の) (中成の) (中のの)



5 「この共有のサーバーとパスの選択」画面が表示されますので、共有フォルダとするフォ ルダのサーバーと場所を指定して [次へ] をクリックします。

● ボリュームで選択する場合

ボリュームの最上位層に Shares と云う共有フォルダが作成されます。

● パスで指定する場合

共有フォルダの場所を指定するには [カスタムパスを入力してください] をチェックし、 パスの入力又は参照ボタンをクリックし、本製品上の任意のフォルダを指定します。

🚵 新しい共有ウィザード				-		×
この共有のサーバーと	_パスの選択					
プロファイルの理択	サーバー(<u>S</u>):					
共有の場所	サーバー名	状態	クラスターの役割	所有者ノード		
共有名	NSB-75S	オンライン	非クラスター化			
他の設定						
アクセス許可						
確認						
結果						
	共有の場所:					
	◉ ボリュームで選択(⊻):					
	ボリューム	空き領域	容量 ファイル システ	4		
	C:	88.1 GB	100 GB NTFS			
	ファイル共有の場所は	は、選択したボリューム トの ¥Sh	ares ディレクトリの新しし	ハフォルダーになります	ا ر ا	
	〇 カスタム パスを入力し	てください(T):				
					参照(B))
		< 前へ(P)	次へ(<u>N</u>) >	作成(C)	キャンセ	ll

6「共有名の指定」画面が表示されます。この共有フォルダの共有名と説明(任意)を入力 し、[次へ] をクリックします。

▶ 新しい共有ウィザード						-		×
共有名の指定								
プロファイルの選択 共有の場所 共有名 他の設定 アクセス許可 確認 結果	共有名(<u>A</u>): 共有の説明(<u>D</u>): (Ci¥Shares¥pub ① フォルダーが存 共有するリモート J ¥¥NSB-75S¥pu	public02 パス(山): パス(山): 注ことない場合は、そり パス(男): ublic02	カフォルダーが作成。	ėntt.				
			< 前へ(<u>P</u>)	次へ(N) >	作成(C)		キャンセノ	ł

7 「共有設定の構成」画面が表示されますので、必要事項を選択して、[次へ] をクリックします。

脑 新しい共有ウィザード	-		×
■ 新いい共有ウォザード 共有設定の構成 プロファイルの選択 共有の場所 共有名 他の設定 アクセス許可 確認 結果	 □ アクセスド可能定に基づいた別業を有効にする(Δ) アクセスペースの列撃により、ユーザーがアクセス許可を持つファイルとフォルダーだけが表示されま 読み取り(点たは同等の)アクセス許可を持つていないフォルダーは、そのユーザーに対して表示され 読み取り(点たは同等の)アクセス許可を持つファイルダース、そのユーザーに対して表示され ジー共有のPanchCache を有効にすると) アオル共有の PanchCache を有効にする(E) BranchCache を有効にする(E) BranchCache を有効にする(E) BranchCache を有効にする(E) アメキャッシュークーで安全に使用することができます。 「ナータ アクセスの暗号化(E) 有効にすると、この共有のたきたが暗号化されます。これによりデータを非 3階に許可されていないアクセスが5データが保護されます。このボックスがオンで、灰色表示にな は、管理者によってサーバー全体の暗号化がオンになっています。 	ロ す,ユーザ・ まません。 ・ キャッシュし 、 そ キャッシュし 、 こ 受 い ひ あ 、 こ ー ゲ ・ 、 ま せん。 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	× 信合に パンパン () () () () () () () () () (
	< 前へ(2) 次へ(2) > 作成(C)	キャンセ	ŀ

8 「アクセスを制御するアクセス許可の指定」画面が表示されます。フォルダーのアクセス許 可欄に現在のアクセス権の設定内容が表示されていますので、必要に応じて [アクセス 許可をカスタマイズする]をクリックし設定を変更します。アクセス権に問題がなければ[次 へ] をクリックします。

プロファイルの選択 共有の場所	共有のファ ポリシー (オ	イルに対するアクセス許可は、フォ. プション) の組み合わせを使用して	ルダ−のアクセス許 設定されます。	可、共有のアクセス許可、および集約型アク
共有名	共有のアク	セス許可: Everyone 読み取り専	1月	
他の設定	ノオルターの	アクセス計可(上):	マクセフ	· 海田牛
アノビス計判	1至双	CREATOR OWNER	フルコントロール	サブフォルダーとファイルのみ
	許可	BUILTIN¥Users	特殊	このフォルダーとサブフォルダー
花禾	許可	BUILTIN¥Users	読み取りと実	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイ
	許可	BUILTIN¥Administrators	フル コントロール	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイ
	許可	NT AUTHORITY¥SYSTEM	רעב אר	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル
	アクセス	許可をカスタマイズする(<u>C</u>)		

●アクセス権追加例

①「アクセスを制御するアクセス許可の指定」画面にて [アクセス許可をカスタマイズする] をクリックします。



③「アクセス許可エントリ」画面が表示されますので、「プリンシパルの選択」をクリックします。

▶ public02のアクセス許可エントリ	– 🗆 X
プリンショパ 「グリッジィアルの重要	
種類 許可 >>	
適用先: このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル 〜	
基本のアクセス許可:	高度なアクセス許可を表示する
マ読み取り	
□ 特殊なアクセス許可	
□これらのアクセス許可を、このコンテナーの中にあるオブジェクトやコンテナーにのみ適用する(D)	すべてクリア

 ④「ユーザーまたははグループの選択」画面が表示されますので、「選択するオブジェクト名を入力してください」欄にアクセス権を設定したいアカウント / グループを入力し、 「名前の確認」をクリックします。エラーが発生しなければ [OK] をクリックします。

ユーザー または グループ の選択	×
オブジェクトの種類の選択(<u>S</u>):	
ユーザー、グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類(<u>O</u>)
場所の指定(<u>F</u>):	
NSB-75S	場所(<u>L</u>)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(<u>E</u>):	
user01	名前の確認(<u>C</u>)
詳細設定(<u>A</u>)	ОК ++7/2//
⑤「アクセス許可エントリ」画面に戻りますので、種類、基本のアクセス許可の設定を行い、[OK] をクリックします。

📕 public02	2のアクセス許可エントリ			×
プリンシバ	ル: user01 (NSB-75S\user01) ブリンシバルの選択			
1至天見;				
適用先:	このフォルダー、サブフォルダー およびファイル 〜			
基本のア	クセス許可:	高度なアクセス	許可を表示	示する
	図 Jオルチーの内容の一見表示 (7)読み取り			
	□ 特殊なアクセス許可			
□ zhsa	Dアクセス許可を、このコンテナーの中にあるオブジェクトやコンテナーにのみ適用する(T)	-	すべてクリフ	9
-				
		ОК	キャンさ	211

●種類

項目	説明
許可	選択したプリンシパルに対してアクセス許可の設定内容を許可します。
拒否	選択したプリンシパルに対してアクセス許可の設定内容を拒否します。

●基本のアクセス許可

項目	説明
フルコントロール	フォルダー内のデータの操作に制限はありません。
変更	フォルダー内のデータの読込み、書込み、変更までが行えます。
読み取りと実行	ファイルとサブフォルダーの内容、属性、アクセス許可を表示し、アプリケー ションを実行できます。
フォルダーの内容の 一覧表示	フォルダー内のファイルとフォルダーを一覧表示できます。
読み取り	フォルダー内のデータの読込みが行えます。
書き込み	フォルダー内のデータの書込みが行えます。
特殊なアクセス許可	フォルダー内のデータに特殊なアクセス許可を適用できます。

⑥「セキュリティの詳細設定」画面に戻ります。「アクセス許可」タブにある [アクセス 許可エントリ] 一覧に追加内容が反映されていることを確認し、[OK] をクリックします。

ろ前: ┌★ ★		C:¥Shares¥public02			
桶	者:	Administrators (NSB-75S¥4	Administrators) 変更(<u>C</u>)		
' クt	2ス許可	共有 監査	有効なアクセス		
維	については	、アクセス許可エントリをダブルクリッ	ックしてください。アクセス許可エン	トリを変更するには、エントリをi	躍択し、[編集] (使用できる場合) をクリックします。
ታt	2ス許可エ 種類	ントリ: ブリンシパル	アクヤス	緋承元	適用先
2	許可	user01 (NSR=75S¥user01)	語み取りと実行	721.00	このフォルダー サブフォルダーおよびファイル
2	許可	SYSTEM	フル コントロール	G¥	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル
2	許可	Administrators (NSB-75S¥Admi	nistr フルコントロール	G¥	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル
2	許可	Users (NSB-75S¥Users)	読み取りと実行	C:¥	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル
2	許可	Users (NSB-75S¥Users)	特殊	C:¥	このフォルダーとサブフォルダー
2	許可	CREATOR OWNER	フル コントロール	C:¥	サブフォルダーとファイルのみ
ĩ	且力口(D)	削除(R) 編集(E)			
2	₹≹の無対	HE()			

以上でアクセス権の追加作業は完了です。

9 「選択内容の確認」画面が表示されますので、問題がなければ [作成] をクリックします。

🚵 新しい共有ウィザード			-		×
選択内容の確認					
プロファイルの選択 共有の場所 共有名 他の設定 アクセス許可 確認 結果	以下の設定が正しい 共 有の場所 サーバー: クススターの役割: ローカルパス: 共有のブロパティ 共有名: プロトコル: アクセスペースの列挙: キャッシュ: BranchCache: データの贈号化:	ことを確認し、[作成] をクリックしてください。 NSB-755 非クラスター化 Ci¥Shares¥public02 SMB 無効 有効 無効			
		<前へ(P) 次へ(N) > 作)	戎(<u>C</u>)	キャンセ	λ

10 共有フォルダ作成完了後「結果の表示」画面が表示されますので、[閉じる] をクリックします。

- ギリいせたらとぜ_ド				_		· ·
当初しい共有ショット					ш	
結果の表示						
	共有が正常に作成されま	した。				
共有の場所	87.0	法 法律归	44.69			
共有名	7入7 CMD 井安の作式	進1月1人流	小服			
	SIVID 共有のTFRC SMR アクセフ許可の設定		元」			
	SIND Y Y EXAT SUBJECT					
※年回						
石木						
		< 前∧ (D) 次∧ (N)			++1/17	711,

以上で SMB 共有フォルダの作成は完了です。

1



本製品の(リモート)デスクトップ画面で[スタートメニュー]にある[サーバーマネージャー] を起動し、画面左の [ファイルサービスと記憶域…] をクリックします。

چے۔ بر- ۲- ۲- ۲	ネージャー・ ダッシュボード			• 🗊 🏲 😤 🕬 "-1/0	表示(V) ヘルプ(H)
■ ダッシュポード ■ ローカル サーバー	サーバー マネージャーヘようこそ				
■ すべてのサーバー	1 200	ーカル サーバーの構成			
■ ファイル サービスと記信域サ >	<u>9179 29-HQ</u> 2 役	創と機能の追加			
	3 🖀	里するサーバーの追加			
	最新情報(W) 4 サー	パーグループの作成			
	5 20	サーバーをクラウド サービスに接続す	5		
	詳細情報(L)				非表示
	役割とサーバー グループ 役割の数:3 サーバー グループの数:1 サーバ	-の合計数: 1			
	IIS 1	Tアイルサービスと記憶域 サービス 1	🚔 印刷サービス 1	■ ローカル サーバー 1	
	 管理状態 	 管理状態 	 管理状態 	 管理状態 	
2	イベント	イベント	イベント	イベント	
	サービス	サービス	サービス	1 サービス	
	ハノオーマンス RDA 結果	ハリオーマリス RDA 結果	1/74-472	ハリオーマリス RDA 結果	
	DI GAUX	U O NUK		N A NA	
			2017/08/16 15:54	2017/08/16 15:54	
	E turne d				
	■ 9×(0)-/- 1				
	 管理状態 				
	1/(2)				
	1974-717				
	BPA 結果				
	2017/08/16 15:54				
					~
- P 🗆 🧯 🖡				^ 🖫 🔩 A	2017/08/16

2

[共有]をクリックし、「共有」画面を表示させます。

€	●・ ・・ ファイル	サービスと記憶域	サービス・共有	Ī	• 🕲 🖡	管理(M) ツール(I) 表示(V) ヘルプ(H)
	サーバー ボリューム ディスク 記値域ブール <u>共有</u> iSCSI ワークフォルダー	★有 すべての共有 合計・1 アパルター 共有 ▲ NSB-75S (1) Public く 曼絵更新日 2017/08/18 10	<u></u> の (達) ・ ローカル パス D3YPublic 148:34	929 • • • • • • • • •	ボリューム NSB-755 上の Public (D.) 容量: 0.00 B NaN% 使用 ボリュームの概要に移動 > クォータ NSB-755 上の Public クォータが開送 クォータは NTFS ポリン	<i>922</i> ▼ (使用領域: 0.00 8 ③き領域: 0.00 8 ③き領域: 0.00 8 ③き領域: 0.00 8 ③されていません。 むけけられていません。 コームでのみサポートされます。



≧ サーバー マネージャー			– D. X
 ・・・ファイル 	,サービスと記憶域サービス・共有	・ ② 🊩 管理(M) ッ−ル	レ(T) 表示(V) ヘルプ(H)
■ サーバー ボリューム ■ ディスク 記憶域ブール ■ ▶ 共有 iSCSI ワークフォルダー	共有	ボリューム MCD-375 L-D Dublic 新しい天雪 夏前の信報に見前 0.00 B 「NaN% 使用 ● 使用損地: 0.0 S パリュームの概要に移動> クオータ NSB-755 上の Public クオータは NTFS ボリュームでのみサポート >	927 • 20 B 0 B 927 • () () () () () () () () () ()

4 「新しい共有ウィザード」が起動しますので、プロファイルを選択します。ここでは [NFS 共有 - 簡易]を選択して [次へ] をクリックします。

🚵 新しい共有ウィザード		- 🗆 X
この共有のプロファ <u> </u>	1ルを選択 771ル共有プロファイル(P): SMB 共有 - 簡易 SMB 共有 - 商度 (NFS 共有 - 簡易 NFS 共有 - 簡易 NFS 共有 - 簡易	説明(D): この基本的なプロファイルでは、通常は UNIX ベースのコンピュー ターとファイル共共有するために使用する NFS ファイル共有を最も 速く作成できます。 ・ 一般的なファイルの共有に適しています ・後 で プロパテイ ダイアログを使用して高度なオプションを 構成できます
	<	前へ(P) 次へ(N) > 作成(C) キャンセル



5 「この共有のサーバーとパスの選択」画面が表示されますので、共有フォルダとするフォ ルダのサーバーと場所を指定して [次へ] をクリックします。

● ボリュームで選択する場合

ボリュームの最上位層に Shares と云う共有フォルダが作成されます。

● パスで指定する場合

共有フォルダの場所を指定するには [カスタムパスを入力してください] をチェックし、 パスの入力又は参照ボタンをクリックし、本製品上の任意のフォルダを指定します。

≧ 新しい共有ウィザード				-		×
マのサ左のサ バ	レパフの遅切					
この共有のリーハー	これの選択					
プロファイルの選択	サーバー(<u>S</u>):					
共有の場所	サーバー名	状態	クラスターの役割	所有者ノード		
共有名	NSB-75S	オンライン	非クラスター化			
設新						
共有のアクセス許可						
アクセス許可						
確認	0 この一覧には、フィルター	ーにより、NFS サーバーがインス	トールされたサーバーだけ	が表示されています。		
結果	共有の場所:					
	● ボリュームで選択(⊻):					
	ボリューム	空き領域	容量 ファイル システ	4		
	C:	88.1 GB	100 GB NTFS			
	ファイルサ友の場所け	潮切したポリュー/ トの メミト		\+ <i>ば_</i> _!_たりま?	+	
	○ カフタ/、パフを入力して	通いしたホッユ ムエのキ3日	ares y 10 y 100 million	12/17/22 12/0/201	· •	
		(ICEU(I))			恭昭(R)
					> 7#(D	
		<前へ(₽)	次へ(N) >	作成(C)	キャンセ	JL

6「共有名の指定」画面が表示されます。この共有フォルダの共有名と説明(任意)を入力 し、[次へ] をクリックします。

≧ 新しい共有ウィザード		-		×
共有名の指定				
ブロファイルの選 択 共 有の場 所 共有名 認証 共有のアクセス許可	共有名(山): NFS-public 共有するローカル パス(山): [C+SharesNNFS-public ① フォルダーが存在しない場合は、そのフォルダーが作成されます。			
アクセス許可 確認 結果	NSB-75\$:/NFS-public			
	<前へ(P) 次へ(N) >	作成(C)	キャンセ	μ

7 「認証方法の指定」画面が表示されますので、環境にあった方法を選択して、[次へ]を クリックします。

🏊 新しい共有ウィザード		-		×
認証方法の指定				
プロファイルの選択 共有の場所	この NFS 共有に使用する認証方法を指定します。			
共有名	Kerberos v5 認証			
認証	└ Kerberos v5 認証 (Krb5)(<u>K</u>))
共有のアクセス許可	□ Kerberos v5 認証と整合性 (Krb5i)(!)			
アクセス許可	○ Kerberos v5 認証とプライパシー (Krb5p)(R)			
	11 n ^e =====+=1			
結果				
	$ = y - f(-s_0) = - (x_0) - ($			
	(リンピッピッピックリンピンを有効にするに) (リンピッピンと有効にするに)			
	 ● 610/610 による(ワンC1000のないユーダーアンビスと目 うする(位) ■ 唐名アクセスを許可する(Δ) 			
	<前へ(P) 次へ(M) > 作成		キャンセ	μ

8 「共有のアクセス許可を指定」画面が表示されますので、「追加」をクリックします。

プロファイルの選択	サーバーでは	、以下に示されている	の順序で共有のアクセス	許可を評価します。ファ	イル共有に対する	最終的な」	アク
共有の場所 サ 有 夕	ス許可は、 いアクセス計 名前	共有のアクセス許可。 F可が適用されます。	Eントリと NTFS アクセス	(許可エントリの両方を	考慮して決定され	、より制限(ወ <u>ጅ</u> (
大市相	-140		2 CARLS	Nº TYTEX			
■◇□□□							0
アクセン語可							
な思							

9 「アクセス許可の追加」画面が表示されます。NFS 共有フォルダにアクセス可能とするデバイスを指定方法より選択し、「追加」をクリックします。

📥 アクセス許可の追加		×
NFS 共有へのアクセス許可を アクセス許可お上び言語のエン	ホスト、クライアント、または netgroup に	付与します。共有の
) ホスト(<u>H</u>):		
netgroup(<u>G</u>):		~
クライアント グループ(<u>C</u>):		
All <u>M</u> achines		
言語のエンコード(L):	共有のアクセス許可(<u>S</u>):	
ANSI	> アクセスなし	¥
🗌 ルート アクセスを許可する	(推奨しません)(<u>R</u>)	
	追加(<u>A</u>)	キャンセル(<u>N</u>)

項目	説明
ホスト	アクセス可能なクライアントのホスト名を直接入力します。
netgroup	ホストグループ単位でアクセスを許可します。
クライアントグループ	クライアントグループ単位でアクセスを許可します。
All Machines	全てのクライアントからのアクセスを許可します。

項目	説明
言語のエンコード	アクセスするクライアントの言語コードを設定します。
共有のアクセス許可	指定したクライアントのアクセスの種類を指定します。

10 「共有のアクセス許可を指定」画面に戻りますので、アクセス権が追加されていることを確認し、[次へ]をクリックします。

共有のアクセス許	可を指定					
	1 218/2					
プロファイルの選択	サーバーでは、以下に示されてい	いる順序で共有のアクセス計	・可を評価します。フォ	マイル共有に対する 考慮 て決定され	最終的なア	アクセ
共有の場所	いアクセス許可が適用されます	•		-5 /8 UC // AEC14	< 9- 3 m 1800	UNECU
共有名	名前	アクセス許可	ルート アクセス	エンコード		
認証	◆ すべてのコンピューター					
共有のアクヤス許可	すべてのコンピューター	読み取り/書き	許可しない	ANSI		U
アクセス許可						
加即						
x4 甲						
作来						
	追加(<u>A</u>) 編集(<u>E</u>)	削除(R)				

11 「アクセスを制御するアクセス許可の指定」画面が表示されますので、必要であればアクセス許可をカスタマイズし、問題なければ [次へ] をクリックします。

📥 新しい共有ウィザード				- 0	×
アクセスを制御する	アクセス	、許可の指定			
プロファイルの選択 共有の場所	共有のファ⁄ ポリシー (オ	イルに対するアクセス許可は、フォ. プション) の組み合わせを使用して	ルダ−のアクセス許 「設定されます。	可、共有のアクセス許可、および集約型ア	クセス
共有名	フォルダーの	アクセス許可(E):			
第 20 吉正	種類	プリンシパル	アクヤス	適用先	
共有のアクセス許可	許可	CREATOR OWNER	フルコントロール	サブフォルダーとファイルのみ	
アクセス許可	許可	BUILTIN¥Users	特殊	このフォルダーとサブフォルダー	
確認	許可	BUILTIN¥Users	読み取りと実	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイ	
結果	許可	BUILTIN¥Administrators	フル コントロール	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイ	
	許可	NT AUTHORITY¥SYSTEM	רעב אר	このフォルダー、サブフォルダーおよびファイル	l l
	アクセス	許可をカスタマイズする(<u>C</u>)			
		<	前へ(P) 次へ	\(Ŋ) > 作成(C) キ ヤ:	ッセル

12 「選択内容の確認」画面が表示されますので、問題がなければ [作成] をクリックします。

🖻 新しい共有ウイザード			-		×
選択内容の確認 プロファイルの選択 共有の場所 共有名 認証 共有のアクセス許可 アクセス許可 確認 結系	以下の設定が正(共有の場所 サーバー: クラスターの役割: ローカルパス: 共有のプロパティ 共有名: プロトコル。	しいことを確認し、[作成] をクリックしてください。 NSB-75S 非クラスター化 C:¥Shares¥NFS-public NFS-public NFS			
		<前へ(P) 次へ(N) > 作詞	t(C)	キャンセ	IL



13 共有フォルダ作成完了後「結果の表示」画面が表示されますので、[閉じる]をクリックします。

以上で NFS 共有フォルダの作成は完了です。

4.6 共有フォルダアクセス権の設定変更(SMB)

共有したフォルダーに共有フォルダのアクセス許可を割り当てることができます。共有フォ ルダのアクセス許可は次の3種類です。これらのアクセス許可は、ローカルまたはドメイ ンのユーザーとグループに追加することが可能です。

●共有フォルダのアクセス許可

アクセス許可	内容
読み取り	フォルダー内のファイルとサブフォルダーを表示できます。また、ファイルの内容、 属性、アクセス許可を表示し、アプリケーションを実行できます。
変更	[読み取り] に加えて、ファイルとサブフォルダーの追加と削除ができます。また、 ファイルの内容を変更できます。
フルコントロール	ファイルに対してすべての操作ができます。

最終的なユーザーのアクセス許可は、NTFS アクセス許可と共有フォルダのアクセス許可の制限の高い方が採用されます。例えば、NTFS アクセス許可が、「読み取り」で、共有フォルダのアクセス許可が「変更」の場合、最終的なアクセス許可は「読み取り」になります。

本製品の(リモート) デスクトップ画面で[スタートメニュー] にある[サーバーマネージャー] を起動し、画面左の [ファイルサービスと記憶域…] をクリックします。





2 [共有]をクリックし、設定変更する共有フォルダを右クリックし、 [プロパティ]をクリック します。

た サーバ	ーマネージャー					– 🗆 X
\mathbf{E}	⋺・ ・・ ファイル	サービスと記憶	域サ−ビス・共有		• 🕝 🚩 音理(M) ツール() 表示(V) ヘルプ(H)
	サーバー ボリューム ディスク 記憶域ブール <mark>共有</mark> iSCSI ワークフォルダー	 共有 すべての共有 合 ブパルター 共有 NSB-755 (4) NFS-public2 NFS-public2 public02 public2 	計: 4 ■ 「」 C:¥Shares¥NFS-public2 C:¥Shares¥PNFS-public2 C:¥Shares¥public02 C:¥Shares¥public2	タスク ▼ (用) ▼ ⊙ プロトコル NFS SMB クオータの構成… 共有の停止 土本を聴く プロパテイ	ボリューム NSB-755 上の public02 (C:) 雪量: 100 GB 12% 使用 ● 使用領域: 12.0 GB ● ②き領域: 88.0 GB 2=	 920 ▼ 927 ▼ 72を開きます。

共有フォルダの「プロパティ」画面が表示されますので、画面左のメニューから [アクセ 3 **ス許可**]をクリックし、次に [アクセス許可をカスタマイズする]をクリックします。

🛃 public02 のプロパティ				_		×
public02						
すべて表示 全略 + <u>アクセス許可 -</u> 設定 + 管理プロパティ +	アクセス 共有のファ・ 可、および! す。 共有のアク	(計一) (ルに対するアクセス許可は、フォ、 集約型アクセスポリシー (オプショ) セス許可: Evervone 読み取り専	ルダーのアクセス許 ン) の組み合わせを 専用	可、共有の :使用して診	アクセス許 定されま	
	フォルダーの 種類	アクセス許可(E): プリンシパル	アクヤス	適用先		
	許可	CREATOR OWNER	フル コントロール	サブフォル	ダーとファイ	JLO
	許可	BUILTIN¥Users	特殊	このフォル	ダーとサブフ	771
	許可	BUILTIN¥Users	読み取りと実	このフォル	ダー、サブフ	771
	許可	BUILTIN¥Administrators	ע-םאכב אוכ	このフォル	ダー、サブフ	771
	許可	NT AUTHORITY¥SYSTEM	ע-םאכב אוכ	このフォル	ダー、サブフ	771
	許可	NSB-75S¥user01	読み取りと実行	このフォル	ダー、サブフ	771
	< アクセス	許可をカスタマイズする(<u>C</u>)				>
		(OK キャン	ルレ	適用(<u>A</u>)

カスタマイズする方法は Chapter 4「4.4 共有フォルダ(SMB)を作成する」(→ P104) の8項を参照ください。

設定が完了したら [**OK**] をクリックします。 Δ

以上で共有フォルダアクセス権の設定変更(SMB)は完了です。

4.7 フォルダアクセス権の設定変更(NTFS)

NTFS でフォーマットしたボリュームのファイルとフォルダーに NTFS アクセス許可を割り当 てることができます。基本となるアクセス許可は、次の6種類です。これらのアクセス許 可は、ローカルまたはドメインのユーザーとグループに追加することが可能です。

●NTFS アクセス許可

アクセス許可	内容
フォルダ内容の 一覧表示	フォルダー内のファイルとフォルダーを表示できます(フォルダーのアクセス許可のみ)。
読み取り	ファイルとサブフォルダーの内容、属性、アクセス許可を表示できます。
読み取りと実行	ファイルとサブフォルダーの内容、属性、アクセス許可を表示し、アプリケーショ ンを実行できます。
書き込み	ファイルとサブフォルダの内容を表示と変更ができます。
変更	ファイルとサブフォルダの内容を表示と変更できます。また、削除をおこなうこと ができます。
フルコントロール	ファイルとサブフォルダに対してすべての操作ができます。



本製品の(リモート)デスクトップ画面で **[PC]** をダブルクリックし、設定を変更したいフォルダーを選択します。右クリックで表示されたメニューより **[プロパティ**] をクリックします。





	はユーザー名(G	i):				
	OR OWNER					
SYSTEM	1	75004				
St Users (1	Strators (INSB-	- / 55#Admin ~)	istrators)			
		-,				
アクセス許可	を変更するには	[編集]をク			編集(E)	
リックします。						
アクセス許可	(P): CREATOR	OWNER		許可	拒否	
フル コントロ	コール					^
変更						
読み取りと	実行					
	内容の一覧表	示				
フォルダーの						
フォルダーの 読み取り						
フォルダーの 読み取り 書き込み						
フォルダーの 読み取り 書き込み 特殊なアク	セス許可			~		~

3 該当フォルダーの「アクセス許可」

画面が表示されます。

📙 ローカル ディスク (C:) のアクセス許可		×			
セキュリティ					
オブジェクト名: C:¥ グループ名またはユーザー名(<u>G</u>):					
K CREATOR OWNER					
SYSTEM					
Administrators (NSB-75S¥Admin	istrators)				
Ma Users (NSB-755#Users)					
	追加(<u>D</u>)	削除(<u>R</u>)			
アクセス許可(<u>P</u>): CREATOR OWNER	許可	拒否			
フル コントロール		□ ^			
変更					
読み取りと実行					
フォルダーの内容の一覧表示					
読み取り					
ОК	キャンセル	適用(<u>A</u>)			

●既存のアクセス権を変更する場合

画面上の「グループ名またはユーザー名」一覧から変更したいグループ名 / ユーザー 名を選択し、画面下の「アクセス許可」でチェックボックスを選択し、「適用〕をクリッ クします。

●既存のアクセス権を削除する場合

画面上の「グループ名またはユーザー名」一覧から削除したいグループ名 / ユーザー 名を選択し、[削除]をクリックします。

●新規にアクセス権を設定する場合

[追加] をクリックし、ユーザー / グループを追加、設定するアクセス種別を選択します。



- 1
- 本製品の(リモート)デスクトップ画面で[スタートメニュー]にある[サーバーマネージャー] を起動し、画面左の [ファイルサービスと記憶域…] をクリックします。

サーバーマネ	マージャー・ ダッシュボード			• 🕄 🏲 🛛 🕬 "-ka	表示凶 へばし
■ ダッシュポード ■ ローカル サーバー ■= オペイのサーバー	サーバーマネージャーへようこそ				
■ 5 (05) パ ■ 77/ルサービスと記憶域サ ト	1 この日 24ック スタート(Q) 2 役害	ーカル サーバーの構成 別と機能の追加			
	■新牌報(W) 3 管理 ● 4 サー 5 ごの	里するサーバーの追加 パー グループの作成 サーバーをクラウド サービスに接続す	6		
	詳細情報(L) 注細情報(L)		۵ ۵		非表示
	後部の数:3 サーバーグループの数:1 サーバー で IIS 1	0合計数:1 アケイルサービスと記憶域 1 サービス 1	印刷サービス 1	■ ローカル サーバー 1	
	 (す) 管理状態 イベント サービス パフォーマンス BRA 純果 	 (1) 管理状態 イベント サービス パフォーマンス BDA 結果 	(す) 管理状態 イベント サービス パフォーマンス	 (1) 管理状態 イベント 1) サービス パフォーマンス RDA 結果 	
	U D RLA	U A 10A	2017/08/16 15:54	2017/08/16 15:54	
	 すべてのサーパー 1 管理状態 イベント サーバコ 				
	サービス パフォーマンス BPA 結果				
# P @ 🤌 🗮	2017/08/16 15:54			^ 떭 4# A	15:56 2017/08/16

2 [共有] をクリックし、設定変更する NFS 共有フォルダを右クリックし、 [プロパティ] をクリックします。

► サー/	- マネージャー				- D X
	● ・・ ファイル [・]	サービスと記憶	域サ−ビス・ ≠	ŧ有	 ◆ ② ど 管理(M) ツール(T) 表示(V) ヘルプ(H)
	サーバー ボリューム ディスク 野信博ブール ・ 共有 iSCSI ワークフォルダー	 共有 すべての共有 合計 ブイルター 共有 NSB-755 (3) Public public2 	 μ μ	<u>₹727</u> (#) ▼ ♥ 5 5	ボリューム NSB-75S 上の NFS-public2 (C:) 容量: 100 GB 11.9% 使用 使用領域: 11.9 GB 空き領域: 88.1 GB
		NFS-public2	C#Shares#NFS-put	クォータの構成 井布の停止 プロパティ	… Δの概要に移動 > クオータ NSB-755上の NFS-public2 クオータが関連付けられていません。 クオータを設定するには、(クオータの構成) ダイアログ ボックスを開きま す。

3 共有フォルダの「プロパティ」画面が表示されますので、画面左のメニューから [NTFS アクセス許可] をクリックします。

🛃 NFS-public2 のプロパティ	-		×
NFS-public2			
サバて表示 全般 + <mark>設証 -</mark> 共者のアクセス許可 + NTFS アクセス許可 + 管理プロバティ +	認証 Kerberos v5 認証 ✓ Kerberos v5 認証 (Krb5)(K) □ Kerberos v5 認証と整合性 (Krb5)(I) □ Kerberos v5 認証とブライバシー (Krb5p)(R) サーバー認証なし UT/-の記証なし (AUTH_SYS)(S) □ ヤーバー認証なし (AUTH_SYS)(S) □ マップされていないユーザーアクセスを有効にする(E) □ UD/GID によるマップされていないユーザー アクセスを許可する(U) ■ 電名アクセスを許可する(A)		
	OK キャンセル	適用(/	٤)

4 NFS 共有フォルダの「NTFS アクセス許可」画面が表示されますので、必要な設定を行い [OK] をクリックします。

🛃 NFS-public2 のプロパティ				-		×
NFS-public2						
すべて表示 全般 + 認証 + 共有のアクセス許可 + NTFS アクセス許可 -	NTFS ア 共有のファイJ アクセス ポリ:	クセス許可 ルに対するアクセス許可は、フォ シー (オブション)の組み合わせる	ルダーのアクセス許 E使用して設定され	可、共有のアクセス許可、i ます。	および集約団	텓
6注/□)(74 +	/ 1102-007 種類 許可 許可 許可 許可 許可 許可 許可 アクセス計	プリンシバル CREATOR OWNER BUILTIN¥Users BUILTIN¥Users BUILTIN¥Administrators NT AUTHORITY¥SYSTEM 印をカスタマイズする(C)…	アクセス フル コントロール 特殊 読み取りと実 フル コントロール フル コントロール	適用先 サブフォルダーとファイルの このフォルダーとサブフォル このフォルダー、サブフォル このフォルダー、サブフォル このフォルダー、サブフォル	み ダー ダーおよびフォ ダーおよびフォ ダーおよびフォ	Pイ Pイ Pイル >
			0	K キャンセル	適用(A	9

以上で共有フォルダアクセス権の設定変更(NFS)は完了です。

4.9 クォータ

Windows Storage Server 2016 には、フォルダクォータ機能が搭載されており、フォル ダー単位で利用可能容量の上限値を設定することができます。クォータには FSRM クォー タ(フォルダクォータ)と NTFS クォータ(ユーザクォータ)が存在します。二つの違いは 次の通りです。

機能	FSRM クォータ	NTFS クォータ
制限対象	フォルダー単位 ボリューム単位	ボリューム上のユーザ単位
使用量の算出	実際のディスク領域	論理ファイルサイズ

4.9.1 クォータの設定(FSRM クォータ / フォルダクォータ)

FSRM クォータでは、フォルダー単位で利用可能容量の上限値を設定することができます。

- 1 本製品の(リモート)デスクトップ画面で[スタートメニュー]にある[サーバーマネージャー] を起動し、画面左の[ファイルサービスと記憶域…]ー [共有] をクリックします。
- 2 「共有」画面中央にある共有フォルダー覧から設定する共有フォルダを選択し、画面右下 にあるクォータエリアのタスクプルダウンメニューより [クォータの構成] をクリックします。

トレーズ・	- マネージャー				- 0	×
\mathbf{E}	●・ ・・ ファイル	サービスと記憶	域サービス・ 共有	Ī	 ・ ・ ・	ルプ(H)
	サーバー ボリューム ディスク 記憶域プール 共有 iSCSI ワーク フォルダー	 	計: 3 ローカル パス D:¥Public C:¥Shares¥public2 C:¥Shares¥NFS-public2	927 - - O s s	ボリューム NSB-755 上の NFS-public2 タスク ▼ (C:) 容量: 100 GB 11.9% 使用 ● 使用領域: 11.9 GB ● ② 意領域: 88.1 GB バリュームの感要に移動 > クォータ NSB-755 上の NFS-public2 クオータが関連付けられていません。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
					クォータを設定するには、[クォータの構成] ダイアログ ボックスを開きま す。	

3 「クォータの構成」画面が表示されます。 クォータ テンプレートを選択し、 [OK] をクリッ クします。

🔁 クォータの構成	×
クォータの構成	
サーバー名: NSB-75S	
共有名: NFS-public2	
フォルダー パス: C:¥Shares¥NFS-public2	
□ すべてのユーザーのクォータを自動的に作成および適用する	
クォータ テンプレートの選択(<u>Q</u>):	
10 GB の制限 ^	
10 TB ボリュームの使用率の監視	
100 MB 制限	
2 GB の制限	
200 GB ボリュームの使用率の監視	
テンプレートの要約:	
テンプレート名: 10 GB の制限	
制限: 10.0 GB ハード 通知のLまい/de・3	
85% - 電子メール	
95% - イベント、電子メール	
100% - イベント、電子メール	
OK キャンセル	

以上でクォータの設定は完了です。

4.9.2 クォータの設定 (NTFS クォータ / ユーザクォータ)

NTFS クォータでは、ボリューム単位でユーザーが使用できるディスクサイズを制限することができます。

1

本製品の(リモート)デスクトップ画面で [PC] をダブルクリックし、設定を変更したいフォ ルダーを選択します。右クリックで表示されたメニューより [プロパティ] をクリックします。



2 該当フォルダの「プロパティ」画面が表示されますので、クォータタブを選択し、必要事 項にチェックを入れ [OK] をクリックします。

💺 ローカル ディスク (C:)のプロパティ		×
全般 ツール ハードゥ シャドウ コピー 以前のバージョン	⁺ ₽ [±] 有 クォータ 分類	セキュリティ NFS 共有
大態: ディスク クォータは無穷	Ъ	
✓ クォータの管理を有効にする(E)		
□ クォータ制限を超過したユーザーの)ディスク割り当てを拒否	する(<u>D</u>)
このボリューム上の新規ユーザーに対す ださい。	する既定のクォータ制限(値を選択してく
・ディスクの使用を制限しない(Q))	
○ディスク領域を制限する(L)	無制限	\sim
警告レベルの設定	無制限	\sim
このボリュームに対するクォータ ログの:	オプションを選択してくださ	<u>s</u> u.
□ ユーザーがクォータ制限値を超えた	たらイベントをログに記録	する(<u>G</u>)
□ ユーザーが警告レベルを超えたら~	イベントをログに記録する	(V)
	クォータ	エントリ(<u>Q</u>)
ОК	キャンセル	適用(<u>A</u>)

以上でクォータの設定は完了です。



ファイルスクリーンの管理を利用すると、ファイル名や拡張子を指定してファイルの保存 許可・拒否を設定できます。管理者やイベントログなどで不要なデータの書き込みが無 いかを確認できます。

1 サーバーマネージャーの画面右上にある [ツール] をクリックし、プルダウンメニューより、 [ファイル サーバー リソース マネジャー] をクリックします。

ار پر	(- マネ-シャ- ● ▼ ・・ ファイル	サービスと記憶	或サ−ビス・共有	- 🕑 🚩 See(M)	- ロ X
	サーバー ボリューム ディスク 記憶域ブール <mark>共有</mark> iSCSI ワークフォルダー	新 デスでの共有 会話 フィルター 共有 ・ NSB-75S (3) Public public2 NFS-public2	+: 3 77.7 ▼ ♪ (E) ▼ ♥ □-カルパス 7 D:¥Public S C:¥Shares¥public2 S C:¥Shares¥NFS-public2 N	ボリューム NSB-7SS上の NFS-public2 (C.) 雪量: 100 GB 11.9% 使用 ● 使用領求 ② 空き領球 ブリュームの概要に移動 > クオータ NSB-7SS上の NFS-public2 デンプレート: 10 GB の制限 種類: 10ド 制限: 100 GB 状態: 有効 自動的に適用されました いいえ 0% 使用 ● 使用៖ ③ 空き領球 通知のしまい値: 3 85% - 電子メール 100% - イベント、電子メール	Microsoft Azure サービス NFS 用サービス ODBC データ ソース (32 ビット) ODBC データ ソース (64 ビット) Windows PowerShell Windows PowerShell (866) Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE Windows Server // ックアップ Windows Server // ックアップ Windows Apulyabiti イベント ビューアー インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー コンポーネット サービス サービス サービス リンポーネット サービス サービス リンポーネット サービス サービス リンポーネット サービス サービス システム連載 セキュリティが強化された Windows ファイアウォール タスク スケジューラ ディスク クリーンアップ ドライブのデラクビ最適化 (*フォーニッフ エールー リンース モニター ローカル セキュリティ ポリシー 印刷の管理

2

画面左のツリーリストより [ファイルスクリーンの管理] - [ファイルスクリーン] と順にクリックし、画面右の操作ウインドウにて [ファイルスクリーンの作成] をクリックします。

🌆 ファイル サーバー リソース マネージャー		- 0	×
ファイル(<u>F</u>) 操作(<u>A</u>) 表示(<u>V</u>) ヘルプ(<u>H</u>)			
🗢 🄿 🙍 🖬 🛛 🖬			
🌆 ファイル サーバー リソース マネージャー (ローカ,	2 <u>ィル</u> すべて表示 0 項目	操作	
マ 12 ファイル スクリーンの答理	ファイル スクリーン スクリーン ファイル グループ ソース テンプレート テン	יי_וולק וואקר	<u> </u>
		睯 ファイル スクリーンの作成	
		▶ ファイル スクリーンの例外を作成	
□ ファイル クルーフ □ コディル クルーフ □ 記憶域レポートの管理		 	
> 🙆 分類管理		表示	•
📑 ファイル管理タスク		2 ヘルプ	

3 「ファイルスクリーンの作成」画面が表示されますので、各項目を設定し、[作成] をクリックします。

ファイル スクリーンの作成 X
ファイル スクリーンのパス(P):
ファイル スクリーンのプロパティ ファイル スクリーンのテンプレートからプロパティを使うか、またはカスタム ファイル スクリーンのプロパティを定義することができます。 ファイル スクリーンのプロパティをどのように構成しますか?
オーディオとビデオのファイルのブロック ~ 〇 カスタム ファイル スクリーンのブロパティの定義(C): カスタム ブロパティ(R)…
ファイル スクリーンのフロハティの要称入SF □・ファイル スクリーン: ・・ソース テンプレート:オーディオとビデオのファイルのブロック ・・・スクリーン処理の種類: アクティブ ・・・ファイル グルーブ:オーディオとビデオのファイル ・・・ 通知: 電子メール、イベント ログ
作成キャンセル

項目	説明
ファイル スクリーンのパス	ファイルスクリーンを設定するフォルダーを指定します。
ファイルスクリーンの プロパティ	スクリーンするファイルの種類をテンプレートより選択します。希望するテン プレートが無い場合は [カスタム ファイル スクリーンのプロパティの定義] を選択し、カスタム プロパティを作成します。

以上でファイルスクリーンの管理は完了です。

4.11 記憶域レポートの管理

記憶域レポートの管理を構成すると、定期的にディスクの使用状況やクォータ、ファイル スクリーンに関するレポートを作成できます。

●作成できるレポート一覧

- ・ クォータの使用率
- ・ ファイルスクリーン処理の監査
- 最近アクセスしたファイル
- ・ 所有者ごとのファイル

- ファイルグループごとのファイル
- 最近アクセスされていないファイル
- 重複しているファイル
- ・ 大きいサイズのファイル
- 1 サーバーマネージャーの画面右上にある [ツール] をクリックし、プルダウンメニューより、 [ファイル サーバー リソース マネジャー] をクリックします。

€ ● ・ ・・ ファイル サ-	-ビスと記憶域サ-ビス				
		・共有	• 🕲 I 🧗	管理(M)	して、 表示(Y) ヘルプ(H)
 ・ポリューム ・ポリューム ・ポリューム ・ディスク ・記憶域ブール ・記憶域ブール ・ ・ ・	またでの共有 合計・3 オバマの共有 合計・3 オバク・ 大有 ・ NSB-75S (3) Public D:¥Public D:¥Public C:¥Shares¥Publ NFS-public2 C:¥Shares¥NF	920 ■	ボリューム NSB-755上のNFS-public2 (CC) 容量: 100 11.9%使用 ポリュームの概要に移動 > クォータ	GB 使用領対 空き領対	ISCS1 イ_ジュージー Microsoft Azure サービス NFS 用サービス ODBC データ ソース (32 ビット) ODBC データ ソース (64 ビット) Windows PowerShell (x66) Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE Windows Server /(ソクアップ Windows Xモリ診断 イベント ビューター インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー コンピューターの管理 コンポーネント サービス サービス サービス サービス
			135 / 33 上の Nr3 public. デンブレード: 種類: 制限: 水超: 自動的に適用されました 0% 使用 通知のしきい値: 3 85% 電子メール 95% 電子メール	10 GB の制限 ハード 10.0 GB 有効 いいえ 使用៖ 【 空き領域	システム情報 セキュリティが強化された Windows ファイアウォール タスク スケジューラ ディスク クリーンアップ ドライブのデフランと最速化 パフォーマッフェニター ファイル・サーバー リソース マネージャー リソース モニター ローカル セキュリティ ポリシー 印刷の管理

2 画面左のツリーリストより [記憶域レポートの管理] をクリックし、画面右の操作ウインド

≧∋ ファイル サーバー リソース マネージャー				-		\times
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)						
🗢 🔿 📶 📓 📷						
🎭 ファイル サーバー リソース マネージャー (ローカ. 🔰 レポー レポー スコープ フォル スケジ 状態 前回 前 次	<u>راا</u>	操作	F			
> 🦾 クォータの管理		17 H	きばしポートの管理			
記憶域レポートの管理		2	新しいレポートのタス	クのスケ	ジュール	
	Ì	1	レルニトラスン用のレ	שרראוי	JE/JUC FI	J
■ ノアイル管理シスク			レポートを今すぐ生き	むする		
		a	最新の情報に更新			
			表示			•
		?	ヘルプ			
		L				

ウにて [新しいレポートのタスクのスケジュール] をクリックします。

3 「記憶域レポートタスクのプロパティ」画面が表示されます。「設定」タブで監視するボリューム / フォルダと生成するレポートの種類、形式を選択します。

記憶域レポートタスクのプロパティ	_		×
設定 スコープ 配信 スケジュール			
レポート名:			
レポート データ 生成するレポートの選択(<u>P</u>):			
 ✓ クォータの使用率 ✓ ファイル グループごとのファイル ✓ ファイル ブループごとのファイル ✓ レポートを は、レポー ✓ 東訳したレポートの表示(V) 	ーターの緒 構成する トのラベ	痛集 るに ルを ラメー	
すべての記憶域レポートの対象とするファイルの最大数 最大数(<u>M</u>): 1000			
レポートの形式 「 DHTML(<u>D</u>) HTML(<u>M</u>) XML(<u>X</u>) CSV(<u>i</u>	<u>c</u>)	テ ╪スト(<u>1</u>	.)
0	K	キャン	セル

項目	説明
レポート名	任意のレポート名を設定します。
レポートデータ	生成するレポートの種類をチェックボックスで選択します。
レポートの形式	レポートのファイル形式をチェックボックスで選択します。

4 次にスコープタブで監視するボリューム / フォルダと生成するレポートの種類、形式を選択 します。

記憶域レポートタスクのプロパティ	_		×
設定 スコープ 配信 スケジュール			
次の種類のデータを格納するすべてのフォルダー	を含めます:		
 □ アプリケーション ファイル □ グループ ファイル □ バックアップおよびアーカイブ ファイル □ ユーザー ファイル 			
このスコープに含まれるフォルダー:			_
フォルダー	フォルダーの使用	法	
)户tro	書山民会	
	20/10	日小四本	
	OK	キャン	セル

項目	説明
次の種類のデータを 格納するすべての フォルダーを含めます	格納しているデータの種類を選択します。
このスコープに含まれる フォルダー	追加をクリックし、監視するボリューム / フォルダを選択します。

5 「スケジュール」タブにてタスクを実行するスケジュールを設定し、[OK]をクリックします。

記憶域レポート タスクのプロ	パティ	—)
設定 スコープ 配信	スケジュール		
実行時期: 11:29:	06		
◉ 毎週	○ 毎月		
	□ 月曜日	□ 火曜日	
□水曜日	□ 木曜日	□ 金曜日	
□土曜日			

以上で記憶域レポートの管理設定は完了です。

4.12 ファイル分類管理 (FCI)

ファイル分類管理を利用すると、長期間アクセスの無いファイルを削除したり、特定のキーワードを含むデータを特定のフォルダーへの移動を自動的に行うことが可能です。

サーバーマネージャーの画面右上にある [ツール] をクリックし、プルダウンメニューより、
 [ファイル サーバー リソース マネジャー] をクリックします。

► サ- <i>I</i>	- マネージャー				– 🗆 X
E	🄊 🔹 🔹 ファイル	√ サービスと記憶は	或サービス・共有	• ② F 音理(M) 🗾	ル(1) 表示(V) ヘルブ(H)
	サーバー ボリューム ディスク 記憶域ブール <mark>共有</mark> iSCSI ワークフォルダー	 共有 すべての共有 合目 ブイルター 共有 NSB-755 (3) Public public2 NFS-public2 	13 927 P iii ▼ □-ħ//(ス D:¥Public C:¥Shares¥NFS-public2	ボリューム NSB-755上の NFS-public2 (C:) 雪量: 100 GB 11.9% 使用 ● 使用領水 ② さ領球 S S N ガリュームの概要に移動 > クオータ	NGC N 1 - 2 J - 2
				NSB-/55 上の NrS-public2 デンプレード: 10 GB の制限 種類: ハード 制限: 10.0 GB 状態: 有効 自動的に適用されました いいえ 0% 使用 ■ 使用す 1 ■ 空き領域 通知のしきい値: 3 85% - 電子メール 95% - イベント、電子メール	システム撮影 セキュリティが強化された Windows ファイアウォール タスク スケジューラ ディスク クリーンアップ ドライブのデフラグと最速化 パームーロッフ エーター ファイル サーバー ロリース マネージャー リソース モニター ローカル セキュリティ ポリシー 印刷の管理

2 画面左のツリーリストより [分類管理] をダブルクリックし、[分類プロパティ] をクリック、 画面右の操作ウインドウにて [ローカルプロパティの作成] をクリックします。

콜 ファイル サーバー リソース マネージャー						- 🗆 X
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H))					
🗢 🔿 🙍 🖬 🚺						
🌆 ファイル サーバー リソース マネージャー (ローカ.	/ 名前	スコープ	使用状況	種類	使用可能な値	操作
> よう クォータの管理	🔄 アクセス拒否ア	ローカル	フォルダー管理	文字列		☆類プロパティ
> 査 アイルスクリークの管理	🔄 フォルダーの使	ローカル	フォルダー管理	複数の選択	アプリケーション	🛃 ローカル プロパティの作成
✔ 🛅 分類管理	📋 フォルダー所有	ローカル	フォルダー管理	文字列		G 最新の情報に更新
⑤ 分類プロパティ						🛃 フォルダー管理プロパティの設定
ころう ファイル管理タスク						表示

3 「ローカル分類プロパティの作成」画面が表示されます。各項目を設定し、[OK] をクリックします。

1-カル分	う類プロパティの)作成					×	
全般								
名前	葥(N):							
≣捝E	明(<u>D</u>):							
	プロパティの種類	(I)						
	はい/いいえ					\sim		
	他の分類規	則またはファイ 「「を上書き」」	ル内容によって ます。	提供される値	"(‡()" (t 🔨		
						Ť		
	値	説明						
		<u> </u>						
	6.61	17		_				
					r I	train	H7 11	
				0	N	410	C70	

項目	説明
名前	プロパティの名前を入力します。
説明	プロパティの説明を入力します。
プロパティの種類	プロパティの種類を選択します。ファイルに割り当てるプロパティはカスタ マイズが可能です。

4 画面左のツリーリストより [分類管理] – [分類規則] をクリック、画面右の操作ウイン ドウにて [分類規則の作成] をクリックします。

🌆 ファイル サーバー リソース マネージャー								_		×
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)										
🗢 🄿 🙍 🖬 🛛 🖬										
🔤 ファイル サーバー リソース マネージャー (ローカ,	/ 規則名	スコープ	フォルダーの	分類方法	プロパテ	プロパテ	操作	ŧ		
> そう クォータの管理							分#	ā #目 目		^
> M ファイル スクリークの管理 見 記憶域レポートの管理							5 1	分類規則の作成		
✔ 🛅 分類管理								分類スケジュールの構成		
								すべての規則で今すぐ分	頬を実行	する
								分類の取り消し		
							Q	最新の情報に更新		
								表示		•
							?	ヘルプ		



5 「分類規則の作成」画面が表示されます。「全般」タブで必要事項を設定します。

項目	説明
規則名	規則名を入力します。
説明	規則の説明を入力します。

6 「スコープ」タブで分類対象となるフォルダーと格納しているデータの種類を選択します。 フォルダーは複数選択可能です。

分類規則の作成	×					
全般 スコープ 分類 評価の種類						
次の種類のデータを格納するすべてのフォルダー	-を含めます:					
 □ アプリケーション ファイル □ グループ ファイル □ バックアップおよびアーカイブ ファイル □ ユーザー ファイル 						
このスコープに含まれるフォルダー:						
フォルダー	フォルダーの使用法					
」 フォルダー管理プロパティの設定…	注自力…					
ヘルプ(圧)	OK キャンセル					



「分類」タブをクリックし、必要事項を設定し、[OK]をクリックします。

分類規則の作成	×
全般 スコープ 分類 評価の種類	
分類方法 ファイルにプロパティを割り当てる方法を選択してください(C):	
Windows PowerShell 分類子 🛛 🗸	
Windows PowerShell スクリプトを使用してファイルを分類します。	
プロパティ	
ファイルに書り当てるプロパティを選択してください(の):	
test01 v	
値の指定(V):	
<分類方法で指定された値>	
注意: 割り当てられた値は、他の分類規則のより重要な値と結合されるか 上書きされる可能性があります。	
パラメーター この分類方法には追加の構成パラメーターが必要です。	
構成(<u>N</u>)	
へルプ(H) OK キャンオ	7JL

●分類方法

-		
	項目	説明
ン害	アァイルにプロパティを 」り当てる方法を選択	次の項目から選択します。
	Windows Power Shell 分類子	PowerShell スクリプトに基づいて分類基準を決定します。
	コンテンツ分類子	ファイルの内容に基づいて指定した条件と一致するもののみを分類します。
	フォルダー分類子	フォルダーパスに基づいて分類プロパティを一括設定できます。

●プロパティ

項目	説明
プロパティ名	分類プロパティで作成した設定を使用します。
値の指定	プロパティの値を選択します。

●パラメーター

分類方法に基づくパラメータを設定します。

以上でファイル分類管理は完了です。

4.13 分散ファイルシステム (DFS)

レプリケーション、フェイルオーバー対応(DFS-R)

Windows Server の機能である DFS^{*}を利用することで、2 台以上の NAS を利用してデー タのレプリケーションとフェイルオーバーが実現できます。 DFS-R(レプリケーション)を利用すれば、遠隔地に設置された NAS であってもデータ が自動的に同期されるので万が一のときにも、データを保護することができます。 データへのアクセスは、名前空間サーバ(DFS-R)が提供する仮想フォルダを経由する ため、いずれかの NAS に障害が発生しても切り替え作業は不要です。自動的に他方の NAS ヘリダイレクトされ(フェイルオーバー)継続使用が可能です。

本設定は Active Directory環境で「名前空間サーバー」となる Windows Server が必要です。 本章では Windows Server に「名前空間サーバー」の設定をする手順を説明します。



※ DFS を利用するには Active Directory 環境が必要です。

- ① ユーザーは「名前空間サーバー」の仮想フォルダへアクセスします。
- ②「名前空間サーバー」から NAS「A」または NAS「B」いずれかにリダイレクトします。 どちらかの NAS に障害が発生した場合は自動的に他方へリダイレクトし、障害を回 避します。
- ③ 定期的にファイルを複製し、どちらかの NAS に障害が発生した場合、他方の NAS にリ ダイレクトアクセスされるため、障害時でも最新のデータを確認することが可能です。

4.13.1 分散ファイルシステム (DFS) のインストール

出荷時状態では DFS 機能がインストールされていません。初回設定時にはインストール 作業が必要となります。

本項は「名前空間サーバー」となる Windows Server および本製品双方に行ってください。

1

7

本製品の(リモート)デスクトップ画面で、[スタートメニュー] にある [サーバーマネー ジャー] を起動し、[ダッシュボード] より [役割と機能の追加] をクリックします。



「役割と機能の追加ウィザード」ウィンドウが表示されますので、「次へ」をクリックします。



3 「インストールの種類の選択」画面が表示されますので、 [役割ベースまたは機能ベースの インストール]をチェックして、 [次へ] をクリックします。

🔁 役割と機能の追加ウィザード		-		×
インストールの種類	の選択	NAS	対象サー 1.nastest.le	۰/۲– ocal
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	インストールの種類を選択します。役割および機能は、実行中の物理コンピューター、仮想コンピ の仮想ハード ディスク (VHD) にインストールできます。 ④ 役割ペースまたは機能ペースのインストール は、マロッフェーム、のみじつな粉にさ コノAUしく、1 台のサーバーを構成します。 〇 リモート デスクトップ サービスのインストール 仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) に必要な役割サービスをインストールして、仮想マ ッペースのデスクトップ展開を作成します。	ユーター、ま シン ペープ	またはオフ: スまたはセ	۶イン ッショ
	<前へ(P) 次へ(N) > インスト	-ル(<u>)</u>	キャンセ	JL

4 「対象サーバーの選択」画面が表示されますので、[サーバープールからサーバーを選択] が選択され、リスト上にインストールするサーバーが表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

≧ 役割と機能の追加ウィザ−ド				-		×
対象サーバーの選択	5			NAS	対象サー 1.nastest.k	-/(- ocal
開始する前に	役割と機能をインストールす	るサーバーまたは仮想ハー	ドディスクを選択します。			
インストールの種類 サーバーの選択	 ● サーバー ブールからサーバ ○ 仮想ハード ディスクから追 	ーを選択 翼択				
サーバーの役割 機能	サーバー プール					
確認結果	名前	IP アドレス	オペレーティング システム			
	NAS1.nastest.local	169.254.217.23.	. Microsoft Windows Server 201	9 Standard		
	1 台のコンビューターが見つか このページには、サーバー マネ それ以降のリリースの Wind てデータ収集が完了していな	りました ージャーの [サーバーの追) ows Server を実行して いサーバーは表示されま	ロ] コマンドを使用して追加された、Wi いるサーバーが表示されます。オフライン さん。	ndows Serve サーバーや、新	er 2012 ま fたに追加	that is the second seco
		< 前	へ(E) 次へ(N) > イン	ストール(1)	キャンセ	JL

5 「サーバーの役割の選択」画面が表示されますので、「役割」欄の [ファイルサービスと 記憶域サービス] をクリックして展開し、その中の [ファイルサービスおよび iSCSI サービス] をクリックして展開します。

▲ 役割と機能の追加ウィザ−ド サーバーの役割の選	択	ー ロ X 対象サーバー NAS1.nastest.local
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	 選択したサーバーにインストールする役割を1つ以上選択します。 201 デバイス正常性構成証明 アナイル サービスと記憶域サービス (6/12 個をインストール% アナイル サービスおよび iSCSI サービス (5/11 個をインストール% アチクリケーション PFS 名前空間 iSCSI ターゲット むーバー iSCSI ターゲット むーバー ISCSI ターゲット記憶域プロバイダー (VDS および) アドラ サーバー (1/2 トール済み) データ重複除去 (インストール済み) データ重複除去 (インストール済み) アイル サーバ (- VSS エラ・ジャー (インストール) ワーク フォルダー ジ 記憶域サービス (インストール済み) ボりューム ライセンス認証サービス リモート アクセス リエート デフカトッゴ ++・ピュ 	説明 DFS 名前空間は、異なるファイル サーバー にある共有フォルダーを 1 つまたは複数 の論理的に構造化された名前空間に集 約します。各名前空間は、ユーザーに対し て一連のサブフォルダーを格納した単一の 共有フォルダーとして表示されます。しか し、名前空間以下の構成には、複数のサ イトにある異なるサーバー上の多数の共有 フォルダーが含まれることがあります。
	< 前へ(P) 次へ(N)> インストール() キャンセル

6 表示された一覧から、 [DFS 名前空間] の前の□をクリックします。

≧ 役割と機能の追加ウィザード		- 🗆 X
 	 選択したサーバーにインストールする役割を1つ以上選択します。 没割 デバイス正常性場成証明 オットワークポリシーとアクセスサービス アイルサービスと記憶域サービス (6/12 個をインストールが アイルサービスおよび iSSI サービス (5/11 個をイン) アイルサービスおよび iSSI サービス (5/11 個をイン) アイルサービスおよび iSSI サービス (5/11 個をイン) アイルサービスやおよび iSSI サービス (5/11 個をイン) アイルサービス (インストール済み) データ重複除去 (インストール済み) データ重複除去 (インストール済み) アーク ファイル 田 BranchCache アコマイル サービス (5/11 個を (2/2) 	ー レ ×
	 ● ファイル ジーバー V/S エーションド ジーとス (1)ストール ● フーク フォルダー ● フーク フォルダー ✓ 記憶域サービス (1)ストール済み) □ ポリューム ライセンス認証サービス □ リモート アクセス □ リモート デフカトップ サービュ × 	
	<前へ(P) 次へ(N)	インストール(1) キャンセル

7 [DFS 名前空間] の前の□をクリックすると同時に DFS 管理ツールのインストールを促す 画面が表示されますので、[管理ツールを含める] をチェックし [機能の追加] をクリック します。

▶ 役割と機能の追加ウィザード	×
DFS 名前空間 に必要な機能を追加しますか?	
この機能を管理するには次のツールが必要ですが、同じサーバーにインストールす る必要はありません。	
 ▲ リモート サーバー管理ツール ▲ 役割管理ツール ▲ ファイル サービス ツール [ツール] DFS 管理ツール 	
✓ 管理ツールを含める (存在する場合) 機能の追加 キャンセル	

8 「サーバーの役割の選択」画面に戻りますので、 [DFS 名前空間] の前の□にチェックが 付いたことを確認して、 [DFS レプリケーション] の前の□をクリックします。

🏊 役割と機能の追加ウィザード		– 🗆 X	
サーバーの役割の選	択	対象サーバー NAS1.nastest.local	
開始する前に	選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。		
インストールの種類	役割	説明	
サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	 デバイス正常性場成証明 ネットワ-ク ポリシーとアクセス サービス ファイル サービスと記憶域サービス (6/12 個をインストール) ファイル サービスおよび iSCSI サービス (5/11 個をイン) ア・ル サービスおよび iSCSI サービス (5/11 個をイン) ISCSI ターゲット サーバー ISCSI ターゲット サーバー ISCSI ターゲット シーバー ISCSI ターゲット記憶域ブロバイダー (VDS および NFS サーバー (インストール済み) データ重複除去 (インストール済み) データ重複除去 (インストール済み) データ重複除去 (インストール済み) データ重複除去 (インストール済み) ア・クル サーバ・ SI ニジェント サービス (インストール) ワーク フォルダー 記憶域サービス (インストール) ワーク フォルダー 記憶域サービス (インストール) リモート アクセス IIエート ディクトップ サービス 	DFS レブリケーションはマルチマスター レブ リケーション エンジンであり、これを使用す ることでローカルまたはワイド エリア ネット ワーク (WAN) のネットワーク接続全体に わたる複数のサーバー上のフォルダーを同 期できます。DFS レブリケーションでは、 RDC (Remote Differential Compression) プロトコルを使用して最終 レブリケーション時以後に変更されたファイ ルの部分のみを更新します。DFS レブリ ケーションは、DFS 名前空間と組み合わ せて使用することも、単独で使用すること もできます。	
< 前へ(P) 次へ(N) > インストール(D) キャンセル			

9 [DFS 名前空間] と [DFS レプリケーション] の前の□にチェックが付いていることを確認し、 [次へ] をクリックします。

🔁 役割と機能の追加ウィザード		- 🗆 X
サーバーの役割の選	択	対象サーバー NAS1.nastest.local
開始する前に	選択したサーバーにインストールする役割を1つ以上選択します。	-4 00
サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果		DFS レブリケーションはマルチマスター レブ リケーション エンジンであり、これを使用す ることでローカルまたはワイド エリア ネット ワーク (WAN) のネットワーク接続全体に わたる複数のサーバー上のフォルダーを同 期できます。DFS レブリケーションでは、 RDC (Remote Differential Compression) プロトコルを使用して最終 レブリケーション時以後に変更されたファイ ルの部分のみを更新します。DFS レブリ ケーションは、DFS 名前空間と組み合わ せて使用することも、単独で使用すること もできます。
	<前へ(P) 次へ(N)	> 1>21-1/10 +++>201/2

10 「機能の選択」画面が表示されますので、そのまま [次へ] をクリックします。

🔁 役割と機能の追加ウィザード		– 🗆 X
機能の選択		対象サーバー NAS1.nastest.local
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの没割 機能 確認 結果	選択したサーバーにインストールする機能を 1 つ以上選択します。 ###	説明 .NET Framework 3.5 は、魅力的なユー ザーインターフェイスや、ユーザーの個人情 報の保護、シームレスで安全な通信、幅 広いビジネス プロセスをモデリングする機 能を提供するアプリケーションを構築できる 新しいテプノロジと、NET Framework 2.0 API の強力な機能とを組み合わせます。
	<前へ(P) 次へ(N)	インストール(1) キャンセル
11 「インストールオプションの確認」画面が表示されますので、内容を確認し [インストール] をクリックします。

🔁 役割と機能の追加ウィザード		-		×
インストール オプショ	この確認	NAS	対象サー 1.nastest.lo	/(- ical
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	 選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[インストール]を 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する オブションの機能(管理ツールなど)は、自動的に選択されるため、このページに表示されている可 のオブションの機能をインストールしない場合は、[前へ]をクリックして、チェック ボックスをオフにし ファイル サービスと記憶域サービス ファイル サービスおよび iSCSI サービス DFS レブリケーション DFS 名前空間 リモート サーバー管理ツール 役割管理ツール アイル サービス ツール DFS 管理ツール DFS 管理ツール 	クリックし 能性がす てください	-てください. 	, n6
	構成設定のエクスポート 代替ソ−ス パスの指定			
	<前へ(P) 次へ(N) > インストー	νU	キャンセ	IL

12 「インストールの進行状況」画面が表示されます。

「インストールが正常に完了しました」と表示されたことを確認したら、[閉じる]をクリックします。



以上で分散ファイルシステム(DFS)のインストールは完了です。

4.13.2 DFS 名前空間の作成

本作業以降は DFS 名前空間を管理するサーバー(以降「名前空間サーバー」と表記) で実施します。

			– 🗆 X
≔ジャー・ダッ	シュボード	• ② 🏲 管理(1	M) チール(T) 表示(V) ヘルプ(H)
サーバー マネージャーへよ	jz₹		Active Directory サイトとサービス Active Directory ドメインと信頼関係 Active Directory ユーザーとコンピューター Active Directory 音短センター
	1 このローカル サーバーの構成		DFS の管理
クイック スタート(Q)	2 役割と機能の追加		iSCSI イニシェーター Microsoft Azure サービス
	3 管理するサーバーの追加		ODBC Data Sources (32-bit)
最新情報(W)	4 サーバー グループの作成		ODBC テーク ソース (64 ビット) Windows PowerShell
	5 このサーバーをクラウドサービスに接続する		Windows PowerShell (x86) Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE (x86)
詳細情報(L)			Windows PowerShell 用の Active Directory モジュール

2 「DFS の管理」 ウィンドウが開きますので、ウィンドウ内右側の [新しい名前空間] をクリックします。

New Section 2015		– 🗆 X
췀 ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	- 8 ×
🗢 🄿 🞽 📰 🗟 🖬		
沓 DFS の管理	名前空間	操作
2 名前空間 、 取しプリケーション	名前	名前空間
	このビューに表示する項目はありません。	🍰 新しい名前空間
		🞥 名前空間の表示
		管理アクセス許可の委任
		表示
		ここから新しいウィンドウ
		🔜 一覧のエクスポート
		? ヘルプ

^{1 「}サーバーマネージャー」の画面右上にある [ツール] をクリックし、プルダウンメニュー より [DFS の管理] をクリックします。

3 「新しい名前空間ウィザード」ウィンドウが開き、「名前空間サーバー」画面が表示されま すので、[参照]をクリックします。

◎ 新しい名前空間ウィザード ○ ★ 2 名前空間サーノ	7-	_3		×
ステップ: 名前空間の名前と設定 名前空間の種類 設定の確認と名前空間の作成 確認	名前空間をホストするサーバー名を入力してください。指定したサーバーは、名前空間 サーバーとして認識されます。 サーバー(S): 参照(B)			
	<前へ(P) 次へ(I	< (1/	キャンセ	91. I

- 4 「コンピューターの選択」画面が表示されますので、名前空間サーバーをコンピューター 名で指定します。
 - ①下の「選択するオブジェクト名を入力してください」欄にコンピューター名を入力し、 [名前の確認]をクリックします。
 - 2 サーバーの存在がドメイン上で確認できるとアンダーバーが入るので、その後[OK]を クリックします。

コンピューターの選択	×
オブジェクトの種類の選択(S):	
コンピューター	オブジェクトの種類(O)
場所の指定(F):	
nastest.local	場所(L)
	名前の確認(C)
詳細設定(A)	OK キャンセル



5 「名前空間サーバー」画面に戻りますので、「サーバー」欄に 4 で指定したコンピューター 名が入力されたことを確認して、「次へ」をクリックします。

	r-	_		×
ステッフ: 名前空間の名前と設定 名前空間の種類 設定の確認と名前空間の作成 確認	名前空間を木入トするサーバー名を入力してください。指定したサーバーは、名前空間 サーバーとして認識されます。 サーバー(S) dfs-server 参照(B)			
	<前へ(P) 次へ()	4) >	キャンセ	IL I

6 「名前空間の名前と設定」画面が表示されますので、DFS名前空間名を決定します。(DFS 名前空間名は任意)

「名前」欄に DFS 名前空間名を入力します。入力し終わったら [設定の編集] をクリック します。

💁 新しい名前空間ウィザード				×
名前空間の名前	うと設定			
ステッチ: 名前空間サーバー 名前空間の名前と設定 名前空間の種類 設定の確認と名前空間の作成 確認	名前空間の名前を入力してください。この名前は、名前空間パスで ¥¥Server¥Name または ¥¥Domain¥Name などのサーバー名またはドメイン名の後に表示されます。 2-2-#f(Δ) DFSTest 199: PUDIIC ウイザードは、必要に応じて共有フォルダーを名前空間サーバーに作成します。ローカ ル パスやアクセス許可などの共有フォルダーの設定を変更するには、「設定の編集」を クリックしてください。 設定の編集(E)			
	< 前へ(P)	N) >	キャンセ	94

7 「設定の編集」ウィンドウが表示されますので、DFS 名前空間として使用する共有フォルダーの設定を行います。

「共有フォルダーのローカルパス」は規定値から変更する必要はありません。 「共有フォルダーのアクセス許可」は任意の設定を選択してください。

(ここでは[**すべてのユーザーが読み取り/書き込みアクセス許可を持つ**]を選択しています) 設定が完了したら [**OK**] をクリックします。

設定の編集	>
名前空間サーバー(N):	
dfs-server	
共有フォルダー(S):	
DFSTest	
共有フォルダーのローカル パス(L):	
C:¥DFSRoots¥DFSTest	参照(0)
 すべてのユーザーが読み取り専用アクセス許可を持て すべてのユーザーが読み取り/書き込みアクセス許可 管理者はフルアクセス権を、その他のユーザーは読み)(A) を持つ(W) ◆取り専用アクセ
○ ス許可を持つ(D)	
○ 管理者はフル アクセス権を、その他のユーザーは読み ○ アクセス許可を持つ(M)	▶取り/書き込み
○ カスタムのアクセス許可を使用(U): カスタマイズ(2	.)
ОК	キャンセル

MEMO

ここでは共有フォルダーに対する共有アクセス権を設定しています。

№ 以下のように共有アクセス権が共有フォルダーに対して設定されます。

読み取り専用アクセス許可	読み取り
「読み取り/書き込みアクセス許可	変更
フル アクセス権	フルコントロール

またユーザーはグループ単位での設定となり、以下に対して共有アクセス権が設定されます。

管理者	Administrators グループ
その他のユーザー	everyone

9 「名前空間の種類」画面が表示されます。ここでは [ドメインベースの名前空間] が選択 されていることを確認し、 [次へ] をクリックします。

	5名前空間の種類を選択してください。	
ステッナ: (作成す) 名前空間の名前と設定 ● ドメ 名前空間の種類 してります 設定の確認と名前空間の作成 ごります 確認 □ 「ドメ・ 「「ドメ・ 「「ドメ・ 「「「ドメ・ (1) 「「「」」」 (2) 「「」」 (2) 「」」 (2) 「」」」 (3) 「」」」 (4) 「」」」 (5) 「」」」 (4) 「」」」 (5) 「」」」 (5) 「」」」 (5) 「」」」 (5) 「」」」 (5) 「」」」 (5) 「」」」 (5) 「」」」 (5) 「」」」 (5) 「」」」 (5) 「」」」 (5) 「」」」 (5) 「」」」 (5) 「」」 (6) 「」」」 (7) 「」」」 (7) 「」」」 (7) 「」」」 (7) 「」」」 (7) 「」」 (7)	(ンベースの名前空間の) ノハニへびとつ町上口はよ、1つまたは複数の名前空間サーバーおよび Active Directory ドメイ ・ビスに格納されます。複数のサーバーを使用すると、ドメイン ベースの名前空間の可用性を向 きます。Windows Server 2008 モードで作成したドメイン ベースの名前空間では、スケーラビリテ コ上し、アクセス ベースの列挙機能もサポートされます。 Windows Server 2008 モードを有効にする(E) (ン ベースの名前空間のブレビュー(R): astest.local#DFSTest ンドアロンの名前空間(S) パアロンの名前空間(S) パアロンの名前空間(S) パアロンの名前空間のブレビュー(V): is-server¥DFSTest く 前へ(P) ンケへ(N) キャン]



10 「設定の確認と名前空間の作成」 画面が表示されますので、問題なければ [作成] をクリックします。

※ 新しい名前空間ウィザード ※ 新しい名前空間ウィザード ※ 設定の確認と名	前空間の作成			×
ステップ: 名前空間サーバー 名前空間の名前と設定 名前空間の種類 設定の確認と名前空間の作成 確認	新しい名前空間に以下の設定を選択しました。設定が正しい場合は、[作成] をクリ ックして新しい名前空間を作成します。設定を変更するには、[前へ] をクリックするか、 作業項目ウィンドウで適切なページを選択します。 名前空間の設定(S): 名前空間の設定(S): 名前空間ですべ、はServer 2008 モード) 名前空間サーバ、はServer 2008 モード) 名前空間サーバー、はServer 2008 モード) 名前空間 2008 モード 名前空間 2008 モード) 名前空間 2008 モード 名前空間 2008 モード 名称 2008 モード 名称 2008 モード) 名称 2008 モード 名称 2008 モード) 名称 2008 モード)			
	<前へ(P) [作5	\$(E)	キャンセ	96

- 11 「確認」画面が表示されますので、「タスク」欄の「名前空間を作成します。」が「成功」 と表示されていることを確認し、【閉じる】をクリックします。

 新しい名前空間ウィザード ####################################			_		×
ステップ: 名前空間サーバー 名前空間の名前と設定 名前空間の種類	 新しい名前空間ウィザードを正常 タスク エラー 	に完了しました。			
設定の確認と名前空間の作成	タスク	状態			
			(- 閉じる(C)

12 「DFS の管理」ウィンドウに戻りますので、「名前空間」欄に設定した DFS 名前空間が表 示されていることを確認します。

沓 DFSの管理		– 🗆 X
🚰 ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	_ 8 ×
🗢 🄿 🙍 🖬 🗟 🔽 🖬		
Notes の管理	名前空間	操作
> 20 名前空間 、 20 レプリケーション	名前	名前空間
	22 ¥¥nastest.local¥DFSTest	🧱 新しい名前空間
		🍰 名前空間の表示
		管理アクセス許可の委任
		表示
		ここから新しいウィンドウ
		📄 一覧のエクスポート

以上で DFS 名前空間の作成は完了です。

4.13.3 DFS 名前空間へのフォルダーの登録

作成した DFS 名前空間に、NAS の共有フォルダーを登録します。 本作業は名前空間サーバーで実施します。

※ 作業を始める前に、あらかじめ NAS に、登録する共有フォルダーを作成しておいてく ださい。

「サーバーマネージャー」の画面右上にある [ツール] をクリックし、プルダウンメニュー より [DFS の管理] をクリックします。

		– 🗆 X
·ジャ- ・ ダッ	シュボード	・ ② │
サーバー マネージャーへよ	528	Active Directory サイトとサービス Active Directory ドメインと信頼関係 Active Directory ユーザーとコンピューター Active Directory ゴーザーとコンピューター Active Directory 管理センター
	1 このローカル サーバーの構成	DFS の管理
クイック スタート(Q)	2 役割と機能の追加	iSCSI イニシェーター Microsoft Azure サービス
	3 管理するサーバーの追加	ODBC Data Sources (32-bit)
最新情報(W)	4 サーバー グループの作成	UBL 7-7 7-7 (64 27F) Windows PowerShell Windows PowerShell
	5 このサーバーをクラウド サービスに接続する	Windows PowerShell ISE Windows PowerShell ISE
詳細情報(L)		Windows PowerShell 用の Active Directory モジュール

2 「DFS の管理」ウィンドウが表示されますので、画面左側の [名前空間] をクリックし、表示される DFS 名前空間の中からフォルダーを追加したい DFS 名前空間をクリックして選択します。

選択したら、画面右側の [新しいフォルダー] をクリックします。

沓 DFSの管理		- 🗆 ×
🍓 ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	- 8 >
🗢 🄿 🖄 🖬 🚺 🖬		
- - 	¥¥nastest.local¥DFSTest (Windows Server 2008 モードのドメイン ベース)	操作
✓ 過 名則空間 > 読 ¥¥nastest.local¥DFSTest	名前空間 名前空間サーバー 委任 検索	¥¥nastest.local¥DFSTest
Bis in administration	0個のエントリ	📸 新しいフォルダー
	種類 名前 /	名前空間サーバーを追加 管理アクセス許可の委任
		名前空間の非表示
		表示 ここから新しいウィンドウ
		🗙 削除
		วียパティ
		2 へルブ

3 「新しいフォルダー」ウィンドウが表示されますので、追加したいフォルダー名を決定します。 (フォルダー名は任意)

「名前」欄にフォルダー名を入力します。入力できたら「追加」をクリックします。

新しいフォルダー	>
-左击(N)-	
名前空間のフレビュー(P): ¥¥pastest local¥DESTest¥test01	
フォルガー ターゲット(T)・	
78/02 2779100	
8	
ietn(A) 編集(F) 削除(P))
[OK キャンセル

4 「フォルダーターゲットを追加」ウィンドウが表示されますので [参照] をクリックします。

フォルダーターゲットを追加		×
フォルダー ターゲットへのパス(P): 例: ¥¥Server¥Shared Folder¥Folder		参照(B)
	OK	キャンセル

5 「共有フォルダーの参照」ウィンドウが表示されますので、 [参照] をクリックします。

共有フォルダーの参照			×
サー/ヾー(S):			
DFS-SERVER		参照(E	B)
共有フォルダーの表示(H)			
共有フォルダー(A):			
⊕ <mark>∰</mark> DFSTest			
新しい共有フォルダー(N)	OK	キャンセ	211

6 「コンピューターの選択」ウィンドウが表示されますので、DFS 名前空間に登録したい共有 フォルダーのある NAS をコンピューター名で指定します。

下の「選択するオブジェクト名を入力してください」欄にコンピューター名を入力し、**[名** 前の確認]をクリックします。

NAS の存在がドメイン上で確認できるとアンダーバーが入りますので、その後 [**OK**] を クリックします。

コンピューター の選択	×
オブジェクトの種類の選択(S):	
コンピューター	オブジェクトの種類(O)
場所の指定(F):	
nastest.local	場所(L)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):	
NAS1	名前の確認(C)
詳細設定(A)	OK キャンセル

7 「共有フォルダーの参照」ウィンドウに戻りますので、NAS 上で DFS 名前空間に登録する 共有フォルダーを指定します。

指定したら [OK] をクリックします。

共有フォルダーの参照	_			\times
サーバー(S):				
NAS1			参照(B	3)
共有フォルダーの表示(H)				
共有フォルダー(A):				
-				
新しい共有フォルダー(N)	OK	ור	キャンセ	216
		-		



9 「新しいフォルダー」ウィンドウに戻りますので、「フォルダーターゲット」欄に 7 で指定 した共有フォルダーが追加されたことを確認し、[OK]をクリックします。

新しいフォルダー)
名前(N):			
test01			
名前空間のプレビュー(P):			
¥¥nastest.local¥DFSTest¥test01			
フォルダー ターゲット(T):			
¥¥NAS1¥NAS1_DFS			
追加(A) 編集(E) 削除(R)			
追加(A) 編集(E) 削除(R)			
追加(A) 編集(E) 削%(R)			
追加(A) 編集(E)			
追加(A) 編集(E) 削除(R)	OK	**	ッシセル

以上で DFS 名前空間へのフォルダーの追加は完了です。

4.13.4 DFS レプリケーションの設定

DFS 名前空間に 2 つ以上の NAS の共有フォルダーを登録した際に、共有フォルダーを同 期させることができます。 本作業は名前空間サーバーで実施します。

- ※ 作業を始める前に、あらかじめ NAS に、登録する共有フォルダーを作成しておいてく ださい。
- 1 「サーバーマネージャー」の画面右上にある [ツール] をクリックし、プルダウンメニュー より [DFS の管理] をクリックします。



2 「DFS の管理」ウィンドウが開きますので、画面左側の [名前空間] をクリックして展開し、 表示されるフォルダーを右クリックします。

メニューが表示されますので、「フォルダーターゲットを追加」をクリックします。



3 「新しいフォルダー ターゲット」ウィンドウが表示されますので、 [参照] をクリックします。

フォルダー(F):		
test01		
名前空間のパス(N):		
¥¥nastest.local¥DFSTest¥test01		
フォルダー ターゲットへのパス(P):		
		参照(B)
// 例: ¥¥Server¥Shared Folder¥Folder		37///07/
	OK	キャンクリレ

4 「共有フォルダーの参照」ウィンドウが表示されますので、[参照] をクリックします。

共有フォルダーの参照		_3		×
サーバー(S):				_
DFS-SERVER			参照(E	3)
共有フォルダーの表示(H)				
共有フォルダー(A):				
新しい共有フォルダー(N)	01		キャンセ	ZUL -

5 「コンピューターの選択」ウィンドウが表示されますので、DFS 名前空間に登録したい共有 フォルダーのある NAS をコンピューター名で指定します。

下の「選択するオブジェクト名を入力してください」欄にコンピューター名を入力し、[名前の確認]をクリックします。

NAS の存在がドメイン上で確認できるとアンダーバーが入りますので、その後 [**OK**] をクリックします。

コンピューター の選択	×
オブジェクトの種類の選択(S):	
コンピューター	オブジェクトの種類(O)
場所の指定(F):	
nastest.local	場所(L)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):	
NAS2	名前の確認(C)
詳細設定(A)	OK キャンセル

6 「共有フォルダーの参照」ウィンドウに戻りますので、NAS 上で DFS 名前空間に登録する 共有フォルダーを指定します。

指定したら [OK] をクリックします。

共有フォルダーの参照	_3		\times
サー/ヾー(S): NAS2		参照(B))
共有フォルダーの表示(H)			
共有フォルター(A): 			

7

「フォルダーターゲットを追加」ウィンドウが表示されますので、[OK]をクリックします。



8 「新しいフォルダー」ウィンドウが表示されますので、「フォルダーターゲット」欄に 6 で 指定したフォルダーが追加されたことを確認し、[OK] をクリックします。

新しいフォルダー	×
名前(N):	
test01	
名前空間のプレビュー(P):	
¥¥nastest.local¥DFSTest¥test01	
フォルダー ターゲット(T):	
¥¥NAS2¥NAS2_DFS	
道加(A) 肖顺(R)	
ОК	キャンセル





10 以下の画面が表示されます。



11 「レプリケートフォルダーウィザード」ウィンドウが表示されますので、 [次へ] をクリックします。

🚰 レプリケート フォルダー ウィザー	Ŕ			×
レプリケーション !	ブループおよびレプリケート フォルダーの名前			
 ステップ: レブリケーショングループおよびレ ブリケーショングループおよび レブリケーションの対象。 プライマリメンバー トボロジの選択 ハブメンバー ハブシンバー ハブシスボークの接続 レブリケーショングループのスケジュールおよび帯域幅 設定の確認およびレブリケーショングループの作成 確認 	ウィザードにより、フォルダー ターゲットをホストするサーバーを含むレブリケーション グル ープが作成されます。提案されたグループ名およびフォルダー名を確認し、必要に応じ て編集します。 レブリケーション グループ名(R): ['nastest.local¥dfstest¥test01 レブリケート フォルダーの名前(F): test01			
	< 前へ(P)	(N) >	キャンセ	JL I

12 「レプリケーションの対象」 画面が表示されますので、「詳細」 欄に追加した共有フォルダー が表示されていることを確認します。

確認したら [次へ]をクリックします。

 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-ř				Х
レプリケーション グループおよびレ フリケート フォルダーの名前 レプリケート フォルダーの名前 レプリケーションの対象 フライマリ メンバー トボロジの選択 ハブ メンバー ハブとスポークの接続 レプリケーション グループのスケジ ュールおよび帯域幅 設定の確認およびレプリケーショ ン グループの作成 確認	の対象 ウィザードによって、フォルダー / かどうかが決定されました。詳結 詳細(D): フォルダー ターゲット ¥¥NAS1¥NAS1_DFS ¥¥NAS2¥NAS2_DFS	ターゲットを評価して、DFS レプリケーションに参加 細は、下の [対象となる] 列を参照してください。 対象となる DFS レプリケーション メンバーとして追加 DFS レプリケーション メンバーとして追加	17.42		
		<前へ(P)	次へ(N)	キャンセ	96

13 「プライマリメンバー」 画面が表示されますので、レプリケート元となる NAS をリストから 選択します。

🐴 レプリケート フォルダー ウィザー	Ч			×
7517155				
ステップ:	他のフォルダー ターゲットにレプリケートするコンテンツを含むサーバーを選択して くだざい。このサーバーは、プライマリ メンバーと呼ばれます。			
レプリケーション グループおよびレ プリケート フォルダーの名前				
レプリケーションの対象	プライマリ メンバー(M):			
プライマリ メンバー	· •			
トポロジの選択	NAS1 NAS2 たする場合、最初のレプリケ			
ハブ メンバー	🍸 ーションでは、プライマリ メンバーのフォルダーとファイルに権限があります。			
ハブとスポークの接続				
レプリケーション グループのスケジ ュールおよび帯域幅				
設定の確認およびレプリケーショ ン グループの作成				
確認				
	<前へ(P) 次へ(I	N) >	キャンセ	μ

14 選択したら [次へ] をクリックします。

🐴 レプリケート フォルダー ウィザー	ĸ			×
プライマリメンパ	_			
ステップ:	他のフォルダー ターゲットにレプリケートするコンテンツを含むサーバーを選択して くだざい。このサーバーは、プライマリ メンバーケロギばれます。			
レプリケーション グループおよびレ プリケート フォルダーの名前				
レプリケーションの対象	プライマリ メンバー(M):			
プライマリ メンバー	NAS1 ~			
トポロジの選択	レブリケートするフォルダーが既に複数のサーバーに存在する場合、最初のレブリケ			
ハブ メンバー	● ーションでは、フライマリ メンバーのフォルダーとファイルに権限があります。			
ハブとスポークの接続				
レプリケーション グループのスケジ ュールおよび帯域幅				
設定の確認およびレプリケーショ ン グループの作成				
確認				
	< 前へ(P) 次へ(N)	>	キャンセノ	L

15 「トポロジの選択」画面が表示されますので、「フルメッシュ」を選択し [次へ] をクリック します。

※ [トポロジなし] は選択しないでください。







17 「設定の確認およびレプリケーショングループの作成」画面が表示されますので、内容を 確認し、問題なければ [作成] をクリックします。

や し プリケート フォルダー ウィザー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ř			×
設定の確認およ	びレプリケーション グループの作成			
ステップ: レブリケーション グループおよびレ プリケート フォルダーの名前 レブリケーションの対象	新しいレプリケーション グループに以下の設定を選択しました。設定が正しい場合は、 (作成) をクリックして新しいレプリケーション グループを作成します。設定を変更するに は、「前へ」 をクリックするか、作業項目ウィンドウで適切なページを選択します。			
プライマリメンバー トポロジの選択 レプリケーショングループのスケジ ュールおよび帯域幅 設定の確認およびレプリケーショ ングループの作成	フォルダー: ¥thastest.local¥DFSTest¥test01 レプリケーション グループ名: nastest.local¥dfstest¥test01 レプリケーション グループのドメイン: nastest.local			
確認	レプリケーション グループ メンバー (2): NAS1 NAS2 レプリケート フォルダーの名前: test01 レプリケート フォルダーのパス: NAS1: D¥NAS1_DFS NAS2: D¥NAS2_DFS プライマリ フォルダー ターゲット: NAS1 ×			
	<前へ(P) 作成	:(R)	キャンセ	94 - 40

18 「確認」画面が表示されますので、「タスク」欄の項目がすべて「成功」と表示されてい ることを確認し、 [閉じる] をクリックします。



以上で DFS/ レプリケーションの設定は完了です。

※ レプリケーショングループの構成の取得が完了するまでレプリケーションは開始されな いため、実際のレプリケーション開始まで時間がかかることがあります。 設定完了後、以下の画面が表示されたら、[OK] をクリックしてください。

レプリケーションの遅延	×
レプリケーション グループのメンバーにより構成が取得されるまで、レプ 始されません。実際にかかる時間は、Active Directory ドメイン サー ョン待ち時間およびポーリング間隔によって異なります。	リケーションは開 -ビス レプリケーシ
□ 次回からこの画面を表示しない(D)	
	ОК

4.14 WebDAV 共有フォルダ

WebDAV とは、http を利用したファイル転送プロトコルです。WebDAV を利用すること により、タブレット等で WebDAV 保存 / 読込に対応したアプリを使用してデータのやりと りが可能になります。

4.14.1 WebDAV 利用の準備

サーバーマネージャーでの役割の追加

本製品の(リモート)デスクトップ画面で[スタートメニュー]にある[サーバーマネージャー] を起動し、画面左のメニューより [IIS] をクリックします。



2 「IIS」画面中央下にある[役割と機能]のタスクプルダウンメニューから[役割と機能の追加] をクリックします。

🏊 サーバー マネージャー				– 🗆 X
 サーバーマニ 	ネージャー・ IIS		・ ② 🏴 管理(M) ツール(T)	表示(V) ヘルプ(H)
III ダッシュボード III ローカル サーバー IIII オベスのサーバー IIII オベスのサーバー IIII アイル サービスと記信域サ… ▶ 書 印刷サービス	12 13 14 15 16 使用可能なメモリ アパルター アパルター サーポー名 カウンターの状態 C NSB-75S 無効 -	5 17 18 PU の警告の数	19 20 21 22 23 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 (画) ▼ (用) ▼ な Xモリの警告の数 最初の発生 最後の発生 	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	役割と機能 すべての役割と機能 合計: 25			920 🔻
	71119-	Q	· i∃ ▼ (刷 ▼	役割と機能の追加
	サーパー名 名前	種類	۲۵,	最新の情報に更新
	NSB-75S Web サーバー (IIS) NSB-75S 基本認証 NSB-75S セキュリティ NSB-75S HTTP ログ NGB-75S HTTP ログ	役割 役割サービス 役割サービス 役割サービス	Web サーバー (IIS) Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥セキュリティ¥基本認証 Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥セキュリティ Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥セキュリティ Web サーバー (IIS)¥Web サーバー¥セキュリティ	
	NSB-755 ひ思と診断 NSB-755 サーバー側インクルード	役割サービス 役割サービス	、 Web サーバー (IN)をWeb サーバーキャス語と2007 【 Web サーバー (IN)をWeb サーバーキアプリケーション開発をサーバー例イングルード > N = A = パー ペッマングレーション開発をWetAの 生活	

3 「役割と機能の追加ウィザード」が表示されますので、「次へ」をクリックします。



4 「インストール種類の選択」画面が表示されますので、 [役割ベースまたは機能ベースのインストール]を選択して [次へ] をクリックします。

▶ 役割と機能の追加ウィザード	-		×
インストールの種類	の選択	対象サー NSB-1	/(- 755
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの扱則 機能 確認 結果	インストールの種類を選択します。役割および機能は、実行中の物理コンピューター、仮想コンピューター、そ の仮想ハードディスク (VHD) にインストールできます。 ④ 役割バーズまたは機能ベースのインストール 役割(役割サービス、および機能を追加して、1 台のサーバーを構成します。 ○ リモートデスクトップ サービスのインストール 仮想デスクトップ オリージストラクチ (VDD) に必要な役割サービスをインストールして、仮想マシン バー ン パースのデスクトップ展開を作成します。	またはオフラ スまたはセッ	イン ドショ
	<前へ(P) 次へ(M) > ゴンストール(1)	キャンセ	μ

5 「対象サーバーの選択」画面が表示されますので、[サーバープールからサーバーを選択] を選択し、サーバープールの中から現在操作している本製品のホスト名を選択して [次へ] をクリックします。

≧ 役割と機能の追加ウィザード				-		×
対象サーバーの選択	沢				対象サ- NSB-	-/(- -755
開始する前に インストールの種類 <mark>サーバーの選択</mark> サーバーの役割 機能 確認 結果	 役割と機能をインス1 ●「サーバーブールか」 ○ 仮想ハードディス サーバーブール フィルター: 名前 NSB-75S 1 台のコンピューターカ このページには、サーブ それ以降のリリースの データ収集が完了して 	トールするサーバーまたは仮想ハ- 5サーバーを選択 クから選択 IP アドレス 169.254.219.44 (見つかりました (- マネージャーの [サーバーの:温 Windows Server を実行して いないサーバーは表示されませ	-ド ディスクを選択します。 オペレーティング システム Microsoft Windows St 加] コマンドを使用して追加さ いるサーバーが表示されます。7 ん。	Drage Server 2016 Drage Server 2016 いた、Windows Ser わた、Windows Ser フライン サーバーや、	Standard Standard ver 2012 ま 新たに追加	
		< 前	jへ(P) 次へ(N) >	インストール(1)	キャンセ	211

6 「サーバーの役割の選択」画面が表示されますので、WebDAV に必要なサービスを選択し「次へ」をクリックします。

WebDAV を利用する場合、以下の3つのサービスが必要となります。

- ・Web サーバー(IIS) > Web サーバー> HTTP 共通機能> WebDAV 発行
- ・Web サーバー (IIS) > Web サーバー>セキュリティ>基本認証
- ・Web サーバー (IIS) > Web サーバー>セキュリティ> Windows 認証

🔁 役割と機能の追加ウィザード		– 🗆 X
La 役割と機能の追加ウィザード サーバーの役割の選 開始する前に インストールの種類 ナーバーの選択 <u>サーバーの役割 機能 確認 結果 </u>	選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。 役割 ▲ ■ Web サーバー (13/34 億をインストール済み) ▲ ■ HTTP 共通機能 (5/6 億をインストール済み) ▼ デルクトリの参照 (インストール済み) ▼ デルクトリの参照 (インストール済み) ▼ デルクトリの参照 (インストール済み) ▼ 読定のドキュメント (インストール済み) ▼ 酸定のドキュメント (インストール済み) ▼ WebDAV 発行	ー ロ × ドネサーバー NSB-755 説明 セキュリティは、ユーザーや要求からWeb サーバーを保護するためのインフラストラク チャです。IISでは複数の認証方法がサ ボートされているので、サーバーの役割に応 して適切な認証スキー」を選択できます。 すべての者信要求にフィルクーを通用し、 ユーザー定義の値と一致する要求は処理 しないで担否する、発信元アドレス空間に 若ついて要求を制限するとかり対策をとう
	 ▼ 要求アル/ター(1/21-N)済み) □ IS クライアント証明書マッピング認証 □ IP およびドメインの制限 □ SSL 証明書の巣中サポート ○ Windows 認証 ○ Windows 認証 ○ どうっています 	金ついく要求を制成するほどの対策をとう ことをお勧めします。
	< 前へ(<u>P)</u> 次へ(<u>1</u>	1)> インストール(!) キャンセル

すでに上記3つのサービスがインストールされている場合(インストール済みと表記されている)は「キャンセル」をクリックし次のステップ「ユーザーの作成」(→ P158)に進んでください。

「機能の選択」画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



8 「インストールオプションの確認」 画面が表示されますので、 内容を確認し [インストール] をクリックします。

▶ 役割と機能の追加ウィザード	-		×
インストール オプショ	ヨンの確認	対象サ - NSB-1	/ (- 755
開始する前に インストールの種類 サーバーの建沢 サーバーの役割 機能 確認 結果	 選択したサーパーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、[インストール]をクリック 	してください。 あります。 ご 。	, n6
	< 前へ(P) 次へ(N) > 【インストール(D)	キャンセ	JL

9 「インストールの進行状況」 画面にてインストールが正常に完了したことを確認し、 [閉じる] をクリックします。

🚵 役割と機能の追加ウィザード		-		×
インストールの進行	状況		対象サ- NSB-	-/(- 755
開始する前に	インストールの進行状況の表示			
インストールの種類 サーバーの選択	() 機能のインストール			
サーバーの役割	NSB-75S でインストールが正常に完了しました。			
機能 確認 結果	Web サーバー (IIS) Web サーバー HTTP 共通機能 WebDAV 発行 セキュリティ 基本認証 Windows 認証			
	このウイザードを閉じても、実行中の処理が中断されることはありません。処理の進行状 ページを再度開いたりするには、コマンドパーの (通知) をクリックし、[タスクの詳細] をク 構成設定のエクスポート	:況を表示 フリックしま	ミしたり、こ ます。	Ø
	<前へ(P) 次へ(N) > 開し	3	キャンセ	JV

以上で WebDAV を利用するための機能追加は完了です。

ユーザーの作成

WebDAV でアクセスするユーザーを事前に登録しておく必要があります。 Chapter 4「4.2 ユーザーの作成」(→ P96)を参照してユーザーを登録してください。

ファイアーウォールの設定

WebDAV で http ポートを利用する場合、代表的なポート番号以外を利用することが推奨 されます。 そこで、利用するポートの利用可能にするためにファイアウォールの設定をします。

1 WebDAV で利用するポート番号を決めます。番号は任意ですが、本マニュアルでは例として「8008」番を利用することとします。

2 本製品の(リモート)デスクトップで [**スタートメニュー**] をクリックし、[設定] をクリック します。



3 [設定] 画面が表示されますので、[ネットワークとインターネット] をクリックします。





4 「ネットワークとインターネット」の中の [状態] をクリックします。

5 「状態」画面で [Windows ファイアウォール] をクリックします。



6 ^г

「Windows ファイアウォール」 画面が表示されますので、画面左にある [詳細設定] をクリックします。



7

画面左のツリーリストにて「**ローカルコンピュータのセキュリティ」**ー「受信の規則」をクリックし、画面右の操作メニューより [新しい規則] をクリックします。

💣 セキュリティが強化された Windows	: ファイアウォール					- 🗆 X
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘ	ルプ(H)					
← ⇒ 2 □ □ □						
ローカル コンピューター のセキュリティ	受信の規則					操作
- 🧱 受信の規則	名前	111-1 ^	プロファイル	有劲	操作 ^	受信の規則
	MartEvplorer	216 2	707	1111		**** ±C1 (5+8 Bil
接続セキュリティの規則	MMC		オバア	1413	क्षा ज	100元円
> 🛃 監視	Minice Mahlu		オバア	1413	能可	▼ ブロファイルでフィルター ・
	Sonjor Man		オバア	1413	能可	▼ 状態でフィルター ・
	O Allown L-A- (TCD 巻信)	Allows II	RVAN T	1413	** 히	▼ //L-Jで7/L/9-
	Allown ルーター (IDP 愛信)	Allown II.= Ø=	RVX 1 7	1413	** 히	
	RearchCache コンテンツ取得 (HTTD-受信)	Ribbyill)/ ノ PranchCache - コンテンツ取得	tx12, 7	1212	** 히	★示 ▶
	BranchCache ピア検出 (WSD-受信)	BranchCache - ピア烽世 (MS	オバア	1117	能可	
	BranchCache ホスト刑キャッシュ サーパー (HT	BranchCache - 本75刑主切	すべて	いいえ	許可	🔜 一覧のエクスポート
	COM+ ネットワーク アクセス (DCOM-受信)	COM+ ネットワーク アクセス	すべて	11117	許可	
	COM+UT-b签理 (DCOM-受信)	COM+UE-b管理	d/7	11117	許可	
	Cortana	Cortana	d/\7	(\$1.)	許可	
	Cortana	Cortana	d/\7	(\$1.)	許可	
	Ø DESの管理 (DCOM 受信)	DESの管理	d/\7	(\$1.)	許可	
	Ø DFS の管理 (SMB 受信)	DFS の管理	d/\7	(\$1.)	許可	
	Ø DFS の管理 (TCP 受信)	DES の管理	dX7	(\$1.)	許可	
	Ø DES の管理 (WMI 受信)	DES の管理	すべて	(\$1.)	許可	
	Ø DES レブリケーション (RPC 受信)	DES レプリケーション	すべて	(\$1.)	許可	
	🔮 DFS レブリケーション (RPC-EPMAP)	DFS レプリケーション	すべて	はい	許可	
	🔮 DIAL プロトコル サーバー (HTTP 受信)	DIAL プロトコル サーバー	FX12	はい	許可	
	🔮 DIAL プロトコル サーバー (HTTP 受信)	DIAL プロトコル サーバー	プライベート	はい	許可	
	ダ FTP サーバー (FTP トラフィック)	FTP サーバー	すべて	はい	許可	
	Ø FTP サーバー セキュリティ (FTP SSL トラフィック	FTP サーバー	すべて	はい	許可	
	Ø FTP サーバー パッシブ (FTP パッシブ トラフィック	FTP サーバー	すべて	はい	許可	
	iSCSI サービス (TCP 受信)	iSCSI サービス	すべて	いいえ	許可	
	🥑 iSCSI ターゲット (TCP-In)	iSCSI ターゲット グループ	すべて	はい	許可	
	🔮 iSCSI ターゲット サービス (RPC-In)	iSCSI ターゲット グループ	すべて	はい	許可	
	🔮 mDNS (UDP 受信)	mDNS	すべて	はい	許可	
	Netlogon サービス (NP 受信)	Netlogon #-P7	すべ7	IALA≩	許可 🎽	
< >>	<				>	



ステップ:		
 規則の種類 フロトコルおよびボート 操作 フロファイル 名前 	どの種類の規則を作成しますか?	
	< 戻る(日) (次へ(い)) キャン	セル

9 「プロトコルおよびポート」画面で、プロトコルに [TCP]、ポートに [特定のローカルポート] を選択し、ポート番号 (1)で決めたポート番号)を入力し [次へ] をクリックします。

💣 新規の受信の規則ウィザード		×
プロトコルおよびボート この規則を適用するプロトコルとポ・	ートを指定してください。	
 ステップ: 規則の種類 プロトコルおよびボート 操作 プロファイル 名前 	TOP と UDP のどちらにこの規則を適用しますか? ● TCP(T) ● UDF(Y) すべてのローカル ボートと特定のローカル ボートのどちらを対象にこの規則を適用するかを選択し てください。 ● 特定のローカル ボート(S): <u>8008</u> 例: 80, 443, 5000-5010 く戻る(B) 次へ(U) キャンセル	

10 「操作」画面にて [接続を許可する] を選択し、 [次へ] をクリックします。



11 「プロファイル」 画面にてプロファイルを指定し [次へ] をクリックします。

※ デフォルトのままで特に問題ありません。

新規の受信の規則ウィザ−ド		×
プロファイル この規則が適用されるプロファイルマ	を指定してください。	
 ステップ: 規則の種類 プロトコルおよびポート 操作 プロファイル 名前 	この規則以はいつ適用しますか? ○ ドシイン(D) コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。 ○ ブライベート(P) コンピューターが自宅や職場などのプライベート ネットワークに接続しているときに適用されます。 ○ パブリック(U) コンピューターがパブリック ネットワークに接続しているときに適用されます。 < 戻る(B) 次へ(U) キャンセ	2)↓

12 「名前」画面で、名前と説明(任意)を入力し、「完了」をクリックします。 名前は任意の文字が入力可能ですが、ここでは例として [WebDAV] と入力します。

	×
- 〈ださい。	
名前(<u>b</u>): WebDAV 説明 (オブション)(<u>D</u>): (戻る(<u>B</u>) 完了(<u>F</u>)	キャンセル
	ください。 名前(<u>N</u>): WebDAM 説明(オブション)(<u>D</u>): (東気(B) 売丁(E)

以上でファイアウォールの設定は完了です。

4.14.2 WebDAV 共有フォルダの作成

1

WebDAV の準備が全て完了後、WebDAV 共有フォルダの作成ができます。 作成手順は次のとおりです。

サーバーマネージャーの画面右上にある [ツール] をクリックし、プルダウンメニューより、 [インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャー] をクリックします。



2 画面左のツリーリストより接続内の本製品の [ホスト名] – [サイト] をクリックし、画面 右の操作ウインドウにて [Web サイトの追加] をクリックします。

💐 インターネット インフォメーション サービン	ス (IIS) マネージャー					- 🗆 X
← → 100 + NSB-755 + 5	ተイト 🔸					😰 📧 🟠 I 🔞 🔹
ファイル(E) 表示(<u>V</u>) ヘルプ(<u>H</u>)						
接続						操作
😪 • 🔒 🖄 😹	1 V1F					💕 Web サイトの追加
NSR-755 (NSR-755¥admin)	フィルター:	• 😤	検索(<u>G)</u> - 曻	すべて表示(A) グループ化: グループ化な	¢ ل	WED OT TOMALACTEDIANAC
	名前	ID	状態	バインド	パス	 FTP サイトの追加 FTP サイトの既定値の設定
> 10 711	Default Web Site	1	開始済み (開始済み (*:80 (http)	%SystemDrive%	
	く 10 機能ビュー (約 コンテ)				>	
準備完了						• •

3 「Web サイトの追加」画面が表示されますので、必要事項を入力し、[OK] をクリックします。

Web サイトの追加		? ×
サイト名(<u>S</u>):	アプリケーション ブール(上):	
	DefaultAppPool	
コンテンツ ディレクトリ		
物理パス(<u>P</u>):		
パススルー認証		
接続(<u>C</u>) デ	ト設定(<u>G</u>)	
バインド		
種類(<u>T</u>):	IP アドレス(<u>]</u>): ポート(<u>O</u>):	
http 🗸	未使用の IP アドレスすべて v 80	
ホスト名(日):		
例: www.contoso.com	または marketing.contoso.com	
↓ Wab サイトを直た/- 問が	t3(M)	
	J ∞(<u>[₩]</u>)	
	OF t	1)17 II.
	UK T	17210

項目	説明
サイト名(S)	任意のサイト名を入力します。
物理パス(P)	WebDAV で共有するフォルダーの物理パスを指定します。 パソコンとのデー タ共有を行う場合は SMB/CIFS 共有フォルダーを同じ物理フォルダーを指定 します。
接続	設定した物理パスに接続可能なユーザーを設定します。 [特定のユーザー]、[アプリケーション ユーザー(パススルー認証)]から 選択します。
テスト設定	接続で設定した内容でアクセス可能かをテストします。結果画面が表示されますので、結果確認後 [閉じる] をクリックします。 ^{7入ト接続} ? ×
種類	[http]、[https] を選択します。
IP アドレス	サービスを認証する IP アドレスを特定します。 (初期値:未使用の IP アドレスすべて)

項目	説明
ポート	ポート番号を入力します。
ホスト名	ホスト名を入力します(任意)。
Web サイトを ただちに開始する	チェックを入れると設定したサイトがすぐに開始状態になります。

| 特定のユーザーに認証する場合

MEMO	0	[接続]	をクリックし、	[特定のユーザー]	を選択後	[設定]	をクリックします。

接続	?	×
パス資格情報:		
◉ 特定のユーザー(<u>U)</u> :		_
	設定(I).	
○ アプリケーション ユーザー (パススルー認証)(<u>A</u>)		
OK	キャンセル	/

2 「資格情報の設定」画面が表示されますので、準備であらかじめ登録した WebDAV にアクセ スするユーザーのユーザー名、パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

資格情報の設定	?	×
ユーザー名(<u>U</u>):		
Web		
パスワード(<u>P</u>):		
••••		
パスワードの確認入力(<u>C</u>):		
ОК	キャンセル	l I

4 サイト一覧に追加した Web サイトが表示されていることを確認し、ダブルクリックします。

💐 インターネット インフォメーション サービス	(IIS) マネージャー						_		×
← → 10 NSB-75S → 10	1⊦ ▶						6	i 🖂 🟠	• 1
ファイル(E) 表示(⊻) ヘルプ(<u>H</u>)									
接続						操作			
💐 - 🔄 🖄 😽	ארע 🦷					6	Web サイトの追	加	^
※ スタートページ NSB-755 (NSB-755¥admin)	フィルター:	◆ 愛 検索(G) ~ ↓ すべて表示(A) グループ化: グループ化なし				Web サイトの既定値の			Ē
·····································	名前	ID	状態	パインド	パス	ø	FTP サイトの追加	旧 記法の部件	
✓ · ⑥ サイト ○ Default Web Site	😌 Default Web Site	1	開始済み (*:80 (http)	%SystemDrive%		サイトの編集	E THE WY BX AD	
> 😜 NasWebSite	WebDAV	3	停止 (http)	*:80 (http)	C:¥Shares¥publ		バインド		
> 🏀 WebDAV		-	17 12 (基本設定…		
							エクスプローラー		
						×	アクセス計可の制 削除	冒耒	
							名前の変更		
							アプリケーションの)表示	
						We	サイトの管理	(Jacob	2
						2	再起動		
					,		開始		
	🃰 機能ビュー 📠 コンテン	עיצ צב-					停止		~
準備完了									• <u>1</u> .

5 サイトの「ホーム」画面が表示されますので、 [認証] をクリックします。



6 「認証」画面が表示されます。Windows 認証、基本認証の状態が [有効]、匿名認証が [無効] であることを確認します。

●状態の変更方法

状態を変更した認証を一覧から選択し、画面右にある操作ウインドウにて [有効 (もしく は無効) にする] をクリックします。 状態が変更されたことを確認します。

💐 インターネット インフォメーション サービス	(IIS) マネージャー				-		×
← →	イト 🕨 WebDAV 🕨				1	S 🟠 I	• •
ファイル(E) 表示(<u>V)</u> ヘルプ(<u>H</u>)							
接続				操作			
😪 - 🔒 🖄 😣	11 部計			無	効にする		
39-トページ NCD 755 (NCD 755) - desire)	グループ化: グループ化なし	•		4.000	*		
▼ ▼ INSB-755 (INSB-755#admin)	名前	状態	応答の種類	0 N	プ		
🗸 🔞 ታイト	ACDNET 偽法	無 动					
> 😜 Default Web Site	Windows 認証	有効	HTTP 401 チャレンジ				
> 😔 NasWebSite	基本認証	無効	HTTP 401 チャレンジ				
> 🍋 WebDAV	匿名認証	有効					
	🌃 機能ビュー 🎼 コンテンツ ビュー						
構成: 'localhost' applicationHost.conf	ig、<場所のパス="WebDAV">						•

※画面は「匿名認証」を〔有効〕から〔無効〕に変更する場合です。
7

サリング規則]をダブルクリックします。



画面左のツリーリストより再度 [ホスト名] をクリックし、ホーム画面から [WebDAV オー

8 「WebDAV オーサリング規則」が表示されますので、画面右にある操作ウインドウから[オー サリング規則の追加] をクリックします。

🎙 インターネット インフォメーション サービス	(IIS) マネージャー						-		×
(← → (€) + NSB-75S + サ	ſト ▶ WebDAV ▶							5 🖂 🟠	• 1
ファイル(E) 表示(<u>V</u>) ヘルプ(<u>H</u>)									
接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	WebDA	V オーサリング規 アクセスを承認するための ^身	貝リ 現則を指定するには、この	幾能を使用します。		警告 () 操作	WebDAV 機 います。	能が無効にさ	int
⊢ ③ アブリケーション ブール → ④ サイト > ● Default Web Site > ● NasWebSite > ● NasWebAV 	π.	2-9-	役割	7922	エントリの種類		オーサリング規 WebDAV のれ WebDAV 設 へルプ	<u>則の追加</u> 勃化 定	
構成: 'applicationHost.config'	🏢 機能ビュー 🌆 コンテ	シツ ビュー							•= .:

9 「オーサリング規則の追加」 画面が表示されます。必要事項を設定して [OK] をクリック します。

↑-サリング規則の追加	?	×	項目	説明
アクセスの許可: すべてのコンテンツ(<u>C</u>) 指定されたコンテンツ(<u>P</u>): 例: *.bas, wsvc.axd 2のコンテンツへのアクセスを許可する: すべてのユーザー(<u>A</u>) 			アクセスの許可	共有するサイト内でアク セス可能なコンテンツを 指定したい場合は [指定 されたコンテンツ]をク リックし、コンテンツを記 載します。特に指定しな い場合は [すべてのコン テンツ] を指定します。
 ○ 指定された役割またはユーザー グルーフ(<u>G</u>): 管理者、ゲスト ○ 指定されたユーザー(<u>U</u>): User1、User2 			このコンテンツへの アクセスを許可する	共有するサイトへのアク セス可能なユーザーを指 定します。特に指定の必 要がなければ「すべての ユーザー」を選択します。
アクセス許可 ☑ 読み取り(<u>R</u>) ☑ ソース(<u>S</u>) ☑ 書き込み(<u>W</u>) OK	キャンセノ	ΓL	アクセス許可	アクセスの権限を設定し ます。タブレット等から ファイルの読み書きを行 うには、読み取り、ソース、 書き込みすべてにチェッ クを入れます。

10 追加した規則を選択し、画面右にある操作ウインドウから [WebDAV の有効化] をクリック します。

휔 インターネット インフォメーション サービス	(IIS) マネージャー					– 🗆 X
← → € + NSB-755 + サ	イト 🕨 WebDAV 🕨					🖸 🖂 🟠 I 💽 🗸
ファイル(E) 表示(⊻) ヘルプ(<u>H</u>)						
接続 ● ↓ 2 ↓ 2 ↓ 3 ● スタート ページ ● NSB-75S (NSB-75S¥admin)		∨ オーサリング 規)アクセスを承認するための	見月] り規則を指定するには、この!	幾能を使用します。		警告 ① WebDAV 機能が無効にされて います。
	187	7_#f_	沿車	ראתה	エットリの種類	
 Oefault Web Site NasWebSite KowebDAV 	-	g∧(0)⊥-0-		読み取り, 吉さ込み,	<u>411</u> -111	編集 × 削除 ◆ 上に移動 ◆ 下に移動
						WebDAVの有効化
	< (1) 機能ビュー 💦 コンラ	יעל צב-			>	Wedday Er.E
構成: 'applicationHost.config'						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

以上で WebDAV 共有フォルダの作成は完了です。

Chapter 5 バックアップ・メンテナンス

5.1 RAID エラー警告音の停止

RAIDにエラーが発生した場合、製品本体より警告音などのアラートが発せられます。 これらの内、警告音の停止はNAS ツールの「ステータスパネル」より行います。

本製品の (リモート) デスクトップ上で「NASツール」を起動し、[ステータスパネル] をクリックします。



2 「ステータスパネル」画面が表示されますので、「警告音停止」をクリックします。

	イイル			
動再スキャン	設定(<u>A</u>)			
自動再スキャ	ン【有効】		-	
システムステ	-92		4 	1/492
	エラーあり		警	告音停止
RAIDステーク	9Z			
	エラー		RAID	ビルガー記論
HDD1: O	HCD2: × HC	DD3: O HDD4: O		
ハードウェアス	ペテータス			
CPU温	」度: 42 ℃			
CPU7	シ: 4178 回車	ž		
チップセット温	度: 35 ℃			
ケースファ	・ン: 1930 回車	Z		
ドライブ	残容量 (空き)	全容量	使用率	
C: D:	86.28 GB 16465.53 GB	100.00 GB 16466.42 GB	13.72 % 0.01 %	
' HDDステータ	Z(SMART)			
And and a second s	温度	修復済みセクタ数	読み込み	不安定なセクタ
ディスク	39 C	U		0
ディスク HDD1 HDD2	39 °C			
ディスク HDD1 HDD2 HDD3	39 °C 39 °C	ŏ		0
ディスク HDD1 HDD2 HDD3 HDD4	39 °C 39 °C	0 0		0 0
ディスク HDD1 HDD2 HDD3 HDD4	39 °C 39 °C 39 °C	Ŭ O		0 0 >
ディスク HDD1 HDD2 HDD3 HDD4	39 °C 39 °C 39 °C	0		0 0 >

この場合、警告音は完全に停止します。新たなエラーが発生するまでは警告音は発せら れません。

以上で RAID エラーアラートの停止は完了です。

5.2 RAIDの再構築(ディスクの交換)

RAID にエラーが発生した場合、NAS ツールにて RAID ビルダーを起動して状態を確認し てください。次に、メッセージを確認し、必要に応じてエラーの発生しているディスクのみ、 スペアドライブ(別売)へ交換してください。

※[修復]をクリックする前に「ステータスパネル」で、警告音を停止させてください。



- ・ ディスク交換の際は、必ず新品のスペアドライブを挿入してください。
- 不良ドライブや使用済みドライブを用いるとドライブの特定ができなくなったり、修復時エ ラーが発生したりする可能性があります。
- ・ 暗号化ボリュームを修復した際には、必ず「暗号化と自動ロック / アンロック設定」の「暗号 化管理」で暗号化ステータスを確認してください。「未完了」となっている場合には再暗号 化が必要です。
- RAID ボリュームを修復する際、NAS の起動はすべてのベイにディスクがセットされた状態で行ってください。
 NAS の起動後、後からディスクをセットして修復を行うと、正常に起動できなくなる場合があります。
- 1 「NAS ツール」で [RAID ビルダー] をクリックし、状況を確認します。 (交換が必要なドラ イブを特定します。)

画像は4ベイモデルです。

	ドライブ	タイプ	HDD1	HDD2	HDD3	HDD4	再スキャン
エラー エラー	C: D:	ミラー RAID 5	:	× ×	٠	•	修復
							ポリューム作成
							ディスクの管理を起動

●ボリュームの状態

ドライブ毎にそのボリュームの状態を表示します。

項目	説明
ステータス	表示内容によってボリュームの状態を示します。
	正常 (●): ボリュームが正常な状態を示します。ソフトウェア RAID の場合、修復の必 要が無い状態です。
	エラー (●): ボリュームに何らかの異常が発生しており、修復の必要がある状態を示しています。
	修復中(〇): RAID ビルダーの [修復] ボタンまたは [ディスクの管理を起動]より修復の操作を行って、ソフトウェア RAIDの再構築を実行していることを示します。
ドライブ	そのボリュームに割り当てられたドライブ文字を表示します。
タイプ	該当するドライブの RAID タイプを表示します。
HDD1 ~ 4	どの HDD がボリュームにて使用されているかを表示します。ステータスにてエラー表示が された場合「●」から「×」表示に変わります。 HDD の状態によって HDD1 ~ HDD4 に (D) または (E) が表示されます。 HDD*(D): ミラー、またはRAID5 ボリュームのメンバーから外されていることを示します。 HDD*(E): アクセスエラーが発生したことを示します。 また、どの HDD がどのボリュームにて使用されているかを「●」で表示します。 ステータスにてエラー表示がされた場合、「●」から「×」表示に変わります。

●メッセージ

メッセージ	状況
* 番の HDD を交換してください。 (* 番は、エラー が表示された HDD の番号です)	ディスク交換が必要な状況です。誤ったディスクを交換すると、RAID ボリュームに保存されているデータを損失する危険性がありますのでご注意ください。
複数の HDD でエラーを検出しました。データ損失	ディスクの交換による修復は実行できない状況で
の危険があります。重要なデータのバックアップを	す。速やかにデータのバックアップを実行してくだ
直ちに実行してください。	さい。
RAID ボリュームに問題があります。修復を実行して	RAID ボリュームの修復が必要な状況です。ディス
ください。	ク交換は行わずに、修復を実行します。



メッセージ欄に修復の実行を促す内容が表示されますので、[修復]をクリックしてください。

テータス	ドライブ	タイプ	HDD1	HDD2	HDD3	HDD4	再スキャン
エラー エラー	C: D:	ミラー RAID 5	:	× ×	٠	•	修復
							ボリューム作成
							ディスクの管理を起動

ドライブを交換した際に下記のような画面が表示されたら、[キャンセル]をクリックします。

ディスクの初期化	×
論理ディスク マネージャーがアクセスできるようにするにはディスクを初期化する必要がありま す。	
ディスクの選択(<u>S</u>):	
選択したディスクに次のパーティション スタイルを使用する:	
● MBR (マスター ブート レコード)(<u>M</u>)	
○ GPT (GUID パーティション テーブル)(<u>G</u>)	
注意:以前のパージョンの Windows では、GPT パーティション スタイルが認識されません。	
OK キャンセル]

3 ステータスが変わり、修復(リビルド)が自動的に始ります。

ュームの状態							
、テータス)修復中)修復中	ドライブ C: D:	タイプ ミラー RAID 5	HDD1	HDD2	HDD3	HDD4	再 スキャン 修復
							ボリューム作成
Jul7_21							ディスクの管理を起動
*ツセーン 修復中							



システム起動ディスクに障害が発生し、スペアドライブと交換して [修復] をクリックした際に 下記のメッセージが表示されることがあります。

RAIDビルダー	×
8	ボリューム「C:」のミラーの解除に失敗しました。 再起動後に再度修復を行ってください。
	ОК

このメッセージが表示された場合は、本製品を再起動します。再度「NAS ツール」-「RAID ビルダー」- [修復] をクリックし、修復(リビルド)を実行します。

4

修復が完了するとステータスが「正常」になります。

	ドライブ	タイプ	HDD1	HDD2	HDD3	HDD4	再スキャン
正常	C: D:	ミラー RAID 5	:	:	٠	•	修復
							ボリューム作成
							ディスクの管理を起動

※修復(リビルド)中もデータへのアクセスなどは可能ですが、通常よりもアクセス速度 が低下します。



- RAID ボリュームの状況によっては、修復に失敗し、ステータスが「正常」にならない場合 があります。
 - 繰り返し、修復を促すメッセージが表示される場合には、データのバックアップを実施した後、 「ボリュームの状態」で ' × ' 表示されているディスクをスペアドライブ (別売) と交換して ください。
 - ディスク交換の際は、必ず新品のスペアドライブを挿入してください。
 不良ドライブや使用済みドライブを用いるとドライブの特定ができなくなったり、リビルド時 エラーが発生したりする可能性があります。
- ・ 暗号化ボリュームを修復した際には、必ず「暗号化と自動ロック/アンロック設定」の「暗号化管理」で暗号化ステータスを確認してください。「未完了」となっている場合には再暗号化が必要です。

リビルド完了までに必要な時間

●4ベイモデル

24TB モデル約 25 ~ 35 時間16TB モデル約 20 ~ 23 時間12TB モデル約 13 ~ 18 時間8TB モデル約 10 ~ 12 時間4TB モデル約 5 ~ 6 時間

●2 ベイモデル

6TB モデル	約 15 時間
4TB モデル	約 12 時間
3TB モデル	約9時間
2TB モデル	約6時間
1TB モデル	約3時間

5.3 データフォルダバックアップツール

「データフォルダバックアップツール」は、Windows Server 2016、標準の「Windows Server バックアップ」の制限事項を解消するためのオリジナルのツールです。「データフォ ルダバックアップツール」はバックアップ設定を複数組に作成することができるので、フォ ルダー別にバックアップを設定することが可能です。

●データフォルダバックアップツールと WindowsServer バックアップの制限事項

	データフォルダバックアップツール	Windows Server バックアップ
システムのバックアップ	Х	0
バックアップの複数セット登録	0	×

●「データフォルダバックアップツール」の制限事項

- データフォルダバックアップツールは、複数のバックアップ作業を複数同時に実行することができません。
 データフォルダバックアップツールでは複数のバックアップ設定を登録できますが、同時に実行されないよう、スケジュールを調整してください。
- ・ バックアップ先の指定は、論理ドライブ単位となります。
- 1つのバックアップ先論理ドライブに対して設定できるバックアップセットは1つのみです。複数のバックアップセットを設定しないでください。

設定した場合、バックアップデータが消去されてしまいます。複数のバックアップ先 ハードディスクをご用意いただき、交換しながら運用していただくことをお勧めいた します。

例えば、「DATA-A」フォルダーのバックアップ先として論理ドライブ「E:」を指定した場合、「DATA-B」フォルダーのバックアップ先として「E:」を指定することはできません。

複数のバックアップセットを設定するときは、複数の論理ドライブを用意してください。 【例】

- $\lceil DATA-A \rfloor \Rightarrow E$:
- $\lceil DATA-B \rfloor \Rightarrow F$:
- ・ バックアップ先論理ドライブは、あらかじめフォーマットしておいてください。

※ 指定できるのはハードディスクのみです。リムーバブルディスクや共有フォルダは指定 できません。

ここでは、D:¥PUBLIC下の2つのサブフォルダ(DATA-AとDATA-B)を、2つの論理 ドライブ(E:とF:)へ分散してバックアップする方法をご説明いたします。



2 「データフォルダバックアップツール」画面が表示されますので、バックアップ設定を追加するために、[新規]をクリックします。



項目	説明
タイトル	登録されているバックアップ設定名を表示します。
バックアップ元	設定されているバックアップするフォルダー名を表示します。
バックアップ先	設定されているバックアップ先のフォルダー名を表示します。
スケジュール	バックアップするスケジュールを表示します。
最新のステータス	設定されたバックアップの最新の実行結果を表示します。

●バックアップ設定リスト

●ボタン

項目	説明	
新規	バックアップ設定を新規に追加します。	
詳細/編集	「バックアップ設定リスト」で選択されている項目を編集できます。	
削除	「バックアップ設定リスト」で選択されている項目を削除します。	
今すぐ実行	「バックアップ設定リスト」で選択されている項目を開始します。	
閉じる	「バックアップツール」設定画面を閉じます。	

3 「バックアップ設定」画面が開きます。各項目を設定し、[OK] をクリックします。

バックアップ設定		>
ቃ/ ኑル(፲):		
バックアップ元(S)		
フォルダパス:		参照(P)
フォルダ名	サイズ	除外
バックアップ元フォル	レダの総サイズ:	0 B
指定フォルダ除	外後のサイズ:	0 B
バックアップ先(D)		
論理ドライブ番号: C: 🗸	空き容量:	88.06 GB
− スケジュール(<u>C</u>)		
りガ: 1回だけ実行する		~
開始 2017/08/21 圓▼ 00:00 🚔		
リトライ(B)		
間隔: しない ~ 最大	回数(<u>M</u>): 1	*
ſ	OK	キャンセル
L	I I	

項目	説明		
タイトル	バックアップ設定項目に、任意のタイトルを設定します。		
フォルダパス	[参照]ボタンをクリックして、バックアップ元となるフォルダのパスを指定します。バックアップ対象から除外するものを指定する事も可能です。		
バックアップ先	 バックアップ先の論理ドライブ番号を指定します。バックアップ先として指定するドライブは、あらかじめ「NAS ツール」の「バックアップ用HD フォーマッタ」でフォーマットしておいてください。 バックアップが実行されると、自動的にコンピュータ名のフォルダがルートフォルダへ作成され、その中にバックアップデータが保存されます。 ※指定できるのはハードディスクのみです。リムーバブルディスクや共有フォルダは指定できません。 		
スケジュール	バックアップを開始するスケジュールを設定します。		
トリガ	選択肢からバックアップを実行するタイミングを設定します。 「1回だけ実行する」、「毎日指定時刻に実行する」 「指定曜日の指定時刻に実行する」、 「指定月、指定日の指定時刻に実行する」		
リトライ	バックアップ作業の開始に失敗した場合に、再試行する間隔と回数を指定します。 バックアップ作業は重複して実行することができないため、作業が完了する前に次のバックアップ作業を開始しようとすると失敗してしまいます。 「スケジュール」と、この「リトライ」の設定を適切に行うことにより、 回避が可能です。		

【例】「DATA-A」フォルダを「E:」にバックアップする設定をするとき

「フォルダパス」と「バックアップ先」は以下のように設定します。

項目	設定
フォルダパス	DATA-A
バックアップ先	E:

「スケジュール」の種類

●1回だけ実行する

指定した日時にバックアップを1回実行します。

ロスケジュール	IL(<u>C</u>)	
トリガ:	1回だけ実行する	~
開始	2017/08/21 🖉 🗸 00:00 🖨	

●毎日指定時刻に実行する

毎日、指定した時刻にバックアップを実行します。

ースケジュール	0	
トリガ:	毎日指定時刻に実行する	\sim
	00:00	

●指定曜日の指定時刻に実行する

毎週、指定した曜日・時刻にバックアップを実行します。 バックアップしたい曜日の [有効] にチェックを入れ、時刻指定します。

スケジュール(<u>C</u>)							
	りガ: 指定曜日の指定時刻に実行する ~						
	日曜日	月曜日	火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日				土曜日
	□ 有効	🗌 有効	□ 有効 □ 有効 □ 有効		□ 有効	□ 有効	
	00:00 😫	00:00 😫	00:00 😫	00:00 😫	00:00 😫	00:00 😫	00:00 😫

●指定月、指定日の指定時刻に実行する

指定した日時にバックアップを実行します。 毎月の指定も可能です。また、月の最終日という指定もできます。

ースケジュール	(C)					
トリガ:	指定月、	指定日	の指定時	刻に実行	[.] する	\sim
	毎月	\sim	1日	\sim	00:00	

4 バックアップ設定リストに登録したバックアップセットが表示されていることを確認し、[閉 じる]をクリックします。

「DATA-B」フォルダを「F:」にバックアップする設定をするときは、手順 2 から繰り返し、手順 3 では以下のように設定します。

項目	設定
フォルダパス	DATA-B
バックアップ先	F:

務 データフォルダバ	ックアップツール				×
タイトル	バックアップ元	バックアップ先	スケジュール	最新のステータス	新規
test	D:¥	C:	F2017/08/31 00:00	未実行	詳細/編集
					削除
					今すぐ実行
					閉じる

以上でデータフォルダバックアップツールの設定は完了です。

5.4 バックアップ (Windows Server バックアップ)

本製品には Windows Server 2016 標準の Windows Server バックアップが標準搭載されています。

Windows Server バックアップは様々な機能が搭載されていますが、ここではシステム・ データの保全のための定期バックアップの手順を説明します。

ローカル バックアップには

- ・ バックアップ スケジュール …… 定期バックアップのスケジュールを設定します。
- ・ 単発バックアップ …………… バックアップを行います。
- ・ パフォーマンス最適化の構成… バックアップ パフォーマンスを管理します。

などの機能があります。

- ※ Windows Server バックアップは、16TB を超えるボリュームをバックアップできません。 また、バックアップの設定を1組しか持てません。この制限事項を回避するため、本 製品には専用の「データフォルダバックアップツール」が搭載されていますので、こち らもご活用ください。
- 1 本製品の(リモート)デスクトップ上で「NASツール」を起動し、 [Windows Server バッ クアップ] をクリックします。





🚪 wbadmin - [Windows Server パックアップ (ローカル)ギローカル パックアップ]		- 🗆 ×
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)		
ビ ▲ ローカル バックアップ ローカル バックアップ ローカル バックアップ マ ローカル バックアップ ローカル バック ローカル バックアップ ローカル バック ローカル バックアップ ローカル ローカル	^	操作 ローカル パックアップ
このアプリケーションを使用して、単発のバックアップを実行したり、定期的なバックアップのス		🌆 パックアップ スケジュール
Cのコンビューター用のバックアップは爆成されていません。バックアップスケジュール ウィザードまたは単発バックアップ ウィザー てください。 てください。		 ************************************
メッセージ (先週からの活動。詳細を表示するには、メッセージをダブルクリックしてください)		表示 ト
時刻 × メッセージ 説明 		☑ ∧JVJ
最新のバックアップ(L) 次回のバックアップ(N)		
状態: - 状態: 時刻: - 時刻:		
 詳細を表示 詳細を表示 	~	

3 「バックアップスケジュールウィザード」画面が表示されますので、[次へ] をクリックします。

いのクアップスケジュールウィザード × このウィザードでは、パックアップの定期的な実行スケジュールを構成できます。 バックアップの構成の選択 パックアップの構成の選択 パックアップスケジュールを作成するには、次の項目を決定しておく必要があります。 パックアップの特徴の指定 ・バックアップするタイミングと頻度 確認 ・バックアップの特納先 療約 続行するには、[次へ] をクリックしてください。			
はじめに このウィザードでは、パックアップの定期的な実行スケジュールを構成できます。 パックアップの構成の選択 パックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 パックアップの分争、(サーバー全体、システム状態、選択したファイル、フォルター、またはポリューム) サーバーをパックアップするタイミングと頻度 ・パックアップの格納先 確認 要約 続行するには、[次へ] をクリックしてください。	Kックアップ スケジュール ウィザー Kックアップ スケジュール ウィザー はじめに	ŝ	×
	はじめに パックアップの構成の選択 パックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 確認 要約	このウィザードでは、パックアップの定期的な実行スケジュールを構成できます。 パックアップスケジュールを作成するには、次の項目を決定しておく必要があります。 ・パックアップの対象(サーバー全体、システム状態、選択したファイル、フォルダー、またはポリューム) ・サーバーをパックアップするタイミングと頻度 ・パックアップの格納先 続行するには、[次へ] をクリックしてください。 (前へ回) 次へ(M) 完了(D) キャンセル	

4 「バックアップの構成の選択」画面が表示されますので、[サーバー全体] を選択し、[次へ] をクリックします。

※データエリアのみのバックアップを行いたい場合は、[カスタム] を選択します。[カス タム] では、バックアップする項目を選択できます。

 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	🏡 バックアップ スケジュール ウィザード				
はじめに パックアップの構成の選択 パックアップの時間の指定 作成先の健類の指定 確認 要約 イロジョーの設定する壊成の種類を指定してください。 ④ サーパー全体(推奨)(U) サーパー全体(加奨)(U) サーパー全体(加奨)(U) サーパー全体(加奨)(U) サーパー全体(加奨)(U) サーパー全体(加奨)(U) サーパー全体(加奨)(U) サーパー会体(加奨)(U) サーパー会体(加奨)(U) サーパー会体(加奨)(U) サーパー会体(加奨)(U) サーパー会体(加奨)(U) サーパー会体(加奨)(U) サーパー会体(加奨)(U) サーパー会体(加奨)(U) オーク(U)	バックアップの	構成の選択			
< 前へ(P) 次へ(N) > 完了(F) キャンセル	はじめに <u>パックアップの時間の指定</u> 作成先の種類の指定 確認 要約	スケジュール設定する構成の種類を指定してください。 ④ サーバー全体(推興)(U) サーバーデータ、アブリケーション、およびシステムの状態をすべてパックアップします。 パックアップ サイズ: 12.97 GB 〇 カスタム(Q) パックアップするポリュームやファイルを選択します。 く前へ(E) 次へ(N) > 完了(E) キャンセル			

5 「バックアップの時間の指定」画面が表示されますので、バックアップを実行する回数と時 刻を設定し [次へ] をクリックします。

🌆 バックアップ スケジュール ウィザー	ř	Х
バックアップの	時間の指定	
はじめに パックアップの構成の選択 パックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 確認 要約	パックアップを実行する頻度と時刻を指定してください。 ● 1日1回(②) 時刻の選択(E): 21:00 ✓ ● 1日複数回(M) 選択可能な時間: スケジュールに追加 ます。 指定可能な時間: スケジュールされた時間: ○ 00 ○ 30 1:00 1:30 2:00 ○ 30 ○ 300 ○ 300 ○ 300 ○ 300 ○ 300 ○ 300 ○ 300 ○ 300 ○ 4前除(图)	L
	3:30 4:00 4:30	

6「作成先の種類の指定」画面が表示されますので、バックアップ先の設定を行い [次へ] をクリックします。

例として、「バックアップ専用のハードディスクにバックアップする」を選択します。

🌆 バックアップ スケジュール ウィザー	۶ ×
作成先の種类	頁の指定
はじめに パックアップの時間の指定 <mark>作成先の種類の指定</mark> 作成先ディスクの選択 確認 要約	 パックアップ専用のハードディスクにパックアップする(推奨)(B) このオジョンを選択すると、最も安全にパックアップを保存できます。使用するハードディスクは 初期化されて、パックアップの保存専用になります。 ポリュームにパックアップする(M) このオジョンは、ディスク全体をパックアップ専用として使用できない場合に選択します。ポリュームがパックアップの保存に使用されている間、ポリュームのパワオーマンスは最大 200% 低下する 可能性があります。同じポリュームに他のサーバーデータを保存しないことをお勧めします。 共有ネットワークフォルダーに「ックアップする(E) このオジョンは、パックアップをサーバーのローカルに保存しない場合に選択します。新しいパック アップを作成すると前のパックアップが上巻きされるため、一度に保持されるパックアップは1つ のみになります。
	< 前へ(<u>P</u>) 次へ(<u>N</u>) > 完了(5) キャンセル



7 「作成先ディスクの選択」画面が表示されますので、バックアップの保存先ディスクを選択 し [次へ] をクリックします。



バックアップ先のディスクは自動的にフォーマットされ、既存のデータは消去されます。 ご注意ください。

🌆 バックアップ スケジュール ウィザー	۴					×
作成先ディスタ	クの選択					
はじめに パックアップの構成の選択 パックアップの時間の指定	バックアップ 数のバックフ 利用可能	の保存先ディスク・ Pップ ディスクを使う なディスク(<u>A</u>):	を1つ以上選択 用できます。	えしてください。 デ	ィスクをオフサイトに係	※管する場合は、 複
作成先の種類の指定	ディスク	名前	サイズ	使用領域	ディスク内のボ	
作成先ディスクの選択	3	WDC WD1	931.51 GB	128.00 MB		
確認						
要約						
				৾৴৾৾৻	の使用可能なディス	クを表示(<u>S</u>)
		< 前へ(P) 次へ(<u>N)</u> >	完了(<u>F</u>)	キャンセル

MEMO	保存先ディスクが表示 ①「利用可能なディ を表示」をクリッ・	示されない場合 、スク」 欄にデークします。	<mark>`</mark> ィスクが表着	示されなかっ	た場合、[す	べての使用す	可能なディスク
	₩ バックアップ スケジュール ウィザ-	- ^ド クの選択			×		
	はじめに パックアップの機成の選択 パックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 確認 確認 要約	バックアップの保存先行ス 数のバックアップディスクを(利用可能なディスク(<u>A</u>): ディスク 名前 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 、 ・ ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、	7を1つ以上選択してく 5用できます。 サイズ 使J サイズ (使) ニパーサル シリアル パス ませんでした。	(ださい。ディスクをオフサイトに) 用領域 ディスク内のボ すべての使用可能なディス ((USB) ポートや IEEE 1394 ポ	保管する場合は、複 77を表示(S) パートに接続されてい		
		<前八	P) 次へ(N) >	完了(<u>F</u>)	キャンセル		

2 「すべての使用可能なディスクを表示」画面が表示されますので、バックアップ先に利用するディ スクにチェックを入れ、[OK] をクリックします。

	-				
すべての使用	可能なディスクを表示				Х
既定では、 す。 下方の一覧 <u>に</u> 方のが表示。 ウィザード・ さい。 利用可能が	使用される可能性が に、このサーバーに接続 されます。システム ファ されません。 ページの利用可能なデ ミディスク:	いと考えられる 売されているすべ イルを含む重要 イスク一覧に表	ディスクだけがウィサ てのディスク (内部 なディスク、および! 示するディスクのチェ	ドード ページに表示されま ディスクと外部ディスクの同 ワラスター共有ポリューム ラ マック ボックスをオンにこしてく?	戸 ディ ぞ
ディスク 1 3 1 2	名前 WDC WD10EFR WDC WD10EFR	サイズ 931.51 GB 931.51 GB	使用領域 128.00 MB 128.00 MB	ポリューム (1) マウント解 (1) マウント解	
			0	((<u>0)</u> キャンセル(<u>0</u>)

- 3「作成先ディクスの選択」画面の「利用可能なディスク」一覧に選択したディスクが表示されて いることを確認します。
- 8 バックアップ先のハードディスクがフォーマットされる旨のアラートが表示されますので、 内容をご確認の上 [**はい**] をクリックします。

Windows	Server バックアップ	\times
	ウィザードを終了すると、選択したディスクは再フォーマットされ、そのディスク上にある 既存のボリュームおよびデータはすべて削除されます。障害対策を目的としてバック アップをオフサイトに移動できるようにするため、また、パックアップの整合性を確保す るために、選択したディスク全体がパックアップの保存専用となり、エクスプローラーに は表示されなくなります。	
	選択したディスクを使用するには、[はい] をクリックしてください。	
	(Uuti)	

9 バックアップ先のディスクがフォーマットされ、バックアップスケジュールの設定内容が表 示されます。設定に問題がなければ「完了」をクリックします。

🌆 バックアップ スケジュール ウィ	f-K	×
確認		
はじめに パックアップの構成の選択 パックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 作成先ディスクの選択 確認 要約	次のパックアップスケジュールが作成されます。 パックアップの時間: 21:00 除外ファイル: なし 詳細オプション: VSS 完全パックアップ パックアップ先 名前 ラベル サイズ 使用領域 WDC WD10EF NSB-75S 2017 931.51 GB 128.00 MB	
	バックアップ項目 名前 ●EFIシステムパーティション ③システム状態 鋼ペア メタル回復 ● ローカル ディスク (C:)	~
	< 前へ(<u>P</u>) 次へ(<u>N</u>) > 完了(<u>F</u>) キャンセノ	V

10 「要約」画面が表示されますので、【閉じる】 をクリックします。

パックアップ スケジュール ウィザード	
要約 要約	
はじめに パックアップの構成の選択 パックアップの時間の指定 作成先の種類の指定 作成先ディスクの選択 確認 要約	状態: パックアップ スケジュールが作成されました。 1 回目のスケジュールされたパックアップは 2017/08/22 21:00 に実行されます。 スケジュールされたパックアップの保存に使用するディスクがこのコンピューターに接続され、使用できる 状態になっていることを確認してください。
	<前へ(P) 次へ(N) > 閉じる(C) キャンセル

以上でバックアップスケジュールの設定は完了です。



初回バックアップは、フルバックアップされます。その後、差分バックアップとなりますが、バックアッ プ先の残容量が不足した場合は、指定したディスクのすべてのバックアップが消去され、再びフ ルバックアップが行われます。つまり、差分バックアップは消去されますので世代を遡ることはで きません。

5.5 共有フォルダのシャドウコピー(SCSF)

共有フォルダのシャドウコピー(Shadow Copies of Shared Folders: SCSF)は、ボリュー ムシャドウコピーサービスを使用して、ファイルの任意の時点でのコピー(シャドウコピー) を作成するスナップショット技術です。シャドウコピーは、スケジュールに基づき、最大 64世代まで作成できます。ユーザーは使い慣れたエクスプローラから、誤って削除したファ イルや上書きしたファイルを任意のシャドウコピーを使って、元の状態に復元することが できます。

- シャドウコピーは、バックアップではありません。取得しておいたスナップショットの時点に戻すことができる機能ですが、戻すべきデータが存在しない(ドライブの故障など)場合は利用できません。
 シャドウコピーをご利用の場合もデータ消失に備え、物理的に異なるドライブへデータの複製(バックアップ)を作成してください。
 - ・ 暗号化機能を使用している場合は、シャドウコピーサービスは利用できません。

(リモート)デスクトップ画面で [PC] をダブルクリックし、シャドウコピーを設定したい ボリューム上で右クリック、メニューから [シャドウコピーの構成] をクリックします。

□ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(J y−)↓ PC		×
← → < ↑ ↓ PC		PCの検索	٩
 ★ 9イック アクセス > フォルタ デスクトップ * ↓ ダウンロード * ビキュメント * ビクチャ * 	- (6) 7070-i		
<u>■</u> PC ~ デバイン	とドライブ (2)		_
	ローカル デイスク (C) 空き 標識 88.1 GB/99.9 GB ■C(O) 新しいゲンドン(E) ゲンタンドン(E) ・ Windows Defender でスキャンする…		
	共有(H) >		
	シャドフコヒーの風気(W)		
8 個の項目 1 個の項目を選択	ショートカットの作成(S) 名前の支更(M)	8	-
	プロパティ(R)		

2 「シャドウコピー」画面が表示されますので、「ボリュームの選択」でシャドウコピーを有

ドゥ コピー ャドゥ コピー			;
シャドウ コピーに ことができます。	よって、過去の特定の シャドウ コピーの情報(:	時点での共有フ; こついては、 <u>ここを</u> (ォルダーの内容を表示する <u>クリック</u> してください。
「「リユームの選∄ ポリューム	₹(<u>V</u>):	土右数	値田領域
⊜ <mark>C:¥</mark>	無効	3	
	無 幼	U	U /\1 P (E:+)
有効(<u>B</u>) 無	!劾(<u>D)</u>	設定(<u>S</u>)
選択したボリ:	ュームのシャドウ コピー(<u>H</u>	D	
			今すぐ作成(<u>C</u>)
			今すぐ削除(<u>N</u>)
			元に戻す(<u>R</u>)
		0	K キャンセル

効にしたいボリュームを選択し、「**有効**」をクリックします。

- 3 シャドウコピーの有効化に関するアラートが表示されますので、【はい】をクリックします。

シャドウ コピーの有効化	×
シャドウコピーを有効にすると、既定のスケジュールと設定が使われ、選択した ウコピーが今すぐ作成されます。	たボリュームのシャド
重要: 既定の設定は I/O 負荷が高いサーバーには適していません。使用頻度が高いサーバ・ ドウ コピーを構成し、 シャドウ コピーを実行しないポリューム上に記憶域を配置してください。	ーには、手動でシャ
シャドウ コピーの詳細については、 <u>ここをクリック</u> してください。	
シャドウ コピーを有効にしますか?	
□ 今後、このメッセージを表示しない(D)	
はい(<u>Y</u>) いいえ(<u>N</u>)	

以上でシャドウコピーの基本設定は完了です。コピーの最大サイズやスケジュールなどの 詳細を設定するには「シャドウコピー」画面でボリューム選択後、「設定」をクリックします。

MEMO

5.6 Windows Update

Windows Storage Server 2016 は Windows Update 機能でネットワーク経由でシステムのアップデートを行うことで常に最新の状態に保つことができます。システムを最新の状態に保つことでシステムの安定性やセキュリティの向上を図れます。



本製品は出荷時状態では Windows Update が有効になっていますが、ダウンロードとインス トールは自動的に行わない設定になっています。毎月1回は WindowsUpdate を手動で確認、 適用していただくことを推奨します。



本製品の(リモート)デスクトップで [スタートメニュー] をクリックし、[設定] をクリック します。



2 [設定] 画面が表示されますので、 [更新とセキュリティ] をクリックします。



3	メニューより [Windows Update]	を	クリ	トック	っしま	す。
	← 設定		-		×	
	設定の検索				Q	
	更新とセキュリティ					
	${\mathcal C}$ Windows Update					
	Windows Defender					
	① 回復					
	⊘ ライセンス認証					
	₩ 開発者向け					

「Windows Update」画面が表示されますので、更新状態で [更新プログラムのチェック] をクリックします。



- 5
- 新しい更新プログラムがある場合、更新プログラムのダウンロードが始まります。
- 更新プログラムのダウンロード完了後、インストール可能な状態になりますので、「今すぐ 6 **インストール**]をクリックし、インストールを開始します。
- 7 インストール完了後、再起動が必要となります。

5.7 Windows Defender

本製品の Winodws Storage Server は OS 標準のセキュリティ機能(Windows Defender) が有効に設定されています。他のセキュリティソフト(市販のウイルス対策ソフト)をご 利用の場合は、ご利用になるソフトウェアのインストールの際に Windows Defender は 無効になります。

※詳細な手順はご利用になるソフトウェアの説明書を参照してください。



本製品が直接メールを受信したり、Web サイトを閲覧することはないため、ウイルスに感染す るリスクは低いですが、ウイルスに感染したファイルが保存されるリスク、ネットワーク経由で 攻撃されるリスクに備え、WindowsDefender または市販のウイルス対策ソフトを利用されるこ とを推奨します。



本製品の(リモート) デスクトップで [スタートメニュー] をクリックし、[設定] をクリックします。



2 [設定] 画面が表示されますので、 [更新とセキュリティ] をクリックします。



4 「Windows Defender」画面が表示されますので、 [Windows Defender を開く] をクリックします。

÷	設定	-		×
ŝ	Windows Defender			
Wind フトウ Defe W	dows Defender は、ウイルス、スパイウェア、およびその他の悪意 ロアからコンピューターを保護します。これを使用するには、Windo Inder を開きます。 indows Defender を開く	tのあるン wws	,	
リア	クルタイム保護			
これに す。	こより、PC へのマルウェアのインストールと実行の検知と防止が向	」上しま		

5 インターネットに接続された環境でご利用であれば [有効にする] をクリックし、[閉じる] をクリックします。





6 スキャンを行う場合は、クイック、フル、カスタムのラジオボタンを選択して [今すぐスキャン] をクリックします。

Uindows Defender	– 🗆 X
PC の状態: 保護	
ホ−ム 更新 履歴	🔅 設定 🚽 ヘルプ
お使いの PC は監視され、保護されています。	スキャンのオプション: ●[<u>2イック(Q)</u> ○ 7JUE
 ◎ リアルタイム保護: 有効 ◎ ウイルスおよびスパイウェアの定義: 21日前に作成済み 	○ <i>ħ</i> .২9᠘(<u>©</u>
く スキャンの詳細 最後に実行したスキャン: スケジュールされたスキャンは実行されていません	

●カスタムを選択した場合

スキャンの範囲を選択し、[OK]をクリックします。

🔁 Windows Defender	\times
スキャンするドライブおよびフォルダーを選択してください:	
OK(0) キャンセル(0)





8

保護の履歴を確認する場合は「**履歴」**タブをクリックし、確認したい項目のラジオボタン を選択して [**詳細の表示**] をクリックします。

🚼 Windows Defender	-		<
PC の状態: 保護			
★-ム 更新 履歴	💭 設定	▼ ヘルプ	
 潜在的な脅威として検出された項目と、その項目に対して軍行した操作を表示: 後夜されている項目(Q) 案行しないように指定されたが、PCから削除されていない項目。 O許可されている項目(W) PC上での実行を許可した項目。 			
 ○ 検出されたすべての項目(D) PC 上で検出された項目。 			
ユーザーのプライバシー保護を支援するため、これらの項目は非表示になっています。 項目を表示すスローサー「世細のまティをクロックしてください。			

Chapter 6

その他管理機能・サーバ設定



お知らせメール設定

本製品を外部ネットワークに接続可能な環境であれば、メール設定を行うことによりメールにて稼動中の本製品に起こっているさまざまな情報を得ることが可能です。



Workgroup エディションの場合、利用可能なユーザアカウントは 50 アカウントまでです。 Standard エディションの場合、利用可能なユーザアカウントに制限はありません。 いずれのエディションも1つのユーザアカウントを利用できるのは1人のユーザのみです。



本製品の(リモート) デスクトップ上で「NAS ツール」 を起動し、 [お知らせメール] をクリックします。



2 「お知らせメール設定」画面が表示されますので、必要事項を設定し、[OK] をクリック します。



基本設定

メールサーバ	
サーバ:	ポート: 25 (1-10000)
認証: 使用しない > ユーザID:	パスワード:
メールアドレス:	
通知先メールアドレス	
1:	□通知を有効にする
2:	□ Disk残容量 ☑ 温度情報
3:	■ 「「「電源エラー」「バックアップ」 「S-RAIDTラー」
4:	
5:	□ログフィルタリング

●メールサーバー

項目	説明
サーバ	メール通知に使用するご利用の SMTP(送信メールサーバー)の IP アドレスまたは FQDN(Fully Qualified Domain Name)で入力します。
ポート	メール送信時に使用するポートを指定します。一般には「25」が使用されますが、 プロバイダー等の制限によりサブミッションポートの指定が必要な場合、使用する ポート番号をこの欄に設定してください。詳しくはご契約いただいているプロバイ ダーにご確認ください。
認証	指定したメールサーバを利用する際に認証が必要な場合は、認証方法を選択しユー ザ ID、パスワードを入力します。認証方法としては「SMTP 認証」または「SSL 接続」 が選択可能です。 「SSL 接続」では、暗号化方式は「STARTTLS」のみ対応しております。 「SMTP over SSL」には対応しておりませんので、設定前にご確認ください。
メールアドレス	送信するメールの送り元アドレスを指定します(必須)

●通知先メールアドレス

項目	説明
通知先	メール通知を行うアドレスをメールアドレスの形式で入力してください。同時に通知
メールアドレス	する送信先を 5 箇所まで設定することができます。
	【重要】サーバ(SMTP)及び通知先メールアドレス設定後、[適用]を必ずクリック
	してください。

●有効 / 無効

- メールにて受け取りたい情報にチェックを入れてください。
- ※ [通知を有効にする] のチェックを外してしまうと全ての情報がメールにて受け取れなく なります。
- ※全ての項目にチェックを入れてしまうと、多くの情報がメールにて通知がされます。 必要情報のみチェックすることをお勧めします。

メール配信できる情報には次の項目があります。

項目	説明
Disk 残容量	各ドライブの容量が設定値を超えた場合にメールにてお知らせします。 「Disk 残容量」 タブで詳細設定が可能です。
温度情報	搭載 HDD の温度が危険な温度になった場合にメールにてお知らせします。 「温度情報」タブで詳細設定が可能です。
電源エラー	不正な電源 OFF が行われた場合、次回起動時にメールにて通知します。
バックアップ	標準機能のバックアップ実行後にてバックアップ結果をメールにてお知らせします。
S-RAID エラー	ソフトウェア RAID 構成(ミラー及び RAID5)の状態が正常で無い場合にメールに てお知らせします。
定期通知メール	設定した曜日時間に NAS から定期的にメールを受け取ることができます。 本製品の死活管理に利用可能です。「メール設定」タブで詳細設定が可能です。
ログ フィルタリング	イベントビューアに記録されるログをフィルタリングしてメール通知することができ ます。「ログフィルタリング」タブでメール送信されるログの設定が可能です。
暗号化自動ロック / アンロックエラー	暗号化機能が利用可能な場合に設定可能になります。 「暗号化と自動ロック/アンロック」機能にて[自動ロック/アンロック]に失敗した 場合にメールにてお知らせします。
ServersMan@ CAS の通知	本製品では使用しません。

メール設定

NAS から送信されるメール題名や内容を編集設定することが可能です。

× 70×1170								
●標準設定 (○サーバ名をi	追加 〇文字	列を追加					
メールヘッダの追加								
 ● 有効 ○ 無効 								^
								~
定期通知メール								
00:00	●毎日	OB O	月 〇火	○水	○ ★	〇金	O±	

●メールタイトル

項目	説明
標準設定	NAS から送信されるメールのタイトルを初期設定で行います。
サーバー名を追加	メールタイトルに NAS のコンピューター名を追加します。
文字列を追加	任意の文字列をメールタイトルに追加します。

●メールヘッダの追加

項目	説明
有効	メール本文に任意の情報文字列を追加できます。 (文字列の下に NAS の詳細情報が記載されます)
無効	メール本文はデフォルトのままの情報が記載されます。

●定期通知メール

基本設定で「定期通知メール」を有効にした場合、「定期通知メール」を送信するスケジュールを設定します。

毎日、もしくは曜日を選択し、時間を設定します。

※基本設定タブの「通知を有効にする」のチェックと「定期通知メール」のチェックを入れないと設定が反映されません。

Disk 残容量

各ドライブの残容量検知を行う為の設定です。

設定		
対象ドライブ	しきい値(1- <mark>3</mark> 0%)	
ビローカル ディスク (C:) ビローカル ディスク (D:)	全容量の30%以下で通知 全容量の30%以下で通知	
メール再通知 60 单	分間隔(1-9999)	

対象ドライブ(CドライブもしくはDドライブ)を選択します。

🔊 NAS お知らせメール設定	
基本設定メール設定	Disk残容量 温度情報 システムエラー
任意のドライブの残容量を	を検知する
設定	
対象ドライブ	し.き(.)(庙(1-30%)
☑ ローカル ディスク (0)	C:) 30
☑ ローカル ディスク (1	2:) 王谷重(030%以下で通知

しきい値を変更する場合、変更したい対象ドライ ブのしきい値欄をクリックし、数値を入力します。

設定後 [適用] をクリックします。

※基本設定タブにて「通知を有効にする」のチェックと「Disk 残容量」にチェックが入っていないとメール通知されません。

温度情報

搭載 HDD の温度情報を通知するための設定です。

詞 NAS お知らせメール設定	×
基本設定 メール設定 Disk残容量 温度情報 コヴフィルタリング	
HDDの温度情報を検知する 設定 メール再注意知 60 🗼 分 間隔(1-9999)	
OK キャンセル	適用(A)

HDD の温度が既定温度(摂氏 59 度)以上になるとメールにて通知します。 メール再通知枠内に任意の数値を入力後、[適用]を押してください。

※ このメールを受け取った際は本体の設置場所が本体の環境条件を満たしているかの確認を行ってください

ログフィルタリング

イベントビューアに記録される内容をフィルタリングしてメール通知することができます。

イベントログなどの重要	要エラーを検知する			
ログ種類	レベル	ソース	イベントロ	i兑8月 ·
▼ アプリケーション	「青幸辰	LNASLCD	11100	CPU 温度ステータスを「正常」へ利
✓ アプリケーション	警告	LNASLCD	11200	CPU 温度ステータスを「警告」へ利
アプリケーション	15-	LNASLCD	11300	CPU 温度ステータスを「エラー」へ!
アプリケーション	「青幸辰	LNASLCD	12100	CPU ファン回転ステータスを「正常
☑ アプリケーション	警告	LNASLCD	12200	CPU ファン回転ステータスを「警告
☑ アプリケーション	エラー	LNASLCD	12300	CPU ファン回転ステータスを「エラー
☑ アプリケーション	情報	LNASLCD	13100	システム温度ステータスを「正常」
☑ アプリケーション	警告	LNASLCD	13200	システム温度ステータスを「警告」
☑ アプリケーション	エラー	LNASLCD	13300	システム温度ステータスを「エラー」
☑ アプリケーション	' '青華履	LNASLCD	14100	システムファン回転ステータスを「コ
☑ アプリケーション	警告	LNASLCD	14200	システムファン回転ステータスを「巻
 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	T	INARICO	14200	ションテノ コーン 同時コ テニカフカ「エータン
インポート	エクスポート	117015	1	削除 编集 追加

「ログ種類」の先頭にあるチェックボックスにチェックの入っている項目がログに記録されると、メールが送信されます。

また、工場出荷時にデフォルトで入っているリスト以外のログを検知したい場合は、手動 で追加することができます。手動で追加した項目は編集や削除も可能です。(デフォルト で入っているリストは削除や編集はできません)

_	N 1	× .
7	7.77	1
 'J	· /	

項目	説明
インポート	別途作成したリストをインポートします。
エクスポート	追加作成したリストをエクスポートします(工場出荷時項目は対象外)。
リセット	リストを工場出荷時の状態(緑色の項目のみ)にします。
削除	イベントビューアに記録される内容を削除します(工場出荷時項目は対象外)。
編集	イベントビューアに記録される内容を編集します(工場出荷時項目は対象外)。
追加	イベントビューアに記録される内容を追加します。

リストを追加したい場合

1 [追加] をクリックし、「追加編集」画面にて各設定内容を入力し、[OK] をクリックします。

追加編集					×
対象ログ	●システム	סט כים)アプリケーショ	ンログ	
レベル	□重大	□ 15-	□警告	III III III III III III III III IIII IIII	□情報
ソース					
イベントロ					
説明(任意)					
イベントビュ	<i>P</i>			OK	キャンセル

項目	説明
対象ログ	検知対象となるログの記録先を選択します。
レベル	検知対象となるログのレベルを選択します(複数選択可)。
ソース	検知対象となるログのソースを入力します。
イベント ID	検知対象となるログのイベント ID を数値で入力します。
説明	コメントを入力します(任意)。

② [システムエラー] タブ画面のイベントログリストに追加した内容が黒文字で表示されていることを確認します。
6.2 電源設定

環境問題に考慮し、ECO(エコ)に NAS を運用することが可能です。NAS を利用しない 夜間や休日に NAS の電源をオフ(休止モード)にし、利用する時間帯に自動的に NAS を稼働させる設定が行えます。また電源ボタンでの1発終了設定も行うことが可能です。

本製品の(リモート)デスクトップ上で「NAS ツール」を起動し、 [電源設定] をクリック します。



2「NAS Tool 電源設定」画面が表示されます。

白動記動フたジュー」	L		ナルーエコ エト・シク マ		
	- 〇有効	带口指足时	炎虫之此互動力。600 丁	×	
	◉無効	自動起動	時に再起動を行	τð	
		4	₽ 8		
自動起動			有効		
起動時刻設定		00	:00 🜲		
自動終了			有効		
終了時刻設定		00	:00 💠		
○無効 ●: この機能を有効 終了されていないア (未保)	有効 シャット こし、シャットダウ プリケーションは 存のデータは失わ	ダウン ンを行った場合 新総子されます れます。〉	•		



- ※上記画面の設定では毎日朝8時にNASが起動し、夜8時に自動的に終了する設定と なります。
- ※ 自動終了は休止モードでの終了となり、シャットダウンとは異なります。NAS にウィル スソフトやバックアップソフトなどリソースを多く消費するアプリケーションをご利用の 場合、安定的な動作を行うため、[自動起動時に再起動を行う] にチェックを入れるこ とをお勧めします。

指定曜日の指定時刻に起動・終了を行う

 「自動起動スケジュール」にて「有効」にチェックを入れ「指定曜日の指定時刻に起動・ 終了」を選択します。

🔩 NAS Tool 電源設定			×
自動起動・終了設定 自動起動スケジュール	● 有効○ 無効	每日指定時刻に起動,終了 > 	

2 設定する項目の [有効] にチェックを入れてから時間を設定し、[OK] をクリックします。

	1-70 (• C)有効)無効	指定曜日 □ 自動起]の指定時 記動時に再調	刻に起動・約 起動を行う	終了 🗸	
	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
自動起動	□有効	☑有効	☑有効	☑有効	☑有効	☑有効	□有効
起動時刻設定	00:00 ‡	08:00 🜲	08:00 🜲	08:00 😫	08:00 🜲	08:00 😫	00:00 ‡
自動終了	□有効	☑有効	☑有効	☑有効	☑有効	☑有効	□有効
終了時刻設定	00:00 \$	20:00 🜲	20:00 🜲	20:00 🜲	20:00 🜲	20:00 🜲	00:00 💲
○無効 この機能を有 終了されていな (未	● 有効 動にし、ショ いアプリケー に保存のデー	シャットダウンを ヮットダウンを ションは強制 ·タは失われ	フン i行った場合 il終了され。 ます。)	〜 tす。			
シー設定							

- ※上記画面の設定では月~金曜日の朝8時にNASが起動し、夜8時に自動的に終了する設定となります(土日は起動・終了しない設定)。
- ※ NAS の使用環境により [自動起動時に再起動を行う] のチェックの有無を選択可能です (チェックを入れると全ての有効にチェックを入れた曜日に対して適用されます。)。



NAS にデータ転送中や NAS にて動作しているアプリケーションも強制的に終了されますのでご 注意ください。

●パワーボタン1発シャットダウン

[**有効**] に設定することにより本製品の管理画面にアクセスすることなく本製品本体前面 にある電源ボタンから簡単にシャットダウンを行うことが可能となります。

- パワーボタン1発シャットダウン-	
○無効 ●有効	シャットダウン ~
この機能を有効にし、5 終了されていないアプリケー (未保存のデ	19日1年2011 1919年後ウン 1休止状態

[有効] に設定後、右側にあるプルダウンメニューから動作を選択します。

項目	説明
何もしない	[有効]に設定しても電源ボタンを押しても本製品は終了しません。
シャットダウン	電源ボタンを押すとシャットダウンが開始され、本製品の電源が安全に切れます。
休止状態	電源ボタンを一度押しすると休止モードとして自動的に電源が切れます。



 パワーボタン1発シャットダウンを [無効] に設定しても、本製品の電源ボタンを5秒以上 長押ししてしまうと、有効・無効問わず NAS は強制的に電源が OFF になり NAS 内にインストー ルされている Windows に悪影響を与えてしまう場合がありますのでご注意ください。
 この機能を有効にし電源ボタンにてシャットダウンを行った場合、終了されていないアプリケー ションは強制的に終了され、データ転送もキャンセルされますのでご注意ください。

●ポリシー設定

ポリシー設定 UPSの電源復旧に連動して本製品の自動起動を許可する: 〇 有効 ●無効

[**有効**] に設定した場合、Windows のセッションを終了した後も本製品の電源を切りません。UPS をご利用の際、復電時に自動的に本製品を起動することが可能になります。(初期値:無効)

※ デスクトップ画面などから[シャットダウン]を実行した場合には電源が OFF になります。

6.3 ステータスパネル

本製品の各種状況を確認できます。

1 本製品の (リモート) デスクトップ上で「NAS ツール」を起動し、 [ステータスパネル] をクリックします。



2 「NAS ステータスパネル」 画面が表示されます。 NAS ステータスパネル NAS ステータスパネル X 自動再スキャン設定(<u>A</u>) [自動再スキャン設定] をクリックすると、 自動再スキャン設定(A) ✔ 有効(E) 有効/無効の切り替えが可能です。 無効(D) 自動再スキャン【有効】 ⊥E?i 再スキャン システムステータス 有効(初期値)の場合、ステータスパネルの DATES - ba 正常 警告音停止 表示を30秒毎に更新します。 RAIDステータス・ ※本機能はNASツールver.7.00以降の機能です。 正常 RAIDビルダー起動 HDD1: O HDD2: O HDD3: O HDD4: O ハードウェアステータスー [再スキャン] ボタンを押すと、 CPU温度: 42 °C 4178 回転 CPUファン: チップセット温度: ケースファン: 本製品のステータスを再度スキャンし、 35 °C 1930 回転 表示内容を更新します。 Windows Serverバックアップ (終了時刻): なし 残容量ステータスー Disk残容量設定 ドライブ 残容量 (空き) 全容量 100.00 GB 16466.42 GB 使用率 13.72 % 0.01 % D: 86.28 GB 16465.53 GB HDDステータス(SMART)-ディスク HDD1 HDD2 HDD3 HDD4 修復済みセクタ数 読み込み不安定なセクタ 温度 39 °C 39 °C 39 °C 39 °C 39 °C ŏ < > 閉じる [閉じる] ボタンを押すと、 ステータスパネルウィンドウを閉じます。 ▲ NSB-75S4D6 シリーズの場合

システムステータスエリア



後述する「RAID ステータス」、「ハードウェアステータス」、「Windows Server バックアップ」、 「残容量ステータス」、「HDD ステータス (SMART)」の情報から、システム全体のステー タスを判定して表示します。

下記のステータスがあり、製品本体前面の表示装置や内蔵ブザーによる警告音と連動します。

項目	説明
正常	すべてのステータス項目が正常範囲内です。
警告あり	ステータス項目内に、「警告」を検出しています。 「エラー」になる前に、何らかの対策が必要な状況です。 各ステータス項目をご確認ください。
エラーあり	ステータス項目の中に、「エラー」を検出しています。 本製品の正常な運用を維持できない状況です。 各ステータス項目をご確認ください。 また、ブザーによる警告でお知らせします。 ブザーを停止したい場合は「警告音停止」ボタンをクリックしてください。 一度停止すると、再度別のエラーを検出するまでブザーは停止されます。

●RAID ステータスエリア

- RAIDステ [、]	-97	ξ			n	
		止市			y	RAIDビルダー記動
DD1: (0	HDD2: O	HDD3: ()	HDD4: O		

●現在の RAID ボリュームの状態を表示します。

項目	説明
正常	全てのボリュームが正常な状態を示します RAID ボリュームでは修復の必要が無い 状態です。
エラー	1 つ以上のボリュームに何らかの異常が発生しており、修復の必要がある状態を示しています。
修復待ち	RAID ボリュームの再構築作業が開始できる状態を示しています。
修復中	RAID ボリュームの再構築を実行していることを示しています。

●それぞれの HDD の状態を表示します。

項目	説明
0	挿入されている HDD が正常でボリュームが存在する場合。
×	挿入されている HDD が故障している場合
-	 HDD が挿入されていない場合 挿入されている HDD が正常でボリュームが存在しない場合

ハードウェアステータスエリア

1.000			
	CPU温度:	39 °C	
	CPUファン:	4132 回転	
チッ	プセット温度:	33 °C	
	ケースファン:	1955 回転	

CPU の温度、ファンの回転数を表示します(回転数の単位は回転/分です)。

項目	説明
CPU 温度	CPU の温度を表示します。 90℃以上で「警告」、100℃以上で「エラー」となります。
CPUファン (NSB-7554D56、 7554DW6、7M52C56、 7M52CW6シリーズのみ)	CPU ファンの回転数を表示します。 2000 回転未満で「警告」、100 回転未満で「エラー」となります。
バッ クパネルファン (NSB-75S4RS6、 75S4RW6シリーズのみ)	製品本体内のバックパネルファンのステータスを表示します。 ファンの回転に異常を検出した場合「エラー」となります。
チップセット温度	チップセットの温度を表示します。 90℃以上で「警告」、100℃以上で「エラー」となります。
ケースファン (NSB-7554D56、 7554DW6、7M52C56、 7M52CW6シリーズのみ)	製品本体背面のケースファンの回転数を表示します。 1000回転未満で「警告」、100回転未満で「エラー」となります。
バックパネル温度 (NSB-7554RS6、 7554RW6シリーズのみ)	製品本体内のバックパネルに異常を検出した場合「エラー」となります。

●Windows Server バックアップエリア

Windows Serverバックアップ(終了時刻): なし

Windows Server バックアップによるバックアップを実行している場合、その最後の実行 結果と終了日時を表示します。バックアップに失敗した場合は「エラー」となります。

●残容量ステータスエリア

			Disk3	浅容量設定
ドライブ	残容量 (空き)	全容量	使用率	
C:	82.22 GB	100.00 GB	17.78 %	
D:	14501.82 GB	14503.20 GB	0.01 %	

論理ドライブ毎に、残容量、全容量、使用率を表示します。

空き容量のパーセンテージが閾値を下回った場合に「警告」となります。

閾値は NAS ツールの「お知らせメール設定」と連動しており、規定値は 30% です。

この閾値は必要に応じて変更が可能で、「お知らせメール設定」の「Disk 残容量」タブ で編集できます。

(「Disk 残容量設定」ボタン押下で「お知らせメール設定」の「Disk 残容量」タブを開きます。)

●外付け eSATA HD エリア(NSB-75S4R6 シリーズのみ)



項目	説明
[取り外し]	製品本体に接続されている eSATA HD を取り外す際にクリックします。 安全に取り外すことができます。

●HDD ステータス (SMART) エリア

ディスク	温度	修復済みセクタ数	読み込み不安定なセク
HDD1	34 °C	0	0
HDD2	34 °C	0	0
HDD3	32 °C	0	0
HDD4	31 °C	0	0
c			>

内蔵 HDD の SMART 取得情報を表示します。 HDD の温度が 60℃以上になった場合に「警告」となります。 HDD の温度が 70℃以上になった場合は「エラー」となります。

●再スキャンボタン

本製品のステータスを再度スキャンし、表示内容を更新します。

●閉じる

ステータスパネルウインドウを閉じます。

6.4 ナスコール

複数台ある NAS からリモートにて操作している NAS を特定するときに便利な機能です。

1 本製品の(リモート)デスクトップ上で「NAS ツール」を起動し、[ナスコール] をクリック します。



МЕМО

NAS Host Explorer でのナスコール機能

本製品は NAS Host Explorer からもナスコール機能が利用できます。

①画面左下の [スタートボタン] をクリックし、スタートメニューから「ELECOM」 –「NAS Host Explorer」をクリックします。

2対象の NAS を一覧から選択し、画面左下にある [ナスコール]をクリックします。

RAS Host Explorer								
NSB-75S	192168.xx.xxx (DHCP)	-	-	正常	C:87% D:99%	WORKGROUP	WSS2016	00
<								
ナスコール(N) 撥	売(C)						マウント(M)

2 リモート操作を行っている NAS からブザーが鳴り NAS を特定することが可能です。 ナスコールを実行すると対象の NAS の前面液晶表示パネルに「NAS コール !」のメッセー ジが表示されます(液晶表示パネル搭載モデルのみ)。



ドライブ内に保存されているフォルダやファイルのサイズやドライブにおける占有度の割 合を確認することが可能です。また各ドライブの使用状況も確認することが可能です。残 容量が少なくなった際のファイルの整理に活用できます。

1

|本製品の(リモート)デスクトップ上で「NASツール」を起動し、[フォルダアナライザ]をクリッ クします。



2 「フォルダアナライザ」画面が表示されます。確認したいドライブを選択して、[検索]をクリックします。



3 検索したドライブ内のフォルダーやファイルが表示され、フォルダ容量や、ドライブ使用 量全体に対するの割合が数値及び棒グラフで表示可能になります。

フォルダアナライザ					:
>¥ _ 検;	an Fr				閉じる
上に戻る		フォルダ内の使用割合			フォルダ内の使用割合
Windows	29 %	1253513 KB	All Users	75 %	750877 KB
Users	23 %	995374 KB	admin	12 %	125146 KB
ProgramData	17 %	750877 KB	Default	11 %	119344 KB
a pagefile.sys	15 %	655360 KB	Public		5 KB
Recovery	8 %	349493 KB	desktop.ini		
Program Files	3%	162535 KB	🚞 Default User		
Program Files (x86)	3%	132869 KB			
inetpub		1124 KB			
abootmer		380 KB			
LRaidBCDTemp.LOG		64 KB			
\$Recycle.Bin					
BOOTNXT					
Documents and Settings					
LRaidBCDTemp.LOG1					
LRaidBCDTemp.LOG2					
PerfLogs					
Shares					
StorageReports					
System Volume Information					
temp					
ライブ全体の使用状況			1		
·田: 12%					空志:8

- ・

 画面左にあるリスト内のディレクトリを選択すると、そのディレクトリ内のリストが右側に表 示されます。
- ・ 画面左上の [上に戻る] を押すと、 左側にリスト表示されるディレクトリを親ディレク トリに移動することができます。
- ・ 画面右上の [閉じる] を押すと、フォルダアナライザを終了できます。

6.6 その他設定

その他設定の項目は、通常は変更する必要のない特別な設定の変更を行うための機能です。

1 本製品の(リモート)デスクトップ上で「NAS ツール」を起動し、[その他設定] をクリッ クします。



2 「その他設定」画面が開きます。

		現在の設定:応	答しています。
	応答を開始する	5(<u>S</u>)	応答を停止する(1)
bUI設定			
現	在の設定: Webl	川をボート 8808	で利用する。 停止する(山)
-	. L#==.0000	•	
1	-r#5. 0000	•	
AS障害発	生時のリレーコント	ロール設定 ―	
AS障害発 了 <u>N</u> AS障	生時のリレーコント 害発生時のリレー	・ロール設定 — ・コントロール機能	泡を利用する
AS障害発 7 <u>N</u> AS障 利用す	生時のリレーコント 害発生時のリレー るCQMポート: C	-ロール設定 -コントロール機能 :OM1 ▼	をを利用する 「監視する障害」
AS障害発 7 <u>N</u> AS障 利用す コントロー	生時のリレーコント 害発生時のリレー るCQMポート: C ルするリレー接点!	No	Éを利用する 「監視する障害」 「 RAIDステータス異常
AS障害発 7 <u>N</u> AS障 利用す コントロー 1: マ	生時のリレーコント 害発生時のリレー るCOMポート: C ルするリレー接点ト 2 C & 3 「	No. ・ロール設定	^É を利用する
AS障害発 MAS障 利用す コントロー 1: マ 5: 「	生時のリレーコント 害発生時のリレー るCQMポート: [C ルするリレー接点ト 2: [] 2: [] 2: [2: [] 2: [] 2: []	Nロール設定 コントロール機能 XOM1 ・ No. ・ 生口 を「	
AS障害発 7 NAS障 利用す コントロー 1: マ 5: 「	生時のリレーコント 害発生時のリレー るCQMポート: [C ルするリレー接点! 2: [C 2: [2: [2: [2: [2: [No.	を約利用する 監視する障害 「 RAIDステータス具常 一 DD2温度の異常 「 DD3場容量(※) 「 電源エラー(2)
AS障害発 <u>N</u> AS障 利用す コントロー <u>1</u> 「 夏「	生時のリレーコント 書発生時のリレー るCQMポート: C ルするリレー接点ト 空口 空「 空口 ご「 テスト(E)	NO-ル設定	82年1月用する 話説する障害 「 RA[D2テータス異常 「 <u>HDD温度の異常</u> 」DisJ考容量(※) 「 電源エラー(P) 「 LANK → 104統統所(」)
AS障害発 NAS障 利用す コントロー 注一 夏一 リ	生時のリレーコント 書発生時のリレー るCQMポート: C ルするリレー 接点F 2: C 2: C 2: C 2: C テスト(E) レーユニットのリセ:	○ロール設定 — コントロール機能 OM1 ▼ No. ま口 ま口 タト(R)	を を 利用する
AS障害発 MAS障 利用す コントロー 上 マ し 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	生時のリレーコント 書発生時のリレー るCQMポート: C ルするリレー接点F 2 「 & 「 を 「 2 「 テスト(E) レーユニットのりた:	<□ール設定 — □ントロール機能 20M1 ・ いo. ・ ・ を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 26を利用する 15.残する障害 「 RA[Dステータス異常 「 HDD温度の異常 「 DDは砂容量(※) 「 電源エラー(2) 「 LANボート1の排除時所(4) 「 LANボート2の排除時所(5) 15.サイニート2の排除時所(5)

●AXIS Camera Companion への応答設定

IS Camera Companion への心合設定	
現在の設定:の	芯答していません。
応答を開始する(S)	応答を停止する(T)

AXIS 社製ネットワークカメラ管理ツール「AXIS Camera Companion」への応答の設定 が可能です。AXIS 社製ネットワークカメラをご利用頂かない場合は [応答を停止する] へ設定することをお勧めします。

●WebUI 設定

/ebUI設定	
現在の設定: WebUIをボート 8808 で利用する。	停止する(U)
ポート番号: 8808 🚊	

WebUI に接続するためのポート番号を設定できます。初期値として [8808] 番が割り当 てられています。通常は変更しないでください。ポート番号の設定を変更する場合には、 ファイアウォール設定の編集も必要になります。変更の際は以下の手順で行ってください。

●「その他設定」画面にて WebUI 設定の [ポート番号] を変更して [閉じる] をクリック すると、下記の確認メッセージボックスが表示されます。

WebUI設定確認	×
パート番号が変更されています。 適用しますか?	
はい(Y) いいえ(N) キャンセル	

2 設定内容を確認し [はい] をクリックします。「その他設定」 画面が閉じます。

3 ファイアウォールの設定を変更します。(リモート)デスクトップ画面より、スタートボタンを右クリックし [ファイル名を指定して実行]をクリックします。



④「ファイル名を指定して実行」画面が表示されますので、「wf.msc」と入力して [OK] をクリックします。

🧧 ファイル名を指定して実行	×
実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インター ネット リソース名を入力してください。	
名前(<u>O</u>): wf.msc	-
💔 このタスクは管理者特権で作成されます。	
OK キャンセル 参照(<u>B</u>)	

⑤「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」画面が開きます。画面左で [受信の規則] を、画面中央で [NASTool WebUI] を選択し、画面右で [プロパティ] を クリックします。

🔗 セキュリティが強化された Windows	s ファイアウォール					- 🗆 X	
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) へ	Jルプ(<u>H</u>)						
🗢 🄿 🖄 🖬 🗟 🖬							
□=カル, コンピューターのセキュリティ)	受信の規則					操作	_
🔝 受信の規則		ガループ	プロファイル	有効	撮作 ^	受信の規則	
11日の規則	A Mart Fundamen	///	+17	1413	क्षेत्र ज		-
きまた 接続セキュリティの規則	C Hostexplorer		9/\(+//7	140	an म) स≁ाजा	100 元月]	
> 🛃 監視			オバア	/tto	541	┃ 〒 プロファイルでフィルター	۲
	Servers Man		すべて	(#1.)	許可	▼ 状態でフィルター	۲
	WebDAV		1X7	(\$1.)	許可	▼ グループでフィルター	×
	Ø AllJovn ルーター (TCP 受信)	AllJovn ルーター	ドメイン、ブ	はい	許可		-
	🔮 AllJovn ルーター (UDP 受信)	AllJoyn ルーター	ドメイン、プ	はい	許可		-
	BranchCache コンテンツ取得 (HTTP-受信)	BranchCache - コンテンツ取得	すべて	いいえ	許可	Q 最新の情報に更新	
	BranchCache ピア検出 (WSD-受信)	BranchCache - ピア検出 (WS	すべて	いいえ	許可	🔜 一覧のエクスポート	
	BranchCache ホスト型キャッシュ サーバー (HT	BranchCache - ホスト型キャッ	すべて	いいえ	許可	1 12 ヘルプ	
	COM+ネットワーク アクセス (DCOM-受信)	COM+ ネットワーク アクセス	すべて	いいえ	許可		
	COM+ リモート管理 (DCOM-受信)	COM+ リモート管理	すべて	いいえ	許可	NasTool WebUI	^
	🕑 Cortana	Cortana	すべて	はい	許可	🕭 規則の無効化	
	🔮 Cortana	Cortana	すべて	はい	許可	▲ 切り取り	
	🔮 DFS の管理 (DCOM 受信)	DFS の管理	すべて	はい	許可	B = − −	
	🔮 DFS の管理 (SMB 受信)	DFS の管理	すべて	はい	許可		
	🔮 DFS の管理 (TCP 受信)	DFSの管理	すべて	はい	許可		
	🔮 DFS の管理 (WMI 受信)	DFS の管理	すべて	はい	許可	📾 วือパティ	
	🔮 DFS レブリケーション (RPC 受信)	DFS レプリケーション	すべて	はい	許可		
	🔮 DFS レブリケーション (RPC-EPMAP)	DFS レプリケーション	すべて	はい	許可	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	☑ DIAL フロトコル サーバー (HTTP 受信)	DIAL プロトコル サーバー	ブライベート	はい	許可		
	☑ DIAL フロトコル サーバー (HTTP 受信)	DIAL プロトコル サーバー	5×12	はい	許可		
		FIP #-//-	রু শ (はい	許可		
	♥ FIP サーハー セキュリテイ (FIP SSL トラノイツク	FIP #-//-	ग ∧(はい	許可		
		FIP 7-1-	g/\ (120	計列		
	ISCSIサービス(ICP 受信)	ISCSI サービス	タハ(いいえ	計列		
		ioしoi グーケット クルーノ :coci な ビットガループ	9/\(+//7	(&U) (+U)	計키 왕고		
	● ISCSI ラークット リービス (KPC-IN)	iocol ジーグット グループ	タベし	(20)	計判		
< >>		THE BASS	arvi -	61.5	>	1	

⑤「NASTool WebUI のプロパティ」画面が開きますので、「プロトコルおよびポート」タ グをクリックし、「ローカルポート」で変更したポート番号を入力し、[OK] をクリック します。

NasTool WebUIのプロパティ	×
全般 プログラム	およびサービス リモート コンピューター
プロトコルおよびポート スコープ	詳細設定 ローカル プリンシパル リモート ユーザー
プロトコルおよびポート	
くろう プロトコルの種類(P):	TCP 🗸
プロトコル番号(U):	6 🜲
- 14 10 143	
ローカル ホート(し):	
	191: 80. 443. 5000-5010
リモート ポート(<u>R</u>):	すべてのボート 〜
	例: 80、443、5000-5010
インターネット制御メッ	セージ プロトコル カスタマイズ(C)
(ICMP)(UI設定:	
	OK キャンセル 適用(A)

以上で WebUI ポート番号の変更およびファイアウォールの設定は完了です。

●NAS 障害発生時のリレーコントロール設定(NSB-75S4DS6、75S4DW6、7MS2CS6、 7MS2CW6 シリーズのみ)



NAS に障害が発生した際に、RS-232C ポートを利用して株式会社パトライト製のインター フェースコンバーターに対して信号を送信する機能の設定です。 対応インターフェースコンバーター:株式会社パトライト製 PHC-D08

項目	説明
NAS 障害発生時のリレーコント ロール機能を利用する	チェックを入れると機能を利用できるようになります。
利用する COM ポート	「COM1」以外は選択できません。

項目	説	明						
コントロールするリレー接点 No.	障害発生時に NAS からコントローノ	障害発生時に NAS からコントロールする接点 No. を選択します。						
監視する障害	監視する障害を選択します。 LAN ポート(1・2)の接続断以外の障害は、「お知らせメール設定 の通知項目と連動しているため、「お知らせメール設定」の該当する 知項目を有効にする必要があります。							
	監視する障害	お知らせメール通知項目						
	RAID ステータス異常	S-RAID エラー						
	HDD 温度の異常	温度情報						
	Disk 残容量	Disk 残容量						
	電源エラー	電源エラー						
テスト	テスト信号を送信します。							
リレーユニットのリセット	「テスト」ボタン押下で送信したテス	スト信号を停止します。						

設定が完了したら [閉じる] ボタンをクリックします。設定確認画面が表示されるので、[はい] をクリックします。

リレーコントロール設定確認								
	1-ル設定が変更され	ています。						
1 適用しま 9 7) ?							
(はい(Y)	いいえ(N)	キャンセル						



ウイルスチェックソフトなど、運用する上で必要なソフトウエアを本製品にインストールす る際は、インストールするアプリケーションが Windows Storage Server 2016 に対応して いる必要があります。

※対応、非対応はアプリケーション製造元にご確認ください。

※アプリケーションをインストールして不具合が発生した場合は、弊社では責任を負いか ねますので、予めご了承ください。

インストールは本製品の(リモート)デスクトップ画面から行うリモートインストールと、 コンソールを直接 NAS に接続してインストールするダイレクトインストールの2パターン 存在します。

●C ドライブの容量について

本製品のCドライブは100GBです。容量の変更はできません。 アプリケーションによっては、Cドライブへファイルが自動生成されて、容量を圧迫する場 合があります。 この場合、CドライブはWindowsのみで利用し、アプリケーションはDドライブへイン

この場合、CF フィブは Windows のみで利用し、アブリケーションは DF フィブペイン ストールすることをご検討ください。

●**リ**モートインストール

管理用 PC の CD-ROM (DVD) を共有化し、本製品の(リモート)デスクトップ画面より 共有された CD-ROM (DVD) にアクセスします。



●ダイレクトインストール

本製品の USB ポートに USB ハブを介して、CD-ROM(DVD)ドライブ、マウス、キー ボードを VGA ポートにモニタを接続してインストールメディアよりインストールを行っ てください。



アプリケーション自体のインストール手順は、アプリケーションの製造メーカーのマニュ アルをご確認ください。



Windows Storage Server 2016 は、Windows クライアントに対して、本製品に接続した USB 接続のプリンターを共有プリンターとして提供します。 [印刷の管理] コンソール (PMC) は、プリンタの追加や印刷データの操作などのプリン タの管理タスクを実行することができます。

新しい共有プリンターを作成する

※本作業の前に本製品にプリンターを接続し、ドライバをインストールしてください。 ドライバのインストールに関してはプリンター付属のマニュアルをご参照ください。

1 サーバーマネージャーの画面右上にある [ツール] をクリックし、プルダウンメニューより、 [印刷の管理] をクリックします。



2 起動した「印刷の管理」画面にて画面左のツリーリストにて [プリントサーバー] ー [本製品] の[プリンター]を選択し、画面右の「操作」ウィンドウの[他の操作]をクリックします。 プルダウンメニューから [プリンタの追加] をクリックします。

🐻 印刷の管理					– 🗆 X		
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)							
🗢 🔿 🙍 📷 🖻 🔒 📔 📷							×
 ○ カスタム フィルター ○ カスタム フィルター ○ ブリント サーパー ◇ 「 NB-75S (ローカル) > ○ 下系の (ローカル) > ○ (ローカル)	+1-の状態 : 1 半増備完了 : 2 準備完了 : 2 準備完了 : 2 準備完了 : 2 準備 : 2 準備 : 2 準備 : 2 単備 : 2 単価 : 2	キュー内 0 0 0 0	サーバー名 NSB-755 (ローカ NSB-755 (ローカ NSB-755 (ローカ NSB-755 (ローカ NSB-755 (ローカ	KJ	操作 ブリンター 他の操作	小	ルプ(H)
					1	-	

3 「ネットワークプリンタのインストール ウィザード」画面が表示されます。 登録するプリンター の接続されているポートを選択し、「次へ」をクリックします。

🖶 ネットワーク プリンターのインストール ウィザード		×
プリンターのインストール インストール方法を選択します。		
 ○ ネットワーク ブリンターを検索する(S) ● IP アドレスまたはホスト名で TCP/IP ブリンターまたは V 	Veb サービス ブリンターを追加する(D)	
○ 既存のポートを使って、新しいブリンターを追加する (E): ○ 新しいポートを作成して、新しいブリンターを追加する	LPT1: (プリンター ポート)	~
0 <u>(</u> <u></u>	Local Port	~
	< 戻る(8) 次へ(N) >	キャンセル

🖶 ネットワーク プリンターのインストール ウィザード	
ブリンター ドライバー 新しいプリンターのドライバーを選択します。	
○ ウィザードによって選択されたプリンター ドライバー	を使用する(<u>U</u>)
互換性のあるドライバーが見つかりません。	
● このコンピューターの既存のプリンター ドライバーを	使用する(<u>E)</u>
Microsoft Print To PDF	~
○ 新しいドライバーをインストールする(!)	

5 「プリンター名と共有設定」 画面が表示されますので、 必要事項を入力し [次へ] をクリック します。

🖶 ネットワーク プリンター	・のインストール ウィザード	×
プリンター名と共有設 プリンターのフレン	定 ドリ名を入力して、ほかの人がプリンターを使用できるかどうかを指定できます。	
プリンター名(<u>P</u>):		
このプリンターを	共有する(<u>S</u>)	
共有名(<u>H</u>):		
場所(<u>L</u>):		
באטאר <u>(ס</u>):		
	< 戻る(<u>B)</u> 次へ(<u>N</u>) > キ	ャンセル

6 プリンターの設定情報が表示されますので、問題なければ [次へ] をクリックします。

🖶 ネットワーク プリンタ	アーのインストール ウィザード	×
プリンターが見つかり プリンターをイン リンターをインス	ました ストールする準備できました。下のプリンター設定を確認してから、[次へ] をクリックしてプ トールしてください。	
名前:	Microsoft Print To PDF (1 コピー)	
共有名:	<非共有>	
モデル:	Microsoft Print To PDF	
ポートの種類:	プリンター ポート	
ポート名:	LPT1:	
場所:		
אַעאַב		
	< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > キャン	セル

7 インストール処理後ネットワークプリンターの「インストールウィザードの完了」 画面が 表示されますので、 [完了] をクリックします。

🖶 ネットワーク プリンターのインス	トール ウイザード	Х
	ネットワーク プリンターのインストール ウィザードの完了	
	状態:	
	プリンターのインストールに成功しました。	
	プリンターは正しくインストールされました。	
	プリンターをテストするには、 [テスト ページの印刷] を選択して、 [完了] を クリックしてください。	
	別のプリンターをインストールするには、 [別のプリンターの追加] を選択 して、 [完了] をクリックしてください。	
	□ テスト ページの印刷(P)	
	□ 別のプリンターの追加(<u>A</u>)	
	< 戻る(B) 完了 キャンセル	,

以上で共有プリンターの作成は完了です。

6.9 WebUI 専用管理者アカウントの設定

本製品の出荷時状態では WebUI の管理者アカウントは(リモート)デスクトップでの管理者アカウントと同一(admin)のみが使用可能ですが、以下の操作をすることで管理者権限(Administrators グループに属している)アカウントで WebUI にアクセスすることができます。



本設定を行うと「管理者承認モード」を無効にします。これによりUAC(ユーザーアカウント制御) が無効となりますので、ご注意ください。



(リモート) デスクトップ画面より、スタートボタンを右クリックし [ファイル名を指定して 実行] をクリックします。

ארעםר אעאב(C)
コマンドプロンプト (管理者)(A)
タスク マネージャー(T)
コントロール パネル(P)
エクスプローラー(E)
検索(S)
ファイル名を指定して実行(R)
シャットダウンまたはサインアウト(U) >
デスクトップ(D)

2 「ファイル名を指定して実行」画面が表示されますので、「LWUADMIN」と入力して [OK] をクリックします。

ファイル名を指定して実行	×
実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメント名、インター ネットリソース名を入力してください。	
名前(<u>O</u>): LWUADMIN	~
🌍 このタスクは管理者特権で作成されます。	
OK キャンセル 参照(<u>B</u>)	

3 「Web UI 用管理者設定ツール」 画面が起動しますので、 [有効] を選択して [OK] をクリックします。

✓ Web UI 用管理者設定ツール	×
Web UI 用管理者のログオン許可設定	
Web UI のログオン管理者と、リモートデスクトップのログオン管理者を 別のアカウントで運用する場合は、「有効」を選択してください。	
 酒劢(E) 	
○無効(<u>D</u>) - 現在値	
ご注意: 本設定で「有効」を選択した場合、NAS上でのUAC(ユーザーアカ ウント制御)が無効になります。 また、設定を反映するためにはシステムの再起動が必要です。	
ОК <i>*</i> #ンセル	

以上で設定は完了です。

本設定を有効にするには本製品の再起動が必要になります。

Chapter 7

ブラウザ経由での管理(WebUI)

本製品にはリモートデスクトップによる管理画面以外にブラウザ経由で操作が可能な WebUI 管理画面が実装されています。リモートデスクトップによる管理画面と比較して、 設定可能項目は少なくなっていますが、基本設定・管理を簡単なユーザーインターフェース で操作することが可能です。

7.1 WebUI 管理画面へのアクセス

NAS Host Explorer 経由で WebUI 管理画面へのアクセスは次の手順で行います。

1 NAS Host Explorer 上で表示されている NAS の中から、設定する NAS を選択し、 [設定] ボタンを押します。

and NAS Host Explorer										- 0	×
サーバーアブライアンス名	IPアドレス-1	IPアドレス-2	IPアドレス-3	RAID情報	残容量	グループ	OS Version	MACアドレス-1	MACアドレス-2	MAC7F	レス-3
NSB-75S	192.168.xx.xxx (DHCP)	-	-	正常	C:87% D:99%	WORKGROUP	WSS2016	00-11-22-AA-BB-CC	11-22-33-BB-CC-DD	-	
_ チスコール(N) 接続	8(C)						7025(1	1) 設定(S)	冉検索(R)	閉じ	5(X)

2 管理画面を選択するポップアップウインドウが表示されますので、 [Web UI で接続] を選択 します。

	NAS Host Explorer										-		×
E	サーバーアプライアンス名	IPアドレス-1	IPアドレス-2	IPアドレス-3	RAID'情報	残容量	グループ	OS Version	MACアドレス-1	MACアドレス-2	MAC	アドレス・	-3
	NSB-75S	192.168.xx.xxx (DHCP)	-	-	正常	C:87% D:99%	WORKGROUP	WSS2016	00-11-22-AA-BB-CC	11-22-33-BB-CC-DD	-		
	<												>
													_
	ナスコール(N) 接続	E(C)						マウント(ト	0 Web UI 7	接続		閉じる(X	0
									112-1477	カトップで按結			
		-							95-197	レビンノに支続			

Web UI でサポートされるブラウザは以下の通りです。

NAS Host Explorer 経由で Web UI にアクセスする場合は、管理用 PC の標準ブラウザを 以下のいずれかに設定してください。

- ・InternetExplorer 9 以上
- Chrome

3 管理画面にログオンするためのセキュリティダイアログが表示されますので、「管理者の **ユーザ名**」を選択し、パスワードを入力して [OK] を押します。

Windows セキュリティ	×
iexplore.exe	
192.168.xx.xxxへ接続しています。	
admin	
パスワード	
□ 資格情報を記憶する	
その他	
ОК	キャンセル

※製品出荷時状態の管理者ユーザ名とパスワードは以下の通りです。

ユーザー:admin パスワード:admin (パスワードは大文字・小文字を判別します。) ドメイン(ActiveDirectory に参加している場合は) ユーザー:本製品のホスト名 ¥admin 例) NSB-75S¥admin パスワード:admin でアクセスしてください。

4 ログオンが完了すると、ブラウザに WebUI が表示されます。



7.2 WebUIの基本操作

WebUI では本製品の基本的設定に関する項目をブラウザで簡単に行う事が可能です。

ELECOM 、 ステータス 初期設定	I SB-75S4DS6 グオンユーザー: adr コンピュータ名: NSI	Web UI Ver 5. nin システムステーク 3-75S RAIDステーク	21 タス: 0 正常 NASコール ちス: 0 正常 表示の更新	
ファイル共有設定	NASステータス			
ボリュームの管理				
ネットワーク設定	RAIDステータ	z :	正常	
システム設定	Windows Upd	late :	件数を確認中です。	
お知らせメール設定	システム稼働時	間:	4時間37分	
電源	日時:		2017年8月17日 15時58分	
えわナⅠ₹		IPアドレス:	192.168.xx.xxx (DHCP)	
サポートボークル ELECOM SUPPORT	LAN1 :	MACアドレス:	00:11:22:AA:BB:CC	
各種要なよの 設定方法を 紹介しています! ▶ 設定方法はこちら		IPアドレス:	なし	
	LAN2 :	MACアドレス:	11:22:33:BB:CC:DD	
	システムステー	タス:	正常	
		CPU温度:	40 ℃	
		CPUファン:	4021 回転	
	ハードウェア: チップセット温度: 33 ℃	33 ℃		
		ケースファン:	1935 回転	
		バックアップ:	なし	

画面内のエリアを4つに分けています。

●メニューエリア	設定項目の大メニューをメニューエリアから選択します。
❷トップエリア	本製品全体のステータスやログイン情報を表示しています。
€サブメニューエリア	メニューエリアの項目毎に、本エリアにサブメニューが表示され
	ます。
④メインエリア	選択された設定項目の操作を行うエリアです。

7.2.1 トップエリアの情報

「トップエリア」には以下の情報が表示されています。



NASツールのVer.はお買い求めの時期により表示が異なる場合があります。 最新版のNASツールは下記のページよりダウンロードいただくことが可能です。 https://www.elecom.co.in/c/178

https://www.elecom.co.jp/r/178

項目		説明
0	バージョン表示	WebUIのバージョンが表示されています。バージョンにより、機能等が異なる場合 がありますので最新のバージョンでご利用いただくようお願いいたします。
0	ログオン ユーザー	WebUI にログオンしている管理者ユーザ名が表示されます。
₿	コンピュータ名	本製品に登録されているコンピュータ名(ホスト名)が表示されます。
4	システム ステータス	現在のシステムステータス(後述)が表示されます。
6	RAID ステータス	現在の RAID ステータス(後述)が表示されます。
6	NAS コール	このボタンをクリックすると、NAS からビープ音が鳴ります。液晶表示パネルに「NAS コール!」と表示されます(液晶表示パネル搭載モデルのみ)。 WebUI で操作している NAS がどの NAS であるかを物理的に確認できます。
0	表示の更新	ブラウザで表示されているトップエリアの情報を更新する場合にクリックします。 WebUI で表示内容を最新にする場合は、ブラウザの更新ボタンではなく、このボタ ンを利用してください。

7.2.2 メニューエリアの情報



WebUI の設定項目をこのメニューリストから選択します。 選択された項目は項目名がオレンジで表示されます。

・初期設定

・ボリュームの管理

- ・ステータス
- ・ファイル共有設定
- ・ネットワーク設定
 - ・システム設定
 雷源
- ・お知らせメール設定



メニューリスト下部にある [えれさぼ] をクリックすると、 エレコムのサポートサイト「えれさぽ」のホームペー ジヘご案内いたします。

7.2.3 サブメニューエリアの情報

「メニューエリア」で選択した項目に設定項目が複数ある場合はこの「サブメニューエリア」 に機能一覧が表示されます。選択された項目は文字がオレンジで表示されます。

|--|

7.2.4 メインエリアの情報

選択されたメニュー・サブメニューに関する情報確認や設定を行う黄色いフレームで囲 まれたエリアです。

正常 C: ミラー ● ● 正常 D: RAID 5 ● ● ● メッセージ 正常	正常 C: ミラー ● ● 正常 D: RAID 5 ● ● ● メッセージ 正常 ●		77-97	ドライブ	タイプ	HDD1	нрра	нррз	HDD4
 正常 C: ミラー ● 正常 D: RAID 5 ● ● メッセージ 正常 	 正常 C: ミラ- ● ● 正常 D: RAID 5 ● ● ● メッセージ 正常 	_	~ ~ ~	1.2.12	212		11002	noos	HUU4
 正常 D: RAID 5 ● ● ● メッセージー 正常 	 正常 D: RAID 5 ● ●	•	正常	C:	ミラー	•	•		
メッセージ 正常	メッセージ 正常	•	正常	D:	RAID 5	•	•	•	•
		正常	-						



WebUI のステータスメニューでは本製品の状況(ステータス)を知ることが可能です。 「メニューエリア」の[ステータス]をクリックします。

	00001				×
C 102 Mttp://192.108.XX.XXX	:8808/menu.asp		a	D + C 🖉 NAS X1 X1_1-	× www.~
	セーノティ(S) ▼ ツール	(0) - 🜒 - 🖓 🔊 🕅	24		
ELECOM	NSB-7554D56	Web UI Ver 5.	.21		
	1クオンユーサー: adn	nin システムステータ			
	コンビュータ名: NSE	3-75S RAIDステータ	9ス: • 正常 表示の更新		
ファイル共有設定	NASステータス				·
ポリートの管理					
ホリュームの目に生					
ショニノシャウ	RAIDステータン	ス:	正常		
	Windows Upd	ate :	件数を確認中です。		
の知りビスール設定	システム稼働時	間 :	4時間37分		
电标	日時:		2017年8月17日 15時58分		
えわちほ		IPアドレス:	192.168.xx.xxx (DHCP)		
サポートボークル ELECOM SUPPORT	SUPPORT	MACアドレス:	00:11:22:AA:BB:CC		
各種機器との 設定方法を		IPアドレス:	なし		
紹介しています!	LANZ :	MACアドレス:	11:22:33:BB:CC:DD		
▶ 設定方法はこちら	システムステー	- タス:	正常		
		CPU温度:	40 ℃		
	ハードウェア :	CPUファン:	4021 回転		
		チップセット温度:	33 ℃		
		ケースファン:	1935 回転		
		バックアップ:	なし		
	運用:	空き容量:	ドライブC: 88.18% (11.83GB/100.00GB)		
		(使用中/全容量)	ドライブD: 0% (0GB/0GB)		
		HDD1:	正常		
		HDD2:	正常		
	HDD :	HDD3:	正常		
		HDD4 :	正常		
	L				
			Copyright (C) Logitec INA Solutions Co.,Ltd. All	rights reserved.	

項目	説明
システム ステータス	 後述の「ハードウェア」、「運用」、「HDD」の各ステータス情報から、システム全体のステータスを判定して表示します。 以下のステータスがあります。 正常 : すべてのステータス項目が正常範囲内です。 警告あり : ステータス項目内に、「警告」を検出しています。「エラー」になる前に、何らかの対策が必要な状況です。各ステータス項目をご確認ください。 エラーあり: ステータス項目の中に、「エラー」を検出しています。本製品の正常な運用を維持できない状況です。各ステータス項目をご確認ください。
RAID ステータス	本製品の RAID の状態を示します。以下のステータスがあります。 正常 : RAID は正常に稼働しています。 エラー : RAID にエラーが発生しています。ディスク交換が必要です。 修復待ち : ディスクが交換されました。リビルドを実行してください。 修復中 : RAID のリビルドもしくはパリティチェックが実行されています。 取得中 : RAID 情報の取得中です。
WindowsUpdate	本製品に適用可能な WindowsUpdate が公開されているかを表示します。 (WindowsUpdate の実行はリモートデスクトップの管理画面より行ってください)

項目	説明		
システム稼働時間	前回システムが起動してからの稼働時間を表示しています。(リアルタイム表示では ありません)		
日時	本製品に設定されている時間を表示します(リアルタイム表示ではありません)。時間にズレが生じていると、保存されるファイルのタイムスタンプなどに影響しますので、正確な時間で設定されているか確認してください。日時の変更はシステムメニューより設定可能です。		
LAN1/2	LAN ポート 1/2 のネットワーク状態を表示します。 IP アドレス: 各ポートに設定された(又は割り当てられた) IP アドレスが表示され ます。DHCP サーバーから割り当てられている場合は末尾に(DHCP) と表示。手動設定されている場合は末尾に(固定)と表示。ネットワー ク接続が無い場合は「なし」と表示されます。 MAC アドレス: 各ポートの MAC アドレスが表示されます。 「NIC チーミング機能」を利用されている場合は、ネットワーク状態が表示 されません。 リモートデスクトップの管理画面での確認をお願いします。		
ハードウェア	 CPU の温度、ファンの回転数を表示します(回転数の単位は回転/分です)。 CPU 温度: CPU の温度を表示します。90℃以上で「警告」、100℃以上で「エラー」 となります。 CPU ファン: CPU ファンの回転数を表示します。2000 回転未満で「警告」、100 回 転未満で「エラー」となります。 バックパネルファン: 製品本体内のバックパネルファンのステータスを表示します。 ファンの回転に異常を検出した場合「エラー」となります。 チップセット温度: チップセットの温度を表示します。90℃以上で「警告」、 100℃以上で「エラー」となります。 ケースファン: 製品本体背面のケースファンの回転数を表示します。1000 回 転未満で「警告」、100 回転未満で「エラー」となります。 バックパネル温度: 製品本体内のバックパネルに異常を検出した場合「エラー」 となります。 		
運用	 最新のバックアップ状態と、論理ドライブ毎の空き容量に関する情報を表示します。 バックアップ 「Windows Server バックアップ」によるバックアップを実行している場合、その最後の実行結果と終了日時を表示します。 アップマップに失敗した場合に「エラー」となります。 空き容量(使用中/全容量): 論理ドライブ毎に、空き容量のパーセンテージを表示します。 このパーセンテージが閾値を下回った場合に「警告」となります。 このパーセンテージが閾値を下回った場合に「警告」となります。 閾値は、「NAS ツール」上の「お知らせメール設定」と連動しており、規定値は30%です。この閾値は必要に応じて変更が可能で、「お知らせメール設定」の「Disk 残容量」 タブで編集できます。 暗号化されている論理ドライブで、ロック中のドライブについては空き容量表示が「0%」となりますが、異常ではありません。 アンロックして頂くと空き容量が表示されます。 		
HDD	 内蔵 HDD のステータスを表示します。下記のステータスがあります。 正常 : HDD のステータスに問題が無いことを示します。 警告 : HDD の温度が 60℃以上となっている事を示します。システムステータ スには、「警告」として反映されます。 異常 : HDD の温度が 70℃以上となっている事を示します。システムステータ スには、「エラー」として反映されます。 		



本製品の運用に必要な初期設定を行います。「メニューエリア」の[初期設定]をクリックします。各項目の設定が完了したら[設定]ボタンをクリックします。

「NIC チーミング機能」を利用されている場合は、本機能での設定はできません。 リモートデスクトップの管理画面での設定をお願いします。



項目	説明
コンピュータ名	本製品のコンピュータ名を設定します。同一ネットワークに同じ名前が存在しない様 に設定する必要があります。
設定対象の LAN ポート	現在ネットワークが有効になっているメイン LAN ポートを表示します。両方の LAN ポートにネットワークが接続されている場合は LAN1 ポートが表示されます。
固定 IP/DHCP	設定対象の LAN ポートの IP アドレスの設定方法を指定します。 固定 IP アドレス : 手動で IP アドレスを設定します。「IP アドレス」「サブネット マスク」「デフォルトゲートウェイ」「DNS サーバー」に所定の 値を入力します。 DHCP : DHCP サーバーから IP アドレスを取得します。
IP アドレス	固定 IP アドレスで設定する場合に IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	固定 IP アドレスで設定する場合に入力した IP アドレスに対応するクラスのサブネットマスクを入力します。
デフォルト ゲートウェイ	固定 IP アドレスで設定する場合に入力した IP アドレスのネットワークのデフォルト ゲートウェイの IP アドレスを入力します。
DNS サーバー	固定 IP アドレスで設定する場合に入力した IP アドレスのネットワークから参照可能な DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
日時設定	本製品の日時設定を入力します。日時がずれている場合は正確な日時を入力してく ださい。

7.5 ファイル共有設定

本製品の共有フォルダや共有フォルダにアクセスするユーザ / グループの設定を行う事が できます。「メニューエリア」から [ファイル共有設定] をクリックします。ファイル共有設 定にはサブメニューとして「共有フォルダ」、「ユーザー」、「グループ」が存在します。

	xxx:8808/menu.asp	ー ロ × の☆懲 (2) ×==X(1) X EAN (2) ・ ス
🏠 🕶 🖾 🕈 🖾 👘 🕶 👫 - S	ź(P) ▼ セーフティ(S) ▼ ツール(O) ▼ @ ▼ 非 및 및	
 ■ ここのでは、 ■ このでは、 ■ この	NAS ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
お知らセメール観定 電源 またまま またのまでのです なたままま またいではます ・ 医定方法はこちら	共有フォルダ名 ◆ パス ◆ 説 Public D:¥Public	
	Copyright (C) Logitec INA Solutions Co.,Ltd. A	ll rights reserved.

MEMO Web UI を使用して共有フォルダーの権限設定を行える上限は50名までです。 51名以上はリモートデスクトップで設定を行ってください。

7.5.1 共有フォルダ

共有フォルダメニューでは、共有フォルダの新規作成、アクセス権の編集、共有解除が 行えます。「サブメニューエリア」の [共有フォルダ] をクリックします。

2	A http://192.168.XX X	XX-8808/menu asp				0	- C ANAS 14	\/			× 83 🙂
	 ▼ □	(P) ▼ セーフティ(S) ▼ ツール(O) ▼ (0- 🕁 N N			7-	C NA3 /1	//	0	00 🐼	····
	ELECOM	NSB-75S4DS6 Web	0 UI Ver 5.21								
	LELEDIN	ログオンユーザー: admin	システムステータス: 🧕	正常	NAS⊐∽ル						
	ステータス	コンピュータ名: NSB-755	RAIDステータス: 🧕	正常	表示の更新						
	初期設定										
	ファイル共有設定	▶ 共有フォルダ	ユーザー	グループ							
	ボリュームの管理										
	ネットワーク設定										
	システム設定	新規作成	編集 共有解	除							
	お知らせメール設定		-			74.80					
	電源	共有フォルタ	名 \$	ХX	÷	説明	÷ ^				
		Public	D:¥Public								
	ナトナ1 ₹										
	各種機器との 設定方法を										

共有フォルダの作成

1	「メインエリ	ア 」内の	[新規作成]	ボタンをクリックしま	ミす。
	▶ 共有フォルダ	ユーザー	グループ		
	新規作成	編集 共有	耳解耶念		

2 表示された「共有フォルダの新規作成」画面にて必要な情報を入力して [設定] ボタン をクリックします。

				-	
://192.168.xx.xxx:88	08/Fileshare_Set/FolderEd	lit.asp			
共有フォルダの新規	見作成				
する内容を反映す	るには、画面下部の「	設定」ボタンをクリック	してください	۱.	
*共有フォルダ名:					
* ノオルタバス・					
27/1027/000	例) D:¥NewFolder				
説明:	例) D:¥NewFolder				
説明:	例) D:¥NewFolder				
説明: 共有アクセス評	例) D:¥NewFolder 「 F可:	ユーザー グループ			
説明: 共有アクセス評 名前	例) D:¥NewFolder F可: 選択	ユーザー グループ アクセス権			
説明: 共有アクセス評 名前 admin	例) D:¥NewFolder 下可: 選択	<mark>ユーザー</mark> グループ アクセス権 読み取り 、			
説明: 共有アクセス評 名前 admin DefaultAccount	(列) D:¥NewFolder 下可: 選択 □	ユーザー グループ アクセス権 読み取り ✓ 読み取り ✓			
説明: 共有アクセス評 名前 admin DefaultAccount Guest	(列) D:¥NewFolder	ユーザー グループ アクセス権 読み取り ~ 読み取り ~ 読み取り ~			
説明: 共有アクセス評 名前 admin DefaultAccount Guest Everyone	(判) D:¥NewFolder	ユーザー グループ アクセス権 読み取り ~ 読み取り ~ 読み取り ~ 読み取り ~			
説明: 共有アクセス評 名前 admin DefaultAccount Guest Everyone *) は入力が3	(別) D:¥NewFolder	ユーザー グループ アクセス権 読み取り ~ 読み取り ~ 読み取り ~ 読み取り ~			

項目	説明					
共有フォルダ名	ネットワーク上に公開する共有フォルダ名を入力します。					
フォルダパス	共有フォルダを作成するローカルエリアを入力します。本製品のデータボリュームに 対して共有フォルダを作成します。既存のフォルダを指定する事も可能です。現存し ないフォルダ名を指定した場合は自動的にフォルダを作成します。					
説明	ネットワーク上に公開する共有フォルダの説明です。入力は必須ではありません。					
共有アクセス許可	現在登録されているユーザー、グループの一覧が表示されますので、アクセス権を 与えるユーザー、グループの「選択」チェックボックスをチェックし、アクセス権を プルダウンメニューより選択します。					
アクセス権	ユーザー					
	 読み取り :指定したユーザーは共有フォルダ内のファイルのリードが可能です。 変更 :指定したユーザーは共有フォルダ内のリード、ライトが可能です。 フルコントロール :指定したユーザーは共有フォルダ内のリード、ライト、下層フォルダのアクセス権管理が可能になります。 					
	グループ					
	 読み取り :指定したグループは共有フォルダ内のファイルのリードが可能です。 変更 :指定したグループは共有フォルダ内のリード、ライトが可能です。 フルコントロール :指定したグループは共有フォルダ内のリード、ライト、下層フォルダのアクセス権管理が可能になります。 					
共有フォルダの編集

1 共有フォルダリスト内の共有フォルダを選択して [編集] ボタンをクリックします。

▶ 共有フォルダ	ユーザー	グループ	
新規作成	編集 共有解		
新規作成	編集 共有解释	-	

2 表示された「共有フォルダの編集」 画面にて必要な情報を入力して [設定] ボタンをクリックします。

<i>(2</i>) #	キャッチャック キャック キャック キャック そうしん そうしん そうしん そうしん そうしん そうしん ちゅうしん しんしん ちゅうしん そうしん ちゅうしん しんしん ちゅうしん しんしん ちゅうしん しんしん ちゅうしん しんしん しんしん ちゅうしん しんしん しんしん ちゅうしん しんしん ちゅうしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん	Internet Explorer			_		×	
🩋 ht	http://192.168.1.xx.xxx:8808/Fileshare_Set/FolderEdit.asp							
	共有フォルダの新規	見作成						
変	更する内容を反映す	るには、画面下部の「言	受定」ボタンをクリック	してください	۱.			
	*共有フォルダ名:	Public						
	*フォルダパス: Di¥Public 例) D:¥NewFolder							
	説明:							
	*共有アクセス評	许可:	<u>ユーザー</u> グループ					
	名前	選択	アクセス権					
	admin		読み取り 🗸					
	DefaultAccount		読み取り 🗸					
	Guest		読み取り 🗸					
	Everyone	\checkmark	読み取り 🗸					
	(*) は入力必須	頁項目です。 設定	キャンセル	L				

項目	説明
共有フォルダ名	ネットワーク上に公開する共有フォルダ名を入力します。
フォルダパス	共有フォルダを作成するローカルエリアを入力します。本製品のデータボリュームに 対して共有フォルダを作成します。既存のフォルダを指定する事も可能です。現存し ないフォルダ名を指定した場合は自動的にフォルダを作成します。
説明	ネットワーク上に公開する共有フォルダの説明です。入力は必須ではありません。
共有アクセス許可	現在登録されているユーザー、グループの一覧が表示されますので、アクセス権を 与えるユーザー、グループの「選択」チェックボックスをチェックし、アクセス権を プルダウンメニューより選択します。
アクセス権	ユーザー
	 読み取り :指定したユーザーは共有フォルダ内のファイルのリードが可能です。 変更 :指定したユーザーは共有フォルダ内のリード、ライトが可能です。 フルコントロール :指定したユーザーは共有フォルダ内のリード、ライト、下層フォルダのアクセス権管理が可能になります。
	グループ
	 読み取り :指定したグループは共有フォルダ内のファイルのリードが可能です。 変更 :指定したグループは共有フォルダ内のリード、ライトが可能です。 フルコントロール :指定したグループは共有フォルダ内のリード、ライト、下層フォルダのアクセス権管理が可能になります。

共有フォルダの解除

	有フォルダリスト内の共有フォルダを選択して [共有解除] ボタンをクリックします。
P	新規作成 編集 共有解除 共有フォルダ名 ◆ パス ◆ 説明 ◆ blic D:¥Public
2 表 共	示された「 アラート」 で[OK]をクリックします。 有フォルダの登録が解除されますが、フォルダ内のデータ等は削除されません。
We	o ページからのメッセージ × Public の共有を解除します。よろしいですか? 注: ローカルフォルダは削除されません。 OK キャンセル
7. ユ- カバ	5.2 ユーザー ーザーメニューでは、ローカルユーザーの新規作成、ローカルユーザーの編集、ロー レユーザーの削除が行えます。「 サブメニューエリア」 の[ユーザー]をクリックします。
() 合。	 ・● ・ ページ(P) ・ セーフティ(S) ・ ジール(O) ・ ●・ ♪ ・ □ ● ・ ページ(P) ・ セーフティ(S) ・ ジール(O) ・ ●・ ♪ ・ □ ● ・ ページ(P) ・ セーフティ(S) ・ ジール(O) ・ ●・ ♪ ・ □ ● ・ ページ(P) ・ セーフティ(S) ・ ジール(O) ・ ●・ ♪ ・ □ ● ・ ページ(P) ・ セーフティ(S) ・ ジール(O) ・ ●・ ♪ ・ □ ● ・ ページ(P) ・ セーフティ(S) ・ ジール(O) ・ ●・ ♪ ・ □ ● ・ ページ(P) ・ セーフティ(S) ・ ジール(O) ・ ●・ ♪ ・ □ ● ・ ページ(P) ・ セーフティ(S) ・ ジール(O) ・ ●・ ♪ ・ □ ● ・ ↓ ・ □ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
	アイル共有認定 共有フォルジ アニーサー クループ ボリュームの管理 ホットワーク設定 システム設定 新規作成 単果 創除 システム設定 新規作成 単果 創除 ・ ちならセメール設定 モデー システムキ 説明 ・ 電源 ・ ユーザー名・フルネームキ 説明 ・ 管理者 admin コンピューター/ドメインの管理用(ビルトイン アカウント) ・ この他 DefaultAccou nt システムで管理されるユーザー アカウントです・ ・

MEMO システムが使用しているユーザーアカウントも表示されます。

ユーザーの作成

1	「メインエリ	Iア 」内の	[新規作成]	ボタンをクリックしま	す。
	共有フォルダ	▶ ユーザー	グループ		
	新規作成	編集	削除		

	t Explorer	-	×		
http://192.168.xx.xxx:8808	/FileShare_Set/UserEdit.asp				
ユーザーの新規作成					
フルネーム:					
説明: パスワード:					
パスワードの確認:					

項目	説明					
ユーザー名	ユーザのアカウント名を入力します。					
フルネーム	ユーザのフルネームを入力します。入力は必須ではありません。					
説明	ユーザーの説明を入力します。入力は必須ではありません。					
パスワード	ユーザーアカウントに対するパスワードを入力します。ここで入力されたパスワード には使用期限は設定されません。					
パスワードの確認	再度パスワードを入力します「パスワード」で入力したパスワードと同じものを入た してください。					
アカウントの種類	アカウントの種類を設定します。					
	 標準ユーザー:共有フォルダにアクセスするためのユーザーアカウントを作成する場合に選択します。 管理画面等にアクセスするユーザーアカウントを作成する場合に選択します。管理者に設定することで、WebUI管理画面にアクセスすることが可能になります。 					

ユーザーの編集

ューザー	-リストか	ら既存のユ	1ーザーを選択	して [編	集]	ボタン	をクリッ	クしき
新規作成	編集	削除						
種類 ⇔	ユーザー名 🕈	フルネーム ≑	説明	÷ 🔍				
管理者	admin	コンピュー・ ト)	ター/ドメインの管理用 (ビルトィ	′ン アカウン				
その他	DefaultAccou nt	システムで	管理されるユーザー アカウントで					
標準ユーザー	Guest	コンピュー・ イン アカウ	・ター/ドメインへのゲスト アクセ. ウント)	ス用 (ビルト				
標準ユーザー	User00							
•								



2 表示された「ユーザーの編集」画面にて必要な情報を入力して [設定] ボタンをクリック します。

6	ב	-ザーの編集 - Internet Explore	r	-
Ć	htt	p:// 192.168.xx.xxx :8808/File:	share_Set/UserEdit.asp?uType=標準ユーザー&uName=User008	ιuFullName=8ιuΕ
		ユーザーの編集		
	_			
	変!	更する内容を反映するには	、画面下部の「設定」ボタンをクリックしてください	
		*ユーザー名:	User00	
		フルネーム:		
		説明:		
		現在のパスワード:	パスワードを変更する場合のみ入力	
		新しいパスワード:		
		新しいパスワードの確認:		
		アカウントの種類:	 ● 標準ユーザー ○管理者 	
		(*) は入力必須項目です。	設定 キャンセル	

項目	説明 説明 説明 (1997)						
ユーザー名	ユーザーのアカウント名を入力します。						
フルネーム	ユーザーのフルネームを入力します。入力は必須ではありません。						
説明	ユーザーの説明を入力します。入力は必須ではありません。						
現在のパスワード	パスワードを変更する場合に現在登録されているパスワードを入力します。						
新しいパスワード	パスワードを変更したい場合はここに入力します。						
新しいパスワード の確認	再度パスワードを入力します。「新しいパスワード」で入力したパスワードと同じも のを入力してください。						
アカウントの種類	アカウントの種類を設定します。						
	 標準ユーザー:共有フォルダにアクセスするためのユーザーアカウントを作成する場合に選択します。 管理画面等にアクセスするユーザーアカウントを作成する場合に選択します。また管理者に設定することで、WebUI 管理画面にアクセスすることが可能になります。 						

ユーザーの削除

1	ユーザーリスト内の削除したいユーザーを選択して	[削除]	ボタンをクリックします。
---	-------------------------	------	--------------





表示された「アラート」で [OK] をクリックします。

Web ペー:	ジからのメッセージ	×
?	User00を削除します。よろしいですか? 注: WebUIからアカウントを削除した場合、対象のアカウントのファイルは保存で きません。ファイルを保持する場合は、Windowsの「アカウントの管理」画面で行っ てください。	
	OK キャンセル	

以上でユーザーの削除は完了です。



アラート画面に「対象のアカウントのファイルは保存できません」との表示がされますが、これ はユーザ管理ファイルを指しており、共有フォルダ内データには特に変更や削除はされません。

7.5.3 グループ

グループメニューでは、ローカルグループの新規作成、ローカルグループの編集、ロー カルグループの削除が行えます。「サブメニューエリア」の[グループ]をクリックします。

A	2000/	0 1 6 11 11 11	- C ×
	0 + C 2 NAS X1 0X_1-	× w x w 🖌	
	$NCB_7EC4DC6 Web UI Ver E 21$		
ELECOM	NSB-7534D50 Web 01 ver 5.21		
	ログオンユーザー: admin システムステータス: O 正常 NASコール		
ステーダス	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス: O 正常 表示の更新		
初期設定			
ファイル共有設定	共有 フォルタ ユーザー アガルーラ		
ボリュームの管理			
ネットワーク設定			
システム設定	新規作成 編集 削除		
お知らせメール設定	夕前 🔺 判明		
電源	1.11 v 3.74		
 本・ホーラル LLCOM SUPPORT 各種機器との 設定方法を 紹介しています! 設定方法はこちら 			

グループの作成

1	「メインエ	リア 」内の	[新規作成] ボタンをクリックしま	ታ _°
	共有フォルダ	ユーザー	▶ グループ		
	新規作成	編集 削	₿ŷŧ		

2 表示された「グループの新規作成」 画面にて必要な情報を入力して [設定] ボタンをクリックします。

<i>〇 グ</i> ループの新規作成 - Internet Explorer		_	×
http://192.168.xx.xxx:8808/Fileshare_Set	/GroupEdit.asp		
グループの新規作成			
変更する内容を反映するには、画面	下部の「設定」ボタンをクリックし	ってください。	
*グループ名:			
説明:			
所属するメンバー	73210		
名前	送択		
admin			
DefaultAccount			
Guest			
User00			
(*) は入力必須項目です。	設定 キャンセル		

項目	説明
グループ名	グループのアカウント名を入力します。
説明	グループの説明を入力します。入力は必須ではありません。
所属するメンバー	グループに所属させるユーザーにチェックを入れ選択します。

グループの編集

1 グループリストから既存のグループを選択して [編集] ボタンをクリックします。



2 表示された「グループの編集」画面にて必要な情報を入力して [設定] ボタンをクリック します。

🥌 グループの編集 - Internet	t Explorer		
🎒 http://1 92.168.xx.xxx :8	8808/Fileshare_Set/	/GroupEdit.asp?gName=Group00&gD	esc=
グループの編集			
変更する内容を反映	するには、画面]	下部の「設定」ボタンをクリックし	ってください。
*グループ名: G	àroup00		
説明:			
L			
所属するメンバ・	-		
名前	贞	選択	
admin			
DefaultAccount			
Guest			
User00			
(*) は入力:	必須項目です。	設定キャンセル	

項目	説明
グループ名	グループのアカウント名を入力します。
説明	グループの説明を入力します。入力は必須ではありません。
所属するメンバー	グループに所属させるユーザーにチェックを入れ選択します。

グループの削除

グループリスト内の削除したいグ	ループを選択して [削除] ボタンをクリックします。
新規作成 編集 削除	
e Annia Ann	
■ 表示された「アラート」で [OK]	をクリックします。
Web ページからのメッセージ	×
Group00を削除します。よろしいですか?	



以上でグループの削除は完了です。

7.6 ボリュームの管理

本製品のディスクボリューム、RAID のメンテナンスを行う事が可能です。「メニューエリア」 から [ボリュームの管理] をクリックします。「ボリュームの管理」にはサブメニューとして 「ボリューム情報」と「S.M.A.R.T」が存在します。

	xxx:8888/menu.asp	- □ × 小x=- × 命☆戀 🥮
🟠 🕶 🗟 👻 🖃 🌧 🕶 🔨 -9	ÿ(P) ▼ セーフティ(S) ▼ ୬ール(O) ▼ @▼ 👍 🔊 🔊	
ELECOM	NSB-7554DS6 Web UI Ver 5.21 ログオンユーザー: admin システムステータス: ● ET NASコール	
ステータス 初期設定	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス: 0 EX 表示の更新	
ファイル共有設定	▶ ポリューム情報 S.M.A.R.T	
システム設定 お知らせメール設定	ステータス ドライブ タイブ HDD1 HDD2 HDD3 HDD4 正常 C: ミラー ●	
電源	● 正常 D: RAID 5 ● ● ● メッセージ 正常	
ないたまでは サポーポータル ELECON SUPPORT 名種機数との 設定方法を 認定方法を ・ 設定方法を ・ とこの まま ・ ・ ・ 、 、 と に の い の い の い の い の い の い の い の い の い の い の い の い の い い の い い い い い い い い い い い い い	RAID情報の更新	

7.6.1 ボリューム情報

ボリューム情報メニューでは、本製品内の RAID 状態の確認と、リビルド操作を行う事が可能です。「サブメニューエリア」の [ボリューム情報] をクリックします。「メインエリア」 に各情報が表示されます。



2	テータス	ドライブ	タイプ	HDD1	HDD2	HDD3	HDD4		
	正常	С:	ミラー	•	•				
~~	正常	D:	RAID 5	•	•	•	•		
-									
.D ' 青 幹板 (の更新	修復							
項目							説明]	
タスオ	ドックス	、 本製	品内の行	各 HDD	とボリュ	ームの	青報が表	示されます。	
ータ	ス	RAID)のステ	ータスだ	が表示さ	れます。			
ライブ		本製	品内で	登録され	ている	ドライブ	レターが	表示されます	
ィプ		構成	されてい	いる RAI	Dタイフ	が表示	されます	• 0	
DD1 ~	- 4	各H	各 HDD の状態が表示されます。						
		•:	正常	X:3	ニラー				
		ЖН	DD の状	態によ	ってHD	D1 \sim H	DD4 に ((D) または (E	
		HC)D*(D) : E	ミラー、る	またはRAI	D5ボリュ	ームのメ	ンバーから外さ	
		H	DD*(E):	アクセ	スエラー	-が発生	したこと	を示します。	
			î) i	複数の日	HDDに	'×'がヨ	表示され [.]	ている場合、	
				は実行で	できません	ん。速や	っかにデ-	ータのバックフ	
		汪	意。	バックア	゚ ップがヲ	宅了した	後、問題	の発生してい	
				(別売)	に交換し	した上で	RAID	ボリュームの	
セージオ	ドックス	現在	の RAID	状態に	:関する>	メッセー	ジが表示	えされます。	
RAID 情報の更新		ブラ	ブラウザに表示されている RAID 情報を最新の情報に更新します。						
Ð		RAIE) エラー	発生時	、スペフ	ッドライ	ブの交換	後に本ボタン	
		ドが	開始され	います。					
		スペ	アドライ	ブが挿	入される	るまでは	本ボタン	は操作できま	

7.6.2 S.M.A.R.T

S.M.A.R.T メニューでは、本製品に搭載されている各 HDD の状態を表示します。「サブメ ニューエリア」の [S.M.A.R.T] をクリックします。「メインエリア」に各情報が表示されます。

G	(=) 🏉 http://192.168.1.xx	.xxx:8808/m	ienu.asp						5 - Q	(a) NAS X1;	ンメニュー	×	- ŵ	□ × ☆戀®
<u>ه</u> -	· 🗟 • 🖻 🖶 • ぺ-ジ	(P) ▼ セーフ	ティ(S) マ ツー	IL(O) - 🕢 - 🎝 🦛 🕅						-				
	ELECOM	NSB-7	'5S4DS6	Web UI Ver 5.21										
		ログオンコ	1—ザ—: ad	Imin システムステータス	🧿 正常	NASI	1- <i>I</i> I							
	ステータス	コンピュ	1- 夕名: N:	5B-75S RAIDステータス	● 正常	表示の	更新							
	初期設定													
	ファイル共有設定		ホリユーム(育	₩ ► S.M.A.R.T										
Þ	ボリュームの管理													
	ネットワーク設定							修復済み	読み込み不安定な	修御が必要な				
	システム設定		ステータン	ス 型番	F/W	シリアル番号	容量	セクタ数	セクタ数	セクタ数				
	お知らせメール設定	н	DD1 良好	WDC WD10EFRX-68FYTN0	82.00A82	WD-WCC123456789	932 GB	0	0	0				
	電源	н	DD2 良好	WDC WD10EFRX-68FYTN0	82.00A82	WD-WCC234567890	932 GB	0	0	0				
		н	DD3 良好	WDC WD10EFRX-68FYTN0	82.00A82	WD-WCC345678901	932 GB	0	0	0				
	えれさぼ	н	DD4 良好	WDC WD10EFRX-68FYTN0	82.00A82	WD-WCC456789012	932 GB	0	0	0				

ハードディスクの S.M.A.R.T 情報を表示します。S.M.A.R.T 値が悪くても Windows 上で正常に動作している間は、RAID エラーにならず「RAID ビルダー」では「○」で表示されます。

						1	1	1
	ステータス	市器	F/W	シリアル番号	察景	修復済み	読み込み不安定な	修復が必要な
	~ ~		.,	2 3 7 7 m - 3		セクタ数	セクタ数	セクタ数
HDD1	良好	WDC WD10EFRX-68FYTN0	82.00A82	WD-WCC123456789	932 GB	0	0	0
HDD2	良好	WDC WD10EFRX-68FYTN0	82.00A82	WD-WCC234567890	932 GB	0	0	0
HDD3	良好	WDC WD10EFRX-68FYTN0	82.00A82	WD-WCC345678901	932 GB	0	0	0
HDD4	良好	WDC WD10EFRX-68FYTN0	82.00A82	WD-WCC456789012	932 GB	0	0	0

項目	説明					
ステータス	 ハードディスクの状態を表示しています。 良好 : HDD はダメージが無く、正常に動作しています。 要交換 : HDD にダメージが見られます。現時点で RAID 構成に問題は有りませんが、スペアドライブの準備を行ってください。 エラー : HDD にエラーが発生しています。RAID のリビルドが必要になります。 					
型番	本製品に搭載されている HDD の型番が表示されます。					
F/W	本製品に搭載されている HDD のファームウェアバージョンが表示されます。					
シリアル番号	本製品に搭載されている HDD のシリアル番号が表示されます。					
容量	本製品に搭載されている HDD の容量が表示されます。GB 単位(1GB=1024MB) で表示されます。					
修復済みセクタ数	S.M.A.R.T 情報で取得した代替え済のセクタ数(05)					
読み込み不安定 なセクタ数	S.M.A.R.T 情報で取得した代替え保留中のセクタ数(C5)					
修復が必要な セクタ数	S.M.A.R.T 情報で取得した回復不可能なセクタ数 (C6)					



本製品のネットワークに関する設定を行う事ができます。「メニューエリア」から[ネットワーク設定] をクリックします。ネットワーク設定にはサブメニューとして「コンピュータ名 / ドメイン名」、「IP アドレス」が存在します。





7.7.1 コンピュータ名 / ドメイン名

コンピュータ名 / ドメイン名メニューでは本製品の Windows ネットワーク上での識別に 関わる設定が可能です。「サブメニューエリア」の[コンピュータ名 / ドメイン名] をクリッ クします。「メインエリア」に各情報が表示されます。設定を変更する場合は、必要な情 報を入力して[設定] ボタンをクリックします。

¢	⇒	xx :8808/menu.asp		Р - С 🦉 NAS X1/XII-	- □ × × 命☆戀 ⁽⁹⁾
🟠 -	🔊 = 🖃 🖶 = K-ジ	(P) ▼ セーフティ(S) ▼ ツール(O) ▼ 🕢 🔊 🔊			
		NSB-75S4DS6 Web UI Ver 5.2	1		
		ログオンユーザー: admin システムステータス	K: • E# NASI-J		
	ステータス	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス	【: ● 正常 表示の更新		
	初期設定				
	ファイル共有設定	▶ コンピュータ名/ドメイン名 107	ドレス		
	ボリュームの管理	変更する内容を反映するには、画面下部の	「設定」ボタンをクリックしてください。		
	ネットワーク設定	コンピュータ名:	NSB-75S		
	システム設定	所属するグループ:	WORKGROUP		
	お知らせメール設定	参加方法:	●ワークグループ ○ADドメイン		
	電源	ワークグループ名:			

変!	更する内容を反映するには、画面下部の「	設定」ボタンをクリックしてください。
	コンピュータ名:	NSB-75S
	所属するグループ:	WORKGROUP
	参加方法:	●ワークグループ ○ADドメイン
	ワークグループ名:	
	ドメイン名:	
	参加するドメインの管理者名:	
	参加するドメインの管理者パスワード:	
	参加中ドメインの管理者名:	
	参加中ドメインの管理者パスワード:	
	設定	

項目	説明
コンピュータ名	本製品のコンピュータ名(ホスト名)を設定します。同一ネットワーク上に同じ名前 がない様に設定してください。
所属するグループ	現在所属しているワークグループ、ドメイン名が表示されます。
参加方法	グループへの参加方法を指定します。 ワークグループ : Workgroup によるネットワーク管理下で運用する場合に選択します。 ADドメイン : ActiveDirectory によるネットワーク管理下で運用する場合に選択し ます。
ワークグループ名	参加方法でワークグループを選択した場合に、ワークグループ名を入力します。
ドメイン名	参加方法で AD ドメインを選択した場合にドメイン名を入力します。
参加するドメイン の管理者名	参加方法で AD ドメインを選択した場合にドメインの管理者アカウントを入力します。
参加するドメインの 管理者パスワード	参加方法で AD ドメインを選択した場合にドメインの管理者アカウントのパスワード を入力します。
参加中ドメインの 管理者名	現在参加中のドメインから離脱する場合、もしくは別のドメインに参加する場合に 現在参加中のドメインの管理者アカウントを入力します。
参加中ドメインの 管理者パスワード	現在参加中のドメインから離脱する場合、もしくは別のドメインに参加する場合に 現在参加中のドメインの管理者アカウントのパスワードを入力します。

7.7.2 IP アドレス

IP アドレスメニューでは本製品に搭載されている2つの LAN ポートの TCP/IP ネットワークに関する設定を行う事ができます。「サブメニューエリア」の [IP アドレス] をクリックします。「メインエリア」に各情報が表示されます。設定を変更する場合は、必要な情報を入力して [設定] ボタンをクリックします。

(-) 🖉 http://192.168.xx.x	xx:8808	8/menu.as;	0		Q - C @ NAS X17X	- □ ×
<u>ن</u>	🚵 🔻 🖾 🖶 🐨 K-ジ(P) + 1z-774(S) + 19-1140) + 🔞 + 🛵 👰						
	ELECOM	NSI ログァ	B-75S 4 オンユーザ	4DS6 WebUIVer	5.21 -タス: ● 正常 NASヨール		
	ステータス 初期設定 ファイル共有設定	=:	≻ビュータ コン	名: NSB-755 RAIDステ- ピュータ名/ドメイン名 💽	- タス: ③ 正* 表示の更新 IPアドレス		
•	ボリュームの管理 ネットワーク設定	50	変更する内	n容を反映するには、画面下目	Øの「設定」ポタンをクリックしてください 		
	システム設定			状態: 固定IP/DHCP:	接続されています ●固定IPアドレス ○DHCP		
	電源		LAN1	IPアドレス : サブネットマスク :	192 .168 .2 .1 255 .255 .255 .0		

変	変更する内容を反映するには、画面下部の「設定」ボタンをクリックしてください。				
		状態:	接続されています		
		固定IP/DHCP:	●固定IPアドレス ○DHCP		
		IPアドレス:	192.168.2.1		
	LAN1	サブネットマスク:	255 . 255 . 255 . 0		
		デフォルトゲートウェイ:			
		DNSサ-バ-:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	LAN1設定	
		状態:	接続されていません		
		固定IP/DHCP:	○固定IPアドレス ○DHCP		
		IPアドレス:			
	LAN2	サブネットマスク:			
		デフォルトゲートウェイ:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
		DNSサ-バ-:	· · · · · ·	LAN2設定	

項目	説明		
状態	LAN ポートの状態が表示されます。		
固定 IP/DHCP	LAN ポートの IP アドレスの設定方法を指定します。 固定 IP アドレス : 手動で IP アドレスを設定します。「サブネットマスク」「デフォル トゲートウェイ」「DNS サーバー」に所定の値を入力します。 DHCP : DHCP サーバーから IP アドレスを取得します。		
IP アドレス	LAN ポートに固定 IP アドレスを設定する場合に IP アドレスを入力します。		
サブネットマスク	LAN ポートに固定 IP アドレスを設定する場合に入力した IP アドレスに対応するクラ スのサブネットマスクを入力します。		
デフォルトゲート ウェイ	LAN ポートに固定 IP アドレスを設定する場合に入力した IP アドレスのネットワーク のデフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。		
DNS サーバー	LAN ポートに固定 IP アドレスを設定する場合に入力した IP アドレスのネットワーク から参照可能な DNS サーバーの IP アドレスを入力します。		
LAN 設定ボタン	LAN ポートに関する設定の入力が完了したらこのボタンをクリックして設定を反映させます。		



システム設定メニューでは、本製品のシステム運用に関わる設定を行います。「メニュー エリア」から[システム設定]をクリックします。システム設定メニューにはサブメニュー として「日時設定」、「ログ」が存在します。

A (2) (2) (192.168.xx.x	XX:8808/menu.asp		D - C SINAS XAVY	- □ ×
 ▲ ▼ ▲ ▼ ▲ ▼ ۸-ジ 	(P) ▼ セーフティ(S) ▼ ツール(O) ▼ ② ▼ 👍 🔊 🔊			
ELECOM	NSB-75S4DS6 Web UI Ver 5.2 ログオンユーザー: admin システムステータ	21 ス: • • • • * • • NASI-Ju		
ステータス 初期設定	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータ	ス: ● 正常 表示の更新		
ファイル共有設定	▶ 日時設定 ログ			
ネットワーク設定	変更する内容を反映するには、画面下部の	「設定」ボタンをクリックしてください。 現在の設定		
システム設定 お知らせメール設定	日時: タイムゾーン:	2017/8/17 17:34:21 (UTC+09:00) 大阪、札幌、東京		
電源		設定変更		
えれさぼ	日時設定:	2017 / 8 / 17 17 34 26		
196-14-95 ELECON SUPPORT 日本機器との 認定方法を 紹介しています! ▶ 設定方法はこちら	タイムソーン: 設定	[(UTC+09-00) 大阪、礼幌、東京	v	

7.8.1 日時設定

日時設定メニューでは本製品に搭載されている内蔵時計に関する設定を行う事ができま す。「サブメニューエリア」の[日時設定]をクリックします。設定項目の入力が完了したら[設 定] ボタンをクリックします。

(⇒)	xx:8808/menu.asp	- ロ × タ・0 / @ NAS メインメニュ- × 協会な
<u>ن</u>	S + □ ⊕ + ペ-ジ	i(P) マ セーフティ(S) マ ツール(O) マ @マ 🔑 👰 願	
	ELECOM	NSB-75S4DS6 Web UI Ver 5.21	1
	LELE	ログオンユーザー: admin システムステータス	: ● 正常 NASI-ル
	ステータス	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス	: • 正常 表示の更新
	初期設定		
	ファイル共有設定		
	ボリュームの管理	亦画する内容を反映するにけ 画面下部の「	設定」ボタンをクロックしてください
	ネットワーク設定	支 (3 13 合 () () () () () () () () () (報告の語字
	システム設定		2017/0/17 17:24:21
	お知らせメール設定		
	電源	\$129-9:	(010+09:00) 入版、札幌、東示
			設定変更
1	えわさほ	日時設定:	2017 / 8 / 17 17 : 34 : 26
サ ボ		タイムゾーン:	[(UTC+09:00) 大阪、礼幌、東京 ✓
	各種機器との 設定方法を		
	船がしています!	設定	
	▶ 設定方法はこちら		

変更	変更する内容を反映するには、画面下部の「設定」ボタンをクリックしてください。				
[現在の	D設定			
	日時:	2017/8/17 17:34:21			
	タイムゾーン:	(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京			
Г		-			
	設定	変更			
	日時設定:	2017/8/17 17:34:26			
	タイムゾーン:	(UTC+09:00)大阪、札幌、東京 ✓			
	設定				

	項目	説明
現在の設定		現在設定されている情報が表示されます。
	日時	現在本製品内蔵の時計に設定されている日時が表示されます。
	タイムゾーン	現在本製品内蔵の時計に設定されているタイムゾーンが表示されます。
設定変更		変更したい設定の情報を入力します。
	日時	本製品内蔵の時計に設定する日時を入力します。 左から、年 (西暦記載4桁)/月(1~2桁)/日(1~2桁)時(24時間表記1~2桁): 分(1~2桁):秒(1~2桁)で入力します。
	タイムゾーン	本体内蔵の時計に設定するタイムゾーンを指定します。

7.8.2 ログ

ログメニューでは本製品の稼働記録の確認、ファイル保存を行う事ができます。「サブメ ニューエリア」の[ログ]をクリックします。

							-	
http://192.168.xx.						🥭 NAS メインメニュー	×	w x x
 ☆ S · □ ● · へ・: ELECOM ステークス 初期設定 フィイル共有設定 ボリュームの管理 ネットワーク設定 シバスム勘定 	(P) ・セーフティ(S) ・ ツール(O) ・ NSB-7554DS6 W ログオンユーザー: admin コンピュータ名: NSB-755 日時設定		正本 NASI-ル 正本 表示の更新 3 4 マ 表示 保存				_	
あわらせメール線定 達 ま ま ま ま た た た の に の の の の の の の の の の の の の	ログは最新100件が レベル 日4 エラー 2017/08/ エラー 2017/08/	表示されます。全て取得する (18 16:58:51 Microsoft (18 16:58:51 Microsoft (18 11:46:26 SRMSVC (17 17:43:7 VEDS (17 15:48:35 Microsoft (17 15:41:48 VEDS (17 15:41:41 SRMSVC (17 11:22:39 SRMSVC (10 15:22:38 Microsoft 1. "C:¥IIndone%System32%1 データは利用でをません。 7	には「保存」を押してください。 ソース -Windows-Perfilb -Windows-Perfilb -Windows-Perfilb tsserf.dl(7)の 0cen ブロシーン - ダ セクションの最初の 4 バイ		5 J			

	項目	説明		
0	ログ種類	確認 / 保存するログの種類を選択します。 アプリケーションログ:サービスやアプリケーションに関するイベント情報が記録されて います。 システムログ : ネットワークやシステムに関するイベント情報が記録されています。		
0	レベル	ログに保存されている情報のレベルを選択します。 エラー : システムの稼働に関わる可能性がある障害情報が選択されます。 警告 : システムの稼働に影響を及ぼす可能性があるイベントが選択されます。 情報 : システムやサービスからの情報が選択されます。 すべて : エラー、警告、情報 全ての情報を選択します。		
€	表示ボタン	表示ボタンをクリックする事で選択されたログ種類、レベルのログリストが⑤の表示 エリアに表示されます。		
4	保存ボタン	表示エリアのログを選択し、保存ボタンをクリックする事で選択されたログの内容を 保存することができます。		
Ø	ログリスト表示 エリア	ログリストが表示されます。		
6	ログメッセージ 表示エリア	⑤のログリスト表示エリアで選択したログの詳細情報が表示されます。		

ログの保存

リストアップされたログを CSV 形式の外部ファイルで保存できます。

1 ログリスト内の保存したいログを選択して [保存] ボタンをクリックします。

ログ種類	I: アプリケーション ✔ レイ	ペル: エラ- ✔ 表示 保存		
ログは最	新100件が表示されます。 🕯	全て取得するには「保存」を押してください。		
レベル	日付と時刻	ソース	イベントID	~
エラー	2017/08/18 16:58:51	Microsoft-Windows-Perflib	1008	
エラー	2017/08/18 11:46:26	SRMSVC	8197	
エラー	2017/08/17 17:04:37	VEDS	6001	
エラー	2017/08/17 15:58:35	Microsoft-Windows-Perflib	1008	

2 以下のようなメッセージが表示されますので [保存 (S)] をクリックします。

192.168.××.××× から LogAppErr20170818172528.csv を開くか、または保存しますか? ファイルを開く(O) 保存(S) キャンセル(C)

以上でログの保存は完了です。

×



お知らせメール設定メニューでは、本製品のイベント発生時に配信されるメール通知に 関する設定を行います。「メニューエリア」から[お知らせメール設定]をクリックします。 お知らせメール設定メニューにはサブメニューとして「基本設定」、「通知項目の設定」 が存在します。

	xx:8808/menu.asp	- C 🥝 NAS メインメニュー
🟠 🕶 🗟 🔹 🖃 🖶 🖝 🕫 - V(V)	(P)▼ セーフティ(S)▼ ツール(O)▼ ⑧▼ 非 🔊 🔊	
ELECOM	NSB-7554DS6 Web UI Ver 5.21 ログオンユーザー: admin システムステータス: ● E素 NASユール	
ステータス 初期設定	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス: ● 正常 表示の更新	
ファイル共有設定	▶ 基本設定 通知項目の設定	
ボリュームの管理	変更する内容を反映するには、画面下部の「設定」ボタンをクリックしてください。	
ヘットワーク設定	お知らせメール: 🗹 :通知を有効にする	
	送信メールサーバー名:	
	ポート: 25	
	認証タイプ: 使用しない 🗸	
えわさぼ	ユーザーID:	
サポートボークル ELECOM SUPPORT	パスワード:	
	差出人メールアドレス:	
▶ 設定方法はこちら	通知先メールアドレス: 1:	
	2 :	
	3:	
	4 :	
	5:	
	□ 設定後、テストメール送信を行う	
	設定	

7.9.1 基本設定

基本設定メニューではお知らせメールの配信先やメールサーバー等、メール通知に関わる基本設定を行う事ができます。「サブメニューエリア」の[基本設定]をクリックします。 設定項目の入力が完了したら [設定] ボタンをクリックします。

	XXX:8808/menu.asp	-==Xx/YX هم 🧐 ۲
🙆 🕶 🗟 🔹 🖃 🖶 🕶 🖓-3	ź(P) ▼ セーフティ(S) ▼ ツール(O) ▼ @ ▼ 🔑 🔊	
ELECOM	NSB-75S4DS6 Web UI Ver 5.21	
	ログオンユーザー: admin システムステータス: 0 正常 NASコール	
人ナーダス	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス: 〇 正常 表示の更新	
が開始改定	▶ 基本設定 通知項目の設定	
プリットの管理		
ネットローク設定	変更する内容を反映するには、画面下部の「設定」ボタンをクリックしてください。	
システム設定	お知らせメール: 🗹 :通知を有効にする	
▶ お知らせメール設定	送信メールサーバー名:	
電源	ポート: [25	
	認証タイプ: 使用しない 🗸	
えれさぼ	ユーザーID:	
サポートボークル ELECOM SUPPORT	パスワード:	

変	更する内容を反映するには	、画面	面下部の「設定」ボタンをクリックしてください。
	お知らせメール:		☑ :通知を有効にする
	送信メールサーバー名:		
	ポート:		25
	認証タイプ:		使用しない 🗸
	ユーザーID:		
	パスワード:		
	差出人メールアドレス:		
	通知先メールアドレス:	1:	
		2:	
		3:	
		4 :	
		5:	
	□ 設定後、テストン	х—J	レ送信を行う
	設定		

項目	説明
通知を有効にする	お知らせメール通知サービスを利用する場合はチェックボックスにチェックします。
送信メール	メール配信に利用するメールサーバーのサーバー名もしくは IP アドレスを登録し
サーバー名	ます。
ポート	メール送信に利用する TCP/IP ポートを指定します。
認証タイプ	 メールサーバーの承認タイプを選択します。 使用しない 認証の必要の無いメールサーバーを利用する場合に選択します。 SMTP 認証 SMTP 認証 SMTP 認証が必要なメールサーバーを利用する場合に選択します。 SSL 接続 SSL 接続 SSL 接続」では、暗号化方式は「STARTTLS」のみ対応しております。 「SMTP over SSL」には対応しておりませんので、設定前にご確認ください。
ユーザー ID	メールサーバーの認証に必要なユーザー ID を登録します。
パスワード	メールサーバーの認証ユーザー ID のパスワードを登録します。
差出人メール アドレス	通知メールに記載される差出人メールアドレスを登録します。
通知先メール アドレス(1~5)	配信先のメールアドレスを登録します。最大で 5 つまで登録可能です。
設定後、テスト メール送信を行う	この項目にチェックをすると、「設定」ボタンクリック後にテストメール送信を行います。

7.9.2 通知項目の設定

通知項目の設定メニューではお知らせメールで配信される情報を選択できます。「サブメ ニューエリア」の[通知項目の設定]をクリックします。設定項目の入力が完了したら[設 定] ボタンをクリックします。

← → Ø http://192.168.xx.	xxx:8808/menu.asp		ک → C 🖉 NAS ۲۲/۲۶۲۱-		
	ブ(P) ▼ セーフティ(S) ▼ ツール(O) ▼ ⑧▼ ♪ № №				
	NSB-75S4DS6 Web UI Ver 5.2	1			
	ログオンユーザー: admin システムステータス	K: 0 正常 NASコール			
ステータス	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス	【: ● 正常 表示の更新			
初期設定					
ファイル共有設定	基本設定 🕨 通知項目の設定				
ボリュームの管理					
ネットローク設定	変更する内容を反映するには、画面下部の「設定」ボタンをクリックしてください。				
100 0 0000C		有効/無効設定			
システム設定	Disk残容量:				
▶ お知らせメール設定	温度情報:				
電源	電源エラー:				
	for hand i				
えわさぼ					
サポートボークル ELECOM SUPPORT	S-RAIDエラー:				

DISK 残容量:	
温度情報:	
電源エラー:	
バックアップ:	
S-RAIDエラー:	
ログフィルタリング:	
暗号化 <mark>自動ロック/アンロックエラー:</mark>	
ServersMan@CASの通知:	
定期通知メール:	
定期	通知メールの設定
定期通知時刻:	0:0
定期通知曜日:	●毎日 ○日 ○月 ○火 ○水 ○木 ○金 ○

	項目	説明
1	有効 / 無効設定	通知項目に関する有効 / 無効の設定を選択できます。
	Disk 残容量	データボリュームの残容量が規定値を下回った場合に通知されます。 規定値はリモートデスクトップ管理画面の NAS ツール上で設定された値になります。 デフォルトでは 30% に設定されています。
	温度情報	本製品に搭載された HDD の温度が閾値を超えた場合に通知されます。 閾値は HDD 毎に設定された値になっています。
	電源エラー	不正電源断が発生後、最初の起動時に通知されます。
	バックアップ	WindowsServer バックアップでのバックアップ実行 / 終了時に通知されます
	S-RAID エラー	ソフトウェア RAID 構成 (ミラー及び RAID5) の状態が正常で無い場合に通知さ れます。
	ログ フィルタリング	イベントビューアに記録されるログをフィルタリングしてメール通知することができます。設定はリモートデスクトップ管理画面の NAS ツール上で行います。
	暗号化ロック / アンロックエラー	ディスク暗号化機能のロック / アンロックに関わるイベントを通知します。
	ServersMan@ CAS の通知	本製品では使用しません。
	定期通知メー ル	定期通知事項 / 曜日で指定されたタイミングで定期的にメールを通知します。
「지 言	ミ期通知メール 役定	「定期通知時刻」・「定期通知曜日」の設定ができます。
	定期通知時刻	定期通知メールを配信する時刻を登録します。 24 時間制で 時(2 桁):分(2 桁)で登録します
	定期通知曜日	定期通知メールを配信する曜日を選択します。日曜日 ~ 土曜日までのいずれかか、 毎日配信を選択できます。

7.10 電源

電源メニューでは本製品の電源操作を行う事ができます。「メニューエリア」から [電源] をクリックします。

	NSB-75S4DS6 Web UI Ver 5.40
ELECOM	ログオンユーザー: admin ジステムステータス: ● E * NASコール
ステータス	コンピュータ名: NSB-75S RAIDステータス: 0 E* 表示の更新
初期設定	
ファイル共有設定	電源
ボリュームの管理	
ネットワーク設定	
システム設定	シャットダウン: 実行
あ知らせメール設定	再起動: 実行
▶ 電源	休止状態: 実行
えれさぼ	
サポーホークル ELECON SUPPORT 各種機器との 設定方法を 紹介しています! ▶ 設定方法はこちら	

シャットダウン:	実行
再起動:	実行
休止状態:	実行

項目	説明
シャットダウン	本製品のシャットダウンを行います。
再起動	本製品の再起動を行います。
休止状態	本製品を休止状態(ハイバネーション)にします。

Chapter 8

各 OS から共有フォルダへの アクセス

8.1 Windows 10 (SMB 共有)

Windows 10から本製品の共有フォルダへのアクセス方法は以下の手順です。



[**スタートメニュー**]をクリックし、[エクスプローラー]をクリックします。



2 コンピューター一覧に本製品のサーバー名が表示されない場合は画面右上の「検索テキ ストボックス」に本製品のサーバー名か IP アドレスを入力して [Enter] を押します。



3 見つかった本製品のアイコンをダブルクリックすると共有フォルダが表示されます。



ネットワーク探索、ファイル共有が無効の場合、本製品を検出できない場合があります。ネット
 ワークと共有センターで有効化してください。

8.2 Windows 8.1/7(SMB 共有)

Windows 8.1/7から本製品の共有フォルダへのアクセス方法は以下の手順です。

1 「スタート」をクリックし、ネットワークを選択します。 (Windows 8.1 の場合は「検索チャーム」に「ネットワーク」と入力して起動します。)

2 コンピューター一覧に本製品のサーバー名が表示されない場合は画面右上の「検索テキ ストボックス」に本製品のサーバー名か IP アドレスを入力して [Enter] を押します。





見つかった本製品のアイコンをダブルクリックすると共有フォルダが表示されます。



ネットワーク探索、ファイル共有が無効の場合、本製品を検出できない場合があります。ネット | ワークと共有センターで有効化してください。

8.3 Windows (Storage) Server 2012/R2 (SMB 共有)

Windows Storage Server 2012/R2から本製品の共有フォルダへのアクセス方法は以下の手順です。

- ※ Windows Storage Server 2012/R2 の場合はリモートデスクトップ管理画面にてアクセ スしてください。
- 1 エクスプローラーを開きます。
- 2 画面の「アドレス」欄に「¥¥ サーバー名または IP アドレス」を入力します。

💭 I 🕞 🎚 = I	ネットワーク		
ファイル ホーム 共有 表示			
		~ C	
☆ ±/(<) 10			
■ デスクトップ			
3 最近表示した場所			
PC PC			
🗣 ネットワーク			

3 本製品の共有フォルダが表示されます。

8.4 Windows (Storage) Server 2008/R2 (SMB 共有)

Windows Storage Server 2008/R2から本製品の共有フォルダへのアクセス方法は以下の手順です。

※ Windows Storage Server 2008/R2 の場合はリモートデスクトップ管理画面にてアクセ スしてください。

「スタート」- **「ネットワーク**」をクリック、「ネットワーク」画面を開きます。

2 画面右上の「検索」欄に本製品の IP アドレスかサーバー名を入力し、
2 極クリックします。

ダネットワーク				. IO ×
00 10 + + + + + - >			* 6 秋田	12
ファイル(F) 編集(E) 表示 整理 * 111 表示	〒(V) ウール(T) ヘルプ ・ 😫 ネットワーのと共有	(H) 1259- 🕵 795901870		0
お知に入りいンク ■ ドキュント ■ ビクオ・ ■ ミューラク ③ 泉山ーラク ③ 泉山ーラク ③ 泉山でクラ ■ 化常 ■ パブリック	(6)) -	+ 3 ,7,2)	+ D-b9#-7	
フォルダ	^			

3 見つかった本製品のアイコンをダブルクリックすると共有フォルダが表示されます。



- 3 ユーザー名とパスワード入力画面が表示されますので、特に本製品にユーザー登録して いなければ [guest] をクリックします。
- 4 「共有ボリューム選択」画面が表示されますので、利用したいボリュームを選択し、共有フォルダにアクセスします。

8.6 Linux(NFS共有)

Linux からのディスク共有は、NFS 形式で提供しますので、Linux のシェルコマンドラ インより [mount] コマンドで本製品の共有フォルダをマウントさせます。

コマンドラインはバージョンなどにより異なりますので OS のマニュアルでご確認願い ます。

●RedHat6.2 での場合 mount - t nfs NSB-75S:/public/mnt NSB-75S:本製品のサーバー名 public:本製品のNFS共有ボリューム名

補足 A カスタマーサポート

A.1 困ったときには

Q 管理画面へアクセスできない場合がある / アクセスが非常に遅い

▲ 同セグメントの Ethernet 上に本製品と同じホスト名(サーバー名)のデバイスがありませんか? もし、ある場合はホスト名(サーバ名)を変更してください。

Q いつまで経ってもシステムが起動しない

▲ ディスクアクセスが無くいつまでもシステムが起動しない場合は、本製品前面の電源スイッチで電源を5秒以上長押しし、一旦 OFF にした後、再度10秒程時間をおいてから電源をON にしてください。

Q パスワードを忘れてしまった

- A1 ユーザーパスワードの場合、管理者が管理画面でユーザー項目のローカルユーザーメ ニューの中のパスワード設定でパスワードを再登録してください。
- A2 管理者のパスワードを忘れた場合は、管理画面にアクセスできなくなります。修正するに は、添付のリカバリーメディアでシステムを出荷時状態にリカバリーしていただくか、お 客様にてデータをバックアップ後弊社にお送りいただき、出荷時状態にてお戻し致します。 (有償)



この作業はオンサイト保守の対象外となりますので、管理者パスワードの管理には充分ご注意 ください。

Q フォルダー / ファイルが削除できない

- A1 フォルダ / ファイルの属性の「読み取り専用」にチェックがついていませんか? ついている場合はチェックをはずしてください。
- A2 削除しようとしているフォルダーは共有ボリュームではないですか? 共有ボリュームの場合は共有設定を解除してからフォルダーを削除してください。

A.2 製品の保証について

製品の保証とサービス

販売店発行のレシートまたは納品書等に記載されている購入日より3年間、本製品を 本保証規定に従い無償修理することを保証いたします。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より3年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。 詳細については個装箱に記載の保証規定をご確認ください。保証期間中のサービスに ついてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、個装箱に記載の保証規定をご確認ください。

●その他のご質問などに関して

「A.3 サポートサービスについて」(→ P287)をお読みください。

A.3 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをイ ンターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。



エレコム・ネットワーク法人サポート (ナビダイヤル) TEL:0570-070-040

受付時間:9:00~12:00、13:00~18:00 月曜日~土曜日 ※祝祭日、夏季・年末年始休業日を除く

※ PHS・一部の IP 電話からはご利用いただけません。お手数ですが NTT の固定電話(一般回線) や携帯電話からおかけくださいますようお願いいたします。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。 また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。 This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・弊社製品の型番
- ・ネットワーク構成
- ・ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)
- ※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。
B.1 設定制限表

		本製品 推奨値	Windows10/8.1/7 Server2012 (R2) Server2008 (R2)	MacOSX10.4.5~	Linux (RedHat6.2)		
サーバー名	最大文字数	半角15文字(※2)		· · ·			
	使用可能文字数	英字(大文字小文字の区別無し)、数字、マイナス。 ※下線利用可能だがMS製DNSサーバーを利用しない限り、標準文字以外の文字を含む名前を使用すると 別のユーザーがこのサーバーを見つけることが出来なくなる。					
	その他制限事項	使用できない文字「`~!@#\$^&*()=+[]{}\ ;:'",<>/?」					
アカウント名	最大文字数	半角20文字					
	使用可能文字	英字(大文字小文字区別無	×1				
	その他制限事項	全角文字は機種依存文字					
パスワード	最大文字数	50文字まではOKであるこ	くであることを確認				
	使用可能文字	英字(大文字小文字の区別あり)、数字、記号、スペース					
	その他制限事項	全角文字使用不可、adminパスワード省略不可					
コメント	最大文字数	半角256文字					
	使用可能文字	英字(大文字小文字の区別あり)、数字、ドット、下線、マイナス、スペース、全角日本語					
	その他制限事項	全角文字は機種依存文字を使用しないこと					
グループ名	最大文字数	半角256文字					
	使用可能文字	英字(大文字小文字の区別なしし)、数字、ドット、下線、マイナス、スペース、全角日本語					
	その他制限事項	使用できない文字「\/[]: <>+=;,?*@」 ※先頭を英字、数字、ドット、下線、全角日本語にすること(先頭にスペースを入れても削除されてしまう)					
共有フォルダ	最大文字数	OSに依存	 序 半角80文字/全角40文字				
	使用可能文字	英字(大文字小文字の区別無し)、数字、ドット、下線、マイナス、スペース、全角日本語			英字(大文字小文字の区別無 し)、数字、ドット、下線、マイナス、 スペース		
	その他制限事項 使用できない文字「\/[]:; <>?*+=」使用不可						
フォルダ名	最大文字数	OSに依存	半角·全角222文字	(smb:半角255文字)	半角255文字		
	使用可能文字	OSに依存	英字(大文字小文字の区別無し)、数字、一部記号、 スペース、全角日本語		英字 (大文字小文字の区別無 し)、数字、一部記号、スペース		
	その他制限事項	OSに依存	機種依存文字使用不可、半角記号「\/:,;*?<> 」 使用不可		全角未対応、半角記号「!*;:? '\$&()<>」使用不可		
ファイル名	最大文字数	OSに依存	半角·全角230文字	(smb:半角251文字)	半角251文字		
	使用可能文字	OSに依存	英字(大文字小文字の区別無し)、数字、一部記号、 スペース、全角日本語		英字(大文字小文字の区別無 し)、数字、一部記号、スペース		
	その他制限事項	OSに依存	機種依存文字使用不可、半角記号「\ / : , ; * ? < > 」 使用不可		全角未対応、半角記号「!*;:? '\$&() < >」使用不可		
1ファイル容量上限		OSに依存					
フォルダ階層数		OSに依存					
登録可能共有フォルダ		無制限					
登録可能アカウント数		50 (WorkgroupEdition搭載モデル)、無制限 (StandardEdition搭載モデル)					
登録可能グループ数		無制限			_		

※1 Linux での共有はアカウント名 / パスワードで管理しないので対象外。 ※2 作成は半角 20 文字まで可能ですが、最大半角 12 文字以内で作成しないとネットワークから参照不可。

※3 管理画面アクセス不可のため直接作成は不可(Windows クライアントにて作成が必要) ※ Mac でのフォルダ名、ファイル名変更にはフォルダプロパティから全般:SFM ボリュームセキュリティの [このボリュームは読み取 り専用]のチェックを外す必要あります。



RAID の基本

(参考情報)

一般的な RAID について説明した資料であり、 本製品の RAID 機能を説明したものではありません。

概略

独立ディスク冗長アレイ(RAID)はデータ・セキュリティと高性能を提供する、複数のハードディスクからなるアレイです。RAIDシステムは複数のハードディスクを同時に利用し、単体性能を超えた高い I/O 性能を実現します。データ・セキュリティは RAID により強化されます。ハードディスクの不具合によるデータの損失は、RAID の他のハードディスクから冗長データが再生されることで最小限に抑えられるからです。

利点

RAID は、フォルト・トレランスと冗長データ・ストレージにより、I/O 性能を高めデータ・ セキュリティを強化します。

性能の向上

RAID は複数のハードディスクを同時に利用することで、I/O 性能を飛躍的に高めます。

データ・セキュリティ

残念ながらハードディスクの不具合は避けられません。RAID により、ハードディスクの不 具合によるデータの損失は防げます。RAID は別のハードディスクを用意することで、ハー ドディスクの不具合によるデータ損失を回避することができるからです。ハードディスクの 一台が故障した場合、RAID ボリュームは他のハードディスクに保存されたデータとパリ ティからデータを再生することができます。

RAID レベル

システム・ボリュームを作成するときに RAID レベルを選びます。 RAID レベルを選択する ために検討すべき点は次の通りです。

- ・性能に対する要求
- ・ データ・セキュリティの必要性
- ・ システム中のハードディスクの数量および容量

各RAIDレベルについて説明いたします。

RAID 0

RAID 0 は広い帯域を必要とするが、高いレベルのデータ・セキュリティは必要としない アプリケーションに最も適しています。RAID 0 は、すべての RAID レベルの中でも最高の 性能を提供しますが、冗長性は提供しません。

RAID 0 はディスク・ストライピングを使用し、データをブロックごとに分割してボリューム 内のすべてのハードディスクに対して書き込みをします。システムは複数のハードディス クを、より高速に読み書きするために利用することができます。RAID を作成するときに 設定されたストライプ・サイズ・パラメータが各ブロックのサイズを決定します。パリティ 計算が書き込み操作を複雑にすることはありません。

RAID 1

RAID 1 は、すべてのデータを 1 台のハードディスクから他のハードディスクにミラーリン グすることで、完全な冗長性を提供します。しかし、使用できるデータ容量はハードディ スク 1 台分です。

RAID1 は完全なデータ・セキュリティという点では優れています。

ミラーリングとは2台のディスクにまったく同じデータを同時に書きこむ方式です。片方 が破損しても、もう一方からデータを読み出せるので、システムは問題無く稼動しつづけ ることができます。両方に同じデータを書き込むことになるため、実際に使用できる容量 は本来のディスク容量の半分になります。

RAID 10

RAID1を構成するボリューム同士でさらにRAID0を構成します。RAID1の冗長性とRAID0の性能を提供します。RAID1を構成する2台の場合以外は、2台までのドライブ 故障に対応できます。

RAID 5

書き込みを行うデータとデータから作成したパリティ(誤り訂正符号)を分散させて記録 します。ディスクの1台が壊れても、パリティを元に RAIDの再構築を行います。RAID5 を構成するには最低3台のドライブが必要になります。RAIDボリュームの容量は構成す るディスクの1台分を引いた容量です。

耐障害性の向上と高速化、大容量化の全てを実現できる RAID 技術です。ディスク故障時に記録データを修復するために「パリティ」と呼ばれる冗長コードを全ディスクに分散して保存します。

RAID 6

データと2つのパリティを分散して記録します。2台までのディスク故障に対応できます。 RAID6を構成するには、最低4台のドライブが必要になります。RAIDボリュームの容量は、 構成するディスクの2台分を引いた容量です。

JBOD

ディスクの結合(JBOD、すなわち「Just Bunch of Disk= ただのディスクの束」とも言われる)は RAID レベルの 1 つとしては数えられていませんが、複数の物理ディスク・ドライブを結合して 1 台のバーチャル・ディスクにする一般的な方法です。その名前が示すように、複数のディスクが一貫して結合されるだけなので、1 台の大きなディスクのように見えます。

JBOD 上のデータは保護されていないので、ドライブ1台に不具合があってもすべての データが損失する結果となることがあります。

ストライプ・サイズ

複数のハードディスクにわたり書き込まれるデータ・セグメント長です。データは RAID の複数のハードディスクにわたりストライプで書き込まれます。複数のディスクが同時に 利用されるので、ディスク・ストライピングにより性能が向上します。ストライプのサイズ は可変です。

RAID LEVEL	機能・特徴	冗長性	データ有効容量
RAID-0	転送速度が速い	×	$H \times n$
RAID-1	ミラーリング	\bigcirc	$H \times n \div n$
RAID-5	パリティ方式	\bigcirc	$H \times (n-1)$

※ H:1 台あたりの HDD 容量 n: RAID を構成する HDD 台数

Network Storage System Windows Storage Server 2016 搭載モデル向け NAS ツール ソフトウェアマニュアル

発行 エレコム株式会社